

第三編 分娩取扱法

(五) 子宮口全開大ノ後モ尙ホ破水セズ、此ノ爲出血等ノ異常ヲ認メタル時ハ、法ニ從ヒテ人工破水法ヲ行フベシ。

圖三一九 分娩第一期ノ注意事項◎

- (一) 就褥ノ時期、産婦ノ臥位ニ注意シ、
- (二) 腹壓ニ就キ注意シ、
- (三) 排尿排便ニ注意シ、
- (四) 消毒ニ注意シ、
- (五) 破水注意……(三一九問)、
- (六) 産婦ノ安眠中モ、産婆又ハ代理者ハ常ニ其傍ニ侍シ一般状態ニ注意スベシ。

圖三二〇 分娩時ニ側臥位ヲ取ル場合三ツ及其理由◎

- 〔解〕 (1) 下部ノ偏在セル側ヲ下ニ側臥セシム場合。
 (2) 先端側ヲ下ニ側臥セシム場合。
 (3) 臍帯等ノ下垂脱出側ヲ上ニ側臥セシム場合。
- 理由 (1) 子宮底部ニ在ル胎兒部分ガ其重量ニヨリ降ルト同時ニ偏在セル下部ガ骨盤入口ニ向ツテ昇ル。
 (2) 第一後頭位ニテ先端側タル後頭ヲ下ニ左側臥ヲ取レバ、頭部ハ前屈シ易ク從ツテ後頭ガ先端シ易クナル。

(3) 臍帯下垂脱出側ヲ上ニ側臥セシムレバ、偏在下部ハ(1)ノ理由ニヨリ入口へ嵌入ヲ助ケラレ同時ニ臍帯ハ内部へ還納シ得ルニ至ル。

圖三二一 産婦ニ左側臥ヲ取ラシムル場合◎

- 〔解〕 (1) 下部ガ左ニ偏在セル時。
 (2) 第一後頭位ノ破水後。
 (3) 臍帯等ガ右ヨリ下垂脱出セルヲ側臥ニヨリ還納セントスル場合。
 (4) 同上ガ左ヨリ脱出セルヲ用手還納セントスル場合。
 (5) 同上ガ右ヨリ脱出セルヲ用手還納シ得タル後。
 (6) 側臥ニヨル會陰保護ノ場合。

圖三二二 分娩第一期ノ注意事項ト初産婦經産婦ノ差異點ヲ擧ゲヨ◎

〔解〕 三二二問ヲ参照シテ注意ヲ述べ、
 經産婦ハ初産婦ニ比シ分娩經過速カナルヲ以テ種テノ準備取扱モ機敏ヲ要スル旨述べシ。

圖三二〇 正期分娩初期ノ徵候同期ノ處置◎
 〔解〕 初期徵候トシテ分娩開始徵候ヲ應用記載シ、第一期陣痛(三二八問ノ第一期)ヲ述べ、處置ハ分娩第一期取扱法(三二八問)ヲ参考シテ答フベシ。

第五章 分娩第二期取扱法

圖三二〇 分娩第二期取扱法◎◎

- 一 産婦ノ臥位……………(三二六問ノ二)
- 二 腹 壓……………(三二四問ノ二)
- 三 排便排尿……………(三二四問ノ二)
- 四 消 毒……………(三二四問)
- 五 診 察……………(三二四問ノ第二期)
- 六 會陰保護法……………(三二四問)
- 七 兒頭娩出直後ノ處置……………(三二九問)

圖三二二 分娩第二期ニ於ケル注意事項◎

- (一) 産婦ノ臥位ニ注意シ、
- (二) 腹壓ノ利用ト禁止ニ注意シ、
- (三) 膀胱ニ蓄尿ナキ様注意シ、消毒ニ注意シ、
- (四) 母體ノ體温脈搏、胎兒心音胎兒下部ノ進行ニ注意シ、
- (五) 會陰保護ニ注意シ、
- (六) 兒頭娩出直後ハ顔面ノ浮拭、臍帯連絡ノ有無ニ注意スベシ

圖三二〇 會陰保護法ニツイテ◎
一 會陰保護法ノ目的……………(三二四問)

第五章 分娩第二期取扱法

- 二 會陰保護ヲ施スベキ時期……………(三二五問)
- 三 會陰保護ノ術式……………(三二六問)
- 四 肩胛娩出ノ會陰保護

兒頭娩出ノ時ニハ幸ニ會陰裂傷ヲ免ルトモ時トシテハ肩胛部娩出ノ爲ニ破裂スル事アリ。殊ニ兒頭娩出ノ際ニ小ナル裂傷ヲ生ジタル時ハ、肩胛ノ娩出ニヨリ此裂傷ヲ更ニ増大スル虞アリ、故ニ後方ニアル肩胛ノ娩出ニ際シテハ兒頭娩出ノ時ト同様ノ注意ヲ以テ會陰保護ヲ行フベシ。

圖三二四 會陰保護ノ目的◎

會陰裂傷ヲ豫防シ、以テ會陰裂傷ノ結果タル諸種ノ障礙(出血・創傷傳染・種々ノ婦人科病・大瘻痕ノ形成)ヲ未然ニ防グニアリ。

〔註〕 目的ト手段(方法)トヲ混同スベカラズ。

圖三二五 會陰保護ノ必要ヲ説明セヨ◎

〔解〕 目的ヲ記シ其目的ヲ達スルタメニ必要ナリト説明スベシ

圖三二六 會陰保護ヲ始ムベキ時期◎

兒頭將ニ撥露セントシテ會陰部著シク膨隆セル時ヨリ始ム。

第三編 分娩取扱法

但シ。經産婦ニ於テハ既ニ排臨セントスル頃ヨリ之ヲ準備セザレバ屢々其機ヲ失スル虞アリ。

圖三二〇七 會陰保護ヲ行フベキ場合〇

〔解〕 前問ノ答ノ他ニ、肩胛娩出ノ時ニモ行フベキ由ヲ併記ス。

圖三二〇八 會陰保護ノ術式〇

- (一) 仰臥位ニ於ケル會陰保護法……(三二二問)
- (二) 側臥位ニ於ケル會陰保護法……(三二三問)

圖三二〇九 會陰保護ノ實施法〇

〔解〕 前問ト同ジ。

圖三二一〇 會陰保護法ノ種類ヲ問フ〇

- (1) 仰臥位ニ於ケル會陰保護法、(2) 側臥位ニ於ケル會陰保護法、(3) 會陰切開術ニヨル會陰保護法、(4) 後部會陰保護法(リトゲン氏法、オルスハウセン氏法)

圖三二一一 仰臥位ニ於ケル會陰保護法〇

産婦ヲ仰臥セシメ腰下ニ、腰枕ヲ挿入シ、

- (1) 下肢ハ股關節及ヒ膝關節ニテ輕ク曲ゲテ左右ニ開

カシメ、

- (2) 産婆ハ産婦ノ右側ニ坐シテ右手ヲ右大腿ノ下ヨリ會陰部ニ送り、其ノ拇指ヲ右陰脣上ニ、四指ヲ左陰脣上ニ、手掌ヲ會陰ノ上ニ置き、拇示兩指間ノ指裂線ト陰脣小帶トノ間ヲ約一極現ハシテ其ノ延長ノ度ヲ監視シ得ベクナシ、

- (3) 左手ハ四指ヲ捕ヘ腹部ヨリ陰阜ヲ越エテ兒頭ニ貼ズベシ、カクテ兒頭ヲ二撥露セントスルニ當リ、始メテ力ヲ用フルモノニシテ、其ノ要領ハ次ノ如シ。(三二三問ヲ附記ス)

圖三二一二 會陰保護法ノ要領〇

- (1) 兒頭ヲシテ徐々ニ陰門ヲ通過セシムル事 娩出力が兒頭ヲ壓出セントスルヤ、右手ヲ以テ娩出力ノ緩急ニ應ジ、兒頭ヲ骨盤軸ノ方向ニ押し返シ、同時ニ左手ヲ以テ右手ノ動作ヲ助クベシ。
- (2) 兒頭ノ正當ナル第三週旋ヲ助クル事 兒頭漸ク進ミ出デ項部が恥骨結合下縁ニ支定セラル、

ニ及ビ、右手ヲ以テ兒頭ヲ恥骨弓ノ直前ニ向フテ壓上シ、左手ノ四指ニテ其第三週旋ヲ助クベシ。

此第三週旋ニヨリテ兒頭ガ陰門ヲ出デントスル時ハ、産婦ニ全ク努責ヲ禁ジ、手足ヲ弛メ、口ヲ大キク開キテ輕キ呼吸ヲナサシムベシ。

(3) 會陰ノ緊張ヲ減ゼシムル事

右手ノ指頭ヲ以テ陰脣小帶ノ部ヲ左右ヨリ挟ミ壓シテ其中間ニ皺襞ヲ生ゼシメ、以テ陰脣小帶ノ部ニ幾分ノ弛緩ヲ與フベシ

圖三二一三 會陰保護法實施上注意スベキ點及其理由〇

〔解〕 注意スベキ點ハ前問ノ三要領理由ハ(1)急激ニ陰門ヲ通過スル時ハ破レ易イ(2)第三週旋ガ不十分又ハ正當ナラザル時ハ下部ノ大ナル周圍ヲ通過スルガ故ニ破レ易イ(3)陰門ノ緊張ガ強イ時即チ弛緩ガ不十分ナ時ニ破レ易イカラデアル。

圖三二一四 會陰保護ヲ行ハバ何故會陰裂傷ヲ防キ得ルヤ〇

〔解〕 前問ノ答ノ理由ヲ記セバヨイ。 第五章 分娩第二期取扱法

圖三二一五 側臥位ニ於ケル會陰保護法〇

通常左側臥トナシ臀部ヲ牀縁ニ置き、股、膝ノ兩關節ヲ屈曲セシメ、膝間ニ枕ノ類ヲ挟ミ以テ股間ヲ開キ、産婆ハ産婦ノ背面ニ坐シ、右手ヲ會陰ニ貼ジ、左手ハ腹部ヨリ陰阜ヲ越エテ先端ニ送り、凡テ仰臥位ニ於ケル會陰保護術ト同様ノ要領ヲ以テ之ヲ施スベシ。

(要領ハ三二三問参照)

圖三二一六 會陰保護ノ際仰臥ト側臥トノ得失ヲ比較セヨ〇

仰臥		側臥	
利	<ul style="list-style-type: none"> (一) 腹壓ヲ加減シ難シ (二) 會陰ノ監視ニ不便 (三) 身體ヲ暴露スル事多シ 	利	<ul style="list-style-type: none"> (一) 同上ヲナシ易シ (二) 同上ニ便 (三) 同上少シ
缺	<ul style="list-style-type: none"> (一) 外陰ノ消毒内診等ニ便 (二) 臍帶纏絡解除ニ便 (三) 後産期ノ處置ニ便 	缺	<ul style="list-style-type: none"> (一) 同上ニ不便 (二) 同上ニ不便 (三) 後産期ノ處置ニ不便

圖三三三 會陰切開術トハ何ゾヤ

醫師ノ行フベキ法ニシテ次ノニアリ
(一) 側方會陰切開 會陰裂傷豫防ノタメ剪刀ヲ以テ陰唇ヲ側方ニテ斜メニ淺ク切開スル法
(二) 中線會陰切開 大ナル不整裂傷豫防ノタメ、剪刀ヲ以テ會陰中線ヲ縱ニ深ク切開スル法

圖三三八 會陰保護ノ要件

〔解〕 實施法ノ三要領ヲ記スベシ(三三三問)

圖三三九 兒頭分娩直後ノ處置

- 一 顔面ノ淨拭 口・鼻ヲ拭ヒ、次デ眼・耳ヲ拭フ。
- 二 臍帶纏絡ノ解除……………(三三〇問)
- 三 第四廻旋ヲ助クルコト……………(三三三問)
- 四 肩胛牽出術……………(三三四問)

圖三三〇 臍帶纏絡時ノ處置

(一) 臍帶ノ緩ミ易キ方ヲ徐カニ引キテ兒頭ヲ越エテ之ヲ除クベシ

(二) 兒頭ヲ越エシメ得ザル時ハ、寧口肩胛ヲ越エテ之ヲハツスヲ宜シトス

(三) 臍帶少シモ緩マザル時ハ、臍帶ノニテ所ヲコツヘル

氏止血鉗子ニテ挟ミ、其間ヲ剪斷ス。

圖三三二 臍帶纏絡ノ障礙

- 一 妊娠中 (1) 胎兒發育障礙 (2) 胎兒死亡
- 二分娩中 (1) 胎兒假死・死亡 (2) 胎兒頸部ノ絞扼損傷
- (3) 臍帶離斷 (4) 胎盤早期剝離 (5) 子宮内翻
- (6) 分娩進行遲延

〔註〕 妊娠中ノ影響ハ臍帶ノ輕キ壓迫ニヨリ臍帶維管ヲ發ス

圖三三一 臍帶纏絡ノ診斷

- (1) 臍帶雜音聽取
- (2) 娩出力モ産道モ正常ナルニ下部ノ降ノ遲延等ニヨリ纏絡ヲ想像シ
- (3) 兒頭娩出直後視診スルカ或ハ消毒セル手指ニヨリ之ヲ觸知シテ診斷ス

圖三三三 兒頭第四廻旋ニツキ産婆ノ取ルベキ處置

兒頭ガ第三廻旋ニヨリ娩出シ、長イ間其顔面ヲ母體後方ニ向ケタル儘ナル時ハ、産婆ノ兩手ニテ兒ノ側頭ヲ

挟ミ各胎向適當ノ方向ニ顔面ヲ向ハシムル様ニ助クベシ。(例ヘバ第一頭位ハ母體右大腿ヘ向ハシム)

其方向ハ最初腹内ニ在リシ時ノ顔面ノ方向ニ向ハシムベキモノニシテ、又産瘤ノ發生セル側ヲ母體前方ヘ向ハシムルモ宜シ。

圖三三四 肩胛牽出術

一 兒ノ側頭ヲ兩手掌間ニ挟ミ、始メ後下方ニ牽キ前在肩胛ガ恥骨結合下緣ニ十分現ル、ヲ待チ、次ニ前上方ニ牽キ學グレバ、後在肩胛ハ會陰ヨリ容易ニ滑脫ス。此ノ法致ナキ時ハ……………

二 兒ノ後在肩胛ト異名側ノ手ノ示指ヲ兒ノ背面ヨリ後在腋窩ニ挿入シ、他手ニテ兒頭ヲ支ヘ、兩手相協力シ始メ後下方ニ牽キ前在肩胛ガ恥骨結合下緣ニ現ハル、ヲ待チ、次デ前上方ニ牽引ス。カクシテモ尙ホ出デ難キ時ハ……………

三 前法ニ加フルニ、他手ノ示指ヲモ同様ニ既ニ出デタル前在肩胛ニ鈎シ、兩手協力シテ前上方ニ牽引シテ後在

肩胛ヲ滑脫セシムベシ。

圖三三五 肩胛牽出術ヲ行フベキ場合

兒頭娩出ノ後、兒ノ顔面藍赤色ヲ呈シ、暫ク待ツモ容易ニ肩胛娩出ノ様子ナキ時、先ヅクリステレル氏壓出法ヲ試ミ、其成功セザル場合ニ之ヲ行フベシ

圖三三六 クリステレル氏壓出法

一 目的 兒頭、臀部、肩胛等ノ陰門通過ガ遅レタル時、兒體ヲ壓出シ以テ娩出力ヲ助クルヲ目的ス。

二 術式 子宮底ヲ輪狀ニ摩擦シテ陣痛ヲ促シ、其發作ニ乗ジ、兩手ヲ以テ子宮底ヲ攔ミ之ヲ骨盤軸ノ方向ニ壓迫ス。

三 障礙 違法粗暴ノ施行ニヨリ、痙攣陣痛、子宮破裂。

圖三三七 分娩第二期ニ於ケル産婆ノ職責

〔解〕 (一) 第二期取扱法ノ各項目ノ中カラ、産婆獨立ニ行ヒ得ベキ處置ヲ種々舉ゲテ、之ヲ行フノガ職責デアルト答

第三編 分娩取扱法

- 〔其他〕……………
- (一)異常豫防トシテハ (1)消毒ニヨル産褥熱ノ豫防、(2)會陰保護法ニヨル裂傷ノ豫防ヲ行フノモ職責ノ一ツデアルトナシ
- (三)又第二期ニ於テハ、母體ノ體温、胎兒心音等ニ異常ガ起リ易イカラ、之ニヨリ母子ノ危険ヲ早ク知リ「醫師診療」ヲ乞ハシムルノモ職責ノ一ツデアルトシ
- (四)右ノ場合ニ醫師來診ナキ間ハ「急救手當」ヲナシ
- (五)來診ノ場合ハ「診療ヲ介助スル」ノモ産婆ノ職責デアルト答フベシ。

第六章 分娩第三期取扱法

圖三三六 分娩第三期取扱法

- 一第三期新産兒ノ注意及取扱法 (三三六問)
- 二第二期母體ノ注意及取扱 (三三三問)
- 三第三期後産ニ關スル注意及取扱 (三三四問)

圖三三六 分娩第三期ニ於ケル處置

〔解〕 前問ニ同シ

圖三三〇 胎兒娩出直後ニ於ケル處置

〔解〕 前問ニ同シ。

圖三三二 娩出直後ニ於ケル新産兒處置

〔解〕 前問ノ一即チ三三六問ニテケ。

〔注意〕 「分娩直後ニ於ケル新産兒處置」ハ「後産娩出直後ノ新産兒處置」ナリ、誤ルベカラズ。

圖三三三 後産期母兒ニ對スル處置

〔解〕 三三六問ノ一、ニ。

圖三三三 新産兒娩出後ノ取扱法

〔解〕 本問ハ「娩出後ノ新産兒取扱法」ト解レ

娩出直後ノ新産兒取扱法 三三六問

分娩直後ノ新産兒取扱法 三三六問ノ兩方ヲ答フベシ

〔注意〕 「胎兒娩出後ノ取扱法」ハ胎兒娩出後ノ分娩取扱法ト解レ、第三期取扱法三三六問ト分娩直後取扱法三三三問トノ兩方ヲ答フルヲ要ス

圖三三五 後産期ニ於テ注意スベキ事項

〔解〕 (一)新産兒ニ對シ

- (1)臍帶結紮前ノ注意…三三六問
- (2)剪斷時ノ注意…三三四問
- (3)剪斷直後ノ注意…三三四問
- (1)子宮收縮状態ノ注意
- (2)出血量ノ注意
- (3)身體ノ保温ノ注意
- (1)後産陣痛・胎盤剝離後ノ注意
- (2)後産娩出時ノ注意…三三四問
- (3)後産娩出後ノ注意

圖三三五 分娩各期ノ注意事項

- 一各期診察上ノ注意事項…(三三四問)
- 二各期取扱上ノ注意事項

- (一)第一期ノ注意事項…三三四問
- (二)第二期ノ注意事項…三三四問
- (三)第三期ノ注意事項…三三四問

圖三三六 分娩第三期新産兒ノ取扱法

第六章 分娩第三期取扱法

一 臍帶結紮前ノ處置…(三三六問)

二 臍帶結紮剪斷法…(三三四問)

三 臍帶剪斷直後ノ處置…(三三四問)

一 頭部ヲ側方ニ向ケ、時々左右ヲ交互ニシテ静臥セシメ

二 顔面ノ血色及呼吸ニ注意シ

三 冬期ハ保温ニ注意ス

但シ母體ノ子宮收縮状態、出血、全身一般状態ニツキ他ニ適當ノ監視者アル場合ニ限リ、殊ニ寒冷季節 又ハ早産兒、虛弱兒ニアツテハ、第三期ニ於テモ「分娩直後ノ新産兒處置」ヲ行フヲ可トス。

圖三三七 新産兒臍帶剪斷ニツイテ

- 一 臍帶結紮前ノ處置…(三三六問)
- 二 臍帶ノ結紮剪斷ノ術式…(三三四問)
- 三 臍帶剪斷直後ノ處置…(三三四問)

圖三三六 臍帶剪斷前ノ注意ト處置

母體

- (一)子宮收縮状態ニ注意シ
- (二)外陰ニ現ハル、出血ノ量ニ注意ス

新産兒

- (一)臍帶ノ牽引セラレザルヤニ注意シ
- (二)兒ガ正シク呼吸シ居ルヤニ注意シ
- (三)臍帶搏動停止マデ兒體ノ保温ニ注意スベシ

〔註〕 處置ハ前記注意ノ各項ニ對スル處置ヲ述ベレバヨイ

圖三三三 新産兒臍帶剪斷ノ時期

- (一)子宮ノ收縮良好ニシテ……………ハ直チニ臍帶ヲ結
- (二)異常出血モナク……………紮剪斷スベシ
- (三)新産兒ノ呼吸正シクシテ……………
- (四)臍帶搏動ノ停止シタル時……………

〔註〕 但シ例外トシテ三三四問ヲ、理由トシテ三三六問ヲ附記スルヲ宜シトス

圖三三四 時期ニ關セズ臍帶ヲ切斷スル場合ヲ示セ

〔解〕 (1)母體ノ大出血ニ際シ、其處置ヲスルト同時ニ、別ノ人ニ

ヨリ切斷セシム。

(2)新産兒第二度假死ニ際シ、特種人工呼吸法ヲ行フ時。

圖三三四 新産兒臍帶剪斷ノ方法

- (一)第一結紮 臍輪ヨリ二指横徑距リタル部ノ膠様質ヲ指ニテ擦リテ細クシ、豫メ消毒シタル麻糸ヲ以テ此部ヲ固ク結紮シ、餘レル糸ノ兩端ヲ反對ニ廻シテ更ニ一回同處ヲ結紮ス。
- (二)第二結紮 次ニ胎盤ノ方ヘ二指横徑距リタル部ニ第二結紮ヲ施スベシ。
- (三)前斷 兩結紮ノ中間ヲ殺菌セル臍帶剪刀ヲ以テ剪斷スベシ。

此際適ツテ兒ノ手足ヲ傷ケザル様此部ノ臍帶ノ下ニ左手ノ示中兩指ヲ挿入シテ剪刀ノ尖端ヲ被フヲヨロシトス。

圖三三五 臍帶切斷時ノ諸注意

- 一手指、剪刀、綿紗等ノ消毒ニ注意スベシ。
- 二結紮切斷ノ時期ヲ正シタスベシ。

三 結紮部ノ膠様質ヲ豫メ細クシ、且ツ結紮ヲ十分固クスル様注意スベシ

四 切斷時ニ剪刀ノ先端ヲ指ニテ蔽ヒ兒體ヲ傷ケザル様注意スベシ

圖三三三 臍帶切斷ノ注意

- 一切斷前ノ注意……………(三三六問)
- 二切斷時ノ注意……………(三三四問)

圖三三四 臍帶剪斷後ノ注意ト處置

- (一)剪斷後ハ臍帶斷端ヲ殺菌ガーゼニ拭ヒ、其斷面ヨリ出血セザルヲ確メ、
- (二)兒ヲ布ニテ包ミ安全ナル温カキ場所ニ側臥セシメ、其後モ臍帶斷面ヨリ出血ナキヤニ注意シ、
- (三)正シク呼吸スルヤヲ常ニ注意スベシ。

圖三三五 新産兒臍帶ノ處置

- 一 臍帶結紮剪斷ニ關スル處置……………(三三七問)
- 二 臍帶斷片ノ處置……………(三三六問)

圖三三六 臍帶切斷ニ當リ第二結紮不十分ナル

タメ出血セリト云フ、母兒何レヨリスルカ、又コノ出血ニヨリ如何ナル害ヲ發スルカ

- (1)後産内ノ胎兒血液ノ流出ナリ。
- (2)一卵性双胎ナラバ第二兒ノ亡血ニヨリ假死死亡ヲ來ス

圖三三七 兒體娩出直後ヨリ臍帶ニ對スル處置ト注意及ビ其經過

〔解〕 臍帶ニ對スル處置ハ三三七問、注意ハ三三三問、其經過トハ臍帶ニ對スル經過即チ搏動停止ノ經過ナリ。

圖三三八 臍帶結紮ヲ搏動停止後ニスル理由

搏動停止スレバ、胎盤及ビ臍帶内ノ血液ノ大部分ガ兒體内ニ移行シテ、兒ノ血液ノ六〇〜一〇〇互ヲ利益スレバナリ。

圖三三九 臍帶結紮切斷ニ要スル消毒法

手指消毒法ハ「三〇〇問」ニ從ヒ
切斷部附近ノ消毒法ハ「リゾール水」又ハ「アルコール」ニテ擦拭
シ
臍帶剪刀ハ煮沸消毒スベシ。

圖三〇三 臍帶剪刀ノ特徴及理由〇

- 一 刃ノ鈍ナルコト……血管断面ヨリ出血ヲ少クスルタメ
- 二 彎曲セルコト……彎回ヲ上ニスレバ使用シ易シ
- 三 先端ノ尖ラザルコト……兒體ヲ誤ツテ傷ケザルタメ
- 四 一側ニ鑷冠様ノ突起アルハ……上方ニ向ケル側ヲ見分ケ易クスルタメ
- 五 接合部ヲ分離シ得ルハ……一般醫療器械ト同様消毒ニ便スルタメ

圖三〇二 臍帶切斷ニ第二結紮ハ必要力其理由〇

- 一 單胎ノ場合 必シモ必要ナラズ、只血液ヲ散亂セシメザル爲メ
一旦止血鉗子ニテ挟ミ切斷後直チニ受器ニ血液ヲ
放流セシムルモ何等妨ケナシ
- 二 双胎ノ場合 必ズ嚴重ナル結紮ヲ要ス、一卵性ナル時ニ第二兒
ノ亡血ヲ來ス危險アルヲ以テナリ。

圖三〇一 第三期母體ノ注意及取扱法〇

- 一 子宮ノ收縮ヲ監視スルコト
胎兒娩出直後、先ヅ一指ヲ子宮底部ニアテ子宮ノ收縮
ヲ監視スベシ。
- 二 (一) 子宮收縮良好ナルトキハ、只監視ノミニ止メ溢リニ
之ヲ摩擦スベカラズ。
- 三 (二) 子宮收縮不良ナルトキハ、子宮底ヲ輪狀ニ摩擦シ
或ハ氷囊ヲ置キ以テ其收縮ヲ促スベシ。
- 四 出血量ニ注意スルコト
胎兒娩出直後外陰ニ消毒綿ヲ貼ジ出血量ニ注意スベシ
- 五 保温ノ注意
胎兒娩出後、適當ノ被褥ト湯婆ヲ供シ、熱キ飲料ヲ與
フベシ。
- 六 全身一般狀態ノ注意
顔貌、脈搏、呼吸、體温等ニ注意スベシ。

圖三〇〇 第三期後産ニ關スル注意及取扱〇

一 後産陣痛及胎盤剝離ニ注意

- (一) 後産陣痛 ト共ニ少量ノ出血アル時ハ、只靜カニ其
經過ヲ監視スベシ。
- (二) 胎盤剝離下降 ノ徵候ノ來ラザルヤヲ注意スベシ。
ニ後産娩出時ノ取扱法
- (一) 後産自然娩出ノ取扱
大半娩出シタル後産ヲ消毒セル兩手ニテ支へ、一定ノ
方向ニ捻轉シテ、索狀トナリタル卵膜ヲ徐々ニ滑出セ
シムベシ。
- (二) 後産娩出遅延ノ取扱
(1) 導尿
尿滞留アレバ先ヅ導尿ヲ行ヒ、暫ク後産ノ娩出ヲ待ツ
ベシ。而モ娩出ナキ時ハ……
- (2) クレデ氏胎盤壓出法(三〇五問)ヲ行フベシ。
ニ娩出後産ノ検査及處理……(三〇六問)

圖三〇六 後産娩出時ノ注意事項〇

- 一 娩出前ノ注意
 - (一) 母體ノ注意……(三〇三問)
 - (二) 後産ニ關スル注意……(三〇五問)
 - 二 娩出時ノ注意
 - (一) 成ルベク自然ヲ尊ビ溢リニ娩出ヲ
急グベカラズ
 - (二) 後産娩出遅延スルモ、決レテ之ヲ
牽引スベカラズ
 - (三) 膀胱ニ尿ノ充滿ナキ様注意スベシ
 - 三 娩出後ノ注意
 - (一) 子宮收縮ニ注意
 - (二) 後産缺損ニ注意
- 圖三〇五 クレデ氏胎盤壓出法ニツイテ〇
- 一 目的
- (一) 弛緩出血ニ際シ、速カニ子宮收縮ヲ圖ルタメ。
 - (二) 後産ノ永キ残留ハ弛緩出血ノ因ヲナスヲ以テ、適當
ノ時期ニ排出セシメンガタメ。
- 二 時期……(三〇六問)
- 三 術式……(三〇七問)

四注意……(三ノ三六問)

圖三三六クレデ氏胎盤壓出法ヲ行フ時期◎

(1)胎兒娩出後凡ソ一時間ヲ經ルモ未ダ後産ノ娩出ナキ時。

(2)或ハ一時間以内ニ於テモ弛緩出血アル時。

圖三三七モクレデ氏胎盤壓出法ノ術式◎

(1)尿管留アラバ先ヅ導尿ヲ行ヒ

(2)子宮底ヲ輪狀ニ摩擦シテ子宮ノ十分收縮シタルニ乗

(3)産婆ノ一手又ハ兩手ヲ用ヒ、拇指ハ子宮底前面ニ、四指ハ其後面ニ深く入レ、子宮前後兩壁ヲ壓シ附ケツ、子宮全體ヲ骨盤軸ノ方向ニ壓迫シ、以テ胎盤ヲ壓出スベシ。

圖三三八クレデ氏胎盤壓出法施行ノ注意事項◎

- 一 障礙豫防ノ爲ノ注意
- (一) 壓迫ハ子宮ノ收縮良好トナリタル後ニ限り行フベシ。
- 否ラザル時ノ障礙
 - (1) 子宮一部ノ痙攣
 - (2) 子宮内翻ノ虞
- (二) 出血多量又ハ再三反復シテ不成功ノ時ハ醫師招聘ニ目的達成ノ爲ノ注意
- (一) 膀胱ノ空虚タルベキ事
- (二) 子宮ノ十分收縮シタルニ乗ズル事
- (三) 子宮底ヲ後面ヨリ十分ニ攪ム事
- (四) 骨盤軸ノ方向ニ壓出スル事

圖三三九クレデ氏胎盤壓出法ヲ誤リテ行フ時ノ障礙◎

- (一) 膀胱充滿ノ儘行フ時ハ其目的ヲ達セズ。
- (二) 子宮收縮不良ノ儘行フ時ハ(6)子宮一部ノ痙攣ヲ來シ又ハ(5)子宮内翻ヲ起ス虞アリ。

圖三三六胎盤ノ自然剝離ノ時期ハ如何、剝離

娩出遅延ノ時ハ如何ニスベキカ、娩出後ノ注意事項◎

〔解〕 (1)剝離ノ時期……通常胎兒娩出後一五—三〇分ナルモ、

時ニ胎兒娩出ト同ニ剝離スルコトアリ。

(2)遅延ノ時……(三ノ三五問ノ(1))

(3)娩出後ノ注意事項

(イ)母體ノ子宮收縮及出血量ニ注意スル

(ロ)後産ノ検査ト處理ヲスル。

圖三三七胎盤娩出時ニ一定ノ方向ニ捻轉スルハ如何ナル理由カ◎

(1)捻轉ニヨリ卵膜剝離ヲ徐々ニスル

(2)捻轉ニヨリ卵膜ガ索狀トナリ丈夫トナル。

圖三三八後産分娩遅延ニ對スル主ナル處置ニツツ問フ◎

〔解〕 三ノ三五問ノ(1)

第六章 分娩第三期取扱法

圖三三九クレデ氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ○

〔解〕 クレデ氏胎盤壓出法ヲ三三五ト、クレデ氏豫防點眼法ヲ三三九ニツイテ答ヘレバヨイ。

圖三三六クレデ氏胎盤壓出法ヲ行フ理由◎

〔解〕 三ノ三五問ノ一参照

第七章 分娩直後取扱法

圖三三九分娩直後ノ取扱法◎

- 一分娩直後新産兒ノ取扱法……三ノ三七問
- 一分娩直後褥婦ノ取扱法……三ノ二七問

圖三三六分娩直後母兒ニ對スル産婆ノ

注意要點◎

- 一分娩直後新産兒ニ對スル注意要點……(三ノ三六問)
- 二分娩直後褥婦ニ對スル注意要點……(三ノ三六問)

圖三三六 分娩直後新産兒ノ取扱法

- 一 新産兒ノ沐浴……………(三三六問)
- 二 豫防點眼法……………(三三七問)
- 三 其他ノ注意

- (一) 頭部ヲ側方ニ向ケ靜臥セシムルコト
- (二) 顔面ノ血色及呼吸ニ注意スルコト
- (三) 臍帶斷端ノ出血ニ注意スルコト
- (四) 保温ニ注意スルコト

圖三三八 分娩直後新産兒ニ對スル産婆ノ注意

要點

- (一) 沐浴ニ關スル注意……………(三三六問)
- (二) 豫防點眼ニ關スル注意……………(三三七問)
- (三) 其他ノ注意……………(三三七問)

圖三三九 分娩直後新産兒ノ沐浴ニ就イテ

一 沐浴前ノ準備

- (一) 室……………ハ豫メ温暖ナラシメ
 - (二) 衣類……………上着、下着、襦袢、褌、臍帶等ヲ整理シ、且ツ湯婆ニテ温メ置ク。
 - (三) 浴槽……………ニハ攝氏三八―三九度ノ温湯ヲ容レ
 - (四) 諸品……………(ガーゼ手拭、タオル、オレーフ油、石鹼、小鉢等)ヲ準備ス。
- ニ 沐浴時ノ清洗
- (1) 左手ニテ兒頭ヲ支ヘ、左右ノ耳介ヲ壓迫シ、軀幹ト四肢ヲ浴湯中ニ浸シ、右手ニ持チタル「ガーゼ」ヲ以テ不潔物ヲ丁寧ニ去ルベシ
 - (2) 胎脂多キ時ハ沐浴ニ先立チ豫メオレーフ油ニテ之ヲ拭ヒ去ルヲ宜シトス。
 - (3) 眼及口ハ、各々別個ノ湯ト布ヲ以テ洗フベシ。
 - (4) 温浴ハ五―一〇分ニテ終ルヲ可トス。
 - (5) 「注意事項」ハ……………(三三〇問)
- ニ 沐浴後ノ取扱
- (一) 身體ノ乾燥……………腋窩・鼠蹊窩・其他ノ皺襞間ノ乾燥ニ注意。

圖三三三 新産兒沐浴ノ時期及ビ温度

第七章 分娩直後取扱法

- (一) 臍帶斷片ノ處理……………(三三六問)
- (二) 身體ノ検査及着衣……………畸形ノ有無ヲ注意シ、襦袢ヲ整ヘ着衣ノ後靜カニ臥牀ノ内ニ置クベシ。
- (三) 計量及計測……………ハ三三三問参照

圖三三〇 新産兒沐浴ニ關スル注意事項

一 沐浴施行上ノ注意

- (一) 浴湯温度ノ注意……………攝氏三八―三九度
沐浴終ルニ先立チ蒸湯ヲ加ヘ、最後ニかけ湯ヲナス。
 - (二) 時間ノ注意……………五―一〇分
 - (三) 四肢運動ヲ防グコト
 - (四) 浴後身體ヲ良ク乾燥セシムルコト
- ニ 異常ノ豫防又ハ其發見ノ注意
- (一) 左右耳介ヲ壓迫シテ浴湯ノ外耳道ニ入ルヲ防グコト。
 - (二) 臍帶ヲ牽引セヌ様注意スルコト。
 - (三) 畸形ナキヤニ注意スルコト。(第一回沐浴ノ時注意)

- (一) 初湯ノ場合……………後産娩出後母體ニ危険ナキヲ認メタル時ニ行フ、但シ他ニ母體監視ヲナス人アル時ハ第三期ニ行フモ可。
 - (二) 第二回以後……………授乳後約二時間ノ後、得ルナラバ午前十時前後ヲ理想トス。
- 温度……………(三三〇問ノ一参照)

圖三三三 新産兒沐浴ノ效用ヲ述ベヨ

- 一 身體ヲ清潔ニス。
- 二 身體ヲ保温ス。
- 三 身體ノ血液循環ヲ旺ナラシム。
- 四 安眠ヲ促スコト。

圖三三三 分娩直後新産兒ノ計量及計測ニ就イ

- 一 體……………重……………ハおくるみト共ニ其全量ヲ計リ之ヲ紙片ニ記入シ置キ、沐浴中ニ計リタル風袋量ヲソレヨリ減ズベシ。

第三編 分娩取扱法

ニ計測 身長、肩幅・肩周、胸周、腰幅・腰周等ハ着衣前ニ測リ、頭周・頭徑ハ着衣後ニ測ルヲ便トス。(成熟兒ノ平均値ハ二三問、三二〇問)

圖三二五 新産兒第一回沐浴後ノ處置〇

〔解〕 三二六問ノ三

圖三二五 分娩直後ニ於ケル臍帶ノ處置〇

〔解〕 本問ハ文字通り正シク解釋スルト後産焼出直後ノ處置次問ノコトニナル。然シ出題者ガ胎兒分娩直後ヲ意味シタノカモ知レヌ故一應質問シテ後ニ筆ヲ執ルガヨイ。質問ノ許サレヌ場合兩意義ニ別ケテ兩方共答ヘホバナラヌ。

圖三二六 新産兒臍帶斷片ノ處置〇

新産兒ノ沐浴及ビ全身清拭ヲ了リタル後、先ヅアルコール綿ニテ斷端ヲ消毒シ、且ツ斷端ヨリ出血ナキヤラ確メ、臍帶斷片ヲ臍帶ガーゼノ截込ニ挿入シ之ヲ上方ニ倒シ、「ガーゼ」ニテ包ミ、更ニ臍帶ニテ

輕ク固定スベシ。

〔注意〕 (1) 以上ノ繻帶材料及之ヲ取扱フ手指ハ豫メ適法ニヨリ消毒スベシ。

(2) 繻帶ノ交換ハ尿尿ニヨリ汚レタル毎、又ハ少クモ一日一回沐浴時ニ、斷端ヲアルコール綿ニテ清拭シタル後ニ之ヲ行フベシ。

(3) 繻帶ノ乾燥不良ナル時ハ酒精綿ニテ濕布シ、又ハ「アイロール」「デルマトール」類ニテ包埋スベシ。臍輪ヨリ微量ノ出血アル時ハ過酸化水素ニテ清メ、アイロール類ヲ撒布ス。

圖三二七 新産兒臍帶ノ處置ヲ述ベヨ〇

- (一) 胎兒焼出直後ノ臍帶ノ處置……(三二六問)
- (二) 新産兒臍帶斷片ノ處置……(三二七問)

圖三二八 新産兒臍帶部ノ處置ヲ述ベヨ〇

- (一) 新産兒臍帶斷片ノ處置……(三二七問)
- (二) 新産兒臍帶脫落後ノ處置……(四一九七問)

圖三二九 クレデ氏豫防點眼法ニ就テ〇

一目的 膿漏眼豫防ニ方法

産婆ハ兒ノ頭邊ニ坐シ、左手ノ拇示、兩指尖ヲ上下眼驗縁ニ夫々アテ、上眼驗ヲ壓ス様ニシ、以テ上下眼驗結膜ヲ露ハシ、通常一%硝酸銀水ノ只一小滴ヲ結膜ノ上ニ點入スベシ。

三注意

- (一) 豫防點眼ハ成ルベク焼出後三〇分以内ニ行フコト
- (二) 硝酸銀水ハ大滴又ハ數滴ナラザルコト、直接角膜上ハ點下セザルコト。
- (三) 硝酸銀水若シ眼驗外ハ溢レタル時ハ直チニ拭ヒ去ルコト。
- (四) 硝酸銀水ハ着色アンブルニ容レタルモノモ必ズ嚙所ニ貯フベキコト。

圖三二〇 クレデ氏點眼法ノ目的〇

〔解〕 三二九問ノ一

圖三二六 クレデ氏點眼法ノ方法〇

〔解〕 三二九問ノ二

第七章 分娩直後取扱法

圖三二二 クレデ氏點眼法ノ有害作用ト其豫防法〇

有害作用……刺戟ニヨル結膜炎—角膜炎

豫防法…… (1) 點眼藥ヲ揮發濃厚ナラシメヌ様「アンブル」ニ落フルコト (2) 光線ニヨリ變質セヌ様、着色「アンブル」ト嚙所ニ貯フルコト (3) 各眼只一小滴ニ限リ點入スルコト (4) 角膜上ニ直接點下セザルコト

圖三二五 クレデ氏點眼法ヲ施スベキ時期〇

〔解〕 三二九問ノ(一)

圖三二四 クレデ氏點眼法ノ注意〇

〔解〕 三二九問ノ三

圖三二五 淋疾アル妊産婦ノ處置、其新産兒ノ眼ノ消毒法及産婆心得〇

第三編 分娩取扱法

- 一 淋疾アル妊婦 ニハ新産兒膿漏眼ノ恐ルベキ由ヲ敬ヘ、速カニ醫療ヲ乞ハシムベシ。
- 二 淋疾アル産婦 ノ取扱ニ際シ、膿汁ヲ拭ヒタル布綿ヲ散逸セシメズ、兒頭娩出直後顔ノ淨拭、兒ノ豫防點眼等ハ、殊更ニ注意シテ施行スベシ。
- 三 淋疾アル褥婦 ニ膿様惡露ヲ認ムル時ハ醫師ノ來診ヲ乞ハシメ、惡露ノ取扱ニ注意シ、以テ他ニ傳染セシメザル様ニハカルベシ。

其新産兒ノ眼 ハ豫防ノ意味ニテ、クレデ氏豫防點眼法ヲ行ヒ、若シ其效ナク膿漏眼ノ徵ヲ呈スルニ至ラバ、速カニ醫ノ治療ヲ乞ヒ、醫師ノ指示ニ從ツテ五〇〇倍昇永水等ニテ眼ヲ清洗スベシ。

- 一 産婆ノ心得 (1) 膿汁ハ強キ傳染力アルヲ以テ、之ニ觸レザルニ注意スベシ。
- (2) 外陰又ハ眼ヲ取扱ヒタル後ノ手指ハ嚴重ニ消毒シ膿汁ヲ拭ヒタル布綿類ハ速カニ焼却スベシ。
- (3) 産婆ハ豫防ノため只一回ヲ限リ點眼ヲ行ヒ、連續點眼ハ治療行爲トナルベキコトヲ心得ベシ。

圖三二六 豫防點眼硝酸銀水ノ濃度

クレデ氏ノ創案ハ二%硝酸銀水ナリシモ、二%ニテハ結膜ヲ刺戟シテ往々結膜炎ヲ起ストアルヲ以テ、近來多クハ一%硝酸銀水

ヲ用フルニ至レリ。尙硝酸銀水ヲ只ノ點眼機中ニ貯フル時ハ自然ニ水分蒸發シテ濃厚トナル虞アルヲ以テ、近來ハ概ネ「アンブル」ヲ使用スルニ至レリ。

圖三二七 分娩直後褥婦ノ取扱法

- 一 外陰清拭 後産・凝血等ヲ除キ、微温ノ消毒液ヲ以テ外陰ヲ清拭シ、小ナル裂傷ニハ「アイロール」類ヲ撒布シ、大ナル裂傷ハ醫療ヲ乞フベシ。
- 二 外陰清拭後 ハ其附近ヲ清拭シ、腰布圍及壓抵布ヲ更メ、丁字帶及ビ腹帶ヲカケ、産牀ヲ清メ、寢衣ヲ更、ヘ適宜ニ保温シ、兩下肢ヲ伸ベテ靜カニ仰臥セシムベシ。
- 三 分娩直後褥婦ハ睡眠ヲ勸メ、其間子宮收縮外陰ノ出血量、一般狀態ヲ監視シツ、後産ノ検査及處理(三二〇問)ヲナスベシ。

圖三二八 分娩直後褥婦ニ對スル注意要點

必ズ之ヲ醫師ノ検査ニ供フベシ。検査ヲ了リタル後産ハ之ヲ納器ニ納メ、通常胞衣取扱業者ニ其處理ヲ依託スベシキモノトス。

圖三二九 娩出シタル後産ノ検査ノ目的及方法

- 一 目的 褥婦等ノ外陰ニ壓抵シ、排出液(羊水・血液・惡露等)ヲ吸收交換スルためニ用フ。
- 二 構成 長方形(長サ十數種)ノガーゼ數枚ヲ重ねタルモノ。又ハ同形同大ノ脫脂綿ヲ一枚ノガーゼニテ包ミタルモノ。
- 三 使用 必ズ消毒シタルモノヲ用ヒ、浸ミ込ミタル液ノ多少ニ從ヒ(例ヘバ三時間毎ニ)交換ス。

圖三三〇 後産ノ検査及處理

後産ノ學術的精査ハ産家先ニテハ通常行ヒ難キモ、次ノ三點ハ必ズ検査シ置クヲ要ス。

- (1) 胎盤殊ニ母體面缺損ナキヤ。
- (2) 卵膜殊ニ羊膜ニ缺損ナキヤ。
- (3) 卵膜ノ裂孔ノ位置及ビ大サ。

右検査ノ結果後産ノ一部タリトモ殘留セル疑アル時ハ、

第七章 分娩直後取扱法

第七節 分娩直後取扱法

圖三二九 娩出シタル後産ノ検査ノ目的及方法

- 一 目的 褥婦等ノ外陰ニ壓抵シ、排出液(羊水・血液・惡露等)ヲ吸收交換スルためニ用フ。
- 二 構成 長方形(長サ十數種)ノガーゼ數枚ヲ重ねタルモノ。又ハ同形同大ノ脫脂綿ヲ一枚ノガーゼニテ包ミタルモノ。
- 三 使用 必ズ消毒シタルモノヲ用ヒ、浸ミ込ミタル液ノ多少ニ從ヒ(例ヘバ三時間毎ニ)交換ス。

圖三三〇 後産ノ検査及處理

後産ノ學術的精査ハ産家先ニテハ通常行ヒ難キモ、次ノ三點ハ必ズ検査シ置クヲ要ス。

- (1) 胎盤殊ニ母體面缺損ナキヤ。
- (2) 卵膜殊ニ羊膜ニ缺損ナキヤ。
- (3) 卵膜ノ裂孔ノ位置及ビ大サ。

右検査ノ結果後産ノ一部タリトモ殘留セル疑アル時ハ、

圖三二九 娩出シタル後産ノ検査ノ目的及方法

- 一 目的 褥婦等ノ外陰ニ壓抵シ、排出液(羊水・血液・惡露等)ヲ吸收交換スルためニ用フ。
- 二 構成 長方形(長サ十數種)ノガーゼ數枚ヲ重ねタルモノ。又ハ同形同大ノ脫脂綿ヲ一枚ノガーゼニテ包ミタルモノ。
- 三 使用 必ズ消毒シタルモノヲ用ヒ、浸ミ込ミタル液ノ多少ニ從ヒ(例ヘバ三時間毎ニ)交換ス。

圖三三〇 後産ノ検査及處理

後産ノ學術的精査ハ産家先ニテハ通常行ヒ難キモ、次ノ三點ハ必ズ検査シ置クヲ要ス。

- (1) 胎盤殊ニ母體面缺損ナキヤ。
- (2) 卵膜殊ニ羊膜ニ缺損ナキヤ。
- (3) 卵膜ノ裂孔ノ位置及ビ大サ。

右検査ノ結果後産ノ一部タリトモ殘留セル疑アル時ハ、

第三編 分娩取扱法

(三) 特別必要。アル場合ニハ「水中浮揚検査法」又ハ「牛乳注入検査法」ヲ行フコトアリ。

圖三九三 胎盤排出ノ完否検査法◎

〔解〕 三九三問ノ(三)

圖三九五 分娩直後子宮内洗滌ヲ行フ場合ヲ列記シ其實施上ノ注意△

行フ場合

- (1) 分娩中突然三八度五分以上ニ發熱シタル後
- (2) 前置胎盤分娩後
- (3) 胎盤用手剝離ヲ行ヒタル後
- (4) 内過轉術其他子宮内操作ヲ行ヒタル後

注意

- (1) 何レモ醫師ノ指示ニ從ツテ之ヲ行フベキモノトス。
- (2) 子宮カテーテル其他ノ消毒ヲ嚴守スベキコト。
- (3) 「イルリガートル」内消毒液表面ノ高サハ子宮口ヨリモ約一尺ノ高サトシ、洗滌中「イルリガートル」ヲ俄カニ降下セザル様注意スベシ

第四集 正常産褥

圖四〇一 正常産褥ノ定義◎

「産褥」トハ、分娩終結後、妊娠中及ビ分娩中ニ受ケタル性器並ニ全身ノ變化ガ、殆ト全ク復舊スル迄ノ期間ヲ云フ。

圖四〇二 産褥ノ期間ヲ記セ◎

産褥ハ後産娩出直後ニ初マリ六〜八週ノ後ニ終ル。

圖四〇三 産褥ノ意義ヲ述ベヨ

- (一) 定義……(四〇二問)
- (二) 期間……(四〇二問)

圖四〇四 産褥トハ如何◎

- (一) 定義……(四〇二問)
- (二) 期間……(四〇二問)
- (三) 産褥ニ於テハ性器中獨リ乳腺ハ復舊セザルノミナラズ却ツテ益々増大シ、乳汁ヲ分泌スルニ至ルモノナリ。

第一章 性器ノ復故状態

圖四〇五 産褥ヲ説明セヨ◎

〔解〕 前問ノ答ト同ジ

圖四〇六 妊娠、分娩、産褥ノ三者ノ境界ヲ説明セヨ◎

〔解〕 三ノ云問

圖四〇七 産褥トハ如何◎

産褥トハ産褥期間ニ於ケル婦人ヲ云フ。

圖四〇八 産褥子宮ノ全ク復故スル時期ヲ問フ◎

産褥六〜八週

圖四〇九 産褥ニ就イテ◎

〔解〕 定義(四〇二問)ト期間(四〇二問)ヲ先ヅ記シ

- 一、性器復故状態(四〇九問)
 - 二、泌乳状態……(四〇九問)
 - 三、産褥全身状態(四〇九問)
- ノ概要ヲ述ブベシ。

第一編 産褥ノ状態

第一章 性器ノ復故状態

圖四ノ〇 生殖器復故機能ニ就イテ

- 一 後陣痛及子宮縮小……………(四ノ三問、四ノ三問)
- 二 子宮腔部及子宮口ノ復故……………(四ノ二問ノイ)
- 三 腔及外陰ノ復故

(一) 腔ノ延長モ產褥中ニ復故ス。

(然レドモ經產婦トシテノ徵候ヲ貽ス)

(二) 外陰一般ニ縮小シ、浮腫靜脈ノ擴張等モ漸次ニ消退ス。

(然レドモ經產婦トシテノ徵候ヲ貽ス)

創傷治癒—子宮内膜再生—惡露

(一) 創傷ノ治癒 以上生殖器ノ縮小ト共ニ、產道ニ於ル各創傷モ漸次ニ治癒シ、大ナル創傷ハ痕癢ヲ貽ス。

(二) 子宮内膜再生……………(四ノ七問ノ二)

(三) 惡露……………(四ノ六問)

圖四ノ二 產褥子宮ノ復故作用ヲ述ベヨ

一 後陣痛ニヨリテ子宮ノ復故ヲ促進セラル。

(一) 子宮ハ一定ノ組織的變化ニヨリテ縮小ス(四ノ七問)

(二) 子宮縮小ノ度ハ腹壁上ヨリ之ヲ觸知シ得ベク、通常子宮底ノ高キニヨリ之ヲ定ム(四ノ三問)

三 子宮腔部及子宮口ノ復故……………

子宮體ノ縮小ト共ニ、子宮腔部モ縮小シテ固クナリ、子宮口モ亦再ビ狹小トナル。

圖四ノ三 後陣痛ニ就イテ

一定義 產褥ノ初メニ發作性ニ來ル子宮ノ收縮ニシテ、多少ノ疼痛ヲ伴フモノ、之ヲ後陣痛ト稱ス。

二 後陣痛ハ

(一) 產褥ノ第一日ニ強ク、

(二) 經產婦ニ於テ強ク、

(三) 授乳セル褥婦ニ強シ。

三 後陣痛強キ時ハ子宮ノ縮小速クナリ。

圖四ノ三 後陣痛トハ如何

(解) 四ノ三問ト大體同ジ

圖四ノ四 後陣痛ノ意義ヲ説明セヨ

(解) 以上二問共ニ、定義ヲ記シ其他ニ幾分ノ説明ヲ附ケレバヨイ。

圖四ノ五 後陣痛ノ強ク起ル場合ヲ擧ゲヨ

(解) 四ノ三問ノ二

圖四ノ六 後陣痛ノ起ル理由並ビニ性質

(一) 理由 後陣痛ハ子宮平滑筋ノ收縮ニヨリテ起ル。

(二) 性質 四ノ三問ノ二

【子宮ノ復故】

圖四ノ七 產褥子宮ノ組織的變化

一 子宮復故ノ組織的變化 後陣痛ノ爲メニ子宮筋肉ガ收縮シ、其間ニアル血管ヲ壓迫シテ其組織ニ貧血ヲ來シ、從ツテ栄養障礙ニヨリ子宮ノ平滑筋纖維ハ縮小シ且ツ減數シ、其結果妊娠中ニ増大シタル子宮ハ益々縮小スルニ至ル。

二 子宮内膜ノ再生 子宮内面ニハ、卵膜及ビ胎盤ノ剝離

第一章 生殖器ノ復故狀態

シタル跡ニ、脱落膜ノ殘部ヲ附着セル廣キ創面ヲ有スルモ、之等ハ產褥經過中ニ漸次ニ治癒シ、

(1) 脱落膜細胞ハ縮小シテ小ナル間質細胞トナリ、

(2) 迂曲肥大セル腺管ハ縮小縱走シ、

(3) 血管モ退縮シ血液量モ減ジ、

產褥六ノ八週ニハ至ク平常内膜ノ狀態ニ復ス。(創傷ハ四ノ六週ニテ治癒ス)

圖四ノ八 產褥子宮ノ漸次縮小スル原因

(解) 四ノ七問ノ一

圖四ノ九 分娩後ニ於ケル子宮内壁ノ變化

(解) 四ノ七問ノ二

圖四ノ一〇 子宮粘膜炎ノ復故機轉

(解) 四ノ七問ノ二

圖四ノ一一 褥婦ノ子宮各部ニ現ハル、正常經過

(一) 子宮體ノ變化……………(四ノ三問)

(二) 子宮腔部及子宮口ノ變化……………(四ノ二問ノ三)

圖四ノ一二 產褥ニ於ケル子宮底ノ高さ

子宮縮小ノ度ハ腹壁上ヨリ之ヲ觸知シ得ベク、通常子宮

第一編 產褥ノ状態

底ノ高サニヨリテ之ヲ定ム。即チ子宮底ハ……
(一)分娩直後ハ臍ヨリ一―二指横徑下方ニアリテ、通常少シク右方ニ傾ク
(二)分娩後十二時間頃ハ再び臍高二昇ル、

理由 (1)膀胱ノ充盈

(2)骨盤底筋肉及ヒ膈壁筋肉ノ緊張性恢復、

(三)分娩後二―三日ヨリハ漸次下降シ、

(四)五日ノ一週間ニシテ臍高ト恥骨結合トノ中央ニ至ル。

(五)十日ノ二週間ノ頃ハ、恰モ恥骨結合上縁ニ並ビ、其ノ以後ハ最早恥骨結合ヨリ上方ニ於テ子宮底ヲ觸レ得ザルニ至ル。

圖四三三 分娩後ニ於ケル子宮底ノ一時上昇スル時ト理由

〔解〕前問ノ答(一)

圖四三二 分娩直後及産褥第二日ノ子宮底ノ高サ

〔解〕次問ノ(一)(二)

圖四三五 正常産褥一週以内ノ子宮底ノ位置

(一)分娩直後…臍ヨリ一―二指横徑下方約十二時間ノ後…臍高

(二)第二日末…臍高ヨリ下降ヲ始ム。

(三)第三日末…分娩直後ト同高

(四)第四日末…臍ヨリ二―三指横徑下方

(五)第五日末…臍ト恥骨結合トノ中央又ハ稍上方

(六)第六日末…臍ト恥骨結合トノ中央

(七)第七日末…臍ト恥骨結合トノ中央又ハ稍下方

圖四三六 産褥第六日目ニ於ケル子宮底ノ高サ及頸管ノ大キサ

子宮底ノ高サハ前問(六)

頸管ノ大サハ小筆軸大

圖四三七 正常産褥第八、九、十日ノ子宮底

臍恥骨結合上縁間中央點ト恥骨結合上縁トノ中間。

圖四三八 産褥第二週間マデノ子宮底ノ高サ

〔解〕四ノ三問及四ノ三問参照

第二週末子宮底ハ恥骨結合上縁ト相並ブ。

圖四三九 分娩後四十二日ノ子宮底ノ位置

〔解〕四十二日即チ第六週末子宮ハ妊娠前ト同大ニ復故シ、小骨盤中央ニ位スルヲ以テ、子宮底高サモ妊娠前ト略同高ト見テヨロシ。

圖四四〇 子宮底ガ産褥五日ナルニ拘ラズ分娩直後ノ高サニ等シキ時ニ考ヘラル、凡テノ場合ヲ舉ゲヨ

(一)子宮復故不全

(二)膀胱充盈

(三)子宮筋腫又ハ卵巣囊腫ノ合併

圖四四一 産褥第十日目ニ於ケル性器ノ状態

〔解〕子宮底ノミナラズ、性器全般及乳房ノ状態モ述ベルコト。

圖四四二 産褥第五日ニ於ケル母體ノ状態

〔解〕母體性器ノ状態ノ他ニ母體全身ノ状態モ述ベネバナラズ

圖四四三 子宮ノ收縮ガ妊娠、分娩、産褥ニ及ボス作用

- (1)妊娠中…胎兒位置矯正、下向部嵌込助成。
(2)分娩時…子宮口開大、破水、胎兒娩出、後産剝離娩出。
(3)産褥時…子宮復故。

第一章 性器ノ復故状態

圖四四四 健康婦孀子宮ノ全ク復故スル時期

〔解〕産褥子宮復故完成ノ時期ト同ジ、六―八週。

圖四四五 子宮腔部ノ妊娠初期ヨリ産褥末期迄ノ變化

一 妊娠中

(一)子宮が大骨盤へ上昇スルト共ニ膈部モ上昇ス

(二)妊娠末期ニ近ヅキ再び下降ス。

(三)妊娠末期ニ近ヅキ漸次短縮。(初産婦ハ展退)

(四)初産婦…分娩初メヨリ終リマデ展退ノマ、

(五)經産婦…分娩ノ初メ保存、子宮口全開ト共ニ展退。

二 分娩中

三 産褥中…分娩後間モナク形成、産褥末期ニ復故完成。

圖四四六 正常惡露ニ就イテ

一定義

産褥期ニ於テ、性器ニ創面存在ノ間ハ、創傷分泌物ガ

(1)脱落膜殘部 (2)血液 (3)粘液等ト混ジテ排出セラル。

之ヲ「惡露」ト稱ス。

ニ性質及種類

一種特有ノ腥キ臭氣ヲ有スルモ惡臭ナラズ。

第一編 産婦ノ状態

- (一) 血液性惡露...産婦第一二日...血液多キヲ以テ赤色
- (二) 漿液性惡露...産婦第二三日ヨリ淡紅色。
- (三) 白色惡露...産婦第八十日ヨリ血液失ハレ白色又ハ帶黄色。

以上ハ何レモ日數ヲ經ルニ從ヒテ、ソノ血液性ヲ減ズルト共ニ、ソノ量モ漸次減少ス。

取扱...四ノ五問

圖四三 惡露ニ就イテ

〔解〕 正常惡露ニ就イテト同問ト解シテ可ナルモ、異常惡露ノ名稱ヲ查問ノ二、三、位ヲ附記スルガヨシ。

圖四六 正常惡露ノ性状

〔解〕 四ノ五問ノ二(性状ヲ述ベルタメニハ自然種類モ記ス)

圖四九 惡露ノ分量

- (一) 産婦經過ノ進ムト共ニ漸次減量シ、十日以後殆ド痕跡トナリ、四一六週ノ後全ク消失ス。
- (二) 早期坐牀、早期起立、産婦動作不攝生、子宮復故不全ニヨリ増量。
- (三) 授乳婦、貧血、下痢ニハ減少、「惡露帶留」ハ排出減量。

圖四四 惡露排泄ノ經過

〔解〕 四ノ五問 性状及分量ノ變化(四ノ六問ノ二、三ヲ書ケバヨイ。

圖四二 分娩後子宮内膜ト惡露トノ關係

〔解〕 子宮内膜面創傷ノ治療ト共ニ惡露ノ性状及分量ノ變化スルコトヲ書ケバヨイ。子宮内膜ニ炎症ガアレバ惡露ハ汚色惡臭ヲ放チ分量モ増加スル。

圖四五 惡露眞性ト惡性トノ區別

〔解〕 良性ハ四ノ五問ノ二ノ如キ經過ヲトリ惡臭ナシ。惡性ハ汚色惡臭ヲ放チ時ニ膿様トナル。(七ノ七問)

圖四七 産婦特有ノ分泌物ニ就テ

〔解〕 惡露四ノ五問、乳汁四ノ四問、汗四ノ六問、ニツイテ記スベシ。

圖四八 正常産婦第二週間迄ノ惡露ノ性状ト量ニ就テ

〔解〕 四ノ五問ノ中カラ、(1)産婦第一二日ノ惡露、(2)二三日ヨリ八一十日迄ノ惡露、(3)八一十日ヨリ二週迄ノ惡露ノ性状ヲ述ベ、日數ノ進ムト共ニ減量シ、第二週ニハ殆ト痕跡トナル旨ヲ述アベシ。

圖四〇 惡露ノ血色ヲ帯ビルハ産婦幾日頃マデカ

〔解〕 之ハ漿液惡露消失ノ時期デ、血性惡露消失ノ時期デハナシ。

圖四〇 正常惡露ノ持續ニツキ記セ

〔解〕 四ノ五問ニツキ各種惡露ノ持續ノ状態ヲ記スベシ。

第二章 乳汁分泌ノ状態

圖四一 産婦ノ乳汁分泌ニ就イテ

- 一 初乳ニ就イテ...四ノ四問
- 二 成乳ニ就イテ...四ノ四問

圖四二 初乳ニ就イテ

- 一 分泌 (1) 妊娠初期ヨリ既ニ準備セラレ、(2) 産婦第二三日ニ稍増量シ、(3) 産婦第八日頃マデ成乳ニ混ジテ分泌ス。
- 二 性状...四ノ五問ノ上段
- 三 效用...四ノ五問

圖四三 成乳ニ就イテ

第二章 乳汁分泌ノ状態

- (一) 産婦第三、四日ニ至レバ、乳房ハ著シク腫大緊張シ、白色不透明ナル成乳ヲ旺ニ分泌シ始ム。
- (二) 乳汁ノ分泌ハ、乳兒ノ吸引刺激ト定期性排泄トニヨリ益々之ヲ繼續シ、分娩後第八ヶ月頃マデハ乳兒ノ發育ニ相當シテ其量ヲ増進スルトイヘドモ、ソノ以後ハ乳兒ノ發育ニ比シテ不足トナルヲ常トス

圖四三 初乳ト成乳トノ區別

初乳	成乳
(一) 殆ド無色透明	(一) 白色不透明
(二) 僅カニ粘稠	(二) 粘稠ナラズ
(三) 煮沸セバ凝固ス	(三) 煮沸スルモ凝固セズ
(一) 脂肪球ノ大小ノ差甚シ	(一) 初乳球(脂肪球)ノ大小ノ差甚シカラザルヲ常トス
(二) 初乳球アリ	(二) 初乳球ナシ
(一) 蛋白多量	(一) 蛋白...二、〇%
(二) 脂肪僅カニ少ナシ	(二) 脂肪...三、五%
(三) 乳糖僅カニ少ナシ	(三) 乳糖...六、〇%
(四) 鹽類多量	(四) 鹽類...〇、二%

第一編 產婦ノ状態

圖四三 初乳ト成乳ノ主要成分

- 初乳ノ成分
- 成乳ノ成分
- (一) 大小ノ差甚ダシキ脂肪球
- (二) 大小ノ差甚ダシカラザル乳球(無數)
- (三) 上皮細胞
- (二) 脂肪球ニ變ラントスル腺細胞(少數)

圖四三 初乳球トハ如何

多數ノ脂肪球ヲ含有スル白血球ニシテ初乳中ニ存在ス。

圖四三 初乳ノ效用

- (一) 初乳ハ新産兒ノ消化機能ニ最モ適シタル養食物ナリ
- (二) 初乳ハ胎糞排泄ノ效ヲ有ス
- (三) 最初ヨリノ哺乳刺激ニヨリ泌乳機能ヲ増進セシメ、産褥三ノ四日ニシテ成乳ノ多量ヲ分泌セシム。

圖四三 初乳ヲ新産兒ニ與フル利害

〔解〕 四日間ノ效用アリ、害ナシ。

圖四三 褥褥ニ乳汁分泌ノ始マル時期ヲ問フ

〔解〕 初乳ト成乳ノ各ノ時期ヲ答フベシ(四ノ四問、四ノ九問)。

圖四三 分娩後最初十日間ノ乳汁分泌状態

〔解〕 初乳ト成乳ノ各ノ分泌状態ヲ述ベル、産褥第三ノ四日カラ八日頃迄ハ兩分泌ガ混合セルコトモ述ベル。

圖四三 産褥中ニ於ケル乳房ノ變化

〔解〕 四ノ九問ノ(一)

圖四三 乳汁分泌ニ就テ

〔解〕 産褥時以外ノ分泌モ考ヘニ入レテ答ヘル(四ノ四問、四ノ九問)

圖四三 乳汁ニ變化ヲ來ス場合ヲ列記セヨ

(甲) 成分ノ變化

一 生理的變化

- (一) 産褥三日頃迄ハ初乳ヲ分泌。
- (二) 其後成乳ヲ混ジ、八日頃ヨリ成乳ノミヲ分泌。
- (三) 月經中、乳汁成分ニ幾分ノ變化アリ、(乳兒ニ輕キ消化障礙ヲ起ス)。

二 病的變化

- (一) 全身 (1) 腎炎、脚氣、熱病等。
- (2) 諸種中毒、不適當飲食物ノ偏食。
- (二) 局所 (1) 乳腺炎、乳癌、(膿汁又ハ血液混入)
- (2) 乳汁漏泄、(成分及量異常)

(乙) 量ノ變化

一 乳汁缺乏症

(一) 全身

- (A) 肉體
 - (1) 體質不良殊ニ内分泌異常
 - (2) 栄養不良(殊ニ糖質等ノ消耗疾患)
 - (3) 虛弱・貧血
 - (4) 下痢・饑餓・高熱・重病
- (B) 精神
 - (1) 身神過勞
 - (2) 精神感動

(二) 局所

- (1) 哺乳刺激不足、乳汁鬱滯
- (2) 乳腺發育不全(先天)、乳腺破潰萎縮(後天)

二 增量

- (一) 病的增量：乳汁漏泄
- (二) 分泌増進法ニヨル增量：(四ノ五問)

圖四三 授乳期間ニ於ケル月經及排卵ハ如何

一月經 授乳者ノ半数弱ニハ月經閉止スルモ、他ハ授乳中ニ拘ラズ月經再來シ、早キハ分娩後四五ヶ月ノ頃又ハ其ノ以前ヨリ既ニ之ヲ見ル。

二 排卵 授乳中月經ヲ見ザル間ニ於テモ排卵作用ハ存在ス。

第三章 褥褥全身ノ状態

圖四三 妊娠中休止シタ月經及排卵機能ガ再

ビ起リ來ル狀況ニ就テ述ベヨ

一 授乳セザル場合

- (一) 月經 産褥經過終ルト共ニ(分娩後第六ノ八週)開始ス
- (二) 排卵 右ノ月經アルハ既ニ排卵ノ起リシ證據ナリ。

二 授乳スル場合(前問)

第三章 褥褥全身ノ状態

圖四三 正常褥褥全身ノ状態

- 一 體重 産褥ノ初メニ減少ス。産褥經過ガ良好ナラバ三ノ四週日ニテ全ク平常ニ復ス。
- 二 體溫

(一) 第一日ニ三十八度以下ノ熱ヲ見ルコト多シ、

(二) 第三ノ四日ニ再ビ同様ノ發熱ヲ來ス。乳熱ハ……

(四ノ五問)

三 脈搏 第一週ニ産褥遲脈ヲ呈スルコト稀ナラズ。

四 呼吸 妊娠中ト大差ナシ。

五 食欲 第一日ニハ減少シ、第二ノ三日ヨリ増進、漸次

第一編 產婦ノ狀態

平常ニ復ス(授乳スレバ尤進著シ)。
六 便秘 產婦ノ初メ多ク便秘ス。

- 理由
- (一) 腹壓不十分ナル爲メ (1) 仰臥ニ由ル (2) 腹壁弛緩ニ由ル
 - (二) 食物攝取量少キ爲メ、
 - (三) 靜臥スル爲メ、

七 尿利: (四ノ六問)

八 皮膚 着色ハ次第二薄クナリ、新妊娠線モ漸次ニ褪色ス。

九 精神 爽快、安眠ス。初メ數日間ハ神經興奮シ易シ。

圖四ノ四 吸收熱ノ意義ヲ問フ◎

產婦初期ニ於テ產道内ニ殘留セル卵膜片凝血等ニ細菌(腐敗菌)ガ作用シ、其分解產物ガ創傷面又ハ粘膜面ヨリ吸收セラレ、其タメニ發スル熱ヲイフ。之ヲ便宜上次に二分ツ。

一 生理的吸収熱 分娩後三、四日ニ起ル三八度以下ノ熱ニシテ一日ヲ限り下熱スルモノ。

會々乳腺ノ腫脹スル時期ニ當ルヲ以テ、古來乳熱ト誤稱セラレタルモノナリ。

二 病的吸収熱 前者ト同一原因ナルモ、其熱高ク屢々數日ニ亘ルコトアリ。眞ノ產熱(創傷傳染)ニ對シテ之ヲ輕症產熱ト稱スルモノアリ。

圖四ノ五 乳熱トハ如何◎

〔解〕 前問ノ一

圖四ノ六 產婦一週間内ノ體溫上昇ノ原因◎

〔解〕 四ノ三問、生理的發熱ヲ主トシ、病的發熱ヲ簡單ニ答フベシ

圖四ノ七 產婦尿閉及便秘ノ原因及時日◎

一 原因: (四ノ七問、四ノ六問參照)

二 時日: 尿閉ハ通常產婦第一日ニ來リ易ク、時ニ二―三日ニ及ブコトアリ。

便秘ハ產婦靜臥中避クベカラザルヲ常トス。

〔註〕 處置ハ四ノ二問

圖四ノ八 產婦ノ尿利◎

產婦第一日ニハ、假令膀胱充滿スルモ自然ニ排尿シ難キ

コト尠カラズ。

理由

- (一) 腹壓不十分ノ爲メ (1) 仰臥ニ由ル (2) 腹壁弛緩ニ由ル
- (二) 排尿時ノ疼痛ノ爲メ: 兒頭娩出時ニ尿道壓迫ノ結果

〔註〕 尿閉ノ結果ハ四ノ六問ノ六、處置ハ四ノ六問

圖四ノ六 產婦汗ニツイテ◎

一 意義 健康ナル產婦モ產婦第一週殊ニ睡眠中ニ於テ發汗スルモノ多シ、之ヲ褥汗トイフ。

二 原因 (1) 飲料攝取多量。

(2) 身體ヲ保温シ居ルコト。

(3) 授乳等ニヨル疲労。

三 處置 褥汗アル時ハ、室溫及ビ寢具ヲ適當ニ減ズベシ、然レドモ發汗中俄カニ身體ヲ冷却セシムベカラズ。

圖四ノ九 褥汗ト盜汗ヲ説明セヨ◎

一 褥汗 四ノ六問

二 盜汗 通俗「ねあせ」ト稱シ、肺結核等ノ消耗疾患ニ於テ睡眠時ニ起ル發汗ナリ。

第三章 產婦全身ノ狀態

圖四ノ九 正常產婦ノ經過◎

- 〔解〕 (一) 產婦全身ノ經過(四ノ三問)ヲ主トシテ記シ、
(二) 性器復故ノ經過(四ノ二問)ヲ要領ヨク記シ、
(三) 乳汁分泌ノ經過(四ノ四問)モ簡單ニ附記スル。

圖四ノ一〇 產婦中母體ノ變化◎

〔解〕 前問ト同シ

圖四ノ一一 產婦ノ復故機轉◎

- 〔解〕 (一) 性器復故機轉(四ノ二問)ヲ主トシ
(二) 產婦全身ノ經過(四ノ三問)中ノ復故ニ關スル部分ヲ追記。

圖四ノ一二 正常分娩直後ニ於ケル產婦ノ狀態ヲ記セ◎

一 性器ノ狀態

- (一) 子宮底ノ高サハ、臍ヨリ一―二指橫徑下方ニアリテ、多クハ少シク右方ニ傾キ、子宮體ハ硬ク球狀ノモノトシテ之ヲ觸レ、其間ニ後陣痛ノ發作ヲ感ズ。
- (二) 子宮腔部―子宮口ハ、陰口ノ附近ニマデ下垂ス。
- (三) 外陰部ニ陰唇小帯ノ附近ニ屢々創傷ヲ生ジ、胎兒娩出ノ爲メ開大セシ陰口ハ尙ホ著シク哆開シ、外陰附近ニ灼カレ、

第一編 產褥ノ狀態

ガ如キ疼痛ヲ感ズ。
〔四〕惡露ハ殆ド血液ノミニシテ、其量多ク、數分―十數分ニシテ
壓抵布ヲ浸潤ス。

ニ全身狀態

- (一) 顔面蒼白ニ疲勞ノ狀ヲ呈ス。
- (二) 體温ハ屢々三七度何分ニ上昇ス。
- (三) 脈搏ハ分娩中ニ比シ減少ス。
- (四) 呼吸數モ分娩中ヨリモ減ジテ平靜ナリ。
- (五) 食慾未ダ無シ。
- (六) 自然排尿ハ通常困難ナリ。
- (七) 分娩中ノ發汗去ツテ屢々惡寒ヲ訴フ。腹壁ハ甚シク弛緩ス
- (八) 分娩中ノ苦痛去ツテ精神爽快ヲ感ズ。

圖四七 分娩直後性器ノ狀態○

〔解〕 四七三問ノ一

圖四八 分娩直後ニ於ケル褥婦全身ノ變化○

〔解〕 四七三問ノ二

圖四九 分娩直後ヨリ三日間ニ亘ル褥婦全身ノ變化○

〔解〕 四七三問ノ二及四七七問、其他ハ四八〇問ヲ參照

圖四七 產褥第三日ニ於ケル褥婦ノ狀況○

一 母體性器ノ狀態

- (一) 後陣痛ハ輕度ナルモ尙ホ之ヲ感ズルモノアリ。
- (二) 子宮底下降シテ臍下一―二指ニ達ス。(分娩直後ト同高)
- (三) 子宮腔部ハ既ニ形成セラレ、子宮口ハ辛ジテ一指ヲ通ズ。
- (四) 外陰珠ニ陰唇小帯ノ附近ニ屢々尙ホ創傷ヲ存ス。
- (五) 惡露ハ既ニ膿液羶露ニ變ジ淡紅色ヲ呈ス。其量通常中等ナリ。

二 母體乳房ノ狀態

乳房ハ著シク腫大緊張シ、多クハ既ニ成乳ヲ分泌シ始ム。

三 母體全身ノ狀態

- (一) 顔面尙ホ蒼白ヲ呈シ、
- (二) 體温ハ屢々三七度何分ニ上昇スルコトアリ。
- (三) 往々產褥遲脈ヲ呈ス。
- (四) 呼吸數ハ平常ト大差ナシ。
- (五) 分娩ノタメ失ハレタル食慾ハ漸次増進シ始ム。多クハ便秘ス。
- (六) 產褥第一日ニ尿閉アリシ者モ多クハ自然排尿ヲ得。
- (七) 腹壁ノ弛緩尙ホ存在ス。屢々褥汗ヲ分泌ス。
- (八) 神經ハ尙ホ興奮シ易シ

圖四六 產褥第三日ニ於ケル母兒ノ狀況○

一 母體ノ狀態ハ四七三問、ニ新産兒ノ狀態ハ四八二問

圖四七 產褥第四日ノ褥婦ノ狀況○

〔解〕 前問及次問ヲ參照シテ答フベシ。

圖四八 產褥第五日ニ於ケル褥婦ノ狀況○

一 母體性器ノ狀態

- (一) 後陣痛ハ感ズルモノアレド少ナシ。
- (二) 子宮底ハ臍ト恥骨結合トノ中間又ハ稍上方。
- (三) 子宮腔部ハ既ニ形成セラレアリ。
- (四) 外陰ノ創傷ハ通常既ニ治癒ス。
- (五) 惡露ハ膿液羶露ニシテ淡紅色、量漸ク減少。

二 母體乳房ノ狀態

乳房ハ既ニ腫大緊張、成乳ヲ充分ニ分泌ス。

三 母體全身ノ狀態

- (一) 顔面ノ蒼白幾分恢復シ。
- (二) 體温ハ平温
- (三) 往々產褥遲脈ヲ呈ス。
- (四) 呼吸數ハ平常ト大差ナシ。
- (五) 食慾良好、多クハ便秘ス。

第四章 新産兒ノ狀態

(六) 尿利正常。

(七) 腹壁ノ弛緩尙ホ存在ス、屢々褥汗ヲ分泌ス。

(八) 神經ハ尙ホ興奮シ易シ。

圖四八 分娩直後ヨリ一週間ノ褥婦狀態○

〔解〕 前數問ノ答ヲ參照シ、一週間ノ狀態ニ亘ツテ記セバヨイ。

圖四九 產褥第七日ノ褥婦ノ狀態○

- (一) 後陣痛ヲ感ズルコトアルモ稀。
- (二) 子宮底ハ臍ト恥骨結合トノ中間又ハ稍下方。其他ハ四八〇問

第四章 新産兒ノ狀態

圖四〇 新産兒ノ定義及期間ヲ問フ○

定義

新産兒(初生兒、新生兒)トハ、分娩ニヨリ母體內生活ヲ離レ、次デ母體外生活ニ適合スル能力ヲ得ルマデノ、移行期間ノ兒ヲ云フ。

期間

一 臍帶脱落ノ日(四―七日)マデ：生後約一週間

第一編 産褥ノ状態

二分晩當初ノ體重ニ復歸スル迄ハ八〜十日間
 三 血液中ニ胎兒成分(有核赤血球等)ガ失ハル、迄約二週間
 四 約一ヶ月マデト稱スル學者アリ。

圖四八四 新産兒ノ一般状態ヲ記セ

- 一 體重。……………(四八五間)
- 二 體溫、脈搏、呼吸。…(四八九間)
- 三 消化器。……………(四九二間)
- 四 尿。……………(四九四間)
- 五 黃疸。……………(四九八間)
- 六 表皮落屑。……………(四一〇間)
- 七 臍帶脱落。……………(四一〇三間)
- 八 睡眠ト啼泣。……………(四一〇五間)
- 九 乳汁分泌。……………(四一〇六間)

圖四八五 乳兒ノ體重變化ニツイテ

新産兒ノ多クハ分娩後第三、四日マデノ間ニ二〇〇〜三〇〇瓦ノ體重ヲ減少ス。

減量理由 (1) 栄養分殊ニ水分攝取ノ不足
 (2) 糞尿ノ排泄、臍帶ノ乾燥等

其後ハ漸次ニ増量シテ八〜十日ニ至レバ、分娩當時ノ量ニ復シ、分娩直後三〇〇瓦ノ小兒ハ第一ヶ月ニ於テ八〇〇瓦ヲ、第二ヶ月ニ於テ更ニ又八〇〇瓦ヲ増加シ、第三ヶ月以後第十二ヶ月迄ハ

$$\begin{matrix} 12 \times 4 = 48 \\ 12 + 4 = 16 \\ \hline 64 \end{matrix}$$

第十二ヶ月ニハ

圖四八六 新産兒ノ體重變化ニツイテ

〔解〕 新産兒ノ期間ヲ先ヅ説明シ、前問ノ中カラ新産兒ノ期間丈ノ體重ニツイテ答ヘレバヨイ。

圖四八七 新産兒體重ノ變化ヲ記シ注意スベキ點ヲ擧ゲヨ

- 〔解〕 體重ノ變化ハ前問ト同ジ。
 注意スベキ點ハ………
 (一) 増減共生理的限界ヨリ甚ダシク多キ時ハ、計リ誤リ

月 齡	分 娩 直 後	體 重 瓦	一 ヶ 月	一 日	四 ヶ 月 増 量
第一ヶ月末	三〇〇〇	三〇〇〇	八〇〇	四〇	
第二ヶ月末	四六〇〇	四六〇〇	八〇〇	四〇	
第三ヶ月末	五三〇〇	五三〇〇	七〇〇	二五	三〇〇〇
第四ヶ月末	六〇〇〇	六〇〇〇	七〇〇	二五	
第五ヶ月末	六六〇〇	六六〇〇	六〇〇	一五	二〇〇〇
第六ヶ月末	七一〇〇	七一〇〇	五〇〇	一五	
第七ヶ月末	七六〇〇	七六〇〇	五〇〇	一五	
第八ヶ月末	八〇〇〇	八〇〇〇	四〇〇	一〇	
第九ヶ月末	八三〇〇	八三〇〇	三〇〇	一〇	
第十ヶ月末	八六〇〇	八六〇〇	三〇〇	一〇	一〇〇〇
第十一ヶ月末	八八〇〇	八八〇〇	二〇〇	一〇	
第十二ヶ月末	九〇〇〇	九〇〇〇	二〇〇	一〇	

第四章 新産兒ノ状態

圖四八八 健康乳兒ノ一ヶ年ノ體重ニ就イテ記セ

ナキヤニ注意ヲ要ス。
 (一) 減量多キニ過ギルカ増量少ナキニ過ギル時ハ、(1) 栄養不足ナラザルカ、(2) 他ニ疾病ナキヤニ注意スベシ。

圖四八九 新産兒ノ體溫、脈搏、呼吸ニ就テ

一 體溫 大人ノ平均體溫ヨリモ二〜三分高ク、且ツ變化シ易シ、特ニ病的ナラズシテ一過性熱ヲ來スコト少カラズ。例ヘバ……

(一) 濕熱(饑餓熱)……(四九〇間追加)

(二) 鬱積熱ト稱シ温メ過ギタルタメ高熱ヲ發スルコトアリ。

二 脈搏 一分間二〇〜一四〇、極メテ變化シ易ク、安眠ノ間ハ一二〇位、啼泣或ハ運動ノ後等ニ暫ク一四〇〜一六〇ヲ算ス。

三 呼吸 一分間四〇。淺ク不正、睡眠中ハ正。

圖四九〇 新産兒饑餓熱(濕熱)ニツイテ

- 一 原因
 (一) 栄養就中水分不足ノ爲ニ來ル、從ツテ體重最モ多ク減ズル頃即チ産後三〜四日ニ來ルモノ多シ。
 (二) 腸内細菌ノ破潰其他ニヨルト考フル學者アリ。
- 二 症状

第一編 產褥ノ狀態

- (一) 三・七・五度以上 三・八度何分ノモノ最モ普通、時ニ尙ホ高キアリ。
- (二) 通常一日以内、時ニ二ノ三日以上續クコトアリ。
- (三) 他ニ特別ノ症狀ナシ。

三處置

砂糖水ノ類ヲ茶匙二ノ三杯ヅ、一ノ二時間毎ニ與フレバ、數時間後ニ下熱スル常トス。

圖四九二 新産兒ノ消化器及消化作用ノ特徴

- 一 口腔 其構造哺乳ニ適ス。唾液ノ消化作用不十分。
- 二 胃 其構造吐乳シ易シ。胃液中ニ多量ノ「ペプシン」アリ。
- 三 腸 比較的長シ。消化力比較的微弱。

圖四九三 新産兒ノ糞便ニ就イテ

- (一) 胎糞
 - (1) 生後三日間：殆ド無臭、帶綠黑色、粘稠。
 - (2) 成分……粘液・上皮・毳毛・脂肪。
- (二) 乳兒便
 - (1) 自然榮養便……鮮黃色、平等軟(一日二ノ三回)
 - (2) 人工榮養便……淡黃色、硬(一日一回位)

圖四九四 新産兒ノ糞便ニツイテ注意スベキ事項

- 一 色。帶綠黑色、鮮黃色、淡黃色、灰白黃色、綠色、帶赤黑色。
- 二 混合物。顆粒便、粘液便、水樣便、泡沫便。
- 三 臭。氣。殆ド無臭、酸臭等。
- 四 量及回数。

圖四九五 新産兒ノ尿及便ニツイテ

- 一 尿
 - (一) 生後第一日 第一回排尿ハ通常分娩直後ニアリ、其後尿量甚ダ少ク、往々無尿。
 - (二) 第三ノ四日以後 哺乳量ノ増加ト共ニ増量スルモ第一週八十回内外。
 - (三) 第二週以後 二十四時間ノ排尿八十數回ニ達ス。
- 二 糞便……四ノ空問

圖四九六 新産兒生理的及病的糞便ニ就テ

〔解〕 生理的糞便ハ四ノ空問、病的糞便ハ四ノ空問參照

圖四九六 胎糞トハ如何消化不良便トノ差異

- 〔解〕 胎糞ノ説明ハ四ノ空問(一)、差異ハ次ノ如シ。
- 胎糞 消化不良便
 - (1) 分娩後凡ソ三日間排出(1)ソノ後ニ見ル
 - (2) 帶綠黑色
 - (3) 症狀ナシ
- 乳兒便
 - (1) 綠便、顆粒便、粘液便、水樣便等
 - (2) 吐乳、發熱、體重障礙、不機嫌等

圖四九七 胎糞新産兒消化不良便、新産兒母乳便及人工榮養便ノ區別ヲ擧ゲヨ

〔解〕 胎糞ト新産兒消化不良便トノ區別ハ四ノ空問、新産兒母乳便ト人工榮養便トノ區別ハ四ノ空問(二)

圖四九八 新産兒生理的黃疸

- (一) 新産兒ノ八〇%以上ニ見ル。
- (二) 生後二ノ三日ニ起リ、約五ノ六日ニシテ去ル。稀ニ二週間以上モ續ク。
- (三) 胸部・前額・鼻尖ニ著シ。
- (四) 早産兒、骨盤位ノ新産兒ニ著シク、女兒ヨリモ男兒ニ多シ。

〔註〕 「新産兒ノ黃疸」ト云フ間ニ對シテハ、別ニ病的黃疸ノコトモ併記スルヲ宜シトス。

第四章 新産兒ノ狀態

圖四九九 新産兒黃疸ノ原因

- 一 生理的黃疸。血色素ノ分解ニヨリ生ジタル黃色色素ノ爲ニ發ス。
- 二 病的黃疸。膽汁ノ通過障礙又ハ肝臟疾患等ノタメニ膽汁色素ガ吸收セラレテ發ス。

圖五〇〇 新産兒黃疸及其豫後ニツイテ

〔解〕 生理的黃疸ハ治療ヲ要セズ自然ニ消失スル故豫後良好。病的黃疸ハ其根本タル疾病ノ如何ニヨリ豫後一定セズ。

圖五〇一 新産兒ノ表皮落屑ノ狀況

新産兒ハ 産後三ノ四日ニシテ胸腹四肢等ノ皮膚ニ落屑ヲ起シ、數日ノ後ニ止ム。

圖五〇二 新産兒及胎兒ノ皮膚ニ見ラル、現象

- 一 新産兒
 - (一) 黃疸……(四ノ九八問)
 - (二) 表皮落屑……(前問)
- 二 胎兒
 - (一) 皮下脂肪・胎脂・毳毛……(一ノ七、一ノ八、一ノ九問)
 - (二) 頭髮・爪……(一ノ一〇、一ノ一一問)

圖五〇三 臍帶脫落ニツイテ

(一) 状態
 臍帯残部ハ漸次黒色ニ乾燥シテミイラ化ヲ來シ、臍ノ周圍ニ分界線ヲ作りテ、此線ヨリ脱落ス。

(二) 時期
 生後約四〜七日ニシテ脱落ス。脱落時期ノ遅速ハ(四)ノ(四)間

(三) 脱落后
 脱落后ノ創面ニハ姑ク肉芽ヲ生ズルモ、生後二週間ニシテ瘻痕ヲ結び、萎縮陥没シテ臍窩ヲ形成ス。

圖四〇四 新産兒臍帯脱落ノ遅速○

- (一) 早産兒・虚弱兒、臍帯乾燥不良ハ遅延ス。
- (二) 成熟兒・強壯兒ニ早シ、

(臍帯乾燥如何ニ良好ナルモ或ル程度以上ニ早キコトナシ)

圖四〇五 新産兒ノ睡眠及啼泣◎

健康ナル新産兒ハ絶エズ良ク睡眠シ、只(1) 餓ヘタル時(2) 襁褓ノ濕リタル時、又ハ(3) 寒暖其適度ヲ得ザル時等ニ於テ啼泣スルコトアルノミ。

圖四〇六 新産兒臍乳ニツイテ◎
 新産兒男女ノ別ナク、生後三〜四日ニシテ其乳房腫脹シ初乳ニ類スル乳汁ヲ壓出シ得ルコトアリ。之ヲ新産兒臍乳トイフ。

刺戟ヲ加フルコトナク自然ニ放置スル時ハ、數日ノ後腫脹分泌共ニ徐々ニ減退ス。

圖四〇七 大凶門閉鎖ノ時期ヲ問フ○

産後十三ヶ月位。

圖四〇八 新産兒臍出血ニ就イテ○

- (一) 説明 女兒分娩後一兩日ニシテ臍口ニ少量ノ出血ヲ見ルコトアリ。
- (二) 原因 妊娠中母體血液中ニアリシ「ホルモン」ガ、母體性器ノ充血腫脹ヲ起スト同時ニ、胎盤ヲ通ジテ胎兒血液ニ移行シ胎兒性器ヲ若干充血腫脹セシメ居リシニ分娩後此「ホルモン」ノ作用ガ斷タレ子宮粘膜炎ノ充血ハ月經ノ如ク出血トシテ表ハル、モノトス。
- (三) 處置 微温硼酸水等ニテ外陰ヲ清潔ニスル間ニ自然ニ止血ス。

圖四〇九 分娩直後新産兒ノ一般状態※

- 一 體重 平均三〇〇〇瓦
- 二 體温 分娩直後三五〜三六度ニ下降スルモ、約十二時間ニシテ三六〜三七度ニ達ス。
- 三 脈搏 一一〇〜一四〇、(時ニ遲脈アリ)。
- 四 呼吸 淺薄不正。
- 五 成熟兒ハ分娩後間モナク第一回ノ排尿アリ又胎糞ヲ洩ス。
- 六 皮膚ハ淡紅色ヲ呈シ、屢々少量ノ胎脂ヲ以テ被ハル。
- 七 臍帯動脈ハ分娩後數分間搏動ヲ呈ス。
- 八 成熟兒ハ高聲ニ啼泣シ、眼ヲ活潑ニ開キ、四肢ノ運動モ亦活潑ナリ。
- 九 六兒頭應形機能、産瘤ヲ認ムルヲ常トス。

圖四一〇 娩出後數時間ニ於ケル新産兒ノ状態○

[解] 前問ニ殆ド同ジ。

圖四一一 産褥第三日ニ於ケル新産兒ノ状態○

- (一) 體重ハ分娩後益々減少シ、既ニ二〇〇〜三〇〇瓦ヲ減ズル者尠カラズ。
- (二) 屢々饑餓ヲ發ス。
- (三) 脈搏ハ一一〇〜一四〇、變化シ易ク。
- (四) 呼吸數ハ不整四〇。
- (五) 胎糞ハ黄色ヲ帶ビ、哺乳兒便ニ移行セントス。

第四章 新産兒ノ状態

圖四一二 産褥第五日ニ於ケル新産兒所見○

- (一) 分娩後日々減少シタル體重ハ漸ク増量シ始ム。
- (二) 體温脈搏共ニ變化シ易ク、呼吸ハ不正淺薄。
- (三) 胎便ハ既ニ黄色ニ變ジ、胎糞ノ性質ヲ止メズ。
- (四) 尿ハ一日十回内外排出。
- (五) 生理的黃疸表皮層尙ホ殘存スルモノ尠カラズ。臍帯ハ將ニ脱落セントスルモノ多ク。
- (六) 乳房腫脹シテ新産兒臍乳ヲ分泌スルモノアリ。

圖四一三 生後第七日ノ新産兒一般状態◎

[解] 前問ノ中ヨリ七日ニ相當スル部分ヲ記スコト(四一二三問モ参照)

[註] 生後一週間トアル問題ハ、一日〜七日間ノ状態ヲ答フベシ。

第二編 產褥ノ診斷

圖四二五 生後十日以内ノ新産兒ノ生理的變化○

〔解〕 四ノ四問ノ中ヨリ十日以内ニ相當スル部分ヲ記スベシ。

圖四二六 生後約二週間内ノ新産兒生理的現象○

〔解〕 四ノ四問ノ中ヨリ二週間以内ニ相當スル部分ヲ記ス。

〔註〕 「生後第二週」トアル問題ハ二週間目ノ事丈ケ記スベシ

圖四二七 生後二十日間乳兒ノ生理的現象○

〔解〕 四ノ四問ノ中ヨリ二十日以上ニ相當スル部分ヲ除キテ答フベシ。

第二編 產褥ノ診斷

圖四二八 產褥ノ診察法○

一方法

(一) 問診法、(二) 外診法(視診、觸診)

(三) 内診法(通常行ハズ)

二事項

- (一) 問診 (1) 後陣痛ノ有無強弱、(2) 其他ノ自覺感
- (3) 乳房ノ緊張感有無、(4) 食慾、便通、尿利睡眠。

- (二) 外診 (1) 性器ニ關スル事項 (イ) 子宮ノ狀態…(四ノ四問一ノ二)
- (ロ) 惡露ノ量ト性状…(四ノ四問一ノ四)
- (2) 乳汁分泌ニ關スル事項…(四ノ五問)
- (3) 全身ニ關スル事項(體溫其他)…(四ノ六問)

圖四二九 產褥期ノ鑑定○

〔解〕 產褥期デアルトイフ鑑定、即チ「褥婦ナリトノ診斷」ヲ

述ベレバヨイ。ソレハ(一) 妊娠ニ由リテ起リタル變化

(二) 分娩ニ由リテ起リタル變化ヲ、(1) 全身、(2) 腹壁、

(3) 乳房、(4) 性器ノ各項ニ分ケテ述ベレバヨイ。

圖四三〇 產褥時期ノ鑑定○

〔解〕 分娩直後、產褥第三、四日、第五日、第一週、十日—二

週、產褥末期等ノ各項ニツキ、性器(乳房)、全身ノ所見ヲ述ベレバヨイ(四ノ三問、四ノ七問、四ノ八問、四ノ九問)

圖四三一 正常産褥ト異常産褥トノ鑑別○

〔解〕 全身デハ(1) 顔貌、血色、(2) 體溫、(3) 脈搏、(4) 呼吸、

(5) 食慾等。

性器デハ(1) 子宮復故狀態、(2) 惡露等ノ各項ニ別ケテ鑑別スベシ。

圖四二三 褥婦診察ニツイテ注意スベキ事項○

〔解〕 四ノ三問ノ四ヲ除ク。

圖四二五 新産兒診察ニ際シ産婆ノ注意スベキ點○

〔解〕

體重、體溫、脈搏等ノ順ニ別ケ、何々ニ注意スベシト書キ、細カキ狀態ヲ取扱フ述ブル必要ナシ、例ヘバ體重ハ其増減ニ注意スベシト書クダケニテヨロシ。四ノ三問参照

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

圖四二四 正常産褥ノ取扱法○

〔解〕 正常産褥トアル場合ハ褥婦ノ取扱(四ノ三問)ヲ主トスベ

キナランモ、新産兒取扱ヲ含ムカモ知レヌ故、題意ヲ亂スガヨイ、若シ題意不明ノ時ハイツモ廣意ニ解シ、或ハ不要カモ知レヌト思フ個條ハ別項ニ別ケテ述ブルガヨロシ。

圖四二五 正常産褥ノ看護法○

〔解〕 本問ノ正常産褥ノ意義ハ前問ト同様ニ解釋スル。看護法

ハ大體取扱法又ハ處置(四ノ二問)(四ノ三問)ト同様ダガ自ラ褥婦又ハ新産兒ヲ看護スル氣持ニナツテ答フ書キ、

第四章 新産兒ノ狀態

アトデ一ト通り讀ンデ見テ看護法トシテハ不適當ト思フ所ヲ訂正スルガヨイ。

圖四二六 正常褥婦ノ看護法○

〔解〕 前問ト異リ褥婦ノ看護法(四ノ三問)ノミニテ可ナルハ明

カデアアル、看護法ノ意味ハ前問同様。

圖四二七 褥婦ノ取扱法○

一 褥婦性器ニ關スル取扱(四ノ四問)

二 乳汁分泌ニ關スル取扱(四ノ五問)

三 褥婦全身ニ關スル取扱(四ノ六問)

〔註〕 「褥婦ノ看護法」ト云フ問題モ、大體本問ト同ジ、只取扱

法ハ産婆トシテ取扱フ氣持ニテ答ヘ、看護法ハ褥婦ヲ看護スル氣持ニテ答フベシ。

圖四二八 正常産褥婦ニ對スル處置○

〔解〕 前問ト同ジ。

圖四二九 産褥中注意スベキ要項ヲ記セ○

一 性器ニ關スル注意

(一) 子宮、底ノ高サ、硬軟、壓痛有無ニ注意スベシ。

(二) 後陣痛ノ強弱ニ注意スベシ。

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

- (三) 創傷治癒状態ニ注意スベシ。
- (四) 惡露ノ量及性状ニ注意スベシ。
- (五) 外陰ノ消毒ニ注意スベシ。

ニ乳汁分泌ニ關スル注意

- (一) 乳腺發育、乳輪乳頭ノ清潔ニ注意スベシ。
- (二) 乳汁ノ量及性質ニ注意スベシ。

ニ全身ニ關スル注意

- (一) 顔貌、血色等ニ注意スベシ。
- (二) 體溫、脈搏、呼吸ニ注意スベシ。
- (三) 食慾、食物ニ注意スベシ。
- (四) 便通、尿利ニ注意スベシ。
- (五) 浮腫、褥汗等ニ注意スベシ。
- (六) 氣分、安眠ニ注意スベシ。
- (七) 攝生法(動作、全身清潔、衣類、褥室等)ニ注意スベシ

新産兒ニ關スル注意(四ノ三問)

圖四ノ三〇 褥婦訪問ニ際シ行フ事項ノ順序〇

- 一 先ヅ褥婦、全身ニ關スル状態(四ノ三問ノ三)

ノ大體ヲ觀察シ、特別ノ異常ナキコトヲ認メタルトキ

ハ 新産兒ノ取扱(四ノ三問)ヲナシ、次ニ

ニ褥婦乳汁分泌ニ關スル注意(四ノ三問ノ二)ヲナシ、最後

ニ性器ニ關スル注意及取扱(四ノ三問ノ一)ヲ行フベシ。

但シ母體ニ特別急ヲ要スル異常アル時ハ此順序ニ從ハザル事アル

ベシ。

圖四ノ三一 産褥婦ニ對スル注意事項〇

〔解〕 四ノ三問ノ四ヲ除ク。

圖四ノ三二 褥婦ニツキ注意スベキ諸點及其理由〇

〔解〕 前問同様ノ注意事項ヲ列記シ、其各々ニ理由ヲ書ク、

例ヘバ體溫ニ注意スベシノ項ニ於テハ、産褥熱ガ恐ルベ

キヲ以テナリト記セバヨイ。

圖四ノ三三 褥婦取扱上産婆ノ最モ注意スベキ條

項三ツヲ舉ゲヨ〇

〔解〕 (1) 體溫 (2) 子宮收縮状態 (3) 惡露。

圖四ノ三四 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷ス

ルヤ〇

一 性器ノ復故状態

- (一) 子宮、底ノ高サ、硬軟、壓痛ノ有無。
- (二) 惡露ノ量及性状。

ニ全身ノ状態

- (一) 顔貌、血色等
- (二) 體溫、脈搏(數・強弱・大小等)、呼吸
- (三) 食慾ノ良否
- (四) 尿利・尿量
- (五) 浮腫ノ有無
- (六) 精神状態(氣分ノ良否、安眠ノ有無)

圖四ノ三五 産褥經過ノ可良ナル徵候如何〇

〔解〕 前問同様ノ項目ニ別ケ、其可良ナル徵候ヲ記セバヨイ。

圖四ノ三六 産褥ノ經過順調ナラザル徵候如何〇

〔解〕 前問同様ノ項目ニ別ケ、其不良ナル徵候ヲ記セバヨイ。

圖四ノ三七 褥婦ニ於テ如何ナル所見アル時醫療ヲ乞フベキ力〇

第四章 新産兒ノ状態

〔解〕 前問ノ答ノ中ヨリ特ニ醫療ノ必要アリト認ムル部分丈ケ

ヲ披記スレバヨイ、産婆ノ取扱ノミニテ間ニ合フモノハ

書カヌコト、例ヘバ一日限リ三八度以下ノ發熱ガアツタ

トテ醫療ノ必要ハナイガ、數日連續スルトキハ其必要アリ

ト云フガ如シ。

圖四ノ三六 分娩即日ニ於ケル褥婦ノ注意事項

〔解〕 四ノ三問ト同様ダガ、特ニ血色、體溫、尿利、子宮收縮

出血量ガ大切デアル。

圖四ノ三七 分娩翌日ノ褥婦診察注意事項

〔解〕 大體前問ニ同ジキモ、特ニ體溫ト乳汁分泌ノ注意ガ最モ

重要デアル。

圖四ノ三八 産褥第五日目ニ於ケル母體ノ處置

〔解〕 (一) 褥婦ノ處置(四ノ三問)

(二) 褥婦攝生法(四ノ三問)ヲ守ラシムルコト

以上ノ要點ヲ記シ、特ニ動靜デハ牀上ニ坐セシムルコト、食物デ

ハ常食ヘ移行スル準備ヲナサシムルコト等ヲ忘レヌ様記スベシ。

圖四ノ三九 産褥第一週目ノ看護上ノ注意

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

〔解〕 大體前問ノ答ニ同ジ、但シ新産兒ニ對スル看護ヲ含ムヤ否ヤヲ糺スベシ。

圖四二五 産褥第一週ニ於ケル處置

〔解〕 (一) 褥婦ノ處置(四二四問)
(二) 新産兒ノ處置(四二三問)

圖四二六 産褥第一週ニ於ケル看護上ノ注意點

〔解〕 (一) 褥婦ニ對スル注意事項(四二四問)
(二) 新産兒ニ對スル注意事項(四二三問)

圖四二七 産褥第一週迄ノ褥婦ノ看護法

〔解〕 (一) 褥婦ノ處置(四二四問)
(二) 褥婦攝生法(四二六問)

以上ノ要點ヲ記シ、特ニ第一週以後ノ事項ニ及バザル様注意スベシ。例ヘバ沐浴等ノ事ヲ記サヌコト。

圖四二八 産褥第一週迄ノ褥婦看護上ノ注意

〔解〕 四二四問ノ要點ヲ個條書ニ別テ、各々何々ニ注意スベシト記スベシ。

圖四二九 産褥經過ヲ良好ナラシムルニハ如何ニナスベキカ

〔解〕 (一) 四二四問ノ(一)、(二)、(三)ノ注意事項ヲ忘ラザルコト。

(二) 褥婦攝生法(四二六問)ノ各項ノ要點ニ注意スルコト。
(常ニ題意ヲ離レヌ様注意シテ書カネバナラヌ)

第一章 褥婦性器ニ關スル取扱

圖四二九 褥婦性器ニ關スル取扱

一 産婆ノ注意スベキ諸點

- (一) 子宮底ノ高サ
- (二) 子宮ノ状態
- (3) 子宮及其近傍ニ壓痛ノ有無

(二) 後陣痛ノ強弱

(三) 創傷治癒ノ状態 殊ニ陰脣小帯附近、尿道口附近

(四) 惡露ノ状態 (1) 量 (2) 性質(色、臭氣、凝血、卵膜片ノ混否)

以上ヲ問診外診又ハ外陰消毒ノ際ニ注意スベシ。

ニ外陰ノ處置(四二五問)

圖四三〇 惡露鑑察上注意スベキ諸點ヲ擧ゲヨ

〔解〕 四二四問一ノ(四)

圖四三〇 産褥時惡露性状ニ對スル注意

〔解〕 四二四問一ノ(四)ノ(2)

圖四三一 惡露ニ關スル取扱

一 鑑察上ノ注意(四二四問一ノ(四))

二 取扱 正常惡露トイヘドモ成ルベク之ヲ手指ニ觸レザル様注意シ、惡露ニヨリ汚染セラレタル手指ハ充分ニ之ヲ消毒スベシ。

圖四三二 褥婦外陰ノ處置

(一) 産褥殊ニ第一週ノ間ハ、毎日一〜二回以上數回、微温ノ殺菌水又ハ消毒液(例ヘバ1%リゾール水)ヲ浸シタル脱脂綿ヲ以テ、外陰ヲ清拭スルカ、或ハ流水器ヲ用ヒテ之等ノ液ヲ以テ洗滌スベシ。若シ創傷アラバ「ヨード」フォルム」又ハ「アイロール」ノ類ヲ撒布シ、次デ殺菌壓抵布ヲ貼ジ丁字帶ヲ掛クベシ。
(二) 壓抵布ノ取扱(四二五問)

第一章 褥婦性器ニ關スル取扱

圖四三一 産褥婦ノ消毒法

〔解〕 一ノ四四問及四二五問ノ(一)

圖四三二 産褥時ニ消毒ノ必要ナル理由及外陰消毒法

一 外陰消毒法(四二五問ノ(一))

産褥時ニ外陰消毒ヲ怠ル時ハ、其創傷面ヨリ細菌ノ感染ヲ受ケル虞アルヲ以テナリ。

圖四三三 褥婦壓抵布ノ取扱ニ對スル注意

壓抵布ハ惡露ノ量ノ多少ニ應ジテ一日數回更換スベキモノニシテ、通常三〜四時間毎ニ之ヲ更換シ、醫師ノ回診ヲ待ツ場合ニハ其最近ニ除キタルモノヲ保存シテ一覽ニ供スベシ。

圖四三四 褥婦ニ對スル腔洗滌ノ可否ヲ問フ

(一) 産褥經過正常ナル時ハ腔洗滌ノ必要ナシ。
(二) 産褥第三〜四日ノ頃ニ三八度以上ノ發熱アルトキ、醫師ノ診察ヲ乞フモ、直チニ來診ヲ得ガタキ事情アル場合ニ、只一回ヲ限リ腔洗滌ヲ行フモ可ナリ。

第二章 梅毒乳房ニ關スル取扱

圖四ノ二五 梅毒乳房ニ關スル取扱〇

一 授乳ノ開始…(四ノ三三問)ニ乳房

- (一) 乳體ノ腫脹ノ度ニ注意スルコト。
- (二) 乳輪乳頭ノ清潔ニ注意シ、授乳前後ニハ必ず微温湯或ハ硼酸水ヲ浸シタル「ガーゼ」ヲ以テ乳頭ヲ清拭スベシ。

又餘リ胸部ヲ緊縛セズ、乳房ヲ保温スル様ニハカルベシ。

- 三 乳汁ノ量ト性質ニ注意スベシ。
- 四 授乳ハ、必ず交互ニ、一側ノ乳房ヲ十分ニ飲ミ盡サシムベシ。

圖四ノ二六 梅毒乳房ノ検査法〇

〔解〕 前問ノ二及三

圖四ノ二五 検査乳時ニ於ケル注意事項ニツイテ〇

- (一) 乳汁ノ量及性質ニ關スル注意。
- (二) 母體疾病ノ有無ニ注意スルコト。

第三章 梅毒全身ニ關スル取扱

圖四ノ二六 梅毒全身ニ關スル取扱〇

- 一 全身ノ大體(顔貌、疲勞狀態)ニ注意スベシ。
- 二 體温 梅毒ノ檢温ハ日々之ヲ怠ルベカラズ。三八度以上ノ發熱ハ醫師ニ報ズベシ。
- 三 脈搏 數・大小・強弱・整不整ニ注意スベシ。
- 四 呼吸 モ共ニ注意スベシ。
- 五 食物…(四ノ二九問)
- 六 便秘 アラバ二三日毎ニ灌腸スベシ。
- 七 皮膚 (一) 皮膚ノ血色・浮腫ノ有無ニ注意スベシ。

利尿 膀胱過度ニ充盈スル時ハ(1)子宮收縮ヲ阻害シ

(2)子宮後屈ヲ促ス事アルヲ以テ、排尿ヲ怠ラ

ザル様常ニ注意スベシ(四ノ二六問)

(二) 梅毒汗アル時ハ室温、寢具ヲ適當ニ減ズベシ。ハ精神 一ノ二週間ハ精神ヲ成ルベク休養セシメ凡テノ興奮ヲ避クベシ。

強キ後陣痛ノ爲メニ安眠セザル時ハ下腹部ニ濕性療法又ハ氷嚢ヲ貼ズベシ。

九 梅毒ノ攝生法 ハ(四ノ二六問)ヲ追記。

圖四ノ二六 梅毒尿閉ノ處置〇

(一) 分娩後六時間ニシテ尙ホ未ダ利尿ナキ時ハ、尿器ヲ與ヘ膀胱部ヲ輕ク壓迫シテ排尿ヲ助クベシ。之レニヨリ排尿シ得ザル時ハ…

(二) 膀胱部ニ温電法ヲ施シ、或ハ消毒セル微温湯ヲ浣水器ニヨリ尿道口部ニ灌注シ以テ排尿ヲ促スベシ。而モ尙ホ效ナキ時ハ…

(三) (1) 子宮收縮佳良ニシテ、(2) 強キ貧血モナク、(3) 大ナル會陰裂傷モナク、(4) 其他何等ノ異常ナキ梅毒ニ限リ、靜カニ上半身ヲ起シテ放尿ヲ試マシムルモ可ナリ。以上ノ如クスルモ終ニ自然ニ排尿シ得ザル時ハ最後

ノ手段トシテ…

(四) 人工排尿ヲ施スベシ。此際「カテーテル」ハ煮沸殺菌シ、手指及ビ外陰モ消毒シタル後、小陰唇ヲ開キテ尿道口ヲ目睹シツ、骨盤軸ノ方向ニ從ヒ、徐カニ「カテーテル」ヲ挿入スベシ。凡テ排尿及ビ排便ノ後ハ常ニ外陰ヲ消毒シ、更ニ新シキ壓抵布ヲ貼ズベシ。

〔註〕 尿閉ノ原因ハ(四ノ二七問)。排尿法ハ(七ノ二五問)

圖四ノ二六 梅毒尿閉ニツイテ記セ〇

- 一 原因…(四ノ二七問)
- 二 結果…(四ノ二八問)ノ六
- 三 處置…(四ノ二六問)

圖四ノ二七 梅毒ノ便秘ニツイテ〇

- 一 原因…(四ノ二六問)
- 二 結果…(六ノ四〇問)
- 三 處置…少クモ二三日毎ニ灌腸スベシ。

圖四ノ二八 梅毒排尿排便ニ注意スベキ理由〇
直腸及膀胱ノ充滿ニヨル障礙(六ノ四〇問)ヲ豫防センガ爲メ

ナリ。

圖四一五 産褥時ニ子宮位置異常ヲ起シ易キ理

由○

〔解〕 次問一及ニノ原因ニ由ル。

圖四一六 産褥時ニ子宮ノ位置及形状ノ異常ヲ來ス原因及豫防法○

一 子宮後轉症(後屈後傾症)

原因 (1) 産褥中動作ノ不攝生、殊ニ長期仰臥。

(2) 産褥中膀胱充盈ハ之ヲ誘發ス。

豫防 (1) 産褥中長期ノ仰臥ヲ戒メ、産褥第二―三日ヨリ左右ニ交互ノ側臥ヲ取ラセ第二週初メヨリ坐位ヲ取ラシム事。

(2) 褥婦ノ膀胱ヲ永ク充盈セシメザル事。

二 子宮下垂、脱

原因 産褥中動作ノ不攝生、殊ニ早期離牀、過激運動。

豫防 産褥中動作ノ不攝生ヲ戒メ、殊ニ醫師ノ指圖ナク濫リニ早期離牀セシメズ、過激ノ運動ヲ禁ズ。

圖四一七 産褥時ニ起リ易キ子宮位置異常ノ症

狀○

一 子宮後轉症

(一) 子宮復故不全從ツテ惡露多量異常出血ヲ來ス。

(二) 便秘ヲ促ス。

二 子宮下垂、脱

(一) 子宮復故不全ヲ來ス。

(二) 脱出ノ場合ハ、子宮腫部ガ腔口外ニ露ハレ、陰壁モ外露ス。

〔註〕 處置ハ醫療、其他豫防法四一六問參照。

圖四一八 褥婦攝生法○

一 動靜…四一六問

二 清潔…四一八問

三 衣類…四一八問

四 食物…四一八問

五 褥室…四一九問

圖四一九 褥婦ノ動靜ニ就イテ○

一 肉體動靜

〔第一週〕

(1) 産褥第一週間ハ褥中ニ靜臥セシメ、殊ニ最初一兩日ハ専ラ仰臥ヲ取ラシメ、

(2) 第二―三日ヨリハ、左右交互ニ側臥ヲ取ラシムベシ、蓋シ之ニヨリ子宮後轉ト褥婦ヲ豫防スル事ヲ得レバナリ。

〔第二週〕

(1) 第二週ノ初メヨリ、食事・授乳・及ビ排尿・排便ニ際シ、短時間牀上ニ坐スルモ可ナリ。

(2) 十日以後ニシテ、子宮底既ニ恥骨結合上ニ觸レ得ザルニ至リ、且ツ惡露ノ量少ナク其血色ヲ失フニ至ラバ、上圖等ノタメ短時間離牀スルモ妨ゲナシ。

〔第三週〕

(1) 第三週ニ入りテ後ハ、長時間離牀スルヲ得。但シ完全離牀ハ第三週末ニ行ハルベキモノトス。

(2) 入浴モ亦第三週ニ入りテ後ニ自宅ニテ許シ得ベシ〔第四週以後〕

(1) 外出ハ第四週ニ入りテ後タルベシ。

(2) 家事及業務又ハ性交ハ産褥期ヲ全ク經過シタ

第三章 褥婦全身ニ關スル取扱

ル後ニ於テ徐々ニ之ヲ許スベシ。

二 精神動靜…四一六問ノハ

圖四二〇 褥婦離牀ノ時期○

〔解〕 (1) 短時間離牀、(2) 比較的長時間離牀、(3) 完全離牀ニ分ケテ述ベルガヨイ(四一九問)

圖四二一 褥婦全ク離牀スベキ時期○

〔解〕 完全離牀ノ時期ヲ答ヘレバヨイ(四一九問)

圖四二二 褥婦離牀ニ就テ述ベ其理由ヲ説明セ

ヨ○

〔解〕 理由デハ、不適當離牀ノ害(四一九問、四二〇問)ト、適當離牀ノ利ヲ述ベレバヨイ。

圖四二三 褥婦ノ離牀時期ハ何ヲ標準トスルヤ○

〔解〕 (1) 子宮復故、(2) 惡露狀態、(3) 體溫脈搏其他全身狀況。

圖四二四 産褥時離牀ニ如何ニ注意スベキカ○

〔解〕 前問ノ標準(條件)ニ對スル注意ヲ述ベレバヨイ。

圖四二五 早期離牀(起立)ニツイテ○

一 説明

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

正常分娩ヲ平易ニ終リタル健康強壯ノ褥婦ニ對シ、産褥第二ノ三日ヨリ牀上ニ坐サシメ、四ノ五日ヨリ少シヅ、歩行ヲ許スコトアリ、之ヲ「早期離牀ノ法」ト云フ。

二利害

- 利益
- (1) 性器復故ヲ助ケ、全身恢復ヲ早クス。
 - (2) 惡露ノ排出ヲ佳良ナラシム。
 - (3) 排便排尿ヲ容易ニセシム。

- 不利
- (1) 子宮ノ下垂又ハ脱、腫脱等ヲ起シ易シ。
 - (2) 出血ヲ増シ且ツ永續セシム。
 - (3) 時ニ發熱スルコトアリ。

三注意

(一) 早期離牀ハ、右ノ如キ利益アルモ亦不利モ伴フヲ以テ、病院産院等ニテ醫師ノ監督ノ下ニ之ヲ許スベキモノニシテ、産婆ノ獨斷ニテ家庭ノ褥婦ニ之ヲ濫用セシムベカラズ。

(二) 之ヲ實行スル場合ニハ四ノ五間ノ標準ニ注意スベシ。

圖四一七 就牀期間ノ長短ト産褥經過ノ關係

〔解〕 (1) 早期四ノ五間、(2) 適期四ノ六間、(3) 晚期四ノ七間ノ各々ニツキ利害關係ヲ説明スベシ。

圖四一七 早期離牀ノ母體ニ及ボス影響

〔解〕 母體ニ及ボス害ト利トノ兩方ヲ答ヘル(四ノ七五間)

圖四一七 早期離牀ヲ行フ場合ノ注意

〔解〕 四ノ七五間ノ三

圖四一七 産褥時長期就牀ノ害ヲ問フ

- (一) 子宮復故不全、全身恢復遅延
- (二) 惡露排出不良
- (三) 排便排尿ニ不便
- (四) 褥瘡、子宮後屈ヲ起スコトアリ。

圖四一八 褥婦離牀ニ就イテ

- (一) 時期……四ノ七五間
- (二) 期間ト利害……四ノ七六間

圖四一八 褥婦體操ヲ説明セヨ

産褥體操トハ、産褥第二ノ十日ノ間ニ一定ノ規律ニ從ツテ行フ體操ニシテ、之ニヨリ

- (1) 主トシテ腹壁及ビ骨盤底ノ筋肉ノ運動ヲ行ヒ、
 - (2) 深呼吸ヲ督ミ、(3) 全身ノ血行ヲ佳良ナラシメ、
- 以テ産婦ノ性器並ビニ全身ノ復故機能ヲ助長セシメントスルモノナリ。

圖四一八 褥瘡ニ就イテ

一原因

身體ノ一部ガ永ク壓迫セラレシ爲ニ、其局部ノ血行ガ妨ゲラレテ、栄養障礙ノ結果トシテ起ル。

〔補助原因〕

- (一) 重症其他テ身體動作ノ自由ヲ失ヒシ患者ニ於テ、皮膚ト骨ト直接スル部分、殊ニ不潔且濕潤セル皮膚ニ起リ易シ。
- (二) 臥牀及衣服ノ不良(硬ク、凹凸不平、皺襞、汚染等)

二症状

初メ皮膚發赤シ、疼痛アリ(第一度)

次デ潰瘍ヲ生ジ時ニ骨ニ達スルコトアリ。(第二―三度)

三危険

時ニ敗血症ヲ起シ死ニ至ルコトアリ。

第三章 褥婦全身ニ關スル取扱

四豫防法

- (一) 身體ノ一部ヲ永ク壓迫セザルコト(臥位轉換、環狀枕使用)
- (二) 皮膚ノ清潔乾燥ヲハカルコト
- (三) 臥牀衣服ノ不良ヲ避ケルコト

醫師ノ診察ヲ乞ヒ、前項豫防法ノ各項ニ從フコト

圖四一八 褥婦ノ清潔

一 外陰ノ清潔法……四ノ七六間ノ一

ニ 全身ノ清潔法

(一) 褥婦ニシテ牀ヲ去リ得ザル者ニハ、毎朝洗面ヲ助ケ、且ツ口中及ビ手指ヲ清潔ナラシムベシ。

(二) 夏季發汗多キ時ハ勿論、其他ノ時ニ於テモ必要ニ應ジ、微温湯ヲ浸セル布ヲ以テ全身ヲ清拭スベシ

(此温湯中ニ少量ノ「アルコール」ヲ加ヘレバ更ニ可)

三 入浴……四ノ七六間

圖四一八 褥婦ニ入浴ヲ許ス時期

(一) 自宅入浴ハ第三週ニ入りテ後ニ許シ得ベシ。

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

(二)外出シテ共同浴場ニ行クハ第四週ニ入りテ後ヲ安全トス。

圖四一八五 褥婦ノ外出及髪洗ノ時期

〔解〕 外出ハ四ノ二六間
髪洗ハ完全離床ノ後、即チ第四週ニ入りテ後、(但シ自ラ少シモ勞セズ他人ヲシテ洗ハシムルハ尙ホ早クトモ可ナリ)。

圖四一八六 産褥第一週目ノ坐浴ノ不可ナル理由

(一)安靜ヲ缺ク爲メ、子宮下垂、脱、又ハ子宮出血ヲ來スコトアリ。
(二)外陰ヨリ不潔物ヲ侵入セシメ發熱セシムルコトアリ。

圖四一八七 褥婦ノ衣類ニツイテ

(一)衣服 ハ清潔ニシテ寬潤ナルヲ要シ、且ツ乳房及腹部ヲ冷却セシムベカラズ。
(二)腹帯 ハ腹部ヲ保温スルノミナラズ、腹壁ノ弛緩ヲ恢復スルニ效アリ、故ニ之ヲ産褥期間中用ユルモ可。
(三)寢具 ハ其身體ニ觸接スル部分ハ白布ヲ用ヒテ屢々之ヲ交換スルヲ可トス、被褥ハ輕キヲ選ビ溫暖度ニ過ギザルヲ要ス。

圖四一八八 褥婦上腹部ヲ腹帯ニテ緊縛スル害ヲ問フ

〔解〕 (1) 下空靜脈壓迫ノ結果下腹以下ニ鬱血ヲ起シ子宮復故不全、從ツテ惡露殊ニ血性惡露ヲ多量ニ且ツ長期ニ出サシム。
(2) 緊縛長期ナルトキハ腹内臓ニ變形ヲ來ス。

圖四一八九 褥婦ノ食餌ニツイテ

(一)産褥第一、二日 ハ流動性(重湯・葛湯・スープ・牛乳・肉汁等)又ハ半流動性(粥・半熟鶏卵・水飴等)ヲヨロシトス。
(二)第三、四日 ヨリハ漸次ニ有形食物トナシ、殊ニ消化シ易キモノ(例ヘバ刺身、鯛・鯉ノ如キ煮魚、軟キ野菜、軟キ鶏卵料理等)ヲ少量ヅ、與ヘ、徐々ニ常食ニ移ル様準備スベシ。
(三)第二週ノ初ニ於テ殆ト全ク常食トナスヲ得、但シ不消化物或ハ下痢便秘ヲ起シ又ハ風氣ヲ醸スモノ、或ハ強キ藥味、酒類ヲ避ケ、凡テ褥婦ノ平素食シ慣レタルモノノ中ヨリ消化シ易クシテ滋養ニ富メルモノヲ適量ニ與フルヲ可トス。

圖四一九〇 褥婦ノ飲食物ハ如何ニスベキヤ具體

的ニ説明セヨ

〔解〕 具體的トハ例ヲ舉ゲルコト、獻立表デモ書ケバ殊ニヨイ。

圖四一九〇b 妊産褥婦ノ榮養ニ就イテ

一 妊婦 ハ胎兒ヲ養フタメ平素ヨリモ多量ノ食物ヲ要スルコト勿論ニシテ、妊娠前半期ニハ約五%増加シ、後半期ニハ約一〇%ノ増加ヲ要ス。然レドモ妊娠中ハ蛋白質及脂肪ハ過度ニ攝ラザル様注意シ、含水炭素ハ平時ヨリ多量ニ攝取セザルベカラズ。無機物トシテハ水ノ他ニ「カルシウム」、磷、鐵、沃度等ヲ平素ヨリ多ク要スルモノニシテ、各種ウイタミンモ亦缺クベカラズ、就中ウイタミンB₁ハ脚氣豫防ニ必要ニシテ、ウイタミンB₂ハ胎兒發育ニ緊要ナリ、ウイタミンDハカルシウムノ新陳代謝ヲ佳良ナラシムル爲メ必要ニシテ、ウイタミンEハ妊娠持續ト胎兒發育ニ重要ナルモノナリ。(一三三問)

二 産婦 ハ娩出力ヲ適當ナラシムルタメニ相當ノ榮養ヲ攝ラザルベカラズ、然レドモ分娩中ハ特ニ榮養價多クシテ消化シ易キモノヲ必要トス、就中糖分ハ娩出力ヲ増強スルニ效アリ。

三 褥婦 ハ自身ノ體力ヲ恢復セシムル爲メノミナラズ、善良ナル乳汁ヲ多量ニ分泌スル爲メニ十分ナル榮養ヲ攝ラザルベカラズ其成分ハ妊娠中ト同様ニ、有機物トシテハ蛋白質・脂肪・含水炭素、無機物トシテハ各種ノ鹽類ト水ヲ要シ、又ウイタミンノ攝取ニモ留意セザルベカラズ。

第四章 新産兒取扱法

圖四一九一 褥室ニ關スル注意事項

(一)褥室ハ閉靜ニシテ、光線ノ射入ヨク、適當ニ廣キヲ要ス。
(二)室内ニ無用ノ人ヲ入レ又ハ不潔物ヲ永ク留ムベカラズ。
(三)常ニ室内ノ換氣ニ注意シ、冬季ハ室温ヲナルベク攝氏二〇度近クニ暖ムルヲ宜シトス。

第四章 新産兒取扱法

圖四一九二 新産兒取扱法及注意點

新産兒ハ極メテ繊弱ナルヲ以テ、僅少ナル不注意モ容易ニ疾病又ハ死ヲ招ク、故ニ常ニ細カキ注意ヲ要ス。

一 一般健康状態ノ注意
(一)體重ノ増減ニ注意スベシ：(四ノ三三問)
(二)體溫、(必要アラバ脈搏、呼吸モ)日々之ヲ檢スベシ。

第三編 婦科及新産兒ノ取扱法

- (三) 便通、尿利ノ回数、量及ビ性質等ニ注意スベシ。
- (四) 皮膚ノ硬軟、血色又ハ黃疸等ニ注意スベシ。
- (五) 臍帶斷片又ハ脱落面ノ處置ハ、出血、消毒、乾燥ノ三點ニ留意スベシ……(四ノ二九問)
- (六) 啼泣ノ状態ニモ注意スベシ……(四ノ三〇問)
- 二 清潔ニ注意スベシ……(四ノ三〇問)
- 三 保温ニモ用フベシ……(四ノ三〇問)
- 四 榮養法ハ自然榮養ヲ選ブベシ……(四ノ三三問)

第一節 新産兒一般健康状態ノ注意

圖四ノ二五 新産兒體重測定法

- (一) 體重ノ増減ハ健康ノ大體ヲ知ルニ最も必要ナルヲ以テ、最初一―二週ハ成ルベク毎日、其後ハ一週ニ一回、計量スルヲ宜シトス。
- (二) 體重ハ成ルベク授乳後二時間ヲ經テ、沐浴ニ先立ち着衣ノ儘之ヲ計リ其量ヲ記載シ、次ニ衣類一切ヲ風袋量トシテ計リ、此風袋量ヲ減ジテ兒ノ體重トナスベシ。

圖四ノ二六 新産兒ノ體重增加ガ正當ナラザル時 産婆ハ如何ナル注意ヲナスベキカ

- 〔解〕 (1) 榮養供給不足。
 (2) 榮養消化吸收ノ障礙。
 (3) 榮養同化ノ障礙ヲ考ヘル。
 (1) ハ母乳又ハ人工榮養ノ量ト成分又ハ濃度カラ起リ、
 (2) ト(3) ハ消化器其他ノ疾患カラ起ル故、之等ニ注意スル。

圖四ノ二七 新産兒ノ發熱ニ際シ産婆ノ處置

- 一 一過性熱ノ處置……(四ノ三〇問)ノ三
- 二 疾病ニ由ル發熱
- (1) 頭部ニ冷水枕、冷水懸法、(2) 湯葉ヲ遠ザケ適量ノ飲料ヲ與フ。
- 三 一般ニ沐浴ヲ禁止スベシ。

圖四ノ二八 新産兒臍部ノ處置

- 一 臍帶斷片ノ處置……(四ノ三六問)
- 二 臍帶脱落後ノ處置……(四ノ三七問)
- 圖四ノ二九 臍帶脱落後ノ取扱
- 一 清潔 肉芽面ハ沐浴毎ニ殺菌水又ハ二%硼酸水ニテ清メ殺菌ガーゼヲ貼テ、肉芽ノ乾燥惡シキ時ハ「アイロ

ール」等ヲ撤布シ、清潔ナル腹帯ヲ施スベシ。
 總テ之ヲ取扱フ手指ハ少クモ酒精綿ニテ消毒シ、汚染セラルタル手指ハ法ニ從ヒ十分ニ消毒シタル後ナラザルベカラズ。

- 二 異常 臍帶脱落面ヨリ膿汁ノ分泌又ハ臍輪ノ發赤腫脹アルトキ、其他ノ異常アルトキハ醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

圖四ノ二九 臍帶脱落ノ時期及脱落面ノ處置

- 一 時期 分娩後四―七日
- 二 脱落面ノ處置……(四ノ三六問)

圖四ノ三〇 臍帶脱落前後ニ於ケル處置

〔解〕 本問ノ前後トアルハ、脱落ノ頃ト云フ意味ニトラズ、脱落前ハ臍帶斷片ノ處置、脱落後ハ脱落面ノ處置ト考フベシ、即チ本問ノ答ハ四ノ三六問ニ同ジ。

圖四ノ三〇 新産兒ノ啼泣ニツキ注意スベキ事項

- 一 生理的啼泣
- 新産兒啼泣ストキハ、(1) 饑餓ナキカ、(2) 探襪濕ラザルカ、(1) 寒暖適度ナラザルヤヲ注意スベシ。若シ之等ノ原因ヲ認メザルト

第四章 新産兒取扱法

キハ他ニ異常アルモノトシテ其ノ原因ヲ求ムベシ。

二 異常啼泣

- (1) 濕疹、(2) 蚤等ノ整傷、(3) 針等ノ刺傷、(4) 消化不良・乳兒脚氣・感冒其他ノ疾病ナキヤヲ注意スベシ。

第二節 新産兒ノ清潔

圖四ノ三一 新産兒ノ清潔法

- 一 沐浴
- (一) 生後一年間ハ、毎日一回授乳ノ二時間後ニ(成ルベクハ午前十時前後ニ)ニ沐浴セシムベシ。
- (二) 初メ一週間ハ産婆自ラ之ヲ行ヒ、其後ハ家人若シクハ看護婦等ヲシテ爲サシムルモヨロシ。
- (三) 其準備、方法及ビ注意ハ三六九問参照
- 二 臍部ノ清潔……(四ノ三六問)
- 三 沐浴ノ禁忌……(四ノ三五問)
- 四 爪ト頭髮
- 爪ハ第二週ノ頃ヨリ一週ニ一回之ヲ剪除スベシ。
- 頭髮ハ溢リニ剃ラザルヲ可トス。

第三節 褥瘡及新産兒ノ取扱法

圖四二〇二 新産兒ノ頭髮ニツキテノ注意

〔解〕 前問ノ四

圖四二〇三 新産兒沐浴ニ就イテ

一 時間……四ノ二間ノ一

二 準備……三ノ六間ノ一

三 方法……三ノ六間ノ二

四 注意……三ノ二間

五 禁忌……四ノ五間ノ三

圖四二〇四 新産兒沐浴ノ溫度

夏季攝氏三八度 冬季攝氏三九度

總テ沐浴ヲ終ルニ先立チ差湯ニヨリ冷却ヲ復舊スルコト

圖四二〇五 新産兒沐浴ノ禁忌

(一) 二〇〇〇瓦以下ノ小兒ヲ沐浴セシメントスルニハ先

ヅ醫師ノ指圖ヲ乞フベシ。

(二) 熱・咳嗽・皮膚異常ノ場合ニモ、醫師ノ指圖ニ從フヲ

宜シトス。

(三) 絶對安靜ヲ要スル場合(吐血・下血等)ハ沐浴ヲ禁ズ

ベシ。

(四) 臍帶斷片ノ乾燥甚ダ不良ナル場合ニモ沐浴ヲ禁ズル

コトアリ。

圖四二〇六 臍帶脫落前ニ沐浴ヲ禁ズベキ場合

〔解〕 前問ニ同ジ。

圖四二〇七 新産兒沐浴ノ利害ニ就イテ

一 利益效用(三ノ三間)

二 障 礙

(一) 虛弱ナル小兒ヲ疲勞セシム。

(二) 或ル種ノ皮膚病、感冒、其他ノ疾病ヲ増悪セシム。

(三) 臍帶斷片ノ乾燥又ハ臍帶脫落後ノ創面ノ治癒ヲ不良ナラシ

ムルコトアリ。

圖四二〇八 新産兒保温上ノ注意ヲ述ベヨ

(一) 衣服及ビ寢具ハ季節ニ應ジテ適當ニ與ヘ、

(二) 室溫ハ成ルベク攝氏二〇度位トナシ

第三節 新産兒ノ保温

(二) 寒冷ノ候ニ於テハ時々兒ノ手足ニ觸レ、其冷却セル

時ハ「湯婆」等ヲ與ヘ、早産兒ニハ特ニ「溫槽」若クハ

「溫育器」ヲ用ユ。

溫育器内ノ氣温ハ攝氏二五度内外トシ、空氣ノ湿度ニ注意シ、

牀中ノ湿度ハ攝氏三七度内外トスルヲ宜シトス。

圖四二〇九 新産兒保育上適當ナル溫度ニ就テ知

ル處ヲ記セ

〔解〕 前問參照

圖四二一〇 新産兒ノ衣服及襪襪ニ就イテ

一 衣服 ハ三ノ二六間ノ二、三

二 襪襪 ハ木綿一巾、長サ一米餘ヲ輪ニシ、三枚ヲ一組トシ内一

枚ハ半巾ノ股袂ミトシ、一兒ニ約二十組ヲ用意スベシ。

用布ハ古浴衣ニテモ可ナレドモ適當ニ消毒(一ノ三三間)シタルモ

ノヲ用ユベシ、新晒木綿モ清洗シテ糊ヲ落シタルモノヲ宜シト

ス。

(稍長ジタル乳兒ニ對シテハ三角襪襪ヲ便トス)

圖四二一一 新産兒看護上注意スベキ要點

〔解〕 四ノ二二間ノ各項目ヲ列記シ、各々ニツキ注意スベシト述

ベ、詳細ノ取扱法ハ略スベシ。

第四章 新産兒取扱法

圖四二一二 分娩直後新産兒看護法

〔解〕 三ノ二六間ト同様ナルモ、看護婦トシテ看護スル氣分ニテ

記載スベシ。

圖四二一三 分娩第五日ノ新産兒ノ處置

〔解〕 四ノ二二間ノ處置ト同様ナルモ只榮養法丈ケハ五日トイフ

點ニ特ニ注意スベシ。

圖四二一四 分娩第一週ニ於ケル新産兒取扱上ノ

注意

〔解〕 四ノ二二間ノ處置ト同様、本問モ亦榮養法ハ第一週以内ノ全

部ニツキ答フルヲ要ス。

第四節 新産兒、乳兒榮養法

圖四二一五 乳兒榮養法ニ就イテ

一 母乳榮養法ニ就イテ……四ノ三三間

二 人工榮養法ニ就イテ……四ノ三六間

三 混合榮養法ニ就イテ……四ノ三九間

圖四二一六 乳兒榮養法ノ種類

(甲) 自然榮養法

人乳(母乳、乳母乳)ヲ以テ榮養スルヲ云フ。

(乙) 人工榮養法

- (一) 獸乳(牛乳・山羊乳・驢馬乳等)……
- (二) 煉乳、粉乳、其他ノ乳製品……等ニテ榮養スルヲ云フ。
- (三) 乳粉……

(丙) 混合榮養法

自然榮養及人工榮養ヲ併用スル法。

圖四二七 新産兒榮養法ニツイテ○

〔解〕 乳兒榮養法中ノ新産兒ノ範圍丈ケ述ブベシ。
 榮養法ニハ自然榮養法(四三三問ト、人工榮養法(四二六問及混合榮養法(四二四問ト三種ヲ考フベシ。

圖四二八 新産兒ニ對スル授乳ニツイテ○

〔解〕 授乳法ハ主ニ自然榮養法(四三三問ノミヲ指ス。

圖四二九 新産兒榮養法ノ種類及方法○

〔解〕 種類ハ(四二六問方法ハ三種ノ方法(四三三問ヲ述ベルコト。

圖四三〇 新産兒ニ最モ適シタル榮養法○

〔解〕 母乳榮養法ヲ答ヘレバヨイ。

圖四三一 生後約一週間以内ニ於ケル生兒ノ授乳ニツイテ○

〔解〕 母乳榮養法(四三三問中生後一週間以内ニ關スル部分ヲ主トシテ答ヘル。

〔註〕 「生後約一週間以内ノ生兒榮養法」ト云フ間ニハ、生後一週以内ノ人工榮養法(四二六問モ答フベシ。

圖四三二 不規則ナル授乳ハ何故不可ナルカ○

- (一) 泌乳機能ヲ不良ナラシメ、
- (二) 乳兒ニ榮養不足又ハ消化不良ヲ來スヲ以テナリ。

(甲) 自然榮養法

圖四三三 母乳榮養法ニツイテ○

一 自然榮養ノ利益……(四三三問ノ上段)

二 授乳ノ開始……(四三三問)

三 授乳ノ回数及量……(四三三問)

四 授乳ノ位置……(四三三問)

五 授乳ノ障礙及禁忌アル時ハ、先ヅ……乳母ヲ選ビ、已ムヲ得ザル時ニ人工榮養法ヲ施スベシ。

六 授乳婦人ノ衛生法……(四三三問) 七 離乳……(四三三問)

圖四三四 授乳ニ就イテ○

〔解〕 「母乳榮養法ニ就イテ」ト同ジ。

圖四三五 授乳ノ方法○

〔解〕 四三三問中ノ一及六ヲ除キテ答フベシ。

圖四三六 授乳ニツキ産婆ノ注意スベキ諸點※

- 一 自然榮養ヲ專ラ選ミ、要ナキ廢乳ヲ戒ムベシ。
- 二 授乳開始ノ時期ニ注意スベシ。
- 三 授乳ノ回数及量ニ注意スベシ。
- 四 授乳ノ位置ニ注意シ、一週以後ハ夜中ト雖モ坐位ニテ授乳スル様注意ヲ與フベシ。
- 五 授乳障礙又ハ禁忌アラザルヤニ注意スベシ。
- 六 母乳ヲ與ヘ得ザルカ、與フベカラザルカ、又ハ母乳不足ノ場合ニハ、先ヅ乳母ヲ選ブコトニ注意スベシ。
- 七 授乳婦人ノ衛生法ニ注意シ、乳汁分泌ノ増進ニ注意スベシ。
- 八 離乳法ヲ誤ラザル様注意スベシ。

圖四三七 生母ノ授乳ニ就イテ○

〔解〕 四三三問ト同ジ。

圖四三六 産褥時ニ乳腺ノ處置ハ如何ニ注意スベキカ○

〔解〕 (1) 乳房ノ清潔 (2) 保温シ、緊縛セザル事。
 (3) 規則正シキ授乳ニヨリ蓄乳ヲ避ケル事。

圖四三九 適當ナル授乳法ニ就イテ○

〔解〕 四三三問ヲ参照シテ答ヘル。

圖四三〇 自然榮養ト人工榮養トノ優劣○

シ	對	ニ	兒	乳
			自	然
			人	工
			榮	養
			榮	養
(1)	人ノ乳兒ニ對シ最モ消化シ易シ。	(1)	蛋白質ハ消化シ難ク且ツ量多キヲ以テ適當ニ稀釋ヲ要ス。	(1)
(2)	毎回ノ分量ニ深キ顧慮ヲ要セス。	(2)	毎回ノ分量ニ深キ顧慮ヲ要ス。	(2)
(3)	適當ノ溫度ヲ有シ。	(3)	毎回溫度ルヲ要ス。	(3)
(4)	適當ノ風味ヲ有ス。	(4)	糖分ノ補足ヲ要ス。	(4)
(5)	新鮮ナリ。	(5)	搾取後ノ時間ニ注意ヲ要ス。	(5)
(6)	清潔ナリ。	(6)	有害物混入ノ虞アリ必ズ消毒ヲ要ス。	(6)
(7)	乳兒ノ死亡率少シ。	(7)	人工榮養兒ノ死亡率多シ。	(7)

シ對ニ婦褥	
(1) 食慾ヲ増進シ、從ツテ其榮養ヲ佳良ナラシム	(1) 然ラズ
(2) 子宮ノ收縮ヲ促シ從ツテ惡露ノ排泄ヲ助ク	(2) 然ラズ
(3) 從ツテ産褥經過良好	(3) 然ラズ

圖四之三 新産兒榮養ニ母乳ノ最モ優レル理由○

〔解〕 四三〇問上段ノ右

圖四之三 人乳ノ效用及ビ其性質○

〔解〕 效用ハ四三三問上段、性質ハ四四五問

圖四之三 母乳ノ産兒ニ及ボス利害○

〔解〕 利ハ四三三問上段ノ右、害ハ四三六問禁忌參照

圖四之三 人乳榮養ト牛乳榮養トノ主ナル差異

點○

〔解〕 優劣四三三問ノ他ニ成分ノ差異四三五問モ記スガヨイ。

圖四之三 人乳ト牛乳トノ成分ノ比較○

蛋白質	二、〇%	三、五%
脂肪	三、五%	三、五%
糖	三、五%	三、五%

糖分	六、〇%	四、五%
鹽分	〇、二%	〇、七%
水分	八八、〇%	八八、〇%

圖四之三 授乳ノ母乳ニ及ボス影響○

〔解〕 四三三問上段及四三六問ヲ參照シテ母乳兩者ノ利害ヲ考ヘテ書クコト。

圖四之三 授乳ノ産婦ニ及ボス影響○

〔解〕 前問ノ母ニ對スル部ノミヲ答ヘル。

圖四之三 授乳ノ開始○

分娩後凡ソ八時間ヲ經タル後ニ、初メテ母乳即チ初乳ヲ與フベシ

但シ嘔吐又ハ嘔氣アル時ハ暫ク見合せ、二十四時間ニ及ブモ妨ゲナシ。

初乳不足スル時ハ最初一兩日間ハ薄キ砂糖水ノ少量ヲ與フルヲ宜シトス。

圖四之三 新産兒ニ下痢ヲ興フル必要アリヤ○

必要ナシ、初乳ヲ與フレバ其中ノ鹽類ガ腸ノ蠕動ヲ亢メ排便ヲ促スヲ以テナリ。

圖四之四 分娩後二三日間乳汁不足ノ時母乳ノ

處置○

(一) 母ノ處置

- (1) 消化シ易キ滋養物殊ニ液體ノ多量攝取。
- (2) 精神ノ安靜便通ノ整調。
- (3) 規則正シキ哺乳刺戟、乳汁鬱滯豫防。

(二) 兒ノ處置

- (1) 嘔吐ナキ時ハ、薄キ砂糖水ノ少量(一〜三茶匙)ヲ二〜三時間毎ニ與フル事。
- (2) 成乳分泌セザル期間ニハ稀釋牛乳ヲ成ルベク與ヘザルコト。

〔註〕 二〜三日以上ノ不足ニ對シテハ四三三問

圖四之四 乳兒授乳ノ回數及量○

一 授乳ニ關シ最モ意ヲ注グベキハ、其回數及ビ時間ヲ正確ナラシムルニアリ、例ヘバ……

- 一週間 五〜八回 三時間毎、(多少不規則)
- 三月迄 六〜七回 三時間毎、(夜間ハ延長)

第四章 新産兒取扱法

其以後 五〜六回 三、四時間毎、(漸次夜間ヲ廢ス)

以上ハ凡ソノ標準ニシテ、小兒ノ強弱及ビ乳汁分泌量ノ多少ニヨリテ適當ニ加減セザルベカラズ。

二 一回哺乳量ハ、健康ナル小兒ニ於テハ、飽キテ自ら乳頭ヲ離シ静カニ寢ニ入りタル時ヲ以テ適當トス。

此時間ハ十五分〜二十分間ナレドモ、乳兒ノ強弱及乳汁分泌ノ多少ニヨリテ様ナラズ。

圖四之四 新産兒授乳一回ノ持續時間ト一日中ノ回數○

〔解〕 四三三問參照。但シ問題ハ新産兒ニシテ乳兒ナラザルコト

ニ注意スベシ。然シ出題者ガ乳兒ト混同スル場合モアルヲ以テ、總テカ、ル問題ニハ新産兒ノ範圍ヲ一應説明シ置クヲ宜シトス。

圖四之四 母乳量ガ乳兒榮養ニ不足ヲ知ル法※

- (一) 哺乳時間ガ一五〜二〇分デ、自ら飽イテ乳頭ヲ離シ静カニ眠リ込ムコト。
- (二) 次回ノ哺乳マデヨク眠ツテ餓ヲ訴ヘヌコト(啼泣睡眠ガ正常)
- (三) 哺乳前後ノ體重ノ差デ適量カ否カヲ知ルコト。
- (四) 日々ノ體重增加ガ適當デ、小兒ノ發育榮養ノ良イコトヲ知

第三編 梅毒及新産兒ノ取扱法

- ルコト(身體豐圓、皮膚緊張、血色佳良)
- (五) 小兒ノ尿量ヤ便量ガ適當デアルコト(哺乳量ガ不足ナラバ尿便ノ量モ少ナイ)
- (六) 母ノ乳房ノ發育ガヨク、乳ノ分泌量ガ十分デアアルコトカラ察スルコト。

圖四二四 健康ナル自然榮養兒ノ特徴○

〔解〕 四二四問ノ(一)―(五)

圖四二五 授乳ノ位置○

最初一兩日ハ仰臥安靜ヲ要スルヲ以テ、一側ニ半側臥ヲ取リ、第二週ニ入りタル後ハ坐位ニ於テ授乳スベシ。

圖四二六 授乳障礙ニ就イテ○

一原因

- (一) 扁平乳頭、陥凹乳頭、乳頭ノ糜爛皸裂等ニ因ル授乳時ノ激痛。
- (二) 兔唇、口蓋披裂。

ニ處置

- (一) 不適當ナル乳頭ハ妊娠中ヨリ矯正シ、乳頭ノ糜爛皸裂等ハ醫治ヲ乞フベシ。

- (二) 或ハ吸乳器ヲ用ヒテ哺乳セシムベシ。
- (三) 或ハゴム球付搾乳器ニヨリ搾出シタル乳ヲ、温メタル匙ニテ與フルコトアリ。
- (四) 以上ニテモ尙ホ不能ナルカ、或ハ乳汁不足ノ時ハ、先ヅ「乳母乳」ヲ與ヘ、ソレモ爲シ得ザル時ニ初メテ「人工榮養法」ニ從フベシ。

圖四二七 生母自ラ授乳シ得サル場合ト之ニ對スル處置○

〔解〕 前問ト同ジ。

圖四二八 授乳ノ禁忌○

- 一授乳婦ニ害アル場合
- (一) 結核 其他ニテ母ノ榮養ヲ必要トスル場合。
- (二) 小兒ノミニ微毒ヲ有シテ乳母ニハナキ場合。
- ニ小兒ニ害アル場合
- (一) 急性熱病(腸チフス、産褥熱等)
- (二) 慢性傳染病(結核、癩病、乳母ノ微毒)

(三) 脚氣、腎炎

(四) 癩病、ヒステリー、其他ノ精神病

(五) 乳汁異常(膿又ハ血液ヲ混ズル時、乳汁漏泄等)

以上ノ障礙アルモ必シモ癩乳ヲ要セザル場合モアルヲ以テ、之等禁忌ノ疑アル時ハ醫師ノ診療ヲ乞ハシムベシ。

〔附〕 禁忌ノ理由

- (一) 結核ハ授乳ニヨリ母體ノ榮養ヲ害シ病症ヲ重クスルノミナラズ、接觸ニヨリ乳兒ニ傳染ノ危險アリ。
- (二) 「乳兒微毒」ハ乳母ニ傳染ノ危險アリ。
- (三) 「急性熱病」ハ乳兒ニ傳染スル虞アルモノモアリ、又乳汁變化ノタメ消化不良ヲ來スコトアリ、母體ニモ疲勞衰弱ヲ増ス。
- (四) 「癩病」、「乳母微毒」ハ乳兒ニ傳染ノ危險アリ。
- (五) 「脚氣」ハ乳兒脚氣ヲ來スコトアリ。
- (六) 「腎炎」ハ乳兒ノ消化不良ヲ來スコトアリ。
- (七) 「乳汁異常」ハ乳兒ニ消化不良ヲ來スコトアリ。

圖四二九 褥婦腸チフスニ罹リタル時授乳ノ可否及其理由○

第四章 新産兒取扱法

〔解〕 腸チフストノ診斷未確定ノ初期一―兩日ニ於テハ授乳スル場合アルモ、發熱續ク時ハ授乳ヲ禁止ス。

理由ハ(1) 兒ニ傳染ノ危險ハ殆ドナキモ、乳汁成分異常ノ爲メ兒ノ消化機能ヲ害ス。(2) 母體自身ノ榮養ヲ害シ又疲勞ヲ起サシム。

圖四三〇 母體自ラ授乳スベキ場合ヲ舉ゲヨ○

- (一) 先天微毒兒、(二) 早産兒、(三) 虛弱兒、(四) 一般ニ授乳障礙又ハ禁忌ナキ場合。

圖四三一 褥婦ニ授乳ヲ禁ズベキ場合如何○

〔解〕 授乳禁忌中、乳母ニ關スル項ヲ省ク。

圖四三二 絶對的ニ授乳ヲ禁ズベキ褥婦ノ疾病○

〔解〕 前問ノ答ノ各疾病ニ重症ノ文字ヲ冠スルコト。

圖四三三 生母ノ授乳ヲ禁止スベキ場合及之ニ代ルベキ榮養法○

〔解〕 四三三問及四三三問ノニ

圖四三四 母乳不足ノ時母兒ノ處置○

一乳汁分泌増進ヲ圖ルコト。(四三三問ノニ補足又ハ代償ヲ圖ルコト。即チ

第三編 婦及新産兒ノ取扱法

- (一) 乳母乳 (又ハ他ノ人乳) ヲ與フルコト。
- (二) 人工榮養又ハ混合榮養ヲ施スコト。

圖四三〇 乳汁分泌増進法*

(一) 全身的

- (1) 消化シ易キ滋養物殊ニ液體ノ多量攝取。
- (2) 藥物殊ニ榮養劑・臟器製劑(ホルモン)ノ應用。
- (3) 適當ノ運動、精神ノ安靜、便通ノ整調。

(二) 局所的

- (1) 規則正シキ哺乳刺戟、毎回十分吸ヒ盡サスコト。
- (2) マッサージ、温巻法、電氣、紫外線照射等。(セノセ間)

圖四三二 乳母ノ必要ナル場合ヲ問フ◎

- (1) 授乳障礙、(2) 授乳禁忌、(3) 乳汁缺乏、(4) 生母死亡ノ何レカアル時。

圖四三三 乳母ノ豫選法◎◎

一 健康

- (一) 體格・榮養共ニ良好ナルヲ要ス。
- (二) 傳染病(結核・梅毒・淋病等)遺傳病(精神病等)ノナキ事

二 性質

温順ニシテ、清潔整頓ヲ好ミ、殊ニ自己ノ小兒ヲ良ク取扱ヘルモノ。

三 年齢ト分娩

(一) 廿一卅五歳、成ルベク經産婦ヲ宜シトス。

(二) 生母ト殆ド同期ニ分娩シタルモノヲ可トスルモ、乳汁分泌ニ缺點無クバ、其差例ヘバ六ヶ月ニ及ブモ之ヲ忍バザルベカラザルコトアリ。

四 乳房ト乳汁

(一) 乳房ノ發育佳良ニシテ、乳頭ハ授乳ニ適シ、

(二) 分量 輕壓ニヨリ乳汁數條ヲ進出セシメ得ル者。

(三) 性状 乳汁ヲ指爪ニ滴下シ、之ヲ輕ク振盪スルモ流出セズ殊ニ自己ノ小兒ヲ健康ニ發育セシメ居ルモノ。

以上ニヨリ豫選シ、必ズ醫師ノ決定ヲ乞フベキモノトス。

圖四三五 乳母ノ乳ノ乳兒ニ及ボス利害ヲ述ベ

ヨ

〔解〕 生母乳ニハ及バザレド、人工榮養ニ便ル利點ヲ述ブベシ。

圖四三六 授乳婦人ノ攝生法◎

一 運動 常ニ適當ノ運動ヲ要ス。之ニヨリ便通ヲ整ヘ、食慾ヲ進メ、從ツテ乳汁分泌ヲ増シ、且ツ成分ヲ佳良ナラシメ得ベシ。

精神モ亦適度ニ用ヒ、強キ感動ヲ避ケザルベカラズ。

二 清潔 身體殊ニ乳房ハ清潔ニ保ツヲ要ス。授乳ノ前後ニハ、必ズ微温湯或ハ硼酸水ヲ浸シタル「ガーゼ」ヲ以テ、乳頭ヲ清拭スベシ。

三 衣服 胸部ニ觸ル、モノハ、常ニ清潔ニシテ染色ノ落チザルモノヲ選ビ、又胸部ヲ緊縛セズ、而モ乳房ヲ保温スル様ニハカルベシ。

四 食物 平常ト異ル事ナク、只不消化物、強キ藥味、多量ノ酒類等ヲ避ケ、自己ノ好ムモノヲ十分ニ與フベシ。

圖四三〇 離乳ノ時期及方法◎

一 準備期

分娩後凡ソ八ヶ月ヲ經ル時ハ、乳汁ノ分泌量ハ乳兒

ノ發育ニ沿フテ増加セズ、且ツ其成分モ適サザルニ至ルヲ以テ、其頃ヨリ漸次ニ他ノ榮養分ヲ補足セザルベカラズ。

例ヘバ最初ハ牛乳・重湯等ノ流動物ヲ用ヒ、漸次ニ粥又ハ半熟鶏卵等ヲ與フベシ。

二 實行期

斯クシテ滿一年ニ至ル時ハ遂ニ全ク母乳ヲ廢スベシ若シ然ラズシテ其以後モ授乳セバ、母體ノ榮養ヲ害スルノミナラズ、小兒發育上ニモ障礙アリ。

以上ハ健康兒ニ對スル離乳法ニシテ、病兒又ハ虛弱兒ニ就イテハ醫師ノ指圖ニ從フベシ。

離乳ノ方法：四三三問

圖四三二 母乳分泌ノ制止法◎

(一) 乳房ニ冷巻法又ハ水巻法ヲナシ、提乳帶ヲ施ス。

(二) 食物ヲ制限シ、便通ヲ促スコト。

圖四三三 離乳ノ方法◎

(一) 苦味藥ヲ乳頭ニ塗リテ哺乳セシムル法。

第三編 褥婦及新産兒ノ取扱法

- (一) 乳頭乳輪ニ墨ヲ塗リテ小兒ニ見セル法。
- (二) 乳房ニ繃帯スル法等アリ。
- (三) 離乳後ノ處置ハ四ノ二六間

圖四ノ二三 離乳ノ目的

〔解〕 母兒榮養ノ利益ノ爲メ、

圖四ノ二四 廢乳ト離乳トノ區別

廢乳ハ乳兒ニ必要アルニ拘ラズ他ノ事情ノタメ授乳ヲ廢スルコト
離乳ハ母兒ノ利益ノタメ通常滿一ケ年ニ於テ乳ヲ離スコト。

圖四ノ二五 離乳期ノ乳兒ノ合理的養護法及注意

事項

〔解〕 (一) 急激ニ離乳セズニ三ケ月ノ準備ニ從フコト。

(二) 離乳期乳兒ニハ往々發熱又ハ消化不良便ヲ出ス事アル故注意スベシ。

圖四ノ二六 離乳期ノ乳兒ニ對スル注意

〔解〕 前問ニ同シ。

圖四ノ二七 蓄乳ニ對スル處置

(一) 授乳繼續ノ場合

蓄乳スルトキハ其後ノ分泌ヲ不良ナラシムルヲ以テ、

他ノ小兒又ハ搾乳器ニヨリテ吸引スルヲ要ス。

(二) 離乳又ハ廢乳ノ場合

其後ノ分泌ヲ制止スベシ……四ノ二六間

圖四ノ二八 母體ノ風邪・脚氣・胃カタル・微毒・妊娠ノ場合授乳ハ如何

場合授乳ハ如何

- (一) 風邪、胃カタルハ、成ルベク醫藥ヲ乞ヒツ、授乳ス。
 - (二) 脚氣、微毒ハ必ズ醫藥ヲ乞ヒツ、授乳ス。
 - (三) 妊娠中ハ授乳ヲ廢ス。
- 但シ妊娠月數、哺乳兒ノ虛弱、月齡等ノ關係ニヨリ、廢乳ヲ若干延期スルコトアリ。

(乙) 人工榮養法

圖四ノ二九 人工榮養法ニ就イテ

- 一 人工榮養ヲ行フベキ場合……(四ノ二七)間
- 二 人工榮養品ノ種類……(四ノ二七)間
- 三 牛乳及煉乳稀釋法……(四ノ二七)間(四ノ二七)間
- 四 稀釋乳ノ一回量及一日量……(四ノ二七)間
- 五 牛乳消毒法……(四ノ二七)間
- 六 牛乳授乳法……(四ノ二七)間
- 七 牛乳選擇法……(四ノ二七)間

圖四ノ三〇 人工榮養ヲ行フベキ場合

一 授乳障礙

扁平乳頭、陷凹乳頭、乳頭ノ離層皸裂等ニヨル授乳時ノ激痛ニ對シ

種々處置(四ノ二六)間ヲ施スモ授乳シ得ザル時。

二 授乳禁忌

- (一) 授乳婦ニ害アル場合
- (二) 小兒ニ害アル場合……(四ノ二六)間

三 母乳缺乏

右ノ場合、先ヅ乳母乳等他ノ人乳ヲ與フベキナレドモ、適當ナル人乳ヲ求メ得ザル時ニ始メテ人工榮養法ヲ施スベキモノトス。

圖四ノ三一 人工榮養品ノ種類

一 獸乳

- (一) 牛乳。容易ニ得ラル、ヲ以テ、内外共ニ廣ク用キラル。
- (二) 山羊乳。驢馬乳。其性狀人乳ニ近キコト、結核ノ無キコト、ニヨリ牛乳ニ優ル。

二 乳製品

第四章 新産兒取扱法

(一) 糖乳

- (1) 低温ニテ煮沸濃厚ナラシメ、蔗糖ヲ加ヘタルモノ。
- (2) 低温ニテ煮沸濃厚ナラシメ、蔗糖ヲ加ヘザルモノ。

(二) 粉乳

- (1) 噴霧式粉乳
- (2) 圓筒式粉乳
- (三) 其他ノ乳製品……パトロゲン、キノミール、メリンスフー
ド、ミルクフード等。

三 乳粉……穀粉ニシテ最モ不良

圖四ノ三二 牛乳稀釋法

一 稀釋……ニヨリ蛋白質及ビ鹽類ノ量ヲ人乳ニ近カラシム

生	後	水	牛乳	名稱	一日ノ回数
一ヶ月		2	1	1/3牛乳	一日ノ回数
二ヶ月、三ヶ月		1	1	1/2牛乳	(六)七回 (夜間延長)
四ヶ月、五ヶ月		1/2	1	2/3牛乳	(五)六回 (夜間廢止)
六、七ヶ月、以後		0	1	全乳	

二 糖ノ補給……牛乳ノ糖分少キ上ニ稀釋ノタメ糖分ヲ益々減ズル故ニ、白糖(蔗糖)ヲ5%ノ割ニ添加ス。

第三編 母乳及新産兒ノ取扱法

- 一 搾取シタルモノ。
 - 二 市場乳(マーケットミルク)ト稱シ多數ノ乳牛ヨリ搾取シテ混合セルモノ。
 - 三 平等白色ニシテ、爪上ニ滴下シタルモノヲ動カスモ容易ニ流出セザルモノ。
 - 四 成ルベク生乳固有ノ香氣ヲ有シ、特種ノ美味アルモノ。
- 不良ナル牛乳

- 一 青草ノミニテ飼育シタル乳牛ノ乳。
- 二 一—二頭ノ乳牛ヨリ搾集セルモノ。
- 三 青色其他異色ヲ呈スルモノ、一部凝固シテ水分ノ分離セルモノ。
- 四 異臭ヲ有シ又ハ變味セルモノ。

圖四二六 人工榮養トハ何ゾ

- (一) 四二七〇間ノ場合ニ必要ナルモノニシテ、
- (二) 四二七二間ノ如キ種類アリ。

圖四二七 母乳以外ニ由ル乳兒榮養法

〔解〕 牛乳其他ノ榮養法ノ他ニ乳母乳ヲ含ム。

圖四二八 異常ナル新産兒榮養法ニ就イテ

〔解〕 異常新産兒ノ榮養法ニアラズ、新産兒ノ異常榮養法即チ人工榮養法ト解スベシ。

圖四二九 人工榮養ノ注意事項

- (一) 適當ナル良品ヲ選擇スルコト。
 - (二) 稀釋、砂糖其他ノ補充品ノ添加ニ注意スルコト。
 - (三) 一回量及一日量、授乳時間ニ注意スルコト。
 - (四) 消毒ニ注意スルコト。
- 〔注意ノ必要ナル理由〕 消化不良、榮養障礙等ヲ來ス虞アルヲ以テナリ。

圖四三〇 人工榮養トシテ牛乳使用法

- (一) 人工榮養ノ注意事項ヲ守ルコト。(前同)
- (二) 牛乳授乳法ニ從フ事(四二七六間)

圖四三一 人工榮養兒ニ對スル看護法

〔解〕 人工榮養ノ方法ノ他ニ、嘔吐、糞便等ニ對スル看護上ノ注意が必要ナル。

圖四三二 新産兒人工榮養ノ優劣

- 一 優點
 - (一) 母乳ノ障礙禁忌ノ場合ノ代用トナル。
 - (二) 職業婦人等ノ場合ニ便。
- 二 劣點
 - (一) 四二七三間ノ下段

圖四三三 人乳ト牛乳トノ相違點ヲ記セ

- (一) 成分ノ相違(四二七五間)
- (二) 優劣ノ相違(四二七六間)

圖四三六 生後一週間以内ノ人工榮養法

生後	稀釋度	一回量	一日量	一日回数
一日	稀キ砂糖湯	一—三茶匙	五〇—一〇〇瓦	
二日			三〇瓦	一〇〇—二〇〇瓦
三日			四〇瓦	二〇〇—三〇〇瓦
四日			五〇瓦	三〇〇—四〇〇瓦
五日	1/3 乳		六〇瓦	三—四回
六日			七〇瓦	
七日				

圖四三七 生後一ヶ月ノ授乳量、回数及稀釋度、砂糖ノ補給ハ如何

一日全量七〇〇瓦、一回一三〇瓦、六—七回、1/3 乳、砂糖五%

圖四三八 生後二ヶ月ノ授乳量、回数、稀釋度及砂糖ノ補給ハ何ノ位カ

一日全量八〇〇瓦、一回一四〇瓦、六—七回、1/2 乳、砂糖五%

第四章 新産兒取扱法

圖四三九 生後五ヶ月ノ人工榮養法ヲ詳記セヨ

2/3 乳、一日全量一〇〇〇瓦、一日五—六回、一回量一七〇瓦、砂糖五%、重湯ヲ以テ稀釋シ、果汁一日二〇—三〇瓦添加。

圖四四〇 煉乳ノ乳兒ニ及ボス利害

一 缺點

- (一) ヲイタミン不足ノ場合アリ。
- (二) 蔗糖多キニ過グルガタメ適當ノ甘味ニ稀釋スレバ榮養價減少ス。
- (三) 所謂無糖煉乳ハ開罐後早ク腐敗シ、爲ニ乳兒ヲ害スル事アリ。

二 優點

- (一) 優良生牛乳ヲ得ガタキ場合ノ重要ナル代用品トナル。
- (二) 隨時隨所ニ用ユルニ便。

圖四四一 加熱牛乳ノ乳兒ニ及ボス利害

〔解〕 利ハ消毒、害ハウイタミン缺乏。

圖四四二 牛乳ノ「ウイタミン」ヲ損失セシメザル消毒法

- (1) 特別生牛乳ヲ最良トシ、
- (2) 低温消毒法之ニ次グ、
- (3) 短時間煮沸法最モ不完全ナリ。

圖四二五 煉乳ノ種類ヲ問フ○

〔解〕 四二五問ノ二ノ(一)

(丙) 混合榮養法

圖四二四 乳兒ノ混合榮養法◎

(一) 人乳不足ノ場合ニ於テ人工榮養品(通常牛乳)ヲ以テ其不足ヲ補フ法ヲイフ。

(二) (1) 人乳授乳後毎ニ補フ法、ト

(2) 一日中或ル回数丈ケ人乳ニ代ラシムル法トアリ。

第五集 異常妊娠

圖五二 異常妊娠ノ定義○

- (1) 卵子ガ子宮以外ノ場所ニ宿ルカ、
- (2) 卵子ニ異常状態ヲ伴フカ、
- (3) 母體ニ著シキ障礙ヲ來ス妊娠ヲ云フ。

圖五三 妊娠中ニ起リ易キ疾病ニ就イテ◎

〔解〕 本問ハ「妊娠中ニ起リ得ル重要ナル疾病ヲ擧ゲ、其各ノ症状處置ヲ簡單ニ説明セヨ」ト云フ問題ノ氣持ヲ答フルカヨイ。

重要ナ疾病ノ名稱ハ次ノ様ナモノデアル。

一 胎兒附屬物ノ異常

- (1) 胎狀鬼胎 (2) 前置胎盤 (3) 常位胎盤早期剝離
- (4) 羊水過多症 (5) 羊水過少症

二 胎兒ノ異常

- (1) 胎兒死亡 (2) 妊娠中絶 (3) 子宮外妊娠

三 母體性器異常

- (1) 懸垂腹 (2) 妊娠子宮後轉症 (3) 妊娠子宮下垂、脱
- (4) 妊婦ノ淋疾、梅毒 (5) 妊娠中ノ出血

四 母體全身異常

第一章 卵膜ノ異常

(一) 妊娠ニ由ル全身異常：(1) 惡阻 (2) 子細

(3) 妊娠腎 (4) 妊娠浮腫 (5) 靜脈瘤

(二) 妊婦偶發病：(1) 肺結核 (2) 蟲様突起炎

(3) 脚氣 (4) 慢性腎炎 (5) 腎孟炎

圖五三 妊婦診察ニ際シ醫ノ診察ヲ求ムベキ異常ヲ列記セヨ○

〔解〕 前問ノ答ト同ジ、只名稱ノミヲ列記スレバヨイ。

圖五四 異常妊娠ノ診斷及處置○

診斷 (各症候ヲ考察シテ診斷ス)

一 問診

(一) 腹部緊張、壓重、疼痛……………(妊娠中絶、内出血)

(二) 違和、倦怠、惡心、食慾不振……………(胎兒死亡、惡阻等)

(三) 排便、排尿障礙……………(妊娠子宮後轉症等)

二 外診

(一) 體溫、脈搏、呼吸ノ異常……………(全身病ノ合併等)

(二) 浮腫、減尿……………(妊娠腎、腎炎、脚氣等)

(三) 瘰癧……………(子癩等)

(四) 子宮ノ膨大異常(胎狀鬼胎、双胎、羊水過多症、羊水過少症)

第一編 胎兒附屬物ノ異常

- (五) 胎兒ノ大小・形態・位置ノ異常 (發育異常、畸形、位置異常)
- (六) 胎兒心音、胎動ノ消失 (胎兒死亡)
- (七) 骨盤ノ異常 (廣骨盤、狹骨盤)

三内診

- (一) 膈分泌異常 (淋疾等)
- (二) 出血 (流産、鬼胎流産、子宮外妊娠中絶、前置胎盤、常位胎盤早期剝離、筋腫、癌腫等)

處置 (各症候ニ應ジテ處置ス)

- 一 醫師依頼 (外來、往診、入院)
- 二 救急處置 (出血、痙攣其他ノ危険ニ對シ)
- 三 醫療介助 (子宮洗滌、注射、産科手術、其他ノ介助)

第一編 胎兒附屬物ノ異常

第一章 卵膜ノ異常

圖五五 卵膜ノ異常ニ就イテ

- (甲) 妊娠中
 - 一 胞狀鬼胎 (マ六問)
 - 二 肉狀鬼胎、血狀鬼胎 (マ三問)
- (乙) 分娩中 (マ三問)

圖五六 胞狀鬼胎(葡萄狀鬼胎)ニ就イテ

- 一 意義 (マ七問)
- 二 原因 (マ二問)
- 三 症候 (マ三問)
- 四 危險 (マ二問)
- 五 診斷 (マ二問)
- 六 處置 (マ二問)

圖五七 胞狀鬼胎ノ意義

絨毛膜ノ絨毛ガ大小不同無數ノ囊胞ニ變ジ、其ノ内ニ無色ノ液體ヲ含ミ、之ガ相連リテ葡萄ノ房ノ如キ狀ヲ呈スルニ至リタルモノヲ胞狀鬼胎ト稱ス。

圖五八 葡萄狀鬼胎トハ如何

[解] 前問ト同ジ。

圖五九 胞狀毛ーレーヲ説明セヨ

[解] 前問ト同ジ。

圖五〇 胞狀鬼胎ノ定義

絨毛膜絨毛ガ無數ノ囊胞ニ變ジ通常胎兒ノ痕跡ヲモ留メザル異常妊娠ヲ云フ。

圖五一 二胞狀鬼胎ノ原因

一 原因 (不明)

- (1) 卵巢ノ異常 (ヨリ來ルト云フ)
- (2) 子宮内膜ノ異常

圖五二 三胞狀鬼胎ノ症狀

一 子宮ノ發育迅速ナル爲、子宮底ノ高サハ妊娠月數ニ比シテ甚ダ高キヲ常トス。

子宮急劇增大ノ結果、正常妊娠ニ來ルベキ壓迫障礙強シ、例ヘバ……下腹部ニ緊滿、壓重又ハ疼痛ヲ訴フ。

二 妊娠ノ初期ニ於テ、屢々漿液血性ノ帶下ヲ出シ、又ハ不正出血ヲ反復シ、通常妊娠三―四ヶ月ノ頃ニ多量ノ出血ト共ニ胞狀囊胞ノ流産ヲ起ス。

出血ノ結果、貧血、疲勞、衰弱ヲ起シ、遂ニ死亡スルコトアリ。

三 胎兒ノ痕跡ナキ爲メ、子宮ノ大サハ妊娠五ヶ月以上ニ達スルモ、子宮ノ硬度一樣ニシテ、緊張スルモ波動ナク、胎兒生活現象ヲ呈セズ。

第一章 卵膜ノ異常

即チ胎兒部分、胎兒心音、胎動ヲ認メ得ズ。

四 絨毛ヨリ生ズル妊娠毒ノ爲メ、惡阻症狀モ強ク、又屢々腎障礙ヲ併發シテ、其結果、蛋白尿、減尿、浮腫ヲ來シ易シ。

圖五三 胞狀鬼胎ノ經過

[解] 經過モ症狀モ大體ニ於テ同ジ、只經過ハ時ト共ニ變ズル狀態デアル。經過ニハ豫後ヲ加フルモ宜シ。

圖五四 胞狀鬼胎ニ疑ハシキ徵候

[解] マ三問ノ症狀ヲ記セバヨイ。

圖五五 胞狀鬼胎ノ危險

一 外出血(時ニ内出血)ノ爲メ急性貧血ニヨリ、時ニ死亡スルコトアリ。

二 持續出血ニヨリ漸進スル貧血ト衰弱ノ極、遂ニ死亡スルコトアリ。

三 破壞性胞狀鬼胎ハ内出血又ハ腹膜炎ニテ死亡ス。

四 絨毛上皮腫ヲ後發シ、出血及ビ轉移ノタメ死亡ス。

圖五六 胞狀鬼胎ノ豫後

第一編 胎兒附屬物ノ異常

〔解〕 母體ノ豫後ハ考ニ五問
胎兒ノ豫後ハ疾クニ死亡ス

圖五二七 胞狀鬼胎ノ診斷

- 一 前記ノ「四症狀」ヲ呈シ……(考三問)
- 二 妊娠ノ徵候、例ヘバ月經閉止、惡阻等ヲ認ム、
- 三 葡萄狀ノ囊胞ヲ認メ得タル時ハ、診斷最モ確實ナリ。

胞狀鬼胎類症鑑別表

	胞狀鬼胎	羊水過多症	雙胎(羊水正常)
(一) 腹部ノ異常膨大	前半期	主ニ後半期(急性ハ前期)	主ニ後半期
(二) 不正出血	有(囊胞ヲ混ズ)	無シ	無シ
(三) 波動	無シ	著明	普通
(四) 胎兒心音胎兒部分	認メズ	認メ難シ	二兒ニ相當

圖五二八 胞狀鬼胎ト正常妊娠トノ鑑別

〔解〕 胞狀鬼胎ノ症狀考ニ三問ノ各項ト對比シテ正常妊娠ノ經過ヲ記セバヨイ。

圖五二九 胞狀鬼胎ト流産切迫トノ鑑別

〔解〕 考ニ三問ノ表ヲ參照シ、(一)異常膨大無シ、(二)囊胞ナシ(三)壓迫障礙・妊娠障礙ガ通常強クナシト記セバヨイ。

圖五三〇 胞狀鬼胎ノ處置取扱法

- 甲 醫師ノ診察ヲ乞ハシムル事。
- 乙 大出血ニ對スル救急處置。
- 一 止血ノ處置

(一) 絶對安靜ヲ命ジ、下腹部ニ氷巻法ヲ貼ジ、
(二) 低溫又ハ高溫腫洗滌ヲ行ヒ、腫ニ強硬タンポンヲ施スベシ。

(三) 出血甚シキ時ハ子宮底ヲ摩擦シテ子宮ノ收縮ヲ促シ鬼胎ノ排出ヲ試ムベシ。

ニ急性貧血ニ對スル處置……(考四問)
三時ニチンチ、オームヲ後發スル處アルヲ以テ注意スベシ。

圖五三一 胞狀鬼胎ノ分娩時及分娩後ノ注意事項

項

〔問〕 分娩時ハ出血貧血、後ハ絨毛上皮腫ノ發生ヲ注意ス。

圖五三二 絨毛上皮腫ニ就イテ

一定義

絨毛上皮腫(ジンチ、オーム)トハ、絨毛ノ上皮細胞ガ盛ニ増殖シテ生ジタル惡性腫瘍ヲ云フ。

二症狀

子宮粘膜炎ノ原發腫瘍及ビ腫・肝・肺・腦等ノ轉移ヨリ出血シ、肺轉移ハ肺結核ノ喀血ト誤マラレ、腦出血ハ一般ノ腦卒中ト認メラル、コトアリ。

三處置

絨毛上皮腫ノ多ク(六割半)ハ胞狀鬼胎ノ後ニ發生シ、又胞狀鬼胎ノ約一割ニ絨毛上皮腫ヲ後發スルヲ以テ、胞狀鬼胎分娩後ノ六ヶ月間ハ不正出血ノ有無ニ注意シ、若シソレヲ認メタル時ハ速ヤカニ醫師ノ診察ヲ乞ハシメザルベカラズ。

圖五三三 血狀鬼胎及肉狀鬼胎ニ就イテ

一成 因

妊娠ノ初期ニ於テ、外傷其ノ他ノ原因ニヨリ、卵膜ノ剝離セル部ニ出血ヲ來シ、胎芽又ハ胎兒ハ死亡スルモ直チニ排出セラレザルトキハ、子宮内容ハ一塊ノ凝血ト變ジ、胎芽又ハ胎兒ハ吸收セラレテ其痕跡ヲ留メズ、只此凝血ノ中央ニ小羊膜腔ノミヲ見ルニ至ル。此ノ如キ凝血ヲ血狀鬼胎(血胎)ト云フ。

第二章 胎盤ノ異常

此ノ凝血ハ後ニ褐色シテ肉塊ノ如クニ變化スルコトアリ之ヲ肉狀鬼胎(肉胎)ト稱ス。

二症狀

(一) 一定ノ大サ(妊娠二、三ヶ月ノ大サ)以上ニハ發育スルコトナク。

(二) 通常其體デ、永キハ一年餘モ子宮内ニ殘留シ、遂ニ出血ト共ニ流産ス。

圖五三四 鬼胎ニ就イテ

〔解〕 鬼胎ト云ヘバ狭ク胞狀鬼胎ヲ指ス場合モアルガ、廣ク解スレバ血狀鬼胎・肉狀鬼胎ヲモ含ム故其積リニテ答フルガヨイ。

第二章 胎盤ノ異常

圖五三五 前置胎盤ニ就イテ知ル處ヲ記セ

一定義……(考六問)

二種類……(考七問)

三症狀……(考三問)

四危害、影響……(考三問)

五診斷……(考三問)

六處置……(考三問)

圖五ノ六 前置胎盤ノ定義
子宮内口ノ完全ニ開大シタル時、其處ニ胎盤組織ヲ觸レ得ル場合之ヲ「前置胎盤」ト稱ス。

圖五ノ七 前置胎盤ノ種類

(一) 中央前置胎盤 (全前置胎盤)
子宮内口全開大ノ時ニ於テモ、尙ホ子宮口ノ全部ガ胎盤ヲ以テ蓋ハル、ライフ。

(二) 偏在前置胎盤

子宮内口全開大シタル時、子宮口ノ一部分ニ胎盤組織ヲ觸レ、他部ニハ恰モ弦月形ノ卵膜ヲ觸レ得ルモノヲイフ。

(三) 邊緣前置胎盤

子宮内口全開大シタル時、其内口縁ノ一部ニ於テ胎盤ノ邊緣ノミヲ觸レ、其他ノ部ニ悉ク卵膜ヲ觸レ得ルモノヲイフ。

圖五ノ六 前置胎盤トハ何ゾ

一 説明

胎盤ハ通常子宮體ノ上部前壁又ハ後壁ニ附着シ、其下縁ハ子宮内口ヨリモ上方四—五釐以上ニアルベキ管ナルニ、

若シソレヨリ下方ニ附着シテ、子宮内口ノ完全ニ開大シタル時、其處ニ胎盤組織 (邊緣或ハ其以外ノ部分) ヲ觸レ得ル場合之ヲ「前置胎盤」ト稱ス。

二 頻度

約五〇〇回ノ分娩ニ一回 (病院ニテハ二〇〇回ニ一回) 經産婦ニ多シ。

圖五ノ九 前置胎盤ノ原因

- (一) 例ヘベ子宮内膜炎等ニ由リ、受精卵ガ子宮内膜ノ下方ニ着床シタル爲メ。
- (二) 受精卵ガ未ダ着床ニ適スルマデ發育セザル内ニ子宮體腔ハ到着シタル場合。
- (三) 胎盤ガ膜狀ニ發育シタル時。

圖五ノ三 前置胎盤ノ出血ニツイテ

一 出血……(五三問)

二 創傷傳染 胎盤剝離後ノ創面ガ外方ニ近クアルタメ傳染ノ危険多シ。

三 胎位異常 骨盤位其他ノ胎位異常ヲ起シ易シ、胎兒下向部ノ骨盤内嵌入ガ妨ゲラル。

四 早期呼吸 胎盤剝離ノタメ胎兒ハ早期呼吸ヲ起シ、假死ニ陥リ又ハ死亡スルコト少カラズ。

五 其他 診斷(五三問)ノ一ヲ追記

圖五ノ三 前置胎盤ノ出血ニツイテ

(一) 出血ノ理由

妊娠末期ハ子宮下部延長ノ爲メ、分娩時ハ子宮口開大ノ爲メニ、胎盤ノ早期剝離ヲ起シ、此剝離部ノ血管ヨリ出血ス。

(二) 出血ノ誘因

認ムベキ外部ノ誘因ナクシテ來ル。
(三) 時ト量

(七) 其他 診斷(五三問)ノ二(二)ヲ追記。

(3) 偏在又ハ邊緣前置胎盤ニ於テハ、破水ノタメ出血ヲ減ズルコトアリ。

(2) 分娩中胎兒部分ニヨリ壓迫セラレテ止血スルコトアリ。

(1) 妊娠中一時自然ニ止血シテ後日再ビ出血スルコトアリ。

(五) 止血ノコト

(3) 貧血ノ爲メニ微弱陣痛ヲ來スコトアリ。

(2) 貧血ノ爲メ早産ヲ起スコトアリ。

(1) 出血最モ甚ダシキ時ハ亡血死ヲ來スコトアリ。

(四) 出血ノ影響

(3) 邊緣前置胎盤出血 (少量) 分娩時 十ヶ月

(2) 偏在前置胎盤出血 (中量) 九ヶ月

(1) 中央前置胎盤出血 (最少量) 八ヶ月

圖五三 前置胎盤ニヨル危害影響◎

妊娠時……妊娠中絶
 分娩時……出血……亡血死
 母體……微弱陣痛……發熱
 產褥時……創傷傳染
 子宮復故不全
 妊娠中絶……發育不完全ニヨル危害
 胎兒……胎位異常……其タメノ危害
 早期呼吸……假死死亡

圖五三 前置胎盤ノ診斷◎

妊娠後半期ノ子宮出血ハ、恐ラク前置胎盤カ常位胎盤早期判離ナラントシ、更ニ之ヲ鑑別スベシ。
 一 外診ト内診
 (一) 胎盤ノ前置
 外診……恥骨結合直上部ニ於テ、子宮壁ト胎兒下向部トノ間ニ、椅褥ノ如キ胎盤ヲ觸ル。

内診

- (1) 子宮口開大ノ時。子宮口ノ内ニ於テ、海綿ノ如キ胎盤ヲ直接ニ觸ル。
 - (2) 子宮口未開ノ時。腔内蓋ニ於テ、頸管壁ト下向部トノ間ニ、椅褥ノ如キ胎盤ヲ間接ニ觸ル。
- 二 出血
- (一) 認ムベキ原因ナク、突然出血ス。
 - (二) 陣痛發作時ニ強ク、(間歇時ハ少、又ハ無)
 - (三) 破水後一時止血スルヲ例トス。
- 三 後産
- (一) 卵膜ノ裂孔ハ胎盤ノ邊緣ニ接近シテ存在
 - (二) 此裂孔ニ近ク母體面ニ凝血ヲ附着ス。
- 圖五三 前置胎盤ノ處置◎
- (一) 速カニ醫師ノ來診ヲ乞フベシ、寧ロ入院ヲ可トス
 - (二) 大出血ニ對スル救急處置。

圖五四 前置胎盤ノ分娩ニ及ボス影響◎

母體
 (一) 出血ノタメ亡血死
 (二) 貧血ノタメ微弱陣痛ノ發熱
 胎兒
 (一) 胎位異常ノ分娩通過障礙
 (二) 早期呼吸ノ假死、死亡

一 止血法

- (一) 絶對安靜ヲ命ジ、腹壓ヲ禁ジ、下腹部ニ氷罨法ヲ施スベシ。
- (二) 低溫又ハ高溫鹽洗滌ヲ行ヒ、腔ニ強填タンポン法ヲ施スベシ。
- (三) 偏在又ハ邊緣前置胎盤ニシテ、子宮口五種以上開大セル時ハ、人工破水法ニヨリ、卵膜ノ緊張ヲ去リ以テ止血セシム。
- (四) 骨盤位ニシテ、胎兒ノ足ヲ捉ヘテ容易ニ引キ出シ得ル時ハ、一足ヲ牽引シテ不全位トナシ、兒ノ臀部ニテ胎盤ヲ壓迫シ以テ止血セシム。

二 急性貧血ノ處置……(ウツカ問)

三 消毒ニ注意スベシ。

圖五三 前置胎盤ノ妊娠及產褥トノ關係◎

- (一) 妊娠 妊娠中絶
- (二) 產褥 創傷傳染、子宮復故不全

圖五三 前置胎盤ノ分娩時障礙◎

〔解〕 五三問ト同ジ。

圖五三 前置胎盤ノ分娩經過◎

- 〔解〕
- (1) 分娩中出血ヲ來スコト、其出血トノ關係
 - (2) 出血ノ影響
 - (3) 止血ノ關係及弛緩出血
 - (4) 胎位異常及早期呼吸ニツイテ記セバヨイ。

圖五四 前置胎盤ノ各種類ト分娩トノ關係◎

- 〔解〕
- (1) 各種類ニヨリ出血ノ量從ツテ母兒危險ノ程度異ナルコトヲ述ベ……(五三問、五三問ノ(三))
 - (2) 偏在及邊緣前置胎盤ニテハ往々早期破水ノ胎盤脫出ヲ起スコト等ヲ述フベシ

圖五四 前置胎盤ハ何故出血ヲ來スヤ◎

〔解〕 五三問ノ(一)

第一編 胎兒附屬物ノ異常

圖五四 前置胎盤ハ何故恐ルベキヤ○

〔解〕 三三問ノ危險ヲ記スコト

圖五四 前置胎盤ニ産褥熱ヲ起シ易キ理由○

胎盤剝離ニヨリ生ジタル創傷面ガ、外部ニ近キタメ。

圖五五 前置胎盤ニ死産多キ理由○

胎盤剝離ノタメ又ハ母體貧血ノタメ早期呼吸ヲ起スニヨル。

圖五六 妊卵ノ着牀異常ニヨル異常妊娠ノ種

類及経過○

〔解〕 種類ハ前置胎盤及子宮外妊娠、経過ハ其各々ニツイテ述ブルコト。

圖五七 妊娠中絶ノ誘因トナルベキ胎盤ノ異常ニ就イテ○

〔解〕 前置胎盤、常位胎盤早期剝離ニ就イテ記スコト。

圖五八 妊娠中胎兒生命ニ危害ヲ及ボス胎盤ノ異常ヲ列舉セヨ○

- (1) 前置胎盤、
- (2) 常位胎盤早期剝離、
- (4) 高度ノ白色硬塞
- (4) 大ナル絨毛血管腫。

圖五九 中央前置胎盤ニ就イテ○

〔解〕 三三問ノ(一)、三三問ノ(三)ノ(1)

圖六〇 前置胎盤ノ出血ト臍帶卵膜附着ノ出血トノ差異○

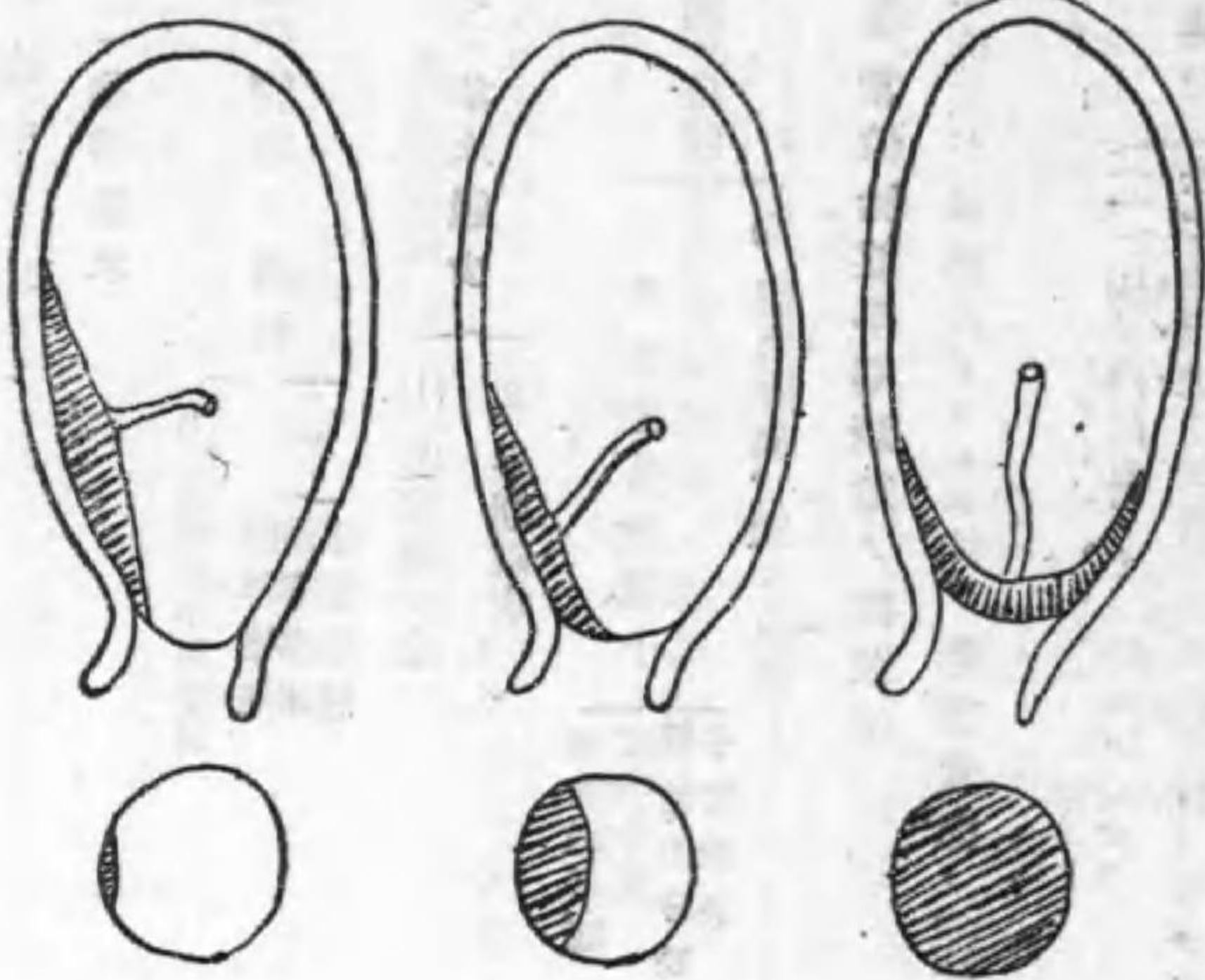
前置胎盤ノ出血	卵膜血管ノ出血
(1) 陣痛發作時ニ強ク間歇時ニ減少	(1) 以上ノ關係ナシ
(2) 破水後ニ減少	(2) 破水後ニ始メテ出血
(3) 母體ニ急性貧血ノ影響アリ	(3) 直チニ胎兒心音ニ影響ス。

圖六一 前置胎盤及比胎盤早期剝離ノ出血ニ就イテ○

〔解〕 三三問及三三問

第二章 胎盤ノ異常

圖五三 前置胎盤ヲ圖示セヨ○



圖五三 常位胎盤早期剝離ニ就イテ○

一 意義

正常位(子宮體前壁又ハ後壁ノ上部)ニ附着シタル胎盤ガ、妊娠中又ハ分娩中胎兒娩出ニ先立チテ、早期ニ剝離シ、以テ異常出血ヲ來スモノヲ云フ。

二 原因……(三三問)

三 症 狀……(三三問)

四 診 斷……(三三問)

五 豫 防 法……(三三問)

六 處 置……(三三問)

圖五三 常位胎盤早期剝離ノ原因○

(甲) 胎盤附着部ノ病的變化

(一) 妊娠腎腎炎

(二) 急性熱病

(三) 子宮內膜炎

(乙) 機械的剝離

第一編 胎兒附屬物ノ異常

- 一 妊娠中
 - 外傷 (打撲・衝突・壓迫・墜落・轉倒・振盪)
- 二分娩中
 - (一) 遲滯破水
 - (1) 產婆ノ不正牽引
 - (2) 臍帶過短
 - (二) 臍帶ノ牽引
 - (1) 產婆ノ不正牽引
 - (2) 臍帶過短
 - (三) 羊水過少
 - (1) 羊水過少症
 - (2) 早期破水
 - (四) 母體
 - (1) 子宮腔急激縮小
 - 羊水過多症
 - 双胎分娩
 - 子宮破裂
 - (2) 過強陣痛、過強腹壓

圖五五 常位胎盤早期剝離ノ症狀

主ナル症狀ハ出血及ビコレニ伴フ急性貧血ノ症狀ナリ。

一 出血ハ

- (一) 獨リ内出血ノ、ミノ時モアレド。
- (二) 内出血ト同時ニ外出血ヲ伴フ事多シ。
- (三) 外出血ノ、ミノコトアリ(遲滯破水)

(鑑別ヲ爲問ノ中、出血ノ項追記)

- 二 内出血ノ徵候：内出血ト共ニ増強ス。
- (一) 腹壁ハ子宮ノ膨大ト共ニ膨大且緊張ス
- (二) 子宮ハ著シク膨大シテ子宮底高ク、子宮壁ハ緊張シ、其胎盤剝離部ニ壓痛ト疼痛ヲ訴フ。
- 『陣痛』ハ微弱トナルカ又ハ停止スルヲ常トス。
- (三) 胎兒部分ハ之ヲ區別シ難ク、或ハ全ク觸レ得ズ。
- 胎兒心音・胎動共ニ通常之ヲ認メ難シ、胎兒ハ多ク死亡ス
- (四) 急性貧血ノ症候トシテ、顔面及ビ全身皮膚ノ蒼白、嘔吐、欠伸、呼吸困難、脈搏頻細等ヲ來ス。
- 第三期弛緩出血ヲ來ス率多シ。

圖五五 常位胎盤早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別

外	前置胎盤	早期剝離
(一) 腹壁膨大・緊張	普通	強
(二) 子宮膨大・緊張	普通	強
(三) 胎盤・心音・胎動	普通	強
(四) 胎盤ノ前置	普通	強
觸知	普通	強
	否	認メ難シ

第二章 胎盤ノ異常

圖五五 常位胎盤早期剝離ノ豫防法

(甲) 妊娠中

- 一 妊娠腎、腎臟炎、急性熱病、ニ際シテハ專ラ安靜ヲ守ラシメ、其輕症ノ間ニ早ク醫治ヲ受ケシムルコト。
- 二 妊娠前ニ子宮内膜炎ヲ完全ニ治療セシメ。
- 三 妊娠中外傷ヲ受ケザル様ニ注意セシムルコト。

圖五五 前置胎盤ト常位胎盤早期剝離トノ症候的鑑別

(解) 五五問表ノ後産ノ項ヲ省ク。

産後	血出	診内
(一) 卵膜裂孔	(一) 原因 (二) 陣痛後 (三) 破水後	(一) 胎盤ノ前置 (二) 下向部嵌入 (三) 胎盤・同蓋部
(二) 母體面ノ凝血	(一) 邊縁接近 (二) 裂孔ニ近接	(一) 觸知 (二) 甚ダ緊粗柔軟
	(一) 通例止血ス (二) 必シモ然ラズ	(一) 否 (二) 否 (三) 否
	(一) 五種以上距 (二) 中央ニ附着	

圖五五 前置胎盤ト常位胎盤早期剝離トノ症候的鑑別

(解) 五五問表ノ後産ノ項ヲ省ク。

圖五五 常位胎盤早期剝離ノ豫防法

- (乙) 分娩中
 - 一 遲延破水ニ際シテハ人工破水法ヲ行ヒ(五五問参照)
 - 二 臍帶ノ違法牽引ヲ避ケ、臍帶經絡ヲ速カニ解除シ、墜落分娩ヲ豫防スル事。
 - 三 羊水過多症ニ際シテハ羊水ノ急激ノ流出ヲ防ギ。
 - 四 過激ノ努責ヲ避ケ、過強陣痛及ビ痙攣陣痛等ヲ豫防スル事。
- 圖五五 常位胎盤早期剝離ノ處置
- (甲) 直チニ醫師ノ來診ヲ乞フカ、寧ロ入院ヲ可トス。
- (乙) 大出血ニ對スル救急ノ處置。
 - 一 止血法
 - (一) 絶對安靜ヲ命ジ、腹壓ヲ禁ジ、胎盤附着部分ニ氷罨法ヲ貼ズベシ。
 - (二) 内出血明カナル時ハ決シテ羅強タンボン法ヲ施スベカラズ。
 - (三) 外出血ノ、甚シキ時ハ人工破水法ヲ行フベシ。(五五問)
 - 二 急性貧血ノ處置：(五五問)
 - 三 第三期弛緩出血ノ豫防ニ注意スベシ。

圖五五五 常位胎盤早期剝離ノ分娩障礙○

- 〔解〕 (一) 通過障礙……微弱陣痛ニヨル障礙
- (二) 其他ノ障礙 (1) 内出血及弛緩出血ニヨル急性貧血 (2) 胎兒ノ假死・死亡。

圖五五六 内出血ニツキ知ル處ヲ記セ○

- 〔解〕 (一) 妊娠中……常位胎盤早期剝離、子宮外妊娠中絶。
- (二) 分娩時……子宮破裂。

圖五五七 胎盤呼吸ノ障礙ヲ來スベキ場合ヲ列

舉セヨ○

〔解〕 五五八問ト同シ

圖五五八 胎盤ノ異常ガ分娩ニ及ボス影響ヲ列

舉シ簡單ニ説明セヨ○

- 〔解〕 (一) 前置胎盤 (1) 出血—母體亡血死、(2) 微弱陣痛、(3) 弛緩出血、(4) 胎兒位置異常ニヨル障礙、(5) 胎兒假死死亡。
- (二) 常位胎盤早期剝離 (1) 母子ノ危險、(2) 微弱陣痛、(3) 弛緩出血。
- (三) 周胎盤ハ 後産剝離困難從ツテ後産期大出血。

圖五五九 副胎盤ニ就イテ○

一定 義

大ナル主胎盤ヨリ分離セル一個又ハ數個ノ小胎盤ヲ云フ。

二 障礙

後産娩出ノ際副胎盤ノミ殘留シ弛緩出血ヲ來スコトアリ。

三 診斷

後産検査ノ際、胎盤ヨリ出デ、卵膜中ヲ走ル血管ガ突然斷斷サレテ其連續不明ナル時ハ副胎盤ノ殘留ヲ疑フベシ。

圖五六〇 胎盤異常ニ就イテ○

一 前置胎盤……(五五八問)

二 常位胎盤早期剝離……(五五八問)

三 胎盤大小異常……羊水過多症・微毒・過熱兒ノ場合ニハ甚ダ大ナルコトアリ。

四 胎盤形狀異常

(一) 重複胎盤……胎盤ガ二個又ハ二個以上ニ分裂シ、其各ノ大小ノ差ガ甚ダシカラザルモノ。

(二) 副胎盤……(五五九問)

(三) 膜樣胎盤……胎盤甚ダ薄クシテ、廣ク膜狀ヲナスモノ。

五 胎盤ノ稽留……(五五八問)

第三章 臍帶ノ異常

圖五六一 妊娠中絶ノ誘因トナルベキ臍帶異常

ニ就イテ○

- (一) 短臍帶ノ強度ノモノハ胎兒運動ノ牽引ニヨリ子宮收縮ヲ起シ妊娠ヲ中絶ス。
- (二) 臍帶眞結節、強度捻轉ハ胎兒死亡ノ結果妊娠中絶ス。

圖五六二 妊娠中胎兒生命ニ危害ヲ及ボス臍帶

ノ異常ヲ列舉セヨ○

眞結節、強度捻轉。

第四章 羊水ノ異常

圖五六三 羊水ノ異常トハ如何○

- 一 羊水過多症……(五六四問)
- 二 羊水過少症……(五六七問)
- 三 羊水性質ノ異常……(五六八問)

第三章 臍帶ノ異常

圖五六四 羊水過多症ニ就イテ○

一定 義……(五六四問)

二 原因……(五六四問)

三 症狀……(五六四問)

四 診斷……(五六四問)

五 處 置……(五六四問)

圖五六五 羊水過多症ノ定義○

羊水ノ量過多(例ヘバ二〇〇〇ml以上)ニシテ、爲メニ妊娠及ビ分娩經過ニ障礙ヲ來スモノヲ云フ。

圖五六六 羊水過多症ノ原因○

一 (胎兒附屬物)

(一) 羊膜ノ炎症……羊水ノ吸收ヲ減ズルタメ。

(二) 胎盤及脫落膜ノ炎症……液ノ滲出増加ノタメ。

(三) 臍靜脈ノ血行障礙……結節又ハ強度ノ捻轉等ノ時

二 (胎兒)

(一) 微毒……臍靜脈、アランチウス氏管、肝臟血管ノ變化

第二編 胎兒附屬物ノ異常

- (一) 心臟又ハボタロ氏管ノ先天變化。
- (二) 畸形…例ヘバ半頭兒、脊椎拔裂。
- (三) 多胎…殊ニ一卵性雙胎ノ時ハ往々「急性羊水過多症」ヲ來ス。

三(母體)

- (一) 血液ノ變化…慢性貧血症等ノ時。
- (二) 血行障礙…心臟、腎臟等ノ疾病。
- (三) 經産婦…ニ多シ。

圖五七 羊水過多症ノ妊娠經過

妊娠中ノ症狀ハ、通常妊娠後半期ニ於テ著明。

- 一 壓迫症狀
 - (一) 下肢・外陰等ノ浮腫ハ正常妊娠ヨリ著シ。
 - (二) 右場所ニ靜脈管ノ怒張又ハ靜脈瘤ヲ來ス。
 - (三) 膀胱・直腸ノ壓迫ニヨリ排尿障礙・便秘ヲ來ス。
 - (四) 橫隔膜壓迫ノ爲ニ胸内苦悶呼吸促進ヲ來ス。
- 二 胎位胎勢ノ異常

胎兒ハ多量ノ羊水中ニ於テ移動シ易キガ故ニ、胎位胎勢ノ異常…例ヘバ骨盤位等ヲ起シ易シ。又下部ハ骨盤入口ニ嵌入シ難シ。

三 妊娠中絶

少クモ二三週早ク分娩ス。急性羊水過多症ニアリテハ流産ヲ來ス。

四 其他診斷ノ諸項追記…(五七三問)

圖五七 羊水過多症ノ障礙

(甲) 妊娠中ノ障礙…(五七三問)

(乙) 分娩中ノ障礙

- 一 第一期ヨリ既ニ微弱陣痛ヲ來シ。陣痛普通以上ナレバ下部嵌入障礙ノ爲早期破水ヲ起シ易シ。
- (一) 胎盤早期剝離…
- 二 破水後…(二) 臍帶脫出…ヲ來シ易シ。
- (三) 胎位胎勢ノ異常…
- 三 第三期ニ於テ弛緩出血ノ虞アリ。

(丙) 産褥中ノ障礙

子宮復故不全從ツテ産褥中ノ異常出血ヲ來スコトアリ。

圖五七 羊水過多症ノ診斷

- 一 腹部ハ妊娠月數ニ比シテ著シク大キク、形ハ球狀ヲナシ、其ノ壁ハ緊張シテ光澤アリ。
- 二 子宮モ妊娠月數ニ比シテ著シク大キク、形モ球狀ヲナシ、其ノ壁亦緊張ス。
- 三 羊水ノ波動ヲ明カニ認メ得ルコト多シ。
- 四 胎兒

(一) 胎兒諸部分ヲ觸知シ難ク、假令コレヲ觸知スルモ各部分ヲ區別シ難ク、又極メテ移動シ易シ。

(二) 胎兒下部ハ妊娠末期若シクハ分娩開始後ニ於テモ骨盤入口ニ固定シ難シ。

(三) 胎兒心音モ聽取シ難ク或ハ全く聽取シ得ズ。

五 壓迫症狀ヲ認ム…(五七三問ノ)

第四章 羊水ノ異常

圖五七 羊水過多症ト類症トノ鑑別

一 胞狀鬼胎、双胎妊娠トノ鑑別…(五七三問ノ表)

(一) 膨隆上縁ト心高部トノ界	認ム	認ム	認メズ	認メズ
(二) 波動	有	有	有	無
(三) 妊娠徵候	有	無	無	無
(四) 内診上非妊娠子宮	觸知セズ	觸知ス	觸知ス	觸知ス

三 過熟胎兒(子宮壁緊張セズ、波動著明ナラズ、兒頭過大)

圖五七 羊水過多症ノ處置

(甲) 醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

(乙) 産婆ノ注意

妊娠中

一 適度ノ腹帯ニヨリテ輕キ壓迫ヲ加ヘ、

ニ胎位異常ナキヤニ就キ注意シ、
 三妊娠末期ニハ中絶豫防ノタメ安靜ナラシムベシ。
 分娩中

一第一期ヨリ、既ニ陣痛ニ注意シ、
 早期破水ノ起ラザル様ニ産婦ヲ安靜ニ横臥セシメ
 腹壓ヲ禁ズベシ。
 二破水後ハ、胎盤早期剝離、臍帶脫出、胎位異常等ヲ豫
 防センガタメ羊水ノ流出ヲ急激ナラシメザル
 様ニ計ルベシ。
 三第三期ニハ、弛緩出血ニ對スル注意ト其應急ノ準備ト
 フナスベシ。

圖五七五 羊水過少症ニ就イテ記セ○
 一障礙

妊娠中
 (一) 羊膜ト胎兒皮膚トガ癒着シテ胎兒ニ種々ノ
 畸形ヲ起ス。
 (二) 臍帶等ヲ壓迫シテ胎兒發育障礙又ハ死亡ヲ
 來ス。

分娩時
 (一) 卵胞ノ形成不十分ノ爲、産道開大遲延。
 (二) 往々胎盤早期剝離ヲ來ス。

ニ診斷
 (一) 腹部及子宮ノ大サハ、妊娠月數ニ比シテ甚ダ小ナ
 ルコト。
 (二) 胎兒ノ移動性不十分ナルコト。
 三處置
 (甲) 醫師ニ診療ヲ乞ハシムベシ。
 (乙) 胎盤早期剝離ニ對シテハ、其ノ處置ヲ施スベシ。
 (五七六問)

圖五七六 羊水ノ異常ニヨル妊娠異常ニ就イテ○
 (一) 羊水過多症……(五七六問)
 (二) 羊水過少症……(五七六問)

圖五七六 羊水ノ異常ニヨル異狀妊娠及其分娩
 産褥ニ及ボス影響○
 (解) 羊水過多症ト羊水過少症トニツアル旨ヲ述ベ。

(一) 前者ノ影響ハ(五七五問)
 (二) 後者ノ影響ハ(五七六問)ノ胎盤早期剝離ニヨル出血
 ノ結果産褥ニハ子宮復故不全ヲ來スコトアリ。
 圖五七五 羊水ノ多少ハ妊娠分娩ニ如何ナル影
 響ヲ及ボスヤ○
 (解) (五七五問)ノ甲乙、(五七六問)ノ

圖五七六 妊婦ニテ外診ノ困難ナル場合ヲ問フ○

(解) 此ノ外診ハ主トシテ腹部ノ外診ト見做シテヨイ。
 (一) 腹壁ノ肥厚緊張・子宮壁ノ收縮・子宮筋腫。
 (二) 羊水過多症。
 (三) 胎兒死亡。

圖五七八 羊水過多症ノ母體ニ及ボス影響○

(解) 一妊娠中
 (一) 壓迫症狀、(二) 妊娠中絶。
 二分娩時
 (一) 微弱陣痛、早期破水、(二) 胎盤早期剝離、
 (三) 弛緩出血。
 三産褥時
 子宮復故不全
 第四章 羊水ノ異常

圖五八二 羊水過多症ノ胎兒ニ及ボス影響○

(解) 一妊娠中
 (一) 胎位胎勢ノ異常、(二) 妊娠中絶ニヨル胎兒ノ障礙。
 二分娩時
 (一) 微弱陣痛、早期破水又ハ胎盤早期剝離ニヨル胎兒
 ノ假死死亡。
 (二) 臍帶脫出、胎位胎勢ノ異常。

圖五八三 急性羊水過多症ト鑑別スベキモノヲ
 擧ゲヨ○

(解) (1) 胞狀鬼胎、(2) 多胎妊娠。
 圖五八四 羊膜水腫ヲ説明セヨ○
 (解) 羊水過多症ノ定義ノ他ニ症狀ヲ極メテ簡單ニ附記スレバ
 ヨイ。

圖五八五 羊水過多症ノ種類○

(一) 羊水過多症(慢性羊水過多症)
 (二) 急性羊水過多症。
 圖五八六 急性羊水過多症ノ症狀○
 (解) (五七五問)ノ壓迫症狀ガ急激ニシテ、子宮增大急速、屢々
 流産ヲ起ス。

圖五、七 妊娠子宮力過度ニ膨大スル疾病○

〔解〕 羊水過多症、胎狀鬼胎、胎盤早期剝離ニヨル内出血、過熟兒ヤ双胎ハ異常デハアルガ疾病ニハ相當シナイ

圖五、八 膝肘位ヲ簡單ニ説明セヨ○

膝及肘ヲ牀上ニツキタル仰仰ノ位置。羊水過多症ノ際ニ此位置ヲ取ラシメ、胎兒部分及胎兒心音ノ診察ニ便ナラシム。

圖五、九 妊娠後半期ニ於ケル羊膜水腫ト他ノモノトノ鑑別○

〔解〕 (1) 双胎、(2) 卵巣囊腫、(3) 腹水、(4) 鼓腸、(5) 過熟兒、(五七四問)、(五七五問)

圖五、一〇 羊水過少症ノ胎兒ニ及ボス影響○

〔解〕 (五七六問)ノ妊娠時障礙ヲ記ス。

圖五、一一 羊水過少症ノ母體ニ及ボス影響○

〔解〕 (五七六問)ノ分娩時障礙ヲ記ス。

圖五、一二 妊娠子宮ノ異常増大及過小ヲ列擧シ其鑑別ヲ記セ○

〔解〕

- (一) 異常増大ハ (1) 過熟兒、(2) 多胎妊娠
- (3) 羊水過多症、(4) 胎狀鬼胎。
- 鑑別ハ五七四問、五七五問ノ三
- (二) 過小ハ (1) 胎兒發育不良、(2) 羊水過少症、(3) 胎兒死亡。

兒心音・胎動	有	發育不良	羊水過少症	胎兒死亡
兒體見頭ノ大サ	小	有	觸知容易、	無
胎兒移動性	普通	少	觸知困難	小、觸知困難
				不明

圖五、一三 羊水過多症ノ症狀○

〔解〕 障礙(五七三問)ノ他ニ診斷(五七三)ノ所見ヲ附記スルヲ宜シトス。

圖五、一四 羊膜水腫ト懸垂腹ヲ説明セヨ○

羊水過多症ノ爲メ子宮ガ異常ニ増大スルトキハ、前腹壁ヲ強ク膨出セシメ、腹壁ハ漸次ニ前下方ニ懸垂スルニ至ル、之ヲ懸垂腹ト稱ス。

圖五、一五 羊水過多症ノ豫後○

(一) 母體

圖五、一六 妊娠中ノ胎兒死亡ニ就イテ○

- 一 原因……………(五七九問)
- 二 症狀……………(一三三三問)
- 三 死亡後ノ經過……………(五九六問)
- 四 死亡胎兒ノ變狀……………(五九六問)
- 五 處置……………(五九七問)

圖五、一七 妊娠中胎兒死亡ノ原因○

一 胎兒附屬物ニ關スル原因

- (1) 微弱陣痛ノ爲メ分娩遷延スル時ハ産褥時發熱ヲ來ス。
 - (2) 弛緩出血ノ爲メ豫後不良ナルコトアリ。
 - (3) 産褥時ニ子宮復故不全ヲ來スコトアリ。
- (一) 胎兒
- 微弱陣痛、早期破水、胎盤早期剝離、臍帶脫出、胎位胎勢異常等ヲ伴ヒタル時ハ豫後不良ナリ。

第二編 胎兒ノ異狀

第一章 妊娠中ノ胎兒死亡

二 胎兒ニ關スル原因

- (一) 發育異常……………強度ノ畸形
- (二) 胎内傳染……………微毒・結核・痘瘡等
- 三 母體ニ關スル原因
- (一) 子宮疾患……………筋層内膜炎等
- 重キ熱性疾患……………腸チフス等
- 重キ血行障礙……………(心臟病、脚氣、腎臓炎)
- 重キ呼吸器病……………肺炎等
- (二) 全身疾患
- 重キ一般疾患……………瀕死
- 重キ中毒症……………藥物、食餌中毒、妊娠中毒

圖五、一八 胎兒死亡後ノ妊娠經過○

一 胎兒死亡スル時ハ通常數日後ニ自然ニ娩出セラル。

ニ數週又ハ數ヶ月間子宮内ニ留ル時ハ、次問ノ何レカノ變化ヲ來ス。

圖五九 死亡胎兒ノ運命

- (一) 融解吸收：胎芽又ハ極メテ小ナル胎兒ノ死亡シタル時ハ、融解呼吸セラレテ其形態ヲ留メズ。
- (二) 浸軟：考二〇〇問（子宮外妊娠ニテハ石兒）腐敗：腐敗菌ノ傳染ニヨリテ起リ、腐敗臭ヲ發シ、母體ニ危険ヲ來ス。
- (三) ミイラ化：浸軟ト反對ニ水分ヲ失ヒテ、萎縮乾燥ス。就中双胎ノ一死亡兒ガ、他ノ生活兒ノタメニ壓迫セラレバ「紙狀胎兒」トナル（考二〇〇問）
- (四) 骨格化：浸軟後軟部ノミガ徐々ニ呼吸セラレテ骨格ノミトナル。

圖五〇 浸軟胎兒ニツキテ

一 説明

稍大ナル死胎兒（主ニ微毒兒）ガ永ク羊水中ニアル時……

- (1) 羊水ノ浸潤ニヨリ軟化腫脹シ、
- (2) 羊水中ニ融解セル血色素ノ浸潤ニヨリ、赤ク着色セラレタルモノヲ云フ。

腐敗ト異リ腐敗性ノ臭氣ナシ。

- ニ 狀 態
 - (一) 全身、皮膚銅赤色ヲ呈シ、水泡ヲ作り、表皮剝離シテ眞皮ヲ露出ス。
 - (二) 兒頭、軟ク、凶門縫合緩ミ、毛髮容易ニ脱ケ、或ハ既ニ脱落ス。
 - (三) 腹部、恰モ蛙ノ如ク著シク膨滿ス。
 - (四) 四肢、筋肉弛ミ、關節容易ニ脱臼シ、或ハ既ニ脱臼ス。
- 圖五〇二 妊娠中胎兒死亡ノ處置
- 一 必ず醫師ノ診察ヲ乞ハシム。
 - ニ 母體ニ發熱等ノ異常ナキ限りハ、成ルベク自然ノ娩出ヲ待チ、流産早産ノ取扱ニ準ズベシ。

三 死産證書又ハ死胎檢案書ハ法規ニ違背ナキ様作成スベシ（考一九八問至一九九問）

第二章 妊娠中絶

圖五〇一 妊娠中絶ニ就イテ

- 一 意義……考一〇三問
- 二 種類……考一〇四問
- 三 原因……考一〇五問
- 四 症狀……考一〇六問
- 五 診斷……考一〇八問
- 六 處 置……考一〇九問至一一三問

圖五〇三 妊娠早期中絶ノ意義

最終月經第一日ヨリ起算シテ約三九〜四二週ノ間ニ分娩スルヲ正期分娩トシ、其以前ニ分娩スルヲ妊娠中絶ト稱ス。

圖五〇四 妊娠中絶ノ種類

- (一) 流産（廣意）
 - (1) 流産Ⅱ第一期流産……一六週以前
 - (2) 流産Ⅱ第二期流産……一七〜二八週
 - (二) 早産……一九〜三八週
- 〔註〕 他ノ種類ハ考一〇八問、
- 圖五〇五 妊娠中絶ノ原因
- (甲) 胎兒死亡原因ノ如何ニ拘ラズ死亡胎兒ハ子宮内ノ異物トシテ作用シ、其ノ刺戟ニヨリテ陣痛ヲ誘發シ、以テ妊娠ヲ中絶セシム。
 - ニ 例ヘバ微毒ニヨリ胎兒死亡スレバ必ず妊娠中絶ヲ起ス。
 - (乙) 胎兒生存胎兒生存スルモ、次ノ原因ニヨリ妊娠中絶ヲ誘起ス。
 - 一 胎兒附屬物異常……前置胎盤・胎盤早期剝離・羊水過多
 - ニ 胎兒異常……多胎妊娠
 - 三 母體異常

(一) 性器疾患

- (1) 子宮發育異常
- (2) 子宮後轉症
- (3) 子宮及附屬物ノ炎症
- (4) 同上腫瘍
- (二) 全身疾患

- (1) 重キ熱性病
- (2) 重キ血行障礙
- (3) 重キ呼吸器病
- (4) 重キ一般疾患
- (5) ビタミン欠乏症
- (6) 妊娠毒

(三) 諸種ノ外因

- (1) 精神刺激……急劇ナル精神感動
- (2) 理學刺激
- (イ) 外傷……打撲・衝突・壓迫
- (ロ) 墮落・轉倒・振盪・外科手術
- (ハ) 妊娠中絶術・犯罪墮胎
- (ニ) 腔強填タンポン・高温陰洗滌
- (ホ) 坐浴・冷水浴・海水浴
- (ヘ) 長途ノ旅行殊ニ惡路ノ車行
- (3) 藥物刺激
- (イ) 麥角・峻下劑・藥味類ノ濫用
- (ロ) 藥物又ハ食餌中毒

圖五二〇六 妊娠中絶ノ症候

- (甲) 胎盤完成前流産ノ症候……(五二〇四問)
- (乙) 胎盤完成後流産及早産ノ症候……(五二〇六問)

圖五二〇七 胎盤完成前流産ノ症候

一 疼痛
腰部若クハ下腹部ニ發作性ニ陣痛ヲ來ス。

二 出血
(一) 時期 通常先ツ少量ノ出血ヲ反復シ、數時若シクハ數日ノ後ニ疼痛及出血ト共ニ流産ヲ來ス。

(二) 出血量 種々、少キハ月經ト誤ル程、多キハ稀ニ生命ノ危險ヲ來ス。

三 其他

違和、倦怠、食慾不振、惡心惡寒等ヲ伴フ事アリ。

四 種類 二ヨリ各症狀ヲ異ニス。(五二〇六問)

圖五二〇八 流早産ノ種類ヲ列記セヨ

- (一) 流産切迫
- (二) 習慣流産
- (三) 全流産
- (四) 不全流産

(五) 延滞流産 (六) 稽留流産

(七) 自然流産 (八) 人工流産

(九) 犯罪流産 (十) 傳染流産

圖五二〇九 流産切迫ニ就イテ

一 說明

疼痛ト出血ニヨリテ流産ノ切迫シ來ルヲ示スモ、適當ナル處置ヲ得バ尙ホ克ク之ヲ防止シ得ベキ程度ノ間ヲ流産切迫ト稱ス。

二 状態

- (一) 疼痛出血共ニ極メテ輕度ニシテ、
- (二) 双合診ニヨリ著明ノ子宮收縮ヲ認メズ。
- (三) 子宮口ハ未ダ開大セズ。

三 處置……(五二一〇問甲及乙ノ一)

圖五二一〇 習慣(常習)流産ニ就イテ

一定義

同一婦人ニシテ、習慣ノ如クニ流産ヲ反復スルモノヲ云フ。

二 原因

(一) 子宮發育異常、子宮後轉症、子宮又ハ附屬器ノ炎症、同上腫瘍ニヨルモノハ、通常妊娠三、四ヶ月ノ頃ニ毎回流産ス。

(二) 毒ニヨルモノハ、妊娠中絶ノ時期多クハ後半期ニシテ、而モ其回ヲ重ヌルニ從ヒ漸次ニ遅レ、後ニハ早産遂ニハ正期産ヲモナシ得ルニ至ル。

(三) ヴイタミン缺乏ノ爲メ來ルコトアリ。

三 處置

原因の治療ノ爲メ醫師ノ診療ヲ要ス、其他ハ(五二三問)

圖五二一一 全流産ト不全流産ノ比較

	全流産	不全流産
(一) 卵子ノ排出	破レズニ完全	卵膜全部又ハ一部殘留
(二) 出血量	少シ	多シ
(三) 出血期間	遅クモ十日	長シ
(四) 復故機能	速カ	遅シ
(五) 産後経過	佳良	性器疾患ヲ胎レ、甚シキハ死ニ至ル

圖五二三 全流産ヲ略記セヨ

〔解〕 五二問ノ上段

圖五二三 不全流産ヲ説明セヨ

〔解〕 五二問ノ下段

圖五二四 延滞流産トハ如何

流産ニ於テ卵子排出ノ延滞スルコト遇餘ニ亘リ、此間出血ヲ持續スルモノヲ云フ。

圖五二五 稽留流産ヲ説明セヨ

流産ニ於テ、陣痛出血共ニ、一時休止シ、死亡胎兒及其附屬物ハ子宮内ニ永ク稽留セラレタルマ、何等ノ症狀ヲ呈スル事ナク月餘ノ後遂ニ流産スルモノヲ云フ。

圖五二六 胎盤完成後流産及早産ノ症狀

四ヶ月以後妊娠末期ニ近ヅクニ從ヒ、分娩ノ經過ハ寧ろ正常産ニ類ス。

只妊娠月數ノ早キ程 (1) 屢々胎位異常ヲ來シ

(2) 後産娩出ノ遲延ヲ起ス。

圖五二七 流産ニヨリ起ルベキ障礙

(1) 出血ノ危険、

(2) 産褥熱ノ危険アルノミナラズ、

(3) 後日種々ノ婦人科的疾痛ヲ貽シ、一生ヲ病苦ニ惱マシメ、不妊症若シクハ習慣流産ノ因ヲ作ルニ至ルコトアルベシ。

圖五二八 流産ノ診斷

一 問診及外診

既ニ妊娠ヲ自覺シタル婦人ニ於テ或ハ産婆ガ診察ノ結果妊娠ナリト認メタル婦人ニ於テ、

(一) 腰部又ハ下腹部ニ發作性ノ疼痛又ハ壓重緊張ヲ感ジ

(二) 出血ヲ認メタル時ハ流産ト診斷シ得。

二 内診

子宮口ノ開大ヲ認メ、且ツ其子宮口ヲ通シテ緊張セル卵膜ヲ觸レ得ル時ハ、流産ハ既ニ開始シタルモノト診斷シ得ベシ。

圖五三〇 流産ノ處置

(甲) 必ズ醫師ノ診療ヲ乞フベシ。

(乙) 産婆ノ處置

一 出血輕度ノ時

(一) 肉體的及ビ精神的安靜ヲ守ラシメ、上圖又ハ歩行ヲ禁ジ、内診又ハ局所的處置ヲ避ケ、

(二) 消化シ易キ滋養物ト清涼飲料トヲ與ヘ。

(三) 室ヲ清潔ニシ、其空氣ヲ新鮮ナラシメ、室温ヲ適度ニシ、醫師ノ來診ヲ待ツベシ。

一 出血高度ノ時……救急處置

(一) 絶對安靜ヲ命ジ下腹部ニ氷嚢ヲ貼ジ

(二) 高温鹽洗滌、鹽強壞タンポン法ヲ施シ、

(三) 急性貧血ノ處置ヲナスベシ。

三 正常分娩同様ニ (1) 安靜 (2) 消毒 (3) 其他ノ攝生法ノ嚴守セシムベシ。

圖五三一 胎盤完成後流産及早産ノ處置

	胎狀鬼胎	流産	子宮外妊娠
(一) 疼痛	激甚ナラズ	激甚ナラズ	卵管破裂ハ頗ル激甚著シ
(二) 内出血	通常無	無	著シ
急性貧血	外出血ニ相當シ	外出血量ニ相當シ	外出血少ナク而シテ通常甚シカラモ頗ル高度
外出血	囊胞ヲ混ズ	卵膜ト脱落膜ト排	終ニ鈔色
(三) 子宮後血腫又ハ附屬器腫大	無	無	有
(四) 子宮ノ大サ	妊月ニ比シ甚大	妊月ニ相當又ハ小	妊月ニ比シ小
(五) 壓迫障礙	高度	普通	普通
(六) 蛋白尿減尿	來リ易シ	必シモ然ラズ	必シモ然ラズ
(七) 疲勞衰弱	緩慢強度	通常強カラズ	急激強度

卵膜既ニ破レテ胎兒ノ一部分ヲ觸レ得ル時ハ愈々明カナリ。

圖五二九 流産ト類症トノ鑑別

胎盤完成後ノ流産及早産ノ經過ハ、正期分娩ト同様ナル故ニ、其處置モ亦之ト殆ト同様ナリ只……

- (一) 胎盤ノ残留ニ注意シ、
- (二) 早産ノ産兒ハ早産兒ニ對スル看護ヲ施サザルベカラズ。

圖五、三三 早産ニ就テ知ル所ヲ記セ○

〔解〕 期間、症狀、處置ヲ述ベル(五、三三問)○(五、三三問)○(五、三三問)

圖五、三三 早産ノ原因○

流産ヨリモ主ニ早産ヲ起ス原因ハ次ノ如シ、五、三五問参照

- (一) 前置胎盤・常位胎盤早起剝離・羊水過多症。
- (二) 双胎妊娠。
- (三) 輕症梅毒・子癩。

圖五、三四 習慣早産ノ原因○

〔解〕 五、三三問ノ原因(一)(二)(三)

圖五、三五 流産ノ外因○

〔解〕 五、三三問乙三ノ(三)

圖五、三六 妊娠中ノ下痢ハ何故注意ヲ要スルヤ○

屢々妊娠中絶ノ誘因トナルヲ以テナリ

圖五、三三 妊娠中腹痛ヲ起ス總テノ場合ヲ舉

ゲヨ○

甲 妊娠異常ニ由ルモノ

- (1) 常位胎盤早期剝離内出血 (2) 急性羊水過多症 (3) 妊娠中絶
- (4) 子宮外妊娠中絶 (5) 腹膜妊娠ノ進行後殊ニ胎動發生後
- (6) 後轉妊娠子宮嵌頓 (7) 妊娠中ノ子宮破裂

乙 妊娠時偶發症

- (1) 卵巢囊腫捻轉 (2) 子宮筋腫莖膜壓迫 (3) 胃潰瘍
- (4) 胃痛(主ニ胃腸カタル) (5) 腸捻轉—疊積 (6) 蟲線突起炎
- (7) 腎孟炎 (8) 腎結石 (9) 膽石症

圖五、三六 流産ノ際ノ内診所見○

〔解〕 五、二八問ニテ参照

圖五、三九 妊娠中絶ノ豫防法○

〔解〕 流産ノ原因(五、三五問)中、二ノ際ハ妊婦衛生法ヲ嚴守、特ニ安靜ヲ守ルコト。三ノ(一)(二)ハ醫藥ヲ速ヤカニセヒテ原因ヲ除ク事、(三)ヲ起サヌ様留意スルコト。

圖五、四〇 妊娠中絶ノ處置○

〔解〕 (一)第一期流産ノ處置……五、三三問
(二)第二期流産・早産ノ處置……五、三三問

圖五、三三 流産切迫ノ處置○

〔解〕 五、三三問ノ(甲)及(乙)ノ一

圖五、三三 流産早産時ノ救急處置○

- 〔解〕 (一)流産ノ救急處置ハ五、三三問ノ(甲)ト(乙)トニ
- (二)早産ノ救急處置ハ五、三三問ノ(甲)ト(乙)トニ

圖五、三三 流産早産後ニ於ケル處置○

〔解〕 五、三三問ノ三、特ニ障礙五、二七問ノ豫防ニ留意スルコト。

圖五、三四 早産死産ヲ反復セル妊婦ノ取扱○

〔問〕 五、二〇問ノ原因(二)(三)ヲ確メ醫藥ヲセフコト

圖五、三五 妊娠中絶ニ對シ注意スベキ事項○

- (一) 中絶豫防ノ注意……五、三三問
- (二) 處置ニ關スル注意……五、三三問、五、三三問
- (三) 中絶後ノ注意……五、三三問

第三章 子宮外妊娠

圖五、三六 子宮外妊娠ニ就イテ○

一定義……(五、三七問)
二種類……(五、三六問)

第三章 子宮外妊娠

- 三原因……(五、三四問)
- 四徵候……(五、三四問)
- 五中絶症狀……(五、三四問)
- 六危険……(五、三四問)
- 七死胎兒ノ變狀……(五、三四問)
- 八診斷……(五、三四問)
- 九處置……(五、三四問)

圖五、三六 子宮外妊娠ノ定義○

受精卵が子宮腔以外ノ位置……例ヘバ卵管・卵巢又ハ腹膜ニ着牀シテ發育スルヲ云フ。

圖五、三六 子宮外妊娠ノ種類○

- (一) 卵管妊娠 85%
- (2) 卵管峽部妊娠
- (3) 卵管間質部妊娠

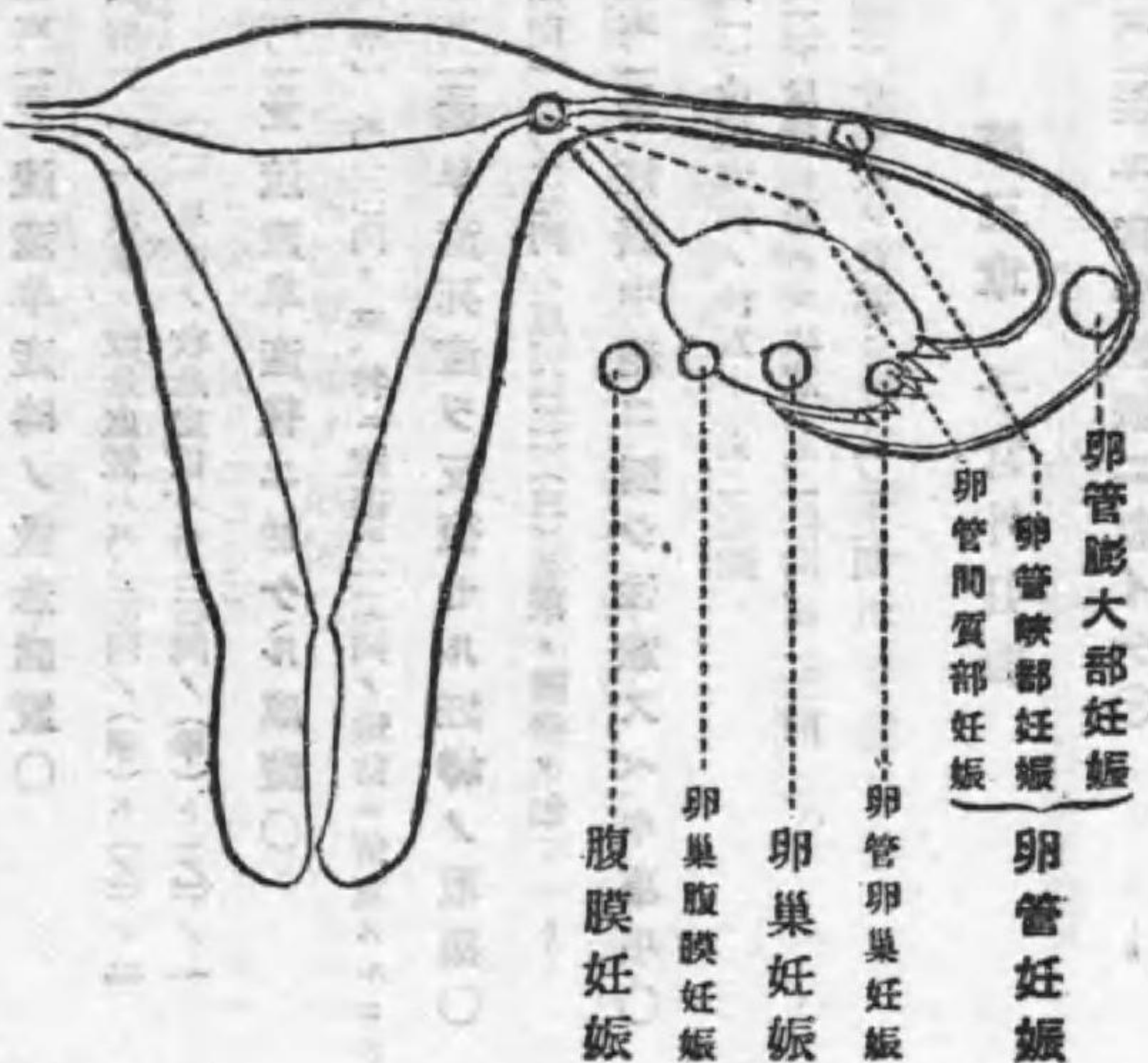
(二) 卵管卵巢妊娠

(三) 卵巢妊娠

(四) 卵巢腹膜妊娠

(五) 腹膜妊娠

右ノ中「卵管妊娠」ガ最多ク、子宮外妊娠ノ代表トナル。
圖五三 子宮外妊娠ノ種類ヲ圖解セヨ。



「注意」凡テ圖ハ、鉛筆ニテ畫イテモヨイガ、解ノ文字ハ「インキ」ニテ書ク方ガヨイ。

圖五三 子宮外妊娠ノ原因

受精卵ガ子宮腔内ヘ輸送セラレントスル時
次ノ如キ障礙ニヨリ通過ヲ妨ゲラレ、其處ニ着牀發育
スルコトニヨリテ生ズ。

- 一 卵管腔狹窄
 - (一) 卵管粘膜炎性腫脹
 - (二) 卵管ノ屈折

- 二 輸送力障礙
 - (一) 卵管粘膜炎ノ毛運動ノ減弱又ハ消失
 - (二) 卵管筋層ノ蠕動ノ減弱又ハ消失

之等ノ多クハ淋疾ニヨリ來ル。

從ツテ 永ク不妊ノ初産婦又ハ經産婦。曾テ本症ニ罹リシ妊婦ニ多シ。

圖五四 子宮外妊娠ノ症狀

- 一 妊娠徵候(月經閉止等)ヲ認ム。(時ニ不明)
- 二 内診ニヨリ……

- (1) 腔壁・子宮腔部等ノ妊娠性變化ヲ認ム。
- (2) 子宮膨大ハ經閉期間ニ比シ小。

(3) 妊娠卵管ノ腫大ヲ觸知ス

三 妊娠卵管側ニ常ニ鈍痛ヲ覺ユ。

四 中絶起ラバ其症候ハ顯著……(一) 子宮間

圖五二 子宮外妊娠中絶ノ徵候

一 疼痛

- (一) 卵管流産(一―二ヶ月)……下腹部殊ニ妊娠卵管側ニ發作性疼痛ニ卵管陣痛ヲ來ス。

- (二) 胎囊破裂(二―三ヶ月)……突然痛様疼痛ヲ來シ多クハ卒倒シ、暫クシテ意識明瞭トナルモ腹部ニ壓痛ヲ殘ス。

二 出血

- (一) 内出血ハ卵管流産殊ニ破裂ニ強ク、急性貧血症ヲ來ス(六ノ四七問)

- (二) 外出血ト共ニ脫落膜ヲ排出ス。(血液ハ屢々錆色)

右ハ下腹痛ト同時又ハ其レニ次テ來ル。

三 血腫

- (一) 子宮後血腫……内出血ガダグラス氏窩ニ滲溜凝固

シテ生ズ。

血腫ハ(1) 疼痛發作反復ノ後、内外診ニヨリ觸知シ得。

(2) 大小種々、(3) 漸次硬化シ壓痛アリ。

血腫ハ (1) 長時日ノ後自然吸收シ消失スルカ、(2) 傳染化膿シ、腹膜炎ノ危險アリ。

- (二) 卵管鬼胎……卵管流産ノ際卵子ガ卵管内ニ留マリ凝血ニ圍マレテ生ズ。

圖五二 子宮外妊娠ノ豫後及危險

- 母體
 - (一) 早期ニ診斷加療サレタモノ良好(死亡ニ割)
 - (二) 然ラザルモノ……不良(死亡セ割)

- 死亡ノ理由
 - (1) 亡血死
 - (2) 子宮後血腫ノ化膿

胎兒……常ニ不良(生活兒ヲ得ルコト殆ドナシ)

圖五三 子宮外妊娠胎兒死亡後ノ變化

- (一) 融解吸收、妊娠ノ極メテ初期ニ來リ、胎兒ノ痕跡ヲ殘サズ。
- (二) 石兒(舊名石胎) 死胎兒ニ石灰沈着シテ石ノ如クニ

硬化ス。
 石胞、胎囊が同様ニ硬化シタルモノ。
 (三) ミイラ化 羊水全ク吸收セラレ、胎兒ハ水分ヲ失ヒテ萎縮乾燥ス。
 (四) 骨格化 骨格ノミ残リテ、骨ハ後ニ直腸、膀胱、又ハ腹壁ヨリ體外ニ排出セラレ。

圖五二四 子宮外妊娠ノ診斷◎

(甲) 中絶前ノ診斷：五、四問ノ一、二、三。
 (乙) 中絶後ノ診斷：

- 一 疼痛
 - (一) 下腹一側ノ發作性疼痛(卵管流産)
 - (二) 激甚ナル下腹痛ト卒倒(卵管破裂)
- 二 出血
 - (一) 内出血ニエル急性貧血
 - (二) 外出血ト共ニ脱落膜排出
- 三 血腫：壓痛アルモ無熱ニ經過ス

〔註〕 鑑別診斷ハ五二九問

圖五二五 子宮外妊娠ノ處置◎

(甲) 醫師ノ來診ヲ乞フ
 (乙) 救急處置

- (一) 絶對安靜ヲ命ジ、下腹部ニ氷嚢ヲ貼ズ
- (二) 鹽洗液、鹽タンボン法等ノ局處的處置ヲ避ケ、
- (三) 急性貧血ニ對スル一般處置ヲナス

圖五二六 子宮外妊娠トハ如何◎

〔解〕 五二四問ト五二八問ヲ記ス。

圖五二七 子宮外妊娠中絶ノ原因及徵候◎

一 中絶原因

- 卵管妊娠中絶ノ原因ハ主トシテ織毛上皮ノ破壊作用ニヨルモノニシテ、之ニ「卵管流産」ト「卵管破裂」ノニアリ。
- (一) 織毛上皮ノ破壊作用ニヨリ母體卵管ヲ破リ出血ヲ起シ、爲メニ卵子ヲ剝離シ以テ「卵管流産」ヲ起ス。
- (二) 織毛ノ破壊力ハ屢々卵管筋層ヲ破壊シ進ンデ腹膜ヲ破リ、以テ「卵管破裂」ヲ來ス。故ニ卵管破裂ハ通常何等ノ外因ナクシテ起リ得ルモノニシテ、又往

々外傷(例ヘバ粗暴ノ内診又ハ性交)努責(例ヘバ排便)ナドガ誘引トナルコトアリ。

二 中絶症狀：五二四問

圖五二四 卵管流産トハ何カ◎

〔解〕 原因(一)四問ト症狀五二四問(中ノ流産ノ部

圖五二五 石兒ニ就イテ◎

〔解〕 五二四問ノ(一)

圖五二六 子宮後血腫ニ答ヘヨ◎

〔解〕 五二四問ノ三

圖五二七 子宮外妊娠ノ經過◎

〔解〕 五二四問及五二九問

圖五二八 子宮外妊娠各種類ノ經過◎

〔解〕 五二六問、經過ハ五二五問ト同ジ。

圖五二九 子宮外妊娠、胞状鬼胎、流産ニ於テ

症狀ノ類似點ト相違點ヲ記セ◎

〔解〕 類似點ハ(1) 妊娠徵候 (2) 疼痛 (3) 出血
 相違點ハ五二九問

第一章 子宮發育異常

圖五二五 卵管妊娠ヲ疑フベキ場合ヲ列舉セヨ◎

〔解〕 五二四問

圖五二六 妊娠中ニ腹部ニ疼痛ヲ起ス場合但シ妊娠ニ關係アル場合ノミヲ舉ゲ且各々ノ重要點ヲ記セ◎

〔解〕 五二七問ノ甲、重要點トハ鑑別點ト見テヨロシ。

圖五二七 子宮外妊娠ト正常妊娠トノ鑑別點◎

〔解〕 五二四問ノ各項ニツキ正常妊娠ト比較シテ答ヘレベヨイ。

圖五二八 子宮外妊娠ニ對シ成ルベク早ク醫治ヲ受ケシムル理由如何◎

〔解〕 五二四問ノ危險アルヲ以テナリ。

圖五二九 子宮外妊娠ノ豫防法◎

- (一) 發生豫防：淋毒性婦人疾患ヲ早期ニ治療スルコト。
- (二) 中絶豫防：早期ニ診斷シ醫師ノ手術ヲ受ケルコト。

圖五三〇 續發腹膜炎ノ症狀及處置◎

一 症狀(經過)

- (一) 月經閉止後ニ子宮外妊娠ノ症狀五二四問又ハ中絶症狀二四問

第三編 母體性器ノ異常

ノ中一部ノ症狀アルモ甚ダシキ急性貧血症狀又ハ明ラカノ子宮後血腫ヲ認メズ。

(一) 引キ續キ妊卵發育ノ症狀ヲ認メ遂ニハ腹部ヨリ胎兒生活現象(心音等)ヲ確メ得ルニ至ル。

(二) 結局ハ胎兒死亡又ハ破裂ヲ來シ危險ヲ起スモ、

(三) 稀ニ分娩豫定日該當ノ頃又ハ其後ニ及ブ時ハ腹部ノ甚ダシキ苦痛ヲ訴フルニ至ル。

二處置

速ヤカニ醫師ノ診察ヲ乞フベシ。

其他ノ處置ハ五ノ四六ニ準ズ。

第三編 母體性器ノ異常

圖五二六 異常妊娠ノ原因トナル子宮疾患ノ種類、症狀、處置○

種	類	症	狀	處	置
(一)	子宮發育異常	五ノ六九問	ニ	醫	療
(二)	子宮位置異常	五ノ六九問 五ノ八三問 五ノ八五問		五ノ七〇問 五ノ七六問 五ノ八五問	
(三)	性病及炎症	五ノ八八問		五ノ八八問	
(四)	子宮腫瘍	五ノ九三問	ニ	醫	療

第一章 子宮ノ發育異常

圖五二七 子宮發育異常ノ種類及障礙○

- 一 種類
- (一) 重複子宮
 - (二) 中隔子宮
 - (三) 双角子宮
 - (四) 單角子宮
- 二 障礙
- (1) 妊娠中絶 (2) 特發子宮破裂 (3) 微弱陣痛—弛緩出血。

圖五二八 双角子宮ニ就キ知ル處ヲ記セ○

一 說明

子宮底ガ左右ニ二裂シテ其各ヨリ一本ノ卵管ガ角ノ如クニ左右ニ出テアルモノ、多クハ同時ニ中隔ヲ有ス。

二 障礙

- (1) 妊娠中絶 (2) 特發子宮破裂 (3) 微弱陣痛—弛緩出血。

第二章 子宮ノ位置異常

圖五二九 妊娠子宮ノ位置異常ニ就イテ○

一 妊娠子宮強度前屈—懸垂腹…五ノ六九問

二 妊娠子宮後轉症…五ノ七〇問

三 妊娠子宮ノ下垂及脫…五ノ八五問

圖五三〇 妊娠子宮位置異常ノ種類、障礙、處置○

種	類	障	礙	處	置
(一)	妊娠子宮強度前屈症	五ノ六九問		五ノ七〇問	
(二)	妊娠子宮後轉症	五ノ八三問		五ノ七六問	
(三)	妊娠子宮下垂—脫	五ノ八五問		五ノ八五問	

圖五三一 子宮強度前屈—懸垂腹ニ就イテ○

- 一 原因…五ノ六九問
- 二 障礙…五ノ六九問
- 三 處置…五ノ七〇問

圖五三二 懸垂腹ヲ簡單ニ説明セヨ○

〔解〕 原因五ノ六九問ヲ述べ、障礙五ノ六九問ヲ簡單ニ附記スレバヨイ。

圖五三三 懸垂腹ノ原因○

一 腹壁ノ高度弛緩(從ツテ類產婦ニ多シ)

第二章 子宮ノ位置異常

二 狹骨盤ノ場合

- 三 子宮位置矯正手術ノ結果不良ナル時
- 四 脊柱前彎又ハ側彎ノ時
- 五 羊水過多症ノ時

圖五三四 子宮強度前屈—懸垂腹ノ障礙○

- (一) (妊娠時) 子宮底ハ盆々前下方ニ降り
- (1) 排尿障礙 (2) 歩行及動作障礙ヲ來ス。
- (二) (妊娠及分娩時) 胎位胎勢ノ異常ヲ來シ易シ。
- (三) (分娩時) 陣痛開始スルモ其力ノ方向ハ正シク骨盤入口ニ向ハザルヲ以テ、兒頭ハ嵌入ヲ妨ゲラレ、陣痛ハ只無益ニ働キ屢々早期破水ヲ來シ、遂ニハ次ノ何レカノ結果ヲ來ス。

(一) 疲勞微弱陣痛

(二) 子宮破裂

圖五三五 子宮強度前屈—懸垂腹ノ處置○

一 子宮底ヲ扛擧シテ其位置ヲ正シタル後ニ、適當ナル

腹帯ニヨリ子宮ヲ支持シ、分娩時ニ胎兒下向部ガ骨盤入口ニ嵌入スルマデハ此腹帯ヲ除クベカラズ。

ニ若シ懸垂腹ト共ニ狹窄骨盤ヲ發見シタル時ハ必ず醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

圖五二七 妊娠子宮後轉症ニ就イテ

- 一原因……五二七間
- 二症狀……五二七間
- 三診斷……五二七間
- 四處置……五二七間

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ原因

一既ニ後轉セル子宮ニ妊娠シタル場合ト、
ニ妊娠後ニ後轉スル場合トアリ、其動機ハ……

- (一) 急激ノ外力……例ヘバ墜落・轉倒・飛起
- (二) 急激ノ腹壓……例ヘバ重キ物ノ運搬・便秘

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ症狀

(甲) 第一症狀

- 一膀胱壓迫……排尿障礙・尿意頻數
- 二直腸壓迫……便秘

(乙) 第二症狀(經過、結果又ハ運命)

- 一復位
- (1) 妊娠第三、四ヶ月頃自然ニ正位ニ復ス。
- (2) 或ハ醫師ニヨリ復位セラル、事アリ。

二流産

復位セラレズシテ進ム時、膨大子宮ハ小骨盤腔ヲ殆ド全ク滿スニ至ルモ、尙ホ腹腔ニ上昇シ得ズ、其ノ壓迫刺戟ニヨリテ遂ニ流産ヲ起ス。

三嵌頓症……五二七間、五二七間

圖五二七 後轉妊娠子宮嵌頓症ノ定義

妊娠子宮後轉症ニ於テ、膨大セル子宮ガ小骨盤腔ヲ滿シ少シモ動ク事ヲ得ズ、爲メニ危險症狀ヲ來スニ至レルモノヲ云フ。

圖五二七 後轉妊娠子宮嵌頓症トハ何ゾヤ

妊娠子宮後轉症ニ於テ、復位モ流産モナク後轉ノ儘ニ妊娠ヲ繼續スル時ハ、通常妊娠第四ヶ月ノ頃ニ於テ、膨大子宮ハ小骨盤腔ノ全部ヲ滿シ、少シモ動ク事ヲ得ズ

(1) 強度ノ膀胱壓迫 (2) 強度ノ直腸壓迫 (3) 危險ナル全身症狀ヲ來スニ至ル、乏ラ「後轉妊娠子宮嵌頓症」ト云フ。

圖五二七 後轉妊娠子宮嵌頓症ノ症狀

- (一) 強度ノ膀胱壓迫
 - (1) 膀胱壓迫ハ益々強ク、遂ニ尿閉或ハ淋瀝ヲ起ス。
 - (2) 尿ノ膀胱滯溜ニヨリ、下腹部ハ強度ニ膨隆シ、甚ダシキ壓痛ト緊張性疼痛ヲ感ジ、又腰痛ヲ訴フ。
- (3) 此際靜カニ觸診スレバ腹部ニ波動ヲ認メ得。

(二) 強度ノ直腸壓迫

全然便秘シテ、風氣ダモ通ゼズ、鼓腸ヲ來ス。

(三) 危險ナル全身症狀

(1) 頭痛・眩暈全身倦怠ノ他ニ

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ處置

- (甲) 速カニ醫療ヲ乞ハシム。
- (乙) 應急處置

(一) 安靜ニ臥床セシメ、

(二) 苦痛甚シキ時ハ、消毒指頭ニテ子宮腔部ヲ後方ヘ壓排シテ、自然排尿、又ハ導尿ヲ試マシム、(但シ無理ノ力ヲ用ユベカラズ)

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ診斷

(1) 妊娠第三、四ヶ月ニ於ケル強度ノ排尿・排便障礙。

(2) 冷汗、四肢厥冷、脈搏頻細ヲ來シ。

(3) 若シ早ク適當ノ處置ヲ施サザレバ、終ニ尿毒症或ハ腹膜炎等ニヨリ死亡ス、

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ診斷

- (一) 妊娠第三、四ヶ月ニ於ケル強度ノ排尿・排便障礙。
- (二) 內診
 - (1) 子宮腔部ノ前上方轉位。
 - (2) 後腔内蓋部ニ膨大軟化子宮體底觸知
- (三) 極度ノ排便障礙及ビ全身危險症狀アレバ嵌頓症ト診斷ス。

圖五二七 妊娠子宮後轉症ノ處置

- (甲) 速カニ醫療ヲ乞ハシム。
- (乙) 應急處置

(一) 安靜ニ臥床セシメ、

(二) 苦痛甚シキ時ハ、消毒指頭ニテ子宮腔部ヲ後方ヘ壓排シテ、自然排尿、又ハ導尿ヲ試マシム、(但シ無理ノ力ヲ用ユベカラズ)

第三編 母體性器ノ異常

圖五二九 妊娠子宮後轉症ノ經過

〔解〕(症狀ハ病的狀態、經過ハ時ノ經過ト共ニ變化シ行ク狀態)本問ノ經過ハ第二症狀ヲ三問ノ乙ヲ意味ス。

圖五三〇 妊娠子宮後轉症ノ運命

〔解〕三ツノ結果、即チ第二症狀(三問ノ乙)

圖五三一 妊娠中尿意頻數利尿困難ヲ來ス理由

〔解〕(一)生理的(1)膨大子宮又ハ胎兒下部ノ壓迫
(二)異常(1)妊娠子宮後轉症(2)膀胱炎其他ノ膀胱疾病

圖五三二 妊娠子宮嵌頓症ノ原因

〔解〕五二七問參照。

圖五三三 妊娠子宮後轉症ノ障礙

(一)五二七問ノ甲及乙ノ三

圖五三四 子宮後屈症トハ何ゾヤ

子宮ハ通常前傾前屈セルモノナルニ、後屈後傾ノタメ諸種ノ症狀ヲ來スモノヲ子宮後屈症ト稱ス。

圖五三五 妊娠子宮ノ下垂及脱ニ就テ

一定義

(一)下垂 子宮ガ正常位置ヨリ下降セルモノ。

(二)脱出 子宮ガ陰裂ヨリ外ニ脱出セルモノ。

二原因

(一)既ニ下垂セル子宮ニ妊娠シテ生ズルカ。

(二)妊娠後急激ナル外力ニヨリ突然生ズ。

三症狀

(一)輕度ノ時、子宮膨大ノ爲ニ自然ニ上昇ス。

(二)強度ノ時、流産、早産ヲ來ス。

(三)稀ニハ、嵌頓症ノ如キ危險ヲ來ス。

(四)脱出部ノ組織硬靱トナリ開大障礙ヲ來ス。

四處置

(一)醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

(二)嵌頓症狀、開大障礙ハ迅速來診ヲ乞フ。

(三)産褥時ニハ再發ナキ様醫師ノ指圖ヲ乞フ。

圖五三六 産脱ヲ説明セヨ

産脱ノ一部又ハ全部ガ陰裂ヨリ外ニ脱出セルモノ、(産下垂ノ高度ノモノ)

第三章 性病及炎症

圖五三七 妊婦ノ淋疾ニ就イテ

一原因……淋毒菌ノ通常性交時傳染ニヨル。

二症狀……五二八問

三影響……五二九問

四處置……五二九問

圖五三八 妊婦淋疾ノ症狀

一腔ヨリ多量ノ帶黃綠色ノ分泌物ヲ出シ

ニ外陰ニ灼熱、腫脹、潮紅、疼痛ヲ起シ

三其周圍ノ皮膚ハ分泌物ノ爲ニ腐蝕セラレ諸處ニ潰瘍ヲ生ズ。

或ハ尖圭コンチローム(五二九問)ヲ生ズ。

四尿道口モ腫脹潮紅シ、其内ニ膿汁ヲ溜メ、

五尿ハ濁濁、排尿痛、尿意頻數ヲ來ス、

圖五三九 淋疾ノ産科ニ及ボス影響

第三章 性病及炎症

一不妊症

(一)前置胎盤・常位胎盤早期剝離

(二)妊娠中胎兒死亡・妊娠中絶

(三)子宮外妊娠

三分娩中 微弱陣痛—弛緩出血

四産褥中 (一)産褥熱、子宮復故不全

(二)新産兒膿漏眼—失明、新産兒肺炎。

圖五三〇 妊婦淋疾ノ處置

一必ず醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

二産婆若シ淋疾分泌物ニテ手指ヲ汚染シタル時ハ、必ず手指ヲ十分ニ消毒シ、自他ノ眼又ハ性器等ニ傳染セシメザル様注意スベシ。

三分泌物ノ附着又ハ其疑アル物品ハ、速カニ燒却又ハ其他ノ法ニヨリ嚴重ニ消毒スベシ。

〔註〕産兒ノ處置ハクレデ氏豫防點眼法ヲ三九問

圖五三一 妊婦ノ梅毒ニ就イテ

第三章 性病及炎症

第三編 母體性器ノ異常

一 原因……「スピロヘーテバリーダ」ノ主ニ性交時傳染ニ影響……マニ三問
三 處置……マニ三問

圖五二〇 梅毒ノ産科ニ及ボス影響◎

一 不妊症（第三期以後ノ重症梅毒）

二 過大胎盤（胎兒體重ノ三分ノ一以上）

三 羊水過多症

四 妊娠中胎兒死亡

五 習慣流産……（マニ二〇問）

六 新産兒先天梅毒……（マニ三問）

圖五二一 妊婦梅毒ノ處置◎

一 妊娠中早クヨリ 醫治（驅微法）ヲ乞ハシム。

二 梅毒新産兒ハ醫師ノ指圖ニ從ヒテ専ラ母乳ニテ養フ

ベシ（人工栄養ニテハ育テ難ク、乳母ニハ感染ノ虞アリ）

三 患者ノ分泌物中ニ多數ノ病菌ヲ含ム故、自他ニ傳染セ

シメヌ様消毒ニ注意スベシ。

圖五二四 性病（花柳病）ノ種類ヲ問フ◎

（一）淋疾、（二）梅毒、

（三）軟性下疳、（四）第四性病（鼠蹊淋巴肉芽腫）

圖五二五 性病ガ妊娠分娩及産褥ニ及ボス影響◎

〔解〕 マニ三問及マニ三問ノ影響

圖五二六 性病ト妊娠トノ關係ニ就イテ◎

〔解〕 前問ノ妊娠ニ關スル部丈ケテ答ヘル。

圖五二七 妊婦淋疾ノ危険◎

〔解〕 （一）妊娠中……（1）前置胎盤・子宮外妊娠ヲ起シ其危険、

（二）分娩中……胎盤出血ヲ起シ其危険。

（三）産褥中……（1）産褥熱（内膜炎、筋膜炎、卵管炎、骨盤腹膜炎等）（2）新産兒膿漏眼—失明。

圖五二八 尖圭コンヂローム◎

淋疾等ニヨリ外陰皮膚又ハ粘膜ニ生ズル桑ノ實ノ如キ尖形疣狀ノ隆起。

圖五二九 産婦淋疾ノ新産兒ニ及ボス影響及其

處置◎

一 影響……マニ三問ノ四ノ（二）ニ處置

（一）クレデ氏豫防點眼法ヲ施スコト……マニ三問

（二）醫療ト消毒……マニ三問

圖五二〇〇 妊婦梅毒新産兒ノ梅毒◎

〔解〕 （1）妊婦ノ梅毒ハマニ三問

（2）梅毒ニ感染ヲ認メタル時ハ速カニ醫療ヲ乞ハシメ其兒ハ自ラ授乳シ梅毒ナキ他ノ兒ニ授乳スベカラズ

（3）新産兒梅毒ハマニ三問

圖五二〇一「スピロヘーテバリーダ」ニ就テ◎

梅毒ノ病原菌ニシテ、螺旋狀ノ菌ナリ。

（真ノ螺旋菌ハ細菌ニシテ植物性微生物ナレド、「スピロヘーテ、バリーダ」ハ真ノ螺旋菌ニアラズ、植物性ト動物性トノ中間ニ位ス）

圖五二〇二 妊娠中ノ腔分泌異常◎

一 原因

（1）性病（淋疾、梅毒潰瘍、其他）

（2）婦人科病（頸管カタル、其他）

（3）出血

二 分泌物
（1）黄緑膿様……（主ニ淋疾）

第四章 性器ノ腫瘍

（2）濃粘液様……（主ニ頸管カタル）
（3）血色又ハ暗赤色……（マニ三問）
（4）水様液……（偽羊水、前期破水、尿失禁）
三 處置
速カニ醫療ヲ乞ハシメ、膿様分泌物ノ取扱ハ特ニ消毒ニ注意スベシ。

第四章 性器ノ腫瘍

圖五二〇三 子宮腫瘍ノ種類ト影響◎

一 種類

（一）子宮癌腫

（二）子宮筋腫

二 影響

（一）妊娠中
（1）流産、早産。
（2）胎兒ノ位置異常ト發育異常

（二）分娩中
（1）微弱陣痛—弛緩出血
（2）胎兒通過障礙
（イ）産道内ノ嵌頓ニヨリ
（ロ）子宮口開大困難ニヨリ

（三）産褥中
（1）子宮復故不全
（2）惡露異常

圖五二〇四 子宮筋腫ノ妊娠中ノ障礙◎

〔解〕 マニ三問ノ（一）

圖五二〇五 子宮癌ト妊娠分娩産褥トノ關係○

〔解〕 五二〇四問ノ二

圖五二〇六 卵巢囊腫ノ妊娠分娩産褥ニ及ボス影響○

〔解〕 五二〇四問ト殆ド同ジ、只子宮口開大困難ヲ除ク。

第五章 妊娠中ノ出血

圖五二〇七 妊娠中ノ出血ニ就イテ○

一原因…五二〇八問

二症狀…各疾病ノ症狀參照、五二〇九問及五二一〇問參照
三處置…五二一〇問

圖五二〇八 妊娠中出血ノ原因○

- (一) 流産
- (二) 鬼胎流産
- (三) 子宮外妊娠ノ中絶
- (四) 月経様出血

(甲) 前半期

- (一) 流産
- (二) 鬼胎流産
- (三) 子宮外妊娠ノ中絶
- (四) 月経様出血

(乙) 後半期

- (一) 前置胎盤
- (二) 常位胎盤早期剝離

(丙) 不定期

- (一) 性器ノ外傷
- (二) 子宮腫瘍(癌腫・筋腫)又ハ「ポリープ」
- (三) 靜脈瘤破裂
- (四) 子宮腔部等ノ糜爛

圖五二〇九 妊娠中出血ノ處置○

(甲) 必ず醫師ノ診療ヲ乞フベシ。

(乙) 救急處置、

一止血ノ處置

(一) 絶對安靜、出血部ニ氷嚢。

(前置胎盤又ハ常位胎盤早期剝離ニハ腹壓ヲ禁ズ)

(二) 低溫—高溫腔洗滌及ビ腔強填タンポン法。

(常位胎盤早期剝離又ハ子宮外妊娠ノ内出血ニハ行ハズ)

(三) 胞狀鬼胎ハ囊胞壓出。

前置胎盤・常位胎盤早期剝離ハ人工破水法。

ニ急性貧血ノ處置…五二一〇問

圖五二一〇 妊娠前半期出血ノ原因○

〔解〕 五二〇八問ノ前半期出血ヲ記シ、其他不定期出血モ前半期ニ起リ得ル旨ヲ答フベシ。

圖五二一一 妊娠二ヶ月末ニ下血セリ其原因及區別○

〔解〕 本問ノ下血ハ肛門ヨリノ下血ニアラズシテ恐ラク性器出血ヲ意味スルモノナラン、題意ヲ糺シテ後答フルヲ宜シトス。

原因ハ五二〇八問甲(一)(二)(三)

區別ハ五二〇九問

圖五二一二 妊娠前半期出血ノ原因及特徴○

〔解〕 原因ハ五二〇八問ノ甲及丙、

甲ノ特徴ハ五二〇九問參照、丙ノ特徴ハ不定期。

〔註〕 「原因三ツヲ擧ゲヨ」トアルハ、甲(一)(二)(三)ノミヲ記スベシ。

圖五二一三 妊娠後半期出血ノ原因及症狀○

〔解〕 原因ハ五二〇八問ノ乙
症狀ハ五二一〇問參照。

圖五二一四 妊娠中出血ヲ來スベキ場合及其症候ヲ略記セヨ○

〔解〕 場合ハ五二〇八問

症候ハ五二一〇問ヲ中心トシ、五二〇九問ヲ記スル事。

圖五二一五 妊娠時性器出血ノ診斷○

〔解〕 前半期出血ハ五二〇九問、後半期ハ五二一〇問、其他不定期出血(五二〇八問ノ丙)ニモ注意スベシト追記スル事。

圖五二一六 妊娠前半期出血及處置○

〔解〕 五二〇八問ノ甲、丙

胞狀鬼胎ヲ三問、流産ヲ三問、子宮外妊娠中絶ヲ二四問ノ處置ヲ主トシテ記ス。

圖五二一七 妊娠後半期出血及處置○

〔解〕 五二〇八問ノ乙、丙

前置胎盤ヲ三問、常位胎盤早期剝離ヲ三問ノ處置ヲ主ニ記ス。

圖五二一八 妊娠初期ニ於テ突然腹痛出血貧血ヲ來セリト云フ其産科的原因及救急處置ヲ問フ○

第四編 母體全身ノ異常

〔解〕 第一ニ子宮外妊娠中絶、次ニ流産、最後ニ胎狀鬼胎ヲ考ヘ、五二四六問、五二〇〇問ヲ記ス。

圖五二二九 妊娠經過中出血ノ場合及産婆ノ心得
ベキ事項○

〔解〕 五二〇八問、五二〇九問参照

圖五二三〇 妊娠ト關係アル出血及其處置○

〔解〕 胎狀鬼胎、流産、子宮外妊娠中絶
前置胎盤 常位胎盤早期剝離
處置ハ五二〇〇問、五二〇〇問、五二四六問、五二四四問、五二六八問。

第四編 母體全身ノ異常

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

圖五二三一 妊娠ニ因ル母體全身ノ異常ヲ列舉セ

ヨ○

一 惡阻及唾液分泌過多症。

二 子癇。

三 妊娠腎。

四 妊娠浮腫。

五 靜脈瘤。

六 妊娠惡性貧血、妊娠皮膚病、妊娠肝病、甲状腺肥大。

圖五二三二 妊娠中毒症ヲ列舉セヨ○

〔解〕 前問ト同ジ、但シ靜脈瘤ハ妊娠毒ノ他ニ機械的壓迫作用ガ重要ノ原因デアル。

圖五二三三 妊娠中毒症トハ如何ナルモノカ○

妊娠ガ原因トナリ、妊婦ノ體內ニ有毒物質ヲ生ジ、其爲メニ種々ノ異常ヲ來スモノヲ云フ。
其名稱ハ前問ト同ジ。

圖五二三四 妊娠中毒症ノ代表疾病ト其主症狀○

一 惡阻

(1) 惡心嘔吐、(2) 身體心臟ノ衰弱、(3) 減尿便秘、(4) (重キハ) 發熱、神經系障礙)

二 子癇

(1) 失神、(2) 全身橫紋筋ノ痙攣發作、(3) 妊娠腎ノ症狀。

三 妊娠腎

(1) 浮腫・減尿・蛋白尿、(2) 頭痛・眩暈・惡心・嘔吐。

圖五二三五 妊娠中注意スベキ主ナル母體疾患三種ヲ舉ゲ其妊娠トノ關係ヲ述ベヨ○

〔解〕 本問ハ、妊娠經過中ニ注意ヲ要スル母體全身ノ疾患ト解スルガ宜シ、其三種ノ選ビ方ハ各自任意ニテ差支ナカルベシ。例ハズ

- 一 妊娠腎…妊娠毒ニヨリテ起ル。
- 二 肺結核…妊娠トノ關係ハ五二五五問
- 三 腎孟炎…妊娠ニヨリ誘發サレル。

圖五二三六 妊娠ニ因リテ起ル疾病ノ名稱ヲ記セ○

〔解〕 (一) 妊娠ニ因ル母體全身異常ハ五二三三問
(二) 妊娠ニ因ル其他ノ異常ハ五二三三問ノ一、二、三

圖五二三七 妊娠ニ因リ誘發セラル、主ナル疾病○

〔解〕 (一) 妊娠ニ因ル母體全身異常ハ五二三三問
(二) 偶發病中デモ肺結核・蟲様突起炎・脚氣・腎孟炎等ハ妊娠ニヨリ誘發セラル。

〔註〕 誘發ノ二字ヲ狹意ニ解スレバ右ノ(二)文ケニテ宜シ。

圖五二三八 妊娠中起リ易キ妊婦ノ疾病ノ名稱豫
防法處置○

〔解〕 本問ハ五二三三問ト類スルモ、妊婦ノ疾病ヲ母體全身ノ異常
五二三三問ノ四ト解スルガ宜シ。

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

名	稱	豫 防 法	處 置
(1) 惡阻		五二四〇問	五二四〇問
(2) 子癇		五二五六問	五二七〇問
(3) 妊娠腎		五二七六問	五二七五問
(4) 妊娠浮腫		五二九〇問	五二九六問
(5) 靜脈瘤		五三〇八問	五三〇六問
(1) 肺結核		五三一九問	五三〇〇問
(2) 蟲様突起炎		五三三四問	(五三三二問)
(3) 脚氣		五三三三問	五三三九問
(4) 腎孟炎		五三三八問	五三三七問

圖五二三九 惡阻ニ就イテ詳記セヨ○

- 一定 義……五二三三問
- 二 原 因……五二三三問
- 三 症 狀……五二三三問
- 四 危 險……五二三三問
- 五 處 置……五三三九問

〔注意〕 惡阻ハ狹意ニ病的妊娠嘔吐症ノミヲ指ス場合ト、廣意ニ正常範圍ノ妊娠嘔吐ヲモ含マセル場合トアリ。故ニ何レヲ指スカ不明ノ時ハ廣義ニ解釋スルヲ宜シトス。

圖五二三 惡阻ノ種類ヲ問フ。

(一)生理的惡阻(妊娠嘔吐)ハつはり……………正常
(二)病的惡阻(惡性妊娠嘔吐)ハ惡阻(狹義)……………異常

圖五三二 妊娠嘔吐(つはり)ノ定義。

妊娠ノ初期殊ニ多クハ妊娠第二ヶ月ノ中バ頃ヨリ、飲食物ノ嗜好ノ變化・食思缺乏ニ伴ヒ、惡心・嘔吐・唾液分泌過多等ヲ來スモ、尙ホ未ダ著シキ營養障礙ヲ來サ、ル状態ヲ云フ。

圖五三三 惡阻(惡性妊娠嘔吐症)ノ定義。

初メ正常妊娠嘔吐ノ状態ヲ以テ發スルモ、嘔吐愈々甚ダシク、遂ニ食物ヲ殆ド全ク攝取シ得ズ、全身ニ明カナル營養障礙ヲ來スニ至レル疾病ヲ云フ。

圖五三三 惡阻トハ如何。

〔解〕 五三三問、五三三問、五三三問ヲ併セ答フベシ。

圖五三三 妊娠嘔吐ト惡阻トノ區別。

		生理的妊娠嘔吐	病的妊娠嘔吐症
(1) 嘔吐ノ時期	主ニ早期空腹時	全日不定	
(2) 嘔吐ノ回数	頻繁ナラズ	初メ頻繁末期鎮靜	
(3) 食慾	嘔吐後忽チ恢復	全然消失	
(4) 食物攝取	相當	殆ド不能	
(5) 營養障礙	著シカラズ	著明	
(6) 経過	前中期自然治癒	時ニ母體死亡・胎兒死亡・流産	

圖五三三 惡阻ノ原因。

未ダ不明ナルモ、胎兒又ハ其附屬物(恐ラク絨毛上皮細胞)ヨリ生ジタル妊娠毒ノ排泄又ハ解毒ガ不完全ナル爲メ其毒素ガ體內ニ滯積シ、以テ本症ヲ來スト云フ。
補助原因
(一)神經過敏
(二)胃腸ノ疾病又ハ便秘。
(三)性病……………子宮後屈症、子宮腔部産褥等

(四)其他ノ内臟疾患……………肝臟病、腎臟病等

圖五三三 惡阻ノ症狀。

一輕症期 一名神經症期(暗示奏效ノ期)
既ニ正常ノ範圍ヲ超ユレバ假令輕症タリトモ

- (一)嘔吐ノ回数ト強サハ漸次ニ激シク、
- (二)食事ニ關係ナク嘔吐ヲ起シ、如何ナル食物ヲモ攝取シ得ズ、從ツテ……………

- (1) 營養不足ノ爲、身體衰弱日ニ加リ、心臟筋肉ノ營養モ衰ヘテ脈搏速小トナリ
- (2) 水分不足ノ爲、口渴ト減尿ヲ來ス、

二重症期 一名毒血症期(中毒症露骨ノ期)

- (一)發熱、熱型不定(稀ニ四十度ニ達ス)
- (二)脈搏、益々頻細、呼吸速迫。
- (三)嘔吐、末期ニハ多クハ却テ鎮靜ス。
- (四)尿、蛋白ヲ證明、時ニ血液ヲ混ズ。
- (五)神經系障礙
- (1) 頭痛、(頭重)、眩暈。

- (2) 幻視・閃光・幻聽・耳鳴・謔語。
- (3) 嗜眠、昏睡、精神異常。
- (4) 痙攣(顔面、手足ニ搖蕩痙攣)

圖五三三 惡阻ノ豫後ヲ問フ。

一異常惡阻ノ治療ハ割合ニ困難ニシテ、殊ニ重症期ニ入リタルモノハ死亡スルモノ比較的多シ。
二胎兒ハ、重症期ニハ屢々死亡シ又流産スルモ、母體ノ死亡スルマデ生存スルコトアリ。

圖五三三 妊娠嘔吐(つはり)ノ處置。

一適度ノ運動 殊ニ新鮮ナル空氣中ヲ散步セシメ、過敏神經ノ鎮靜ニツトムベシ、
二食物
(1) 選擇ハ妊娠ノ意ニ任セ、成ルベク滋養ニ富メル消化シ易キモノヲ與フベシ。
不消化物ハ注意シテ先ヅ少量ヨリ試ミレバ宜シ。
(2) 早期ノ嘔吐ニハ起床前約一合ノ冷水ヲ飲ミテ凡ソ一時間安靜ニセシムベシ。

- (3) 食物分量多キガ爲ニ嘔吐スル時ハ、一日數回ニ少量
ヅ、ニ別チテ與フベシ。
- (4) 飲料(香茶・ソーダ水・牛乳)等ハ妊婦ノ欲スルニ從ヒ、
成ルベク與フルヲ可トス
其温度ハ通常冷却セルヲ可トスルモ嗜好ニ任ス。
- 三 便通ヲ整ヘ、便秘アラバ灌腸ヲ施スベシ。
- 四 衣服居室其他ハ一般攝生法ニ從フベシ。

圖五二〇 惡阻ノ處置◎

- (甲) 病的惡阻ハ速ニ醫治ヲ乞ヒ、殊ニ入院ヲ可トス。
- (乙) 產婆ハ正常妊娠嘔吐ノ一般處置ヲ適用シ、ツトメ
テ身ヲ安靜ヲ計リ、
- (一) 經口攝食不能ノ時ハ醫師ノ指圖ニ從ヒテ滋養液又ハ
生理的食鹽水ノ注腸ヲ施シ、
漸ク輕快シテ口ヨリ攝食シ得ルニ至ルモ、滋リニ患者ノ選擇
ニ任セズ、流動食、半流動食、常食ノ順ニ極メテ徐々ニ移行
増量シテ與フベシ。
- (二) 口渴ニ對シ重曹水等ニテ不斷口中ヲ潤シ、

圖五二〇 惡阻ノ豫防法◎

- (一) 馬三六問ノ一、三
- (二) 生理的範圍ノ間ニ速カニ合法的處置ヲ施シ、少シニテモ病
的惡阻ノ發アラバ速カニ醫治ヲ乞フコト。
- (三) 體溫・脈搏・呼吸ニモ注意シ、
- (四) 嘔吐ハ假令鎮靜スルモ、他ノ症狀不良ノ間ハ決シテ
油斷セズ、又便通ヲ整ヘ、
- (五) 尿ノ量及ビ性狀ニ留意シ、
- (六) 痙攣其他ノ神經症狀アル時ハ室内ヲ極メテ靜カニ
シ、凡テノ刺戟ヲ避ケ、
- (七) 流産ノ爲來ル腔ノ異常分泌ニ注意スベシ。

圖五二二 重症惡阻ノ症狀ヲ列舉セヨ◎

〔解〕 本問ハ或ハ生理的惡阻ニ對スル病的惡阻ヲ意味スルヤモ
知レヌ故先ゾ題意ヲ質スベシ、不明ノ時ハ廣意ニ解釋シ
テ惡阻ノ輕症期ト重症期ノ兩方ヲ答フベシ。

圖五二二 妊娠惡阻看護上ノ要點◎

〔解〕 生理的(馬三六問)ト病的(馬三九問)ト兩方答フルガヨイ。

圖五二四 妊娠惡阻(つはり)ノ症狀◎

〔解〕 馬三四問ノ上段

圖五二四 惡阻發現ノ時期◎

妊娠初期多クハ第二ヶ月ノ半頃ヨリ發現ス。

圖五二五 妊娠惡阻ノ經過◎

〔解〕 (一) 症狀(馬三六問) (二) 危險(馬三七問)

圖五二六 惡阻ノ診斷◎

- (一) 妊娠徵候(月經閉止、乳房其他性器ノ妊娠變化)アルコト。
- (二) 惡心嘔吐、飲食嗜好ノ變化、唾液分泌過多等ヲ以テ初マリ
- (三) 次テ身體心臟ノ衰弱、減尿便秘
- (四) 遂ニ毒血症狀(發熱、神經系障礙)ヲ起ス事。

圖五二七 子癇ニ就イテ◎

- 一定義……………馬二四八問
- 二種類……………馬二四九問
- 三原因……………馬二五〇問
- 四前驅症……………馬二五二問
- 五症候……………馬二五三問

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

六豫後……………馬二五四問

七診斷……………馬二五五問

八處置……………馬二五七問

圖五二八 子癇ノ定義◎

妊産・褥婦ニ於テ、失神ト共ニ、全身橫紋筋ノ痙攣發作
ヲ來ス疾病ヲ云フ。

圖五二九 子癇ノ種類◎

- (一) 分娩期子癇 最モ多ク (二) 妊娠期子癇之ニ次ギ
- (三) 產褥期子癇 最モ少ナシ。

稀ニ(1) 無痙攣子癇(2) 無蛋白尿子癇アリ

圖五三〇 子癇ノ原因◎

一原因

妊娠ノ爲ニ生ジタル妊娠毒ノ排泄、又ハ解毒ガ妨ゲラ
レ、其毒素ガ體內ニ滯積シ、以テ本症ヲ來スモノトス。
ニ補助原因

- (一) 腎臟病(浮腫、減尿、蛋白尿)、肝臟病アル時ニ來ル。

第四編 母體全身ノ異常

- (一) 妊娠期子癇ハ殊ニソノ後半期ニ多シ。
- (二) 初産婦(殊ニ高年弱年初産婦)双胎等ニ多シ。

三頻度
分婉約五〇〇回ニ一回(病院ニヨリテハ一〇〇回ニ一回)
圖五三三 子癇ノ前驅症◎

子癇發病ノ數時又ハ數日前ニ……

- (1) 頭痛(頭重)・眩暈
- (2) 視覺障礙(弱視・閃光)聽覺障礙(耳鳴・聽覺)
- (3) 惡心・嘔吐
- (4) 欠伸・倦怠等

右ノ一部又ハ數多ヲ起シ

其他通常妊娠腎ノ徵候トシテ、「浮腫」「減尿」「蛋白尿」ノ他ニ時ニ「高血壓」ヲ認ム。

圖五三三 子癇ノ症狀◎◎

(一) 痙攣發生ノ時間ト回数。

第一段 先ヅ口ノ周圍ノ筋肉ニ抽搐痙攣來ル。
第二段 次ギニ全身ノ筋肉ニ強直痙攣ヲ來ス。

第三段 最後ニ全身ノ筋肉ニ抽搐痙攣ヲ來ス。
以上合セテ一回ノ發作ハ凡ソ一—二分間ニシテ、數回反復發作スルヲ常トス。

(二) 發作中ノ狀態

- (1) 顔面ニチアノトセラ呈シ、眼球上竄、牙關緊急ヲ起シ、口腔ヨリ泡沫ヲ出ス。
時ニ自ラ舌ヲ咬ミ、泡沫ニ血液ヲ混ズルコトアリ。
- (2) 項背筋ノ痙攣ニヨリ後弓反張ヲ呈シ、
- (3) 此間意識ハ喪失シ多クハ轉轉反側ス。

(三) 間歇時ノ有様

- (1) 意識ハ直チニ恢復セズ熟睡シ鼾聲ヲ發ス。
- (2) 長時間失神後ハ醒覺迄ニ長時間ヲ要ス。
- (3) 醒覺後、失神中及直前ノ事柄ニ記憶ナシ。

(四) 發作ト分婉トノ關係……(五三三問)

圖五三三 子癇發作ト分婉トノ關係◎

- (1) 妊娠中ニ子癇發作スル時ハ分婉ヲ誘發ス。
- (2) 失神中ニ分婉シタル時ハ、醒覺後トイヘドモ分婉ノ經

リ少ナシ。

	子癇	癲癇	ヒステリー	尿毒症
妊産婦	必ズ然リ	通常否	通常否	必ズ然ラ
既往	妊娠後期ニ妊婦腎ヲ前驅過ス	通常否	通常否	多クハ腎炎ヲ經過ス
失神	完	完	不完	完
浮腫・減尿・蛋白尿	有(通常高度)	無	無	有

圖五三三 子癇ノ豫防法◎

一 妊婦ニ於テ「全身ノ浮腫」「減尿」「蛋白尿」ヲ認メタル時ハ、子癇ヲ未然ニ防ガンガタメ成ルベク速カニ醫師ノ診療ヲ乞ハシムベシ。

二 產婆トシテハ、妊娠腎ノ處置ヲ三五問ヲ行フベシ。

圖五三三 子癇ノ處置◎◎

一 豫防……(三五三問)ニ處置

- (一) 痙攣發作ノ豫防……(三五三問)
- (二) 發作中ノ注意……(三五三問)

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

- 過ニツキテハ全ク記憶セズ。
- (3) 發作—失神中ニ於テモ陣痛ハ常ノ如ク起リ分婉ハ進行シ得。
- (4) 時トシテハ産婦ハ熟睡ノマ、分婉セズシテ死亡スルコトアリ。

圖五三三 子癇ノ豫後◎

一 胎兒 生活能力ヲ有スル胎兒ノ四割ハ死亡ス。

既ニ一—二回ノ發作ニヨリ死亡スルモノアリ。

ニ母體 死亡モ割ニ多ク、死因ハ

- (1) 心臟麻痺 (2) 腦溢血、(3) 嚔下肺炎等、後發病

(二) 慢性腎炎、(三) 精神病、

(三) 腦溢血症(失明・失語症・半身不隨)等、

圖五三三 子癇ノ診斷及類症鑑別◎

妊産婦ニ於テ、失神ト共ニ、全身横紋筋ニ痙攣ヲ來シ、浮腫・減尿・蛋白尿アル時ハ、先ヅ子癇ト診斷シテ誤

第四編 母體全身ノ異常

(三) 間歇中ノ注意

(1) 失神中ハ飲食物ヲ與フベカラズ、若シ之ヲ與フル時ハ嘔下肺炎ヲ來ス虞アリ。

(2) 之ニ反シ醒覺ノ間ハ成ルベク多クノ飲料ヲ與フルヲヨロシトス。

(3) 義齒或ハ損ジ易キ齒ハ豫メ之ヲ取除キ置クベシ。

(四) 分娩ニ對スル注意

(1) 失神中ニテモ分娩ハ進行シ得ルモノナル故、絶エズ其經過ヲ注意シテ、殊ニ時々外陰ノ有様ヲ見ルベシ。

(2) 然レドモ徒ラニ内外診ヲ行フ時ハ發作ヲ誘フコトアルガ故注意スベシ。

圖五二五 子癇發作ニ對スル處置

最モ速カニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ、産婆ハ……

(一) 痙攣發作ノ豫防トシテ凡テノ刺戟ヲ避ケ、

(1) 發作ヲ起リタル時モ強ク押ヘツクル事ナク、

(2) 總テ強音ヲ避ケ、無用ノ人ヲ遠ザケ、
(3) 室内ノ光線モアマリ強カラザラシムベシ。
(二) 發作中ノ注意

(1) 發作中ニハ患婦自ラ舌ヲ咬ムコトアルヲ以テ、開口器又ハ布ヲ卷キタル木片等ヲ、臼齒ノ間ニ挿入スベシ。

(2) 尙ホ又舌ノ引込ム時ハ上顎骨ヲ強ク徐々ニ前方ニ押シ出スベシ。

圖五二六 子癇ニ特有ナル痙攣發作

〔解〕 五二五問ノ(一)

圖五二七 失神中ニ發スル痙攣發作ニ就テ

〔解〕 五二五問ニ別ニ參照シテ知ツテ居ル文ケ記ス。

圖五二八 子癇ノ分娩ニ及ボス影響

〔解〕 五二五問ノ(1)(3)

圖五二九 子癇ニ對スル産婆ノ一般的處置方針

- (1) 子癇其モノ、豫防
- (2) 痙攣發作輕減
- (3) 發作中救急法
- (4) 間歇中ノ事故豫防
- (5) 分娩ニ對スル注意

〔五二五問照合〕

圖五三〇 子癇ノ特徴

〔解〕 定義五二四問ヲ述ベ、通常「浮腫」「減尿」「蛋白尿」ヲ伴フ由ヲ述ブベシ(五二五問ノ診斷ヲ參照)

圖五三一 子癇トハ如何ナル疾病ナリヤ

〔解〕 (一) 特徴五二四問ノ他ニ、
(二) 種類五二四九問ヲモ附記スベシ。

圖五三二 子癇ノ原因

〔解〕 五二五問ノニ補助原因ヲ記ス。

圖五三三 子癇ノ救急處置

〔解〕 五二五問ノ(一)(二)(三)
〔註〕 「子癇發作中ノ救急手當」ハ「子癇發病中ノ手當」ト見做シ、本問ノ答ト同ジク、間歇時手當ヲモ記シテ宜シ。

圖五三四 類子癇症(子癇前驅症)ノ處置

(一) 速カニ醫師ノ診療ヲ乞ハシメ
(二) 産婆トシテハ妊娠腎ノ處置ヲ五二五問ヲ行フベシ。

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

圖五三五 子癇發作中ノ狀態

〔解〕 五二五問ノ(一)及(二)

圖五三六 子癇前驅症ト鑑別スベキ疾病

(一) 妊娠腎 (二) 尿毒症ノ前驅症 (三) 關邊血ノ前驅症。

圖五三七 妊婦ノ腎臟病ニ就イテ

- 一 妊娠腎(妊娠ネフローゼ)……………(五二七二問)
- 二 腎炎……………(五二七三問)
- 三 腎盂炎……………(五二七四問)

圖五三〇 妊娠腎ニ就イテ

- 一 定義……………(五二七二問)
- 二 原因、症狀、豫後(經過)……………(五二七三問ノ上段)
- 三 障礙……………(五二七四問)
- 四 處置……………(五二七五問)

圖五三二 妊娠腎ノ定義

妊娠毒ニ因リ腎細尿管上皮ニ一定ノ病變ヲ來シ、爲ニ高

第四編 母體全身ノ異常

度ノ全身浮腫・減尿・蛋白尿ヲ起シ、分娩ヲ終レバ多クハ比較的速度ニ自然ニ治癒スル疾患ヲ云フ。

圖五三三 妊娠腎ト腎炎トノ比較※

(四) 經 過	狀 症	(一) 原 因	
		妊娠腎 (妊娠ネフローゼ)	腎 炎 (腎臟炎)
起リ 妊娠後半期、殊ニ後期ニ至リ近クテ進行、分娩後早ク治ル	血管系 血管系ニ著變ナシ 時ニ高シ(一般ネフロ一ゼハ高カラズ) 甚ダ高度トナルコトアリ(如何ニ高度デモ腔水ハ起サズ) 度トナリ得 二三%以上、頗ル高	腎細尿管上皮細胞ノ變化腎マルビギ絲毛ノ炎症	非妊婦又ハ男子ニモ來ル腎炎ノ原因ト同一ニシテ、妊娠ニ偶發ス。
分娩後早ク治ル	蛋白尿 度トナリ得 二三%以上、頗ル高	血管系殊ニ心臟ニ變化アリ 高キヲ常トス	來リ得
分娩後早ク治ル	減尿 有	血管系殊ニ心臟ニ變化アリ 高キヲ常トス	來リ得
分娩後早ク治ル	浮腫 有	血管系殊ニ心臟ニ變化アリ 高キヲ常トス	來リ得
分娩後早ク治ル	頭痛・眩暈・悪心・嘔吐・網膜剝離	血管系殊ニ心臟ニ變化アリ 高キヲ常トス	來リ得

圖五三四 妊娠腎ノ障礙◎

- (1) 胎盤早期剝離……………(胎兒附屬物)
- (2) 胎兒發育障礙—胎兒死亡……………(胎兒)
- (3) 流産、早産……………
- (4) 子癇ノ誘發……………
- (5) 網膜剝離ニヨル失明……………

(二) 妊 娠 中

(一) 分 娩 中

- (1) 微弱痛陣……………(母體)
- (2) 弛緩出血……………
- (3) 產褥中…子宮復故不全……………

圖五三五 妊娠腎ノ處置◎

- (甲) 醫治ヲ受ケシメ、尿ヲ其ノ検査ニ供スベシ。
- (乙) 産婆トシテノ注意ハ……………
- (一) 安靜ヲ守ラシメ、感冒ヲ豫防シ、
- (二) (1) 牛乳及ビ無刺激性飲料ヲ與フルハ可ナレドモ一日量ヲ制限シ、(2) 野菜果實ヲ與ヘ、(3) 食鹽肉類ヲ或ル程度マデ避ケ、(4) 藥味及ビ酒類ヲ禁ズベシ。

- (三) 視力障礙ハ失明豫防ノ爲迅速醫師ニ送リ、
- (四) 子癇ヲ警戒シ、尿量ト尿蛋白トニ注意スベシ。

圖五三六 妊婦ノ檢尿ヲ要スベキ場合ト検査法◎

- (一) 妊娠中、蛋白質(肉類)ヲ餘リ多量ニ攝ラズ、含水炭素ハ平常ヨリ多ク取ルコト。
- (二) 藥味及酒類ヲ禁ジ、新鮮ナル野菜果實ノ適量ヲ取ルコト。

圖五三七 妊娠腎ヲ説明セヨ◎

〔解〕 定義(五三三問)ノ他ニ腎炎トノ比較(五三三問)ノ上段ヲ簡單ニ附記スル。

圖五三八 妊娠腎ノ産褥時ノ經過◎

〔解〕 五三三問ノ經過ト、五三四問ノ産褥中ノ障礙。

圖五三九 妊娠腎ノ診断◎

〔解〕 五三三問ノ症狀ト經過参照。

圖五四〇 妊娠中便秘無尿ヲ來ス

異常ヲ舉ゲヨ◎

〔解〕 本問ノ便秘無尿同時ニ來スモノト解スレバ無尿ヲ尿閉ト見做シ、「後轉妊娠子宮ノ嵌頓症」ヲ舉グベシ。

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

便秘ヲ來スモノニハ「脚氣」無尿ヲ來スモノニハ「高度ノ」妊娠腎、「腎炎」及ビ「子癇」ヲ考フベシ。

圖五三六 妊婦ノ檢尿ヲ要スベキ場合ト検査法◎

- (一) 浮腫、減尿、頭痛(頭重)、眩暈、悪心、嘔吐其他ノ妊娠腎症狀アル時。
- (二) 既往ニ腎炎ニ罹リタル事アル妊婦。
- (三) 排尿障礙ヲ訴ヘシ場合(膀胱炎等)
- (四) 腎盂炎ヲ疑フ場合。

檢尿法

- 一量、色、濁濁、反應、比重等ヲ檢ス。
- ニ蛋白質證明法
- (一) 試験管ノ尿ヲ煮沸シテ濁濁ヲ生ジ、ソレガ稀硝酸ノ數滴ニヨリ透明トナラザレバ蛋白トス。
- (二) 試験管ノ尿(高サ約一寸)中ニ二〇%ズルフオサリチル酸液ヲ二、三滴滴下シ、濁濁ヲ生ズレバ蛋白トス(但シ酸性尿ニ限ル)。
- (三) 試験管ノ濃鹽酸ノ上ニ靜カニ尿ヲ重ネテ兩液ノ境界ニ白色輪ヲ生ズレバ蛋白トス。

圖五二二 妊婦ノ浮腫ニ就イテ

〔解〕 先ツ妊娠浮腫(五二四問)ニ就テ詳説シ、
其他ノ浮腫(五二六三問参照)ヲ簡單ニ説明スレバヨイ。

圖五二三 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因

一 妊娠ニ由來スル浮腫

(一)「子癇」ニ於ケル浮腫

(二)「妊娠腎」ニ於ケル浮腫

(三)「妊娠浮腫」

ニ 妊婦ニ偶發スル浮腫

(一)「腎炎」・「一般ネフローゼ」ニ於ケル浮腫

(二)「脚氣」・「ビタミン缺乏症」ニ於ケル浮腫

(三)「心臟病」・「水血症」ニ於ケル浮腫

(四)重症疾患ニ於テ「心臟衰弱」ニヨル浮腫

圖五二四 妊娠浮腫ニ就イテ記セ

一定 義……五二六問

二 原因……五二六問

三 症狀……五二七問

四 豫後……五二八問

五 處置……五二九問

圖五二五 妊娠浮腫ノ定義

一 生理的妊娠浮腫

妊娠ニ因ル輕度ノ浮腫ニシテ、下肢又ハ其附近ニ限リ、

而モ蛋白尿ヲ呈セザルモノヲ云フ。

二 病的妊娠浮腫「妊娠浮腫」

妊娠ニ因ル高度ノ全身浮腫ニシテ、而モ蛋白尿ヲ呈セ

ザルモノヲ云フ。

圖五二六 妊娠浮腫ノ原因

「妊娠毒」ニヨリテ發ス。

妊娠子宮ノ壓迫ニヨル體血ハ下肢及其附近ノ浮腫發生ヲ助ク、

初産婦及双胎ニ多シ。
過量ノ液體及食鹽ノ攝取ハ其發生ヲ助長ス。

圖五二七 妊娠浮腫ノ症狀

生理的妊娠浮腫

(1) 浮腫ハ輕度ニシテ、

(2) 下肢(殊ニ脛骨前面)・

下腹・外陰ニ限リ、

(3) 屢々一過性ナリ。

圖五二八 妊娠浮腫ノ豫後

生理的妊娠浮腫

(1) 妊娠後半期殊ニ後期ニ

妊婦ノ約九割餘ニ發ス

ルモ、

(2) 何等危険ナク、分娩終レ

バ速カニ消退ス。

妊娠浮腫(狹意)

(1) 浮腫ハ高度、

(2) 全身ニ及ビ、

(3) 常ニ持續性ナリ。

圖五二九 妊娠浮腫ノ豫後

妊娠浮腫(狹意)

(1) 浮腫其者ハ母子ニ危険

ナク、

分娩終レバ比較的速カニ

消退ス。

(2) 往々妊娠腎次子癇ニ

移行スルコトアリ。

圖五二九 妊娠浮腫ノ處置

生理的妊娠浮腫

(1) 特別ノ處置ヲ要セズ

妊娠浮腫(狹意)

(1) 必ズ醫療ヲ乞ハシメ、

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

(2) 稍強キモノハ臥牀中下

肢ヲ高クセシム

(3) 液體攝取量ヲ制限シ、

食鹽ヲ成ルベク節セシム

圖五三〇 妊娠浮腫ノ豫防法

妊娠中過量ノ液體及食鹽ヲ取ラヌ事。

圖五三一 妊婦下肢ニ來ル浮腫ノ原因及處置

(一) 生理的妊娠浮腫ニ於ケル浮腫ハ主ニ下肢又々其附近ニ來リ

妊娠毒モ關係アルガ、妊娠子宮ノ壓迫ヲ主因トス。

(二) 處置五二九問ノ上段

圖五三二 妊娠中浮腫ノ症狀

〔解〕 (一) 妊娠浮腫ノ症狀ハ五二七問、

(二) 其他ノ浮腫ハ之ヲ起ス疾病自ラノ症狀ヲ呈ス。例ハ

ハ脚氣ニハ脚氣ノ症狀ヲ三二七問ヲ起ス。

圖五三三 妊婦ノ浮腫ノ原因及其鑑別診斷

〔解〕 (1) 原因ハ五二九問

(2) 妊娠浮腫ノ生理的ト病的トノ鑑別ハ五二七問、

(3) 其他ノ浮腫(五二六三問参照)ハ之ヲ起ス疾病ノ特徴ヲ參

第四編 母體全身ノ異常

考スル。例ヘバ子癩ハ失神、痙攣、妊娠腎ハ減尿、蛋白尿、脚氣ハ下肢ノ知覺異常・運動障礙等。

圖五二五 妊婦ニ起ル浮腫ノ豫後

【解】 妊娠浮腫ノ豫後ハ五二六問。

其他ノ浮腫(五二六問参照)ノ豫後ハ其疾病ニヨツテ異ナル故、ソレヲ記ス。

例ヘバ子癩ハ五二五問、妊娠腎及腎炎ハ五二七問、脚氣ハ五二八問。

圖五二六 妊娠時ニ於ケル浮腫ノ各々ガ母子ノ生命ニ及ボス影響

【解】 前問ト同様。

圖五二七 妊娠時浮腫ノ處置

【解】 (一) 妊娠浮腫ノ處置ハ五二九問。

(二) 其他ノ浮腫(五二六問参照)ノ處置ハ、其疾病ニ對スル處置ヲ五二七問、五二八問、ヲ簡單ニ附記スル。

圖五二八 浮腫アル産婦ニ對シ特ニ注意スベキ事ヲ記セ

【解】 (一) 妊娠浮腫ノ注意ハ五二九問。

(二) 其他ノ浮腫(五二六問参照)ノ注意ハ其疾病ニヨリ各々特別ノ注意事項ヲ記ス、例ヘバ子癩ハ失神・痙攣等、

妊娠腎・腎炎ハ尿量・尿蛋白質ノ有無及量、脚氣ハ下肢ノ知覺異常・運動障礙等々ニ注意シ且ツ各病ノ處置トシテノ注意事項ヲ附記スル。

圖五二九 強度ノ浮腫アル産婦ニ對スル産婆ノ注意

【解】

強度ノ浮腫ハ病的妊娠浮腫、妊娠腎ニ來ルカラ五二九問及五三〇問ヲ参照シテ其各々ノ注意事項ヲ述ベレバヨイ。

圖五三〇 妊娠後半期浮腫ノ原因ト看護法

【解】

(一) 子癩ハ一ト二回ノ發作ニヨリ既ニ胎兒死亡ヲ來スコトアリ

(二) 妊娠腎及腎炎ハ五二七問ノ(一)ノ(1)(2)(3)。

(三) 脚氣ハ重症ナレバ、胎兒發育障礙又ハ死亡。

圖五三一 妊娠中浮腫ヲ起シ易キ疾病三ツヲ簡單ニ説明シ取扱上ノ注意事項ヲ述ベ

【解】 原因ハ五二九問ノ一

看護法ハ五三〇問、五三一問、五三二問

圖五三二 妊娠中浮腫ヲ起シ易キ疾病三ツヲ簡單ニ説明シ取扱上ノ注意事項ヲ述ベ

目

【解】 妊娠腎、妊娠浮腫、脚氣ノ定義(又ハ原因)ヲ述ベ(五二七問、五二八問、五二九問)

取扱ハ五二七問、五二八問、五二九問ヲ参照シテ注意事項ヲ項目ニ分ケテ答フベシ。

圖五三三 妊婦ノ靜脈瘤ニ就イテ

一 原因……五三四問

二 症狀……五三四問

三 危險……五三五問

四 處置……五三六問

圖五三四 妊婦靜脈瘤ノ原因

(1) 妊娠毒ニヨリ靜脈管壁ニ變化ヲ來ス事ト(2) 妊娠子宮ノ壓迫ニヨリ下肢・外陰・腔壁ヨリ還流スベキ靜脈管ノ血行ガ妨ゲラル、事ノ、兩因相俟ツテ之ヲ起ス。

補助原因 (1) 妊娠末期程強ク (2) 經産婦ニ多ク

(3) 長時間起立又ハ歩行スル職業婦人ニ多シ。

圖五三五 妊婦靜脈瘤ノ症狀

一 發生部位

第一章 妊娠ニ因ル母體全身異常

下肢、外陰、腔壁等ニ生ズ。

三 障礙

(一) 其部ニ疼痛又ハ痒痛ヲ訴ヘ、

(二) 搔爬或ハ衣服ノ摩擦ニヨリ潰瘍ヲ生ズ。

(三) 時ニ靜脈管破レテ出血ヲ來スコトアリ。

(四) 次第ニ歩行困難トナリ、容易ニ疲勞ス。

三 危險……五三五問

圖五三五 妊婦靜脈瘤ノ危險

一 潰瘍ヨリ細菌侵入シテ靜脈炎―膿毒症ヲ來スコトアリ。

二 靜脈瘤ノ破裂ニヨリ強キ出血ノ危險アリ。

圖五三六 妊婦靜脈瘤ノ處置

(甲) 其度ノ甚シキハ必ず醫療ヲ受ケシム。

(乙) 産婆ノ所置

(一) 専ラ安靜ニシ、長時間ノ起立ヲ避ケ。

(二) 破裂ノ豫防トシテ「フランネル」又ハ繃帯ヲ用ヒテ

其部ニ一樣ノ壓迫ヲ加フ。

(三) 破裂後ハ直チニ消毒ガーゼ等ヲ用ヒテ、出血部分ヲ壓迫シ醫師ノ治療ヲ乞フ。

圖五三〇七 妊婦靜脈瘤ノ發生部位○

〔解〕 五三〇四ノ一

圖五三〇八 靜脈瘤ノ豫防法○

妊娠中長時間ノ起立ヲ避ケ、便通ヲ整調ニスル事。

第二章 妊婦ノ偶發病

圖五三〇九 妊婦ノ偶發病トハ如何○

妊婦ハ非妊婦ト同様ニ總テノ疾病ヲ偶發シ得ルモノニシテ之ヲ妊婦ノ偶發病ト稱ス。

妊娠中ハ一般ニ抵抗力減弱セルヲ以テ、疾・病・ニ・侵・サ・レ・易キノミナラズ、一旦發シタル稍重キ疾病ハ妊娠ニヨリテ益々増悪シ、胎兒死亡又ハ妊娠中絶ヲ起スコトアルモノナリ。

圖五三一〇 妊婦合併症ノ名稱ヲ列舉セヨ○

妊婦ハ非妊婦ト同様ニ如何ナル疾病ヲモ偶發シ得ルモノナレドモ其重要ナルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ。

一 流行性感胃

二 熱性傳染病

三 心臟病

四 肺結核、肋膜炎

五 蟲樣突起炎、脚氣

六 腎炎、腎孟炎等

圖五三一 人工妊娠中絶ヲ要スル主ナル母體疾患ノ名稱ヲ舉ゲヨ○

一 肺結核、肋膜炎、心臟病、腎臟病(腎炎、腎孟炎)、脚氣、糖尿病

二 惡阻、子癇、妊娠腎

三 狹骨盤、習慣性流産出血等

以上ハ何レモ病症ノ程度ニヨリ手術ヲ要ス。

圖五三二 避妊ハ如何ナル場合ニ行フベキカ○

人口問題、社會政策、優生學ノ見地ヨリスル避妊ハ別トシ、専ラ保健衛生ノ上ヨリ論ズレバ、只妊娠中絶ニヨリ母體ノ生命健康ヲ危クスベキ原因アル時ニ限リ之ヲ救ハンガタメ避妊ヲ行ヒ得ベキモノトス。例ヘバ……

一 肺結核、肋膜炎、腎炎、脚氣

二 惡阻ニテ毎回生命ヲ危クセシモノ。

三 狹骨盤、習慣性流産出血

但シ其病症輕クシテ妊娠後中絶術ヲ許サザル程度ノ場合ニモ行フヲ得。

圖五三三 流行性感胃ト妊娠分娩トノ關係○

一 原因

インフルエンザ菌ニヨル。

妊婦ハ流行性感胃ニ罹リ易キノミナラズ、ソノ死亡率モマタ甚ダ多シ。

二 障礙

妊婦本症ニ罹レバ妊娠中絶ヲ來スコト多ク、中絶後ノ腹後ハ不良ナリ。

三 豫防法

寒冷ノ季節ニハ成ルベク外出ヲ控エ、衆人群集ノ場所又ハ流行地ニ立入ラザルコト

四 處置

(1) 速カニ醫師ノ來診ヲ乞ヒ、絶對安靜、得ルナラ入院勸告。

(2) 室温ヲ調へ、換氣ニ留意、酸素吸入又ハ放散。

圖五三四 妊婦ト急性傳染病○

妊婦ハ非妊婦ト同様、種々ノ急性傳染病(腸チフス、猩紅熱、麻疹、痘瘡、流行性感胃等)ニ罹リ得ルノミナラズ却ツテ罹リ易シ。

第二章 妊婦ノ偶發病

圖五三六 肺結核ト分娩トノ關係○

(2) 稍重症以上 ナラバ妊娠中既ニ症狀益々増悪ス。

快スルモノ少カラズ。

(1) 最モ輕症 ニシテ妊娠前半期ニ食思不振、微熱ヲ發スルモ他ニ著シキ症狀ナキモノハ、妊娠後半期ニ輕

(二) 妊娠ガ結核ニ及ボス影響

症ヲ來ス。

(2) 重症 胎兒發育障礙、胎兒死亡、妊娠中絶又ハ不妊

(1) 輕症 著シキ影響ナシ。妊娠率ハ却ツテ増加ス。

(一) 結核ガ妊娠ニ及ボス影響

圖五三五 肺結核ト妊娠トノ關係○

一 妊娠ニ及ボス影響

時ニ胎兒死亡(多クハ死亡前ニ妊娠中絶)、屢々妊娠中絶ヲ來ス。

二 經過—豫後

非妊婦ヨリモ經過惡性ニシテ豫後不良ナルコト少カラズ。

第四編 母體全身ノ異常

- (一) 結核ガ分娩ニ及ボス影響
 - (1) 輕症 特別ノ影響ナシ
 - (2) 重症 屢々微弱陣痛ヲ來シ分娩遅延ス。
- (二) 分娩ガ結核ニ及ボス影響
 - (1) 最モ輕症 ニシテ既ニ妊娠後半期ニ輕快シタルモノハ分娩ニヨル影響殆ドナシ。
 - (2) 稍重症以上 ニシテ既ニ妊娠中増悪シタルモノハ勿論、然ラザルモノモ、分娩ニヨル貧血疲勞ノ爲メ愈々悪化ス。

圖五三七 肺結核ト産褥トノ關係◎

- (1) 最モ輕症 ニシテ妊娠分娩ヲ無事經過シタルモノハ産褥經過良好ニシテ産兒ノ發育亦佳良ナルヲ得。
 - (2) 稍重症以上 ナルモノハ分娩ノ影響ノ他ニ授乳ノタメ愈々悪化スル虞多シ。
- 特ニ産褥時ニハ粟粒結核ト稱スル危險ナル疾病ヲ起シ、産褥熱ト誤認セラル、コトアリ。

圖五三八 肺結核ト妊娠分娩産褥トノ關係◎

- 一 妊娠トノ關係………三三三問
- 二 分娩トノ關係………三三六問
- 三 産褥トノ關係………三三七問

圖五三九 肺結核ノ豫防法◎

- (1) (動靜) 適當ノ運動ヲ行ヒ、身ノ過勞ヲ避ケ、
- (2) (清潔) 新鮮ナル空氣ヲ呼吸シ、傳染危險ノ場所ニ立入ラズ
- (3) (衣服) 不潔ナル寢具ヲ用ヒズ、
- (4) (食物) 榮養(ウイタミンA)ノ攝取ニ注意シ、
- (5) (住居) 日光射入ヨキ室ニ住居スル事。

圖五三〇 肺結核ノ妊娠分娩産褥ニ於ケル處置及注意◎

- 一 妊娠中
 - (1) 輕症 ト雖油斷テカ最モ速カニ醫師ノ診察ヲ乞ハシメ、其指導ニ從ツテ榮養其他一般ノ衛生ヲ三三九問ニ注意スベシ。
 - (2) 稍重症以上 ノモノハ遅クモ妊娠四—五ヶ月以前ニ妊娠中絶術ヲ要スルコト多キヲ以テ、其時期ヲ失セザル様注意ヲ與フベシ。
- 二 分娩時
 - (1) 醫師ノ指導ニ從ヒ、全身一般狀態(體温脈搏等)ト榮養ニ注意シ、
 - (2) 病ノ輕重ニ應ジ授乳ヲ禁止スベシ。
 - (3) 將來ノ避妊法ニツキ醫師ノ指導ヲ受クベシ。

圖五三一 妊婦ノ蟲様突起炎ニ就イテ◎

一 原因

多クハ妊娠前ヨリ既存ノ蟲様突起炎ガ、妊娠中殊ニ後半期ニ、膨大子宮ノ器械的壓迫、牽引、便秘、充血ノ爲、再發又ハ増悪スルモノナリ。

二 影響

- (一) 蟲様突起炎ガ妊娠ニ及ボス影響
 - (1) 輕症 殆ド影響ナシ
 - (2) 重症 胎兒死亡又ハ妊娠中絶ヲ來ス
- (二) 妊娠分娩ガ蟲様突起炎ニ及ボス影響
 - (1) 慢性蟲様突起炎 ハ妊娠中ハ無事ナリトスルモ分娩時ニ汎發 腹膜炎ノ危險アリ。

第二章 妊婦ノ偶發病

- (2) 急性蟲様突起炎 ハ既ニ妊娠中ニ汎發 腹膜炎ノ危險ヲ起シ易シ。
- 三 處置
 - (一) 醫師ノ診察ヲ乞ハシムル事。
 - (二) 蟲様突起炎ノアル儘妊娠分娩ヲ經過シタル者モ、次回ノ妊娠ニ先立チ必ズ醫師ノ診察ヲ受ケシムベシ。

圖五三二 妊婦ノ急性突起炎ハ何故注意ヲ要スルヤ◎

[解] 前問ノ影響參照。

圖五三三 妊婦ノ盲腸炎ニ就キ◎

[解] 三三三問ト同一ノ答ニテ宜シ、(元來盲腸ト蟲様突起トハ別ナレドモ、盲腸炎ト蟲様突起トハ同一ニ慣用セラレアリ)

圖五三四 蟲様突起炎ノ豫防法◎

- (一) 便通ヲ整調ニシ、食物ノ咀嚼ヲ十分ニスルコト。
- (二) 右下腹ニ疼痛又ハ壓痛アル時ハ速カニ醫師ノ診察ヲ受クルコト。

圖五三五 妊婦ノ脚氣ニ就キテ◎

第四編 母體全身ノ異常

- 一原因……考三六問
- 二症狀……考三七問
- 三影響……考三八問
- 四處置……考三九問

問五三六 妊婦脚氣ノ原因○

- (1) 一般脚氣同様ヴイタミンB₁缺乏ニヨル。
- (2) 妊産婦ハ脚氣ニ罹リ易ク、又著シク増悪スル傾向ヲ有ス。

問五三七 脚氣ノ症狀○

- 一浮腫。ハ全身殊ニ下肢ニ著シク。
- 二下肢。ニ倦怠、知覺異常・運動障礙、腓腸筋壓痛、膝蓋腱反射消失等ヲ來シ、
- 三心悸亢進、食慾不振、便秘・減尿等ヲ起ス。

問五三八 妊娠ト脚氣トノ關係○

- 一脚氣ニ對スル影響
妊産婦ハ脚氣ニ罹リ易ク、又脚氣ヲ著シク増悪ス。
- 二妊娠、分娩、産褥ニ對スル影響
(一) 妊娠時。ニハ(1)胎兒死亡・妊娠中絶、(2)重キハ母體ノ死ヲ來スコトアリ、(3)分娩時。ニハ(1)微弱陣痛、(2)弛緩出血ヲ起シ、易シ

- (三) 産褥時。ニハ(1)子宮復故不全ヲ來シ、(2)授乳ニヨリ乳兒脚氣ヲ起ス虞アリ。

問五三九 妊婦脚氣ノ處置○

- 速カニ醫師ノ診療ヲ乞ハシメ、産婆トシテハ……
- 一 神身ヲ安靜ナラシメ、
- 二 食物ハ麥飯、半搗米、胚芽等ニヨリヴイタミンB₁ヲ補ヒ、新鮮ナル野菜果實等ニヨリ便通ヲ整フベシ。
- 三 微弱陣痛、弛緩出血ニ對スル注意ヲ拂ヒ、産褥時ニハ乳兒脚氣ヲ警戒スベシ。

問五三〇 妊娠中ノ脚氣ハ何故注意ヲ要スルヤ○

- 〔解〕 考三八問一及二ノ(一)

問五三一 ヴイタミンB₁缺乏症ノ妊婦及胎兒ニ及ボス影響○

- (一) 妊婦ニ脚氣ヲ起シ(二)胎兒ノ發育ヲ障礙ス。

問五三二 脚氣ノ豫防法○

- 〔解〕 考三九問一、二

問五三三 妊婦ノ腎炎ニ就イテ○

- 一原因、症狀、豫後(經過)……(考三三問ノ下段)
- 二障礙……(考三四問)
- 三處置……(考三五問)

問五三四 妊婦腎炎ヲ簡單ニ説明セヨ○

- 〔解〕 考三五問ノ下段ヲ簡單ニ記ス。
- 〔注意〕 以前ハ妊娠腎ト妊婦腎炎トヲ混同シタルコトアルヲ以テ、妊娠腎炎ナル出題ニツイテハ(1)妊婦ノ腎臟炎カ(2)妊娠腎ナルカヲ能ク糺シテ後答フベシ。若不明ナラバ兩方共答フルガヨロシ。

問五三五 妊婦腎炎ノ原因○

- 〔解〕 考三五問ノ(一)ノ下段

問五三六 妊婦腎炎ノ症狀○

- 〔解〕 考三五問ノ(三)ノ下段

問五三七 腎炎ト妊娠トノ關係○

- 〔解〕 考三五問ノ(四)下段、考三四問ノ(一)

問五三八 腎炎ト妊娠トノ關係○

- 〔解〕 考三四問ノ(一)

第二章 妊婦ノ偶發病

問五三九 腎炎ノ妊娠中ノ障礙○

- 〔解〕 考三五問ノ(一)

問五三〇 妊婦腎炎ノ母兒ニ及ボス影響○

- 〔解〕 考三五問全部

問五三一 妊婦腎炎ノ危險○

- 〔解〕 考三四問参照、
- (一) 母體ノ危險……(1)胎盤早期剝離ノ出血、(2)子癇・尿毒症ノ後發、(3)網膜剝離ニヨル失明、(4)弛緩出血ノ危險
- (二) 胎兒ノ危險……妊娠中胎兒死亡。

問五三二 妊婦腎炎ノ處置○

- 〔解〕 考三五問ト同一、

問五三三 妊婦腎盂炎ニ就イテ○

- 一原因……考三四問
- 二症狀……考三五問
- 三經過……考三四問
- 四處置……考三七問

圖五三〇 妊婦腎盂炎ノ原因〇

- 一 病原菌
 - 大腸菌ヲ主トシ、時ニ連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、稀ニ結核菌
- 二 徑路
 - 大腸菌ガ接觸腸管壁ヲ通ジテ腎盂内ニ侵入スルカ、
 - 又ハ血行・淋巴道ヨリ輸送セラル、モノト考ヘラル。
 - (膀胱ヨリ尿管内ヲ上昇シテ起スモノハ妊娠中ニハ稀ナリ)
- 三 補助原因
 - (一) 妊婦子宮尿管ヲ壓迫シ、其上部ノ尿管ヲ擴大シ、コ、ニ尿停滯ヲ來スコトガ重要ナル誘因トナル。
 - (二) 妊娠後半期ニ多ク、初産婦ニ多シ。

圖五三一 妊婦腎盂炎ノ症狀〇

- 一 發熱
 - 多クハ惡寒・戰慄ニ次イテ四十度近クノ高熱ヲ發シ、日々甚ダシキ弛張ヲ呈ス。
- 二 脈搏
 - 高熱ノ割ニ緩徐ナルコト尠カラズ。
- 三 患側腎部
 - ニ腫脹ヲ觸レ、壓痛ヲ訴ヘ、自發痛ヲモ覺ユ。
- 四 尿
 - 甚ダシク濁濁ス。(但シ患側尿管間ヘル時ハ健側ノ透明尿ノミガ排出セラル)

圖五三二 妊婦腎盂炎ノ經過〇

一 妊娠繼續中ハ自然治癒ハ困難ナルモ、適當ナル治療又ハ人工

自然分娩ニヨリ急速ニ快癒ス。
二 高熱及尿毒ノ爲メ屢々妊娠中絶ヲ來ス。

圖五三三 妊婦腎盂炎ノ處置〇

速カニ醫師ノ診療ヲ乞フベシ、産婆トシテハ……
一 患側ヲ上ニ、絕對安靜ヲ守ラシメ、患部ニ氷嚢ヲ貼テ、
二 多量ノ飲料(牛乳・ソーダ水・セルテル水・香茶)ヲ與ヘ、藥味類ヲ禁ズベシ。

圖五三四 腎盂炎ノ豫防法〇

便通及ビ尿利ヲ整フベシ。

圖五三五 妊婦ニ腎盂炎ノ起リ易キ理由〇

〔解〕 五三〇圖三ノ(一)

圖五三六 虛脫症狀ヲ簡單ニ説明セヨ

全身蒼白厥冷、冷汗ヲ流シ、脈搏頻細、瞳孔散大、死ノ將ニ至ラントスル症狀、

圖五三七 妊婦ノ呼吸困難ハ何ニヨツテ起ルカ

(1) 腹部過度ノ膨大(羊水過多症・双胎) (2) 急性貧血(強度ノ内出血) (3) 心臓病・胸氣・妊娠腎・腎炎 (4) 肺炎其他ノ呼吸器病

圖五三二 妊娠中ノ貧血ハ何故注意ヲ要スルヤ〇

- 急性貧血
 - 外出血ナクトモ内出血ノ危険アレバナリ。
- 慢性貧血
 - (1) 妊娠中胎兒營養障礙、稀ニ惡性貧血ノ虞。
 - (2) 分娩時微弱陣痛、分娩時出血ニ際スル影響強大。
 - (3) 産褥熱ノ傳染ニ對スル抵抗弱小。

圖五三三 妊婦ノ死因ヲ列舉セヨ〇

- (一) 大出血ニヨル亡血死
 - (胞狀鬼胎、前置胎盤、常位胎盤早期剝離、子宮外妊娠破裂、子宮特發破裂)
- (二) 後轉妊娠子宮嵌頓(腹膜炎・尿毒症)
- (三) 重症惡阻、子癲―尿毒症。
- (四) 重篤偶發病(急性傳染病、心臟病、肺結核、蟲瘻突起炎穿孔ニル化膿腹膜炎、脚氣衝心症、其他一般重症偶發病)

第六集 異常分娩

圖五 異常妊娠分娩及其取扱法

〔解〕 異常妊娠ノ定義(一)問、異常分娩ノ定義(二)問ヲ先ヲ記シ、多少ノ説明ヲ加ヘ、異常ニ對スル産婆ノ職責(一)問ニツキ時間ニ應ジテ例ヲ擧ゲテ説明スベシ。

圖六 二胎兒及其附屬物ノ異常ニ依ル異常分娩ノ種類ヲ分類列舉セヨ

胎兒附屬物ノ異常

- 一 早期破水、遲滯破水、卵膜ノ離斷殘留。
- 二 前置胎盤、常位胎盤早期剝離、胎盤滯留。
- 三 臍帶下垂脫出、臍帶強度纏絡、臍帶離斷、臍帶卵膜附着、臍帶眞結節、臍帶強度捻轉。

胎兒ノ異常

- 一 畸形、腦水腫、過熟兒。
- 二 異例後頭位、反屈位、骨盤位、橫位。
- 三 多胎分娩。
- 四 分娩中ノ胎兒死亡。
- 五 分娩中ノ胎兒危險(新産兒假死)

第六集 異常分娩

圖六 三分娩異常ノ原因ヲ列舉セヨ

(甲) 通過障礙

一 娩出力異常

微弱陣痛、痙攣—強直陣痛、微弱腹壓。

二 產道異常

(一) 骨產道異常……廣骨盤、狹骨盤

(二) 軟產道異常

(1) 重複子宮、懸垂腹、性器腫瘍

(2) 軟產道開大障礙 早期破水 高年—若年初産婦 組織硬變—瘢痕

三 胎兒原因

(一) 大小形態異常……重複畸形・腦水腫・過熟胎兒

(二) 位置異常……橫位・反屈位・低在橫定位等

(乙) 出血—急性貧血……(一)問

第一編 胎兒附屬物ノ異常

(丙) 其他ノ異常

(一) 胎兒附屬物。遲滯破水、臍帶下垂脫出一纏絡、

羊水過多—過少症

(二) 胎兒。骨盤位、複胎、胎兒死亡

(三) 母體。子癇、妊娠腎、心臟病、肺結核、脚氣、

虫様突起炎、腎炎、腎盂炎等。

圖六四 胎兒方産道ヲ容易ニ通過スルニ必要ナル條件◎

ル條件◎

〔解〕 (1) 娩出力(陣痛、腹壓)ガ適當ナルコト。

(2) 産道(骨産道、軟産道)ガ適當ナルコト。

(3) 胎兒ノ大小形態、胎位胎勢ニ異常ナキコト。

圖六五 陣痛正常ナルモ兒頭骨盤内へ進入セザル原因○

ル原因○

〔解〕 (1) 狭骨盤

(2) 軟産道ノ障礙…ウ三八問

(3) 膀胱直腸ノ充滿

原因 (一) 産道異常…狹骨盤

圖六六 陣痛異常ナク子宮口開大スルモ胎兒娩出シ得サル原因及處置○

出シ得サル原因及處置○

原因 (一) 産道異常…狹骨盤

(二) 胎兒異常…(1) 腦水腫、過熱兒、及胎畸形、胎兒腫瘍

處置…ウ二問 (2) 胎位胎勢異常(ウ七七参照)

圖六七 分娩遲延ノ原因◎

(1) 娩出力ノ微弱

(2) 狭骨盤、軟産道ノ障礙、膀胱直腸ノ充滿

(3) 過熱胎兒、腦水腫、畸形兒、胎兒ノ腫瘍、胎位胎勢ノ異常(骨盤位ヲ除ク)

〔附〕 成熟兒ノ自然分娩ヲ遂ゲ得サル場合○

〔解〕 前問ノ過熱胎兒ヲ除ク。

圖六八 胎兒通過ヲ妨ゲル産道異常ヲ列擧セヨ◎

(1) 狭骨盤

(2) 軟産道ノ障礙…ウ三八問

(3) 膀胱直腸ノ充滿

圖六九 分娩中母體危險ノ徵候※

一通過障礙ノ場合—破水後三時間以上ヲ經テ(破水後

陣痛發作ガ初産婦一五一回以上、經産婦一〇一回以上ニシテ)

胎兒

(一) 窒息 (1) 早期破水・被膜兒 (2) 胎盤剝離 (3) 臍帶脫

出・骨盤位・臍帶強度纏絡・臍帶離斷 (4) 分娩第二期遲

第一章 卵膜ノ異常

〔解〕 (一) 壓挫症狀(微弱陣痛・狹骨盤)

(二) 大出血(前置胎盤・常位胎早期剝離・子宮破裂・頸管裂

傷・弛緩出血)

(三) 心臟麻痺(子癇・心病・脚氣)

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

〔附〕 分娩第二期遲延ニヨル母兒ノ影響○

〔解〕 ウ二九問

第一編 胎兒附屬物ノ異常

圖六一 胎兒附屬物ノ異常ニヨル分娩異常ヲ問フ○

〔解〕 ウ二九問

第一章 卵膜ノ異常

圖六三 卵膜ノ分娩異常ニ就イテ○

一卵膜ノ薄弱ニ早期破水…ウ二四問

〔解〕 (一) 壓挫症狀(微弱陣痛・狹骨盤)

(二) 大出血(前置胎盤・常位胎早期剝離・子宮破裂・頸管裂傷・弛緩出血)

(三) 心臟麻痺(子癇・心病・脚氣)

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六二 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

脈搏、顔貌、其他ノ一般狀態ニヨリ危險ヲ認知シ得。

圖六〇 分娩中母兒ニ及ボス主ナル危險※

母體

(一) 陣痛強列ナルモ下向部前進セヌ時、殊ニ子宮收縮輪ノ上昇

ニ大出血(内外出血)ノ場合 顔面全身蒼白、四肢厥冷、脈搏不正微弱、呼吸促進、胸内苦悶等ニ急性貧血症狀

ニ其他ノ疾患

- 二 卵膜ノ強韌ニ遲滯破水……六、三問
 - 三 卵膜ノ子宮内残留……六、四問
 - 四 卵膜中ヲ走ル血管ガ破水ノ際ニ破レテ出血ヲ來ス。
- 圖六三 卵膜ノ病變ハ胎兒ニ如何ニ影響スルカ○

〔解〕 胞狀鬼胎及卵膜出血ノ胎兒融解吸收、前期破水・早期破水・遲滯破水ニ於ケル胎兒假死死亡ヲ説明スベシ。

- 圖六四 早期破水ニ就イテ○
- 一定義……六、五問
 - 二原因……六、六問
 - 三障礙、危險……六、七問
 - 四豫防法……六、八問
 - 五處置……六、九問

圖六五 早期破水ノ定義○

胎兒下部末ダ骨盤入口ニ嵌入セズ、子宮口尙ホ五—六、極ナラザルニ破水スルヲ云フ。

圖六六 早期破水ノ原因ト理由○

- 一 卵膜ノ薄弱
 - 二 陣痛又ハ腹壓ノ過強、粗暴ノ内診、
 - 三 下部部嵌入障礙……六、二(一)(二)(三)
- 理由

右ノ一、二ノ原因ニヨリ早期ニ破水スル理由ハ説明ノ要ナシ。
下部部嵌入障礙アル時ハ、後羊水ト前羊水ト永ク常ニ相交通スルノミナラズ胎胞ノ形成過大ナルヲ以テ、娩出力稍強烈トナリタル場合ノ後羊水内ノ壓力ハ其儘前羊水ニ及達シ、過大ナル爲ニ既ニ破レ易キ胎胞ヲ、此強キ力ニヨリ早期ニ破ルニ至ルモノナリ。

圖六七 早期破水ノ障礙及危險○

- 一 子宮口開大障礙 其結果……分娩遲延 (一) 疲勞微弱陣痛 (二) 發熱(產褥熱)
- 二 羊水多量漏出 其結果 (一) 臍帶ノ脱出 (二) 胎兒ノ壓迫 (三) 痙攣陣痛 胎兒假死—死亡

註「早期破水ノ影響」分娩產褥ニ及ボス影響ト云フ問題ニハ產褥熱ヲ加フベシ。

圖六八 早期破水ノ豫防法○

- 一 第一期ニ於テ腹壓ヲ禁ジ。
- 二 内診ノ際ニ卵膜ヲ破ラザル様細心注意スベシ。
- 三 下部部嵌入障礙アラバ、適當ノ臥位ニヨリ之ヲ除クベシ(六、六參照)

圖六九 早期破水ノ處置○

- 一 豫防法……六、八問
- 二 處置

(甲) 醫療、早期破水ノ後、常ニ必ズシモ醫療ヲ要セザルモ、次ノ場合ニハ直チニ醫師ノ來診ヲ乞ハシメザルベカラズ。

- (1) 母體ニ發熱其他ノ異常起リタルカ、又ハ胎兒心音ニ異常ヲ來シタルトキ。
- (2) 然ラザルモ破水後三時間以上ヲ經過シ

(或ハ破水後陣痛發作ヲ反復スル事初産婦一五一回以上、經産婦一〇一回以上ニシテ)

而モ尙ホ分娩進行ノ模様ナキトキ。

(乙) 產婆トシテハ……

- (1) 母體ノ檢温ヲ忘ラズ。
- (2) 且ツ胎兒心音ヲ度々聴取スベシ。(若シ之ニ異常アラバ内診ヲ行ヒテ臍帶脱出ノ有無ニ注意スベシ)

圖六〇 胎兒下部骨盤嵌入障礙ノ原因○

- (一) 狹骨盤・廣骨盤・過大兒頭・過小兒頭。
- (二) 骨盤位・橫位・顔面位。
- (三) 懸垂腹・羊水過多症・双胎。
- (四) 偏在—邊緣前置胎盤、筋腫其他ノ腫瘍。
- (五) 膀胱—直腸充滿。

圖六一 胎兒下部骨盤嵌入障礙ノ結果○

- (一) 早期破水從ツテ其障礙……六、七問
- (二) 臍帶ノ下垂—脱出。

圖六三 前期破水ニ就イテ○

- 一定義……六、三問
- 二原因……六、四問
- 三障礙—追ツテ早晚分娩開始スルヲ以テ、早期破水ノソレ等ニ
- 四處置—同ジ。

圖六三 前期破水ノ定義
分娩開始前ノ破水ヲ云フ。

圖六四 前期破水ノ原因

- (一) 卵膜ノ薄弱。
- (二) 強キ前陣痛又ハ努責、粗暴内診又ハ性交
- (三) 下部部嵌入障礙(六三問)

圖六五 早期破水ノ症狀

〔解〕 定義ヲ参照シテ其狀態ヲ記シ、其他ニ障礙危險ヲ七問ヲモ記ス。

圖六六 頭蓋位四肢脱出ノ原因及處置

〔解〕 六二七問

圖六七 卵膜薄弱ノ分娩影響及其理由

〔解〕 早期破水ヲ來スコトト、其障礙ノ結果ヲ答ヘ、其理由ハ(1)子宮口開大ノ遲延ノ爲、(2)羊水多量ノ流出ノ爲メト答フベシ。

圖六八 妊娠末期兒頭嵌入障礙ノ處置

其原因ヲ確メル爲メ及ビ其處置ノ爲メニ醫師ノ診察ヲ乞ハシムルコト。
尙ホ前期破水ヲ起サシメザル豫メ八問ノ注意。

圖六九 フライ氏最高陣痛數ヲ簡單ニ記セ

最高陣痛數トハ、スキス國ノフライ氏ノ始メテ唱ヘタルモノナリ氏ノ說ニヨレバ、胎兒娩出ガ自然ニ完了スルマデノ陣痛數ハ一定ノ最高數ヲ超ヘザルモノニシテ、若シ此ノ最高數ヲ超ヘタル場合ニハ、早晚必ズヤ人工分娩ヲ要スベキモノトス。故ニ此最高陣痛數ヲ計リ以テ人工分娩必來ノ標準トナシ早期ニ處理ヲ行ヘバ母子ノ豫後佳良ナリト云フ。

フライ氏ノ決定シタル最高陣痛數ハ、例ヘバ正常骨盤、正常破水ノ場合ハ、破水後初産婦一五〇—一七五回(經産婦一〇〇—一五〇回)ナリト云フ。

即チ初産婦ニテ破水後ノ陣痛數ガ既ニ一五〇—一七五回ニ達シタル場合ハ、早晚人工分娩ヲ免レ得ザルモノトシテ、早期ニ處置スルヲ得策トスト云フニアリ。

圖七〇 異常破水ニ就イテ

- 一 前期破水……六三問
- 二 早期破水……六四問
- 三 遲滯破水……六五問
- 四 高位破水……胎胞ヨリ高位ノ卵膜部ノ破綻ニヨル破水。

圖六三 遲滯破水(延滯破水)ニ就イテ

- 一定義……六三問
- 二原因……六三問
- 三障礙……六三問
- 四危險……六三問
- 五處置……六三問

圖六四 遲滯破水ノ定義

子宮口全開大スルモ尙容易ニ破水セザル場合ヲ云フ。

圖六五 遲滯破水ノ原因

卵膜ノ強靱。

圖六六 遲滯破水ノ障礙

- 一 分娩ノ進行ヲ妨ゲ、胎盤早期剝離—出血ヲ來ス。
- 二 被膜兒ヲ來ス……(六三問)

圖六七 被膜兒(幸帽兒)ヲ説明セヨ

遲滯破水ニ際シ、兒頭ガ卵膜ヲ被リタルマ、生ル、ヲ外國ニテハ迷信ニヨリ「幸帽兒」ト稱スルコトアレドモ、

コハ名實相反シ不幸ナル結果(窒息—死亡)ヲ來スモノナルヲ以テ、單ニ之ヲ被膜兒ト稱ス。

圖六八 遲滯破水ノ危險

- 一 母體ニハ胎盤早期剝離ニヨル出血ノ危險。
- 二 産兒ニハ卵膜ヲ顔面ヨリ除カザルトキ、窒息死亡ノ危險。

圖六九 遲滯破水ノ處置

- 一 胎盤早期剝離ノタメ出血アラバ人工破水法ヲ行フベシ。(六三問)
- 二 被膜兒ノ場合ハ顔面ノ卵膜ヲ破リ、以テ其呼吸ニ障礙ナカラシムベシ。

圖七〇 人工破水法ニ就イテ

- 一 適應(行フベキ場合)
- (一) 遲滯破水……(胎盤早期剝離豫防、分娩遲延ヲ促進ノ爲)
- (二) 胎盤早期剝離……(止血ノ爲)

第一編 胎兒附屬物ノ異常

(三) 微弱陣痛……(陣痛催進ノ爲)

二 方 法

消毒シタルコックヘル氏鉗子又ハ有鉤ピンセットノ類ヲ用ヒテ、陣痛發作時ニ於テ、胎胞ヲ傷ケ以テ之ヲ破ルベシ。

三 條 件 (注意)

(1) 胎兒ハ縱位ヲ取り、下向部ガ骨盤入口ニ嵌入固定シタル後ニシテ、

(2) 子宮口ハ少クモ五—六、以上開大シタル後ナラザルベカラズ。

圖六三〇 人工破水法ヲ行フベキ場合

〔解〕 六三〇ノ一

圖六三〇 人工破水法ヲ行フベキ時期

〔解〕 六三〇ノ二 陣痛發作時。

圖六三二 人工破水法ヲ不適當時期ニ行ヒタル

障礙

一 下向部嵌入セザル内、子宮口五—六、以上開大シタル後ナラザルベカラズ。

二 遅キニ失スル時ハ遅滯破水ノ障礙(六三二)ヲ益々大ナラシム。

圖六三二 人工破水法ヲ行フベキ理由

(1) 遅滯破水ニ際シ……分娩促進、胎盤早期剝離ニヨル出血ノ豫

防ノ輕減。

(2) 微弱陣痛ニ際シ……陣痛—分娩ノ促進。

圖六三三 卵膜癒着ノ分娩ニ及ボス影響及處置

影響

子宮壁トノ癒着ハ後産娩出ノ際卵膜斷離殘留ヲ來シ易シ。

(胎兒トノ癒着ハ畸形兒ヲ來ス)

處置

後産娩出ノ際卵膜斷離セントスル時ハコックヘル氏止血鉗子ヲ以テ内部ノ卵膜ヲ挟ミ、徐々ニ之ヲ捻轉シ、更ニ切レントスル時ハ別ノコックヘル氏鉗子ヲ以テ逐次ニ此ノ法ヲ反復シ、殘留ヲキ除處理スベシ。

圖六三四 卵膜殘留ニ就イテ

一 原因

(一) 卵膜ノ子宮壁トノ癒着

(二) 後産ノ牽引

(三) 不合理ナル胎盤壓出法

二 障 礙

(一) 子宮復故不全

(二) 出血多量—水瀦

(三) 發熱

三 處 置……六三三ノ一

第二章 胎盤ノ異常

圖六三五 胎盤ノ一部殘留(遺殘)ニ就イテ

一 原因

(一) 胎盤ノ癒着

(二) 後産ノ牽引(墜落分娩・不正牽引)

(三) 不正ナル胎盤壓出法

二 症 狀

(一) 産褥初期ニ弛緩出血。

(二) 子宮復故不全—異常出血

(三) 發熱

(四) 胎盤殘片ニ凝血ガ附着シテ胎盤ホリーブラ發

第二章 胎盤ノ異常

生シ、以テ長期ノ不正出血ヲ來ス。

三 診 斷

(一) 後産殊ニ其母體面ノ缺損ニヨリ識ル (六三三ノ二)

(二) 産褥子宮ノ復故不全ノ症狀、殊ニ不正出血ニヨリ之ヲ疑フ。

四 處 置

醫師ノ診療ヲ乞ヒ……

出血多キ時ハ子宮底ヲ輪狀ニ摩擦シ氷囊ヲ貼シ、惡露中ニ胎盤殘片排出ノ有無ニ留意シ、體溫ノ測定ニ注意スベシ。

圖六三六 胎盤殘留ノ原因處置

甲 胎盤ノ一部殘留(遺殘)ノ原因處置ハ六三六ノ一参照

乙 胎盤ノ全部殘留(滯留)ノ原因處置ハ六三六ノ二、六三六ノ三参照

第三章 臍帶ノ異常

圖六三七 臍帶異常ニ就イテ

(一) 臍帶ノ長短ノ異常 (1) 長臍帶……六三七ノ一 (2) 短臍帶……六三七ノ二

- (一) 臍帶ノ結節……(1)偽結節……(2)眞結節……(3)眞結節……(4)眞結節……(5)眞結節……(6)眞結節……(7)眞結節……(8)眞結節……
- (二) 臍帶捻轉異常……(1)臍帶捻轉異常……(2)臍帶捻轉異常……(3)臍帶捻轉異常……(4)臍帶捻轉異常……(5)臍帶捻轉異常……(6)臍帶捻轉異常……(7)臍帶捻轉異常……(8)臍帶捻轉異常……
- (三) 臍帶ノ下垂—脫出……(1)臍帶ノ下垂—脫出……(2)臍帶ノ下垂—脫出……(3)臍帶ノ下垂—脫出……(4)臍帶ノ下垂—脫出……(5)臍帶ノ下垂—脫出……(6)臍帶ノ下垂—脫出……(7)臍帶ノ下垂—脫出……(8)臍帶ノ下垂—脫出……
- (四) 臍帶ノ纏絡……(1)臍帶ノ纏絡……(2)臍帶ノ纏絡……(3)臍帶ノ纏絡……(4)臍帶ノ纏絡……(5)臍帶ノ纏絡……(6)臍帶ノ纏絡……(7)臍帶ノ纏絡……(8)臍帶ノ纏絡……
- (五) 臍帶ノ離斷……(1)臍帶ノ離斷……(2)臍帶ノ離斷……(3)臍帶ノ離斷……(4)臍帶ノ離斷……(5)臍帶ノ離斷……(6)臍帶ノ離斷……(7)臍帶ノ離斷……(8)臍帶ノ離斷……
- (六) 臍帶ノ卵膜附着……(1)臍帶ノ卵膜附着……(2)臍帶ノ卵膜附着……(3)臍帶ノ卵膜附着……(4)臍帶ノ卵膜附着……(5)臍帶ノ卵膜附着……(6)臍帶ノ卵膜附着……(7)臍帶ノ卵膜附着……(8)臍帶ノ卵膜附着……
- (七) 臍帶ノ牽引……(1)臍帶ノ牽引……(2)臍帶ノ牽引……(3)臍帶ノ牽引……(4)臍帶ノ牽引……(5)臍帶ノ牽引……(6)臍帶ノ牽引……(7)臍帶ノ牽引……(8)臍帶ノ牽引……
- (八) 臍帶ノ異常ト其障礙○

圖六五 臍帶ノ異常ト其障礙○

〔解〕 一種類……(1)臍帶ノ異常ト其障礙○

二處置……(1)臍帶ノ異常ト其障礙○

〔注意〕 臍帶異常中屢々來ルモノト云フ問題ニ對シテハ……(1)臍帶ノ異常ト其障礙○

圖六六 臍帶ノ異常ト其障礙○

一長短ノ異常

- (一) 長臍帶……(1)長臍帶……(2)長臍帶……(3)長臍帶……(4)長臍帶……(5)長臍帶……(6)長臍帶……(7)長臍帶……(8)長臍帶……
- (二) 短臍帶……(1)短臍帶……(2)短臍帶……(3)短臍帶……(4)短臍帶……(5)短臍帶……(6)短臍帶……(7)短臍帶……(8)短臍帶……

二 臍帶結節

- (一) 偽結節……(1)偽結節……(2)偽結節……(3)偽結節……(4)偽結節……(5)偽結節……(6)偽結節……(7)偽結節……(8)偽結節……
- (二) 眞結節……(1)眞結節……(2)眞結節……(3)眞結節……(4)眞結節……(5)眞結節……(6)眞結節……(7)眞結節……(8)眞結節……
- 三 捻轉異常……(1)臍帶捻轉異常……(2)臍帶捻轉異常……(3)臍帶捻轉異常……(4)臍帶捻轉異常……(5)臍帶捻轉異常……(6)臍帶捻轉異常……(7)臍帶捻轉異常……(8)臍帶捻轉異常……
- 四 臍帶下垂脫出……(1)臍帶下垂脫出……(2)臍帶下垂脫出……(3)臍帶下垂脫出……(4)臍帶下垂脫出……(5)臍帶下垂脫出……(6)臍帶下垂脫出……(7)臍帶下垂脫出……(8)臍帶下垂脫出……
- 五 臍帶纏絡……(1)臍帶纏絡……(2)臍帶纏絡……(3)臍帶纏絡……(4)臍帶纏絡……(5)臍帶纏絡……(6)臍帶纏絡……(7)臍帶纏絡……(8)臍帶纏絡……
- 六 臍帶ノ離斷……(1)臍帶ノ離斷……(2)臍帶ノ離斷……(3)臍帶ノ離斷……(4)臍帶ノ離斷……(5)臍帶ノ離斷……(6)臍帶ノ離斷……(7)臍帶ノ離斷……(8)臍帶ノ離斷……
- 七 臍帶ノ卵膜附着……(1)臍帶ノ卵膜附着……(2)臍帶ノ卵膜附着……(3)臍帶ノ卵膜附着……(4)臍帶ノ卵膜附着……(5)臍帶ノ卵膜附着……(6)臍帶ノ卵膜附着……(7)臍帶ノ卵膜附着……(8)臍帶ノ卵膜附着……
- 八 臍帶ノ牽引……(1)臍帶ノ牽引……(2)臍帶ノ牽引……(3)臍帶ノ牽引……(4)臍帶ノ牽引……(5)臍帶ノ牽引……(6)臍帶ノ牽引……(7)臍帶ノ牽引……(8)臍帶ノ牽引……

圖六五 臍帶ノ長サノ異常アル胎兒ノ分娩介助○

〔解〕 長臍帶ハ纏絡ト下垂脫出ノ處置。短臍帶ハ胎盤早期剝離ニ對スル警戒ト處置。

圖六六 臍帶ノ下垂脫出ニ就イテ○

一說明……(1)臍帶ノ下垂脫出ニ就イテ○

二原因……(1)臍帶ノ下垂及脫出トハ如何○

三症狀—危險……(1)臍帶ノ下垂及脫出トハ如何○

四診斷……(1)臍帶ノ下垂及脫出トハ如何○

五處置……(1)臍帶ノ下垂及脫出トハ如何○

圖六五 臍帶ノ下垂及脫出トハ如何○

一 下垂 破水前ニ於テ臍帶ガ下向部ヨリモ先ニ下垂セルモノヲ云フ。

二 脫出 破水後ニ於テ、臍帶ガ下向部ヨリモ先ニ脫出セルモノヲ云フ。

圖六五 臍帶下垂・脫出ノ原因○

一 下向部ガ骨盤入口ニ嵌入スルヲ妨ゲラレタ時、其ノ間隙ヨリ下垂又ハ脫出スルモノナリ。

- 例(一) 狹骨盤、過大骨盤、兒頭過大、兒頭過小。
- (二) 骨盤位、橫位、額面位。
- (三) 懸垂腹、羊水過多症、雙胎。
- (四) 前置胎盤。

以上ノ原因ハ、早期破水ノ原因ト等シキガ故ニ、臍帶ノ脫出ハ早期破水ニ伴フコト多シ。

二 臍帶過長ナルカ又ハ臍帶ガ胎盤ノ下緣ニ附着セル時ハ其ノ下垂脫出ノ機會ヲ多カラシム。

圖六五 臍帶下垂・脫出ノ症狀及危險○

一 破水前ニ卵膜ヲ隔テ、内ニ紐ノ如キモノヲ觸ル、ハ下垂ナリ。

二 破水後ハ子宮口又ハ腔内ニ臍帶ヲ直接ニ觸レ得ルカ或ハ臍帶ノ外陰ニ露ハレルハ脫出ナリ。

三 通常臍帶動脈ノ搏動ヲ觸レ得。但シ胎兒ガ死亡若シクハ重症假死ノ時ハ搏動ヲ觸レズ。

危險

臍帶ガ胎兒下向部ト骨盤壁トノ間ニ壓迫セラル、時ハ胎兒ノ血行障礙ヲ來シ、胎兒ノ危險多シ。殊ニ下向部ノ兒頭ナル時ニ壓迫ノ度甚ダシ。コノ壓迫五分以上ニシテ胎兒ハ假死ニ陥リ更ニ永續セバ遂ニ死亡スルニ至ル。

圖六五 臍帶下垂及脱出ノ診斷
破水後約十五分間毎ニ胎兒心音ヲ聴取シ心音ニ異常ナキ時ハ脱出ナキモノト考ヘ、異常アラバ初メテ内診シ以テ之ヲ發見診斷シ得。

圖六六 臍帶ノ下垂及脱出ノ處置
一 下垂 アル時ハ胎兒下向部ノ偏在側ヲ下ニ側臥ヲ取ラスベシ。
二 脱出 アル時ハ直チニ醫師來診ヲ乞ヒ、ソノ際必ず脱出セル臍帶ニ搏動ノ有無ヲ報告スベシ。

醫師來診迄ノ間ニ臍帶動脈ノ搏動アル時ハ次ノ如ク還納ヲ試ムベシ。

(一) 側臥ニヨリ還納術 下向部ノ偏在側ヲ下ニ側臥ヲ取ラシムベシ。コレニヨリ臍帶ハ自然ニ上ニ牽キモドサレ、同時ニ偏在兒頭ハ正シク骨盤内ニ進入スルヲ得。

(二) 用手還納術 下向部ノ偏在側ヲ上ニ側臥ヲ取ラセ、以テ脱出側ニ間隙ヲツクリ十分ニ消毒シタル手指

ヲ腔内ニ送り臍帶ヲ指ニテハサミ、コレヲ上方ニ押シ込ムベシ。還納シ得タル後ハ手ヲ靜カニ引キ出シテ、下向部ノ偏在側ヲ下ニ側臥ヲ取ラシメ、陣痛ニヨリ下向部ノ骨盤内ニ固定シ來ルヲ待ツベシ。

圖六七 下肢及臍帶脱出ノ處置

何レモ醫師ノ診察ヲ乞ヒ、産婆ノ處置ハ次ノ如クス

一 下肢脱出
(1) 骨盤位ナラバ臍部脱出マデ腹壓ヲ禁ジ、ウニ六間ノニノ處置ヲナス。

(2) 頭位ナラバウニ六間ノニノ處置ヲナス。

二 臍帶脱出
(1) 横位ナラバウニ六間ノニノ處置ヲナス。

(2) 頭位ナラバウニ六間ノニノ處置ヲナス。

圖六八 骨盤位破水後臍帶脱出ノ處置

醫師ノ來診ヲ乞ヒ、其來診マデノ間ニ兒ノ危險ヲ認メタル時ハ：
(1) クリスアレル氏壓出法ニヨリ臍部マデ脱出セシメ(成ルベク牽引ヲ避クベシ)

(2) 臍部脱出後ハウニ六間ノニヨリ牽出術ヲ行フベシ。

圖六五 臍帶纏絡ニ就イテ

一 原因 ……ウニ六間

二 障礙 ……ウニ三間

三 診斷 ……ウニ三間

四 處置 ……ウニ三間

圖六六 臍帶纏絡ノ原因

胎兒運動ニヨリ臍帶ノ輪ヲクマル事ニヨリ生ズ。
補助原因。(1)長臍帶、(2)羊水過多、(3)頻産婦。

圖六六 臍帶ノ離斷

一 原因

(一) 墜落分娩。

(二) 臍帶組織ノ弱キ時。

二 危險

斷端ヨリ出血ス。

三 處置

(一) コツヘル氏止血鉗子ヲ以テ臍帶ヲハサミ速カニ止血ヲ

ハカルベシ。
(二) 若シ離斷ノ部位臍輪ニ近クシテ、ハサムベキ餘地ナキ時ハ清潔ナル「ガーゼ」等ニテ臍輪ヲ壓迫シ、以テ醫師ノ

處置ヲ待ツベシ。

圖六八 臍帶ノ分娩時牽引ニ就イテ

一 原因

急産(墜落産)、短臍帶、臍帶纏絡、産婆ノ不正牽引。

二 障礙 (1)胎兒臍輪突出 (2)臍帶離斷 (3)胎盤早期剝離

(4)子宮内膿。

〔註〕 妊娠中短臍帶ニ因ル牽引ハ、胎兒ノ腹壁癒合ヲ妨ゲテ、

「臍ヘルニア」ヲ起スコトアリ。

第四章 羊水ノ異常

圖六九 羊水ノ異常ニ就イテ

一 量ノ異常…羊水過多症ヲ六間、羊水過少症ヲ七間。

二 性状異常…ウニ六間

圖六九 羊水性狀異常

一 妊娠中胎兒死亡スル時ハ、羊水ハ血色素ノ混入ニヨリ

赤色トナル。

二 胎兒瀕死ノ危險ニ陥ル時ハ、胎糞ヲ漏シ羊水暗綠色ニ

三 子宮内容腐敗スル時ハ、羊水汚色ニ濁濁シ臭氣ヲ發ス。

第二編 胎兒ノ異常

圖六五 胎兒ニヨル分娩異常〇

一 胎兒ノ大小及ビ形態ノ異常

(一) 胎兒ノ畸形

(二) 腦水腫・腫瘍

(三) 過熟胎兒

二 胎位胎勢ノ異常

(一) 後頭位異例 (1) 低在横定位、(2) 前頭頂骨定位、(3) 後頭頂骨定位

(二) 反屈位 (1) 前頭位、(2) 前額位、(3) 額面位

(三) 骨盤位

(四) 横位

三 多胎分娩

四 分娩中ニ於ケル胎兒ノ死亡

圖六六 產道及娩出力ニ異常ナクシテ分娩ノ遷延スル原因〇

〔解〕 六五問ノ一、二(骨盤位ヲ除ク) 三、双胎兒ノ嵌頓(懸鉤)

圖六七 陣痛・骨盤ニ異常ナキ分娩遷延ノ原因〇

〔解〕 六六問ノ他ニ、腹壓異常及軟産道異常ヲ附加スベシ。

第一章 胎兒ノ大小形態ノ異常

圖六八 新産兒畸形ノ種類及處置〇

一 種類

(一) 頭部ノ畸形： (1) 無蓋兒・無腦兒 (2) 無頭兒 (3) 兔唇・狼咽

(二) 軀幹ノ畸形： (1) 脊椎披裂 (2) 半陰陽・鎖陰・鎖肛 (3) 脫腸(ヘルニア)

圖六九 無腦兒分娩ノ注意〇

〔解〕 六九ノ(1)(2)ニ對スル注意。

圖七〇 半頭兒ト兔唇兒ヲ簡單ニ説明セヨ〇

半頭兒ハ通常無腦兒ニシテ其分娩經過ハ六六問。

兔唇兒ハ上口唇ノ披裂セルモノニシテ、其ノ度ニ輕重ノ差アリ、早期ニ整形手術ヲ要ス。

圖七一 狼咽ニ就テ〇

通常高度ノ兔唇ニ伴フモノナリ、兔唇ハ只上口唇ノ開ケルモノナリニ、狼咽ハ硬口蓋マデモ開キ口鼻相通セルモノナリ。

圖七二 脊椎披裂ノ部位及症候〇

一部位 脊椎殊ニ腰椎ニ多シ。

二 症狀 脊椎弓ガ裂開シ、其部ヨリ柔軟ナル囊狀腫瘍ヲ突隆セシメ、中ニ脊髄膜或ハ同時ニ脊髄ヲ含ム。

圖七三 鎖肛ニ就イテ〇

一 説明 肛門ガ先天的ニ閉鎖セルモノヲ云フ。

二 種類 外部ヨリ明ラカニ閉鎖ヲ認メ得ルモノト、外觀肛門アルガ如クシテ内部ノ閉鎖スルモノトアリ。

三 症狀 胎糞排泄ナシ。其儘放置スレバ腹部膨滿シ、吐液ハ膿ヲ吐糞ニ至リ、遂ニ死亡ス。

圖六九 半頭兒ノ分娩經過〇

(1) 兒頭陥入障礙—早期破水—臍帶脫出。

(2) 屢々額面位ヲ以テ娩出スルモ通常容易ナリ。

第一章 胎兒ノ大小形態ノ異常

(三) 四肢ノ畸形： (1) 四肢又ハ指趾ノ缺損—過剩 (2) 内翻馬足

(四) 全身ノ畸形： (1) 無形兒 (2) 紙狀胎兒 (3) 重複畸形

ニ處置—心得

(一) 産婆ハ新産兒第一回沐浴ニ際シ、畸形ヲ見落ス事ナキ様具ニ全身ヲ検査スルヲ要ス。

(二) 若シ産兒ニ畸形ヲ認メタル時ハ之ヲ産婦ニ知ラシムル事ナク、靜カニ家人ニ告ゲ、其生死ニ關セズ一應醫師ノ診察ヲ受ケシムルヲ可トス。

(三) 一部ニ畸形アルモノハ、往々他部ニモアルヲ以テ、全身ヲ精査スルヲ要ス。

圖六九 半頭兒ノ分娩經過〇

(1) 兒頭陥入障礙—早期破水—臍帶脫出。

(2) 屢々額面位ヲ以テ娩出スルモ通常容易ナリ。

四處置 速カニ外科的治療ヲ受ケシムベシ。

圖六五「ヘルニア」ニ就イテ○

- 一 說明 腸又ハ大網膜(稀ニ他ノ内臓)ガ體壁ノ裂隙ヨリ膨出シ而モ皮膚ヲ以テ被ヘル、モノヲ云フ。
- 二 種類 臍ヘルニア、鼠蹊ヘルニア、股ヘルニア等。
- 三 症狀 囊狀腫瘍トシテ膨隆シ、壓迫ニヨリ内容物ハ一種ノ音響ヲ發シテ還納スルモ、努責ニヨリ再ビ膨出ヲ反復ス。
- 四 危險 嵌頓ヲ起セバ危險ナル症狀ヲ呈ス。
- 五 處置 醫療、壓迫細帶。

圖六六夫畸形兒ノ原因△

- 一 胚葉缺損 胚葉(諸種ノ臟器組織ヲ作ル原)ガ最初カラ缺ケ居タル爲メニ畸形ヲ生ズ。
- 二 子宮内強制體位 羊水過少症又ハ子宮外妊娠等ノ爲メ不自然ノ體位ヲ取リ強制的ニ壓迫サレ等シテ畸形ヲ生ズ。
- 三 胎兒疾患 胎兒發育ノ初期ニ疾患ニ罹リ爲メニ畸形ヲ生ズ。

圖六七分娩障礙ヲ起ス畸形ノ種類ヲ列舉セ

- ヨ○
- (一) 脊椎拔裂 (二) 重複畸形 (三) 四肢又ハ兒頭過剰。

圖六八分娩障礙ヲ來ス新産兒ノ疾病○

- (一) 腦水腫
- (二) 腹水
- (三) 腹腔内ニ液ノ滯溜シタルモノナリ、微毒兒ニ多シ。

圖六九腦水腫ヲ説明シ其診斷及分娩經過ヲ

述ベヨ○

- 一 說明 腦室中ニ多量ノ液體滯溜シ、爲ニ兒頭ガ著シク膨大シテ體及ビ頭蓋骨ハ甚ダ薄クナリ、縫合及ビ肉門ハ相開クニ至ル。
- 二 診斷……六八問
- 三分娩經過 兒頭ノ骨盤腔内嵌入ガ妨ケラレ、屢々早期破水ヲ來シ、遂ニハ左ノ何レカニ終ル。

- (一) 疲勞微弱陣痛
- (二) 子宮破裂

圖六〇腦水腫ト過熱兒トノ鑑別○

- 腦水腫 過熱兒
- (一) 頭蓋骨薄ク且ツ軟 (二) 頭蓋骨厚ク且ツ硬
- (二) 縫合廣ク肉門大 (二) 縫合狭ク肉門小

圖六二晚期産ノ定義及原因○

一定義 妊娠持續四十二週ヲ越エ、胎兒過熟トナリ、分娩時ニ通過障礙ヲ來ス場合、之ヲ晚期産ト稱ス。

二原因

- (一) 妊娠末期ニ至ルモ黃體等ヨリ生ズル「ホルモン」ノ作用減弱セズ、腦下垂體後葉「ホルモン」ニ永ク拮抗スルタメ。
- (二) 過度ノ安靜。

圖六三巨大胎兒ノ定義○

體重四〇〇〇瓦ヲ越エ、娩出力及ビ産道正常ナルニ拘ラズ、胎兒通過障礙ヲ來スモノヲ云フ。

〔註〕 徵候ハ三〇六

圖六四過熟兒ノ分娩障礙○

(1) 全身大從ツテ兒頭モ大ニシテ、(2) 頭蓋骨硬ク其骨ノ重積困難ナルヲ以テ、分娩時ニ於ケル兒頭ノ應形機能不十分ナリ。故ニ正常ノ陣痛ニヨリ正常ノ骨盤ヲ通過シ難ク、次ノ結果ノ何レカヲ來ス。

- (1) 疲勞微弱陣痛—發熱
- (2) 子宮破裂—出血。

圖六五過熟胎兒ノ處置○

妊娠中 過熟兒ナリト認メタル時ハ醫師ノ診察ヲ乞ハシメ、妊婦ニ適宜ノ運動ヲ勸メ、便通ヲ整フベシ。

分娩時 速カニ醫師ノ診察ヲ乞ハシメ、娩出力及産道ノ状態ヲ精査シ疲勞微弱陣痛トナリタル時ハ溢リニ陣痛ヲ促進スルコトナク、陣痛過強ノ時ハ、子宮破裂切迫症ノ起ラザルヤ否ヤニ注意スベシ。

第二章 胎位胎勢ノ異常

圖六六胎位ノ異常ヲ列舉シ、分娩困難ナル

モノヨリ番號ヲ附セヨ○

- (1) 橫位、(2) 前額位、(3) 顏面位、(4) 前頭位、(5) 骨盤位。

但シ顏面位中頭部後方ニ向ヘルモノ、後頭位ニテモ其ノ異例(低在橫定位、前又ハ後頭頂骨定位、後方後頭位)ハ分娩困難ナリ。

圖六八六 分娩時各胎位ニ於ケル胎兒先進部ヲ

擧ゲヨ

- (1) 後頭位ハ後頭
- (2) 前頭位ハ前頭
- (3) 前額位ハ前額
- (4) 顔面位ハ頤部
- (5) 臀位ハ臀部
- (6) 膝位ハ膝
- (7) 足位ハ足
- (8) 横位ハ肩胛又ハ上肢。

〔註〕 本問ハ新用語ノ先進部トシテ答ヘタリ。若シ舊用語ノ先進部トスレバ胎兒下向部ノ事ヲ述ベザルベカラズ。

圖六八七 各胎位ニ於テ最初恥骨弓下ニ現ルベ

キ胎兒部分ヲ問フ

〔解〕 各胎位ノ先進部(六八六)ヲ記セヨイ。

圖六八八 各胎位ニ於ケル産瘤發生部位

〔解〕 三三三問

圖六八九 分娩時各胎位ノ下向部ハ骨盤潤部ニ

於テ如何ナル位置ヲトルカ

- (1) 第一後頭位：矢狀縫合第一斜徑ニ致、小肉門左前、大肉門ハ右後。
- (2) 第二前頭位：矢狀縫合第二斜徑ニ致、大肉門右前、小肉門ハ左後。

- (3) 第二前額位：前額縫合第二斜徑ニ致、鼻部ハ右前、大肉門ハ左後。
 - (4) 第二顔面位：顔面線ハ第三斜徑ニ致、頤部ハ右前、前額縫合左後。
 - (5) 第二骨盤位：臀部横徑第二斜徑ニ致、左臀部右前、右臀部ハ左後。
- 〔註〕 第二胎向ハ*印ノ左右ノ關係ヲ反對トス。

圖六九〇 各頭位ニ於ケル第三週旋ヲ説明セヨ

- (一) 後頭位：三三三問
- (二) 前頭位：六二六問
- (三) 前額位：六三三問
- (四) 顔面位：六三三問

〔註〕 特ニ支定部(六八九)ヲ注意スベシ。

圖六九一 各頭位第三週旋ノ恥骨結合下支定部

位

- (一) 後頭位：項部
- (二) 前頭位：前額結節
- (三) 前額位：上頤
- (四) 顔面位：前額

圖六九二 各頭位第三週旋ヲ比較セヨ

〔解〕 六九一ヲ記シ、次ノ要項ヲ附記スベシ。

骨盤位……六二六問

横位……成熟生活兒ハ自然分娩不能。

圖六九三 胎勢胎向ノ分娩ニ及ボス影響

- 一 反屈位ハ胎勢異常ニシテ分娩困難ナリ(六九三追記)
- 二 骨盤位ノ後頭兒頭娩出ニ當リ、上肢舉上、兒頭反屈ハ特ニ分娩困難ニシテ胎兒ノ豫後ヲ不良トス。

頭位		最通大週時	分娩難易	頤部後方顔面位
後頭位	小斜徑周圍	平	易	低在横定位
前頭位	前後徑周圍	稍困難	難	前頭頂骨定位
前額位	大斜徑周圍	最困難	難	後頭頂骨定位
顔面位	垂直徑周圍	困難	難	後方後頭位

圖六九四 胎兒位置ノ分娩ニ及ボス影響

最初ノ露出部	後頭位	前頭位	前額位	顔面位
恥骨弓下支定部	項部	前額結節	上頤	前額部
陰門通過最大周	小斜徑周	前後徑周	大斜徑周	垂直徑周

三 胎向ハ直接分娩ニ影響ナキモ頭位ノ第二胎向ハ屢々反屈位ニナリ易シ。

圖六九五 頭位ヲ分娩容易ナルモノヨリ順ニ記

セ

後頭位、前頭位、顔面位、前額位。

圖六九六 外診ノミニヨル各胎位鑑別ノ能力及

其理由

- 一 可能
 - (一) 確實
 - 頭位、骨盤位、横位……兒頭其他ノ胎兒部分ノ觸知ニヨル、胎兒心音聽取部位ヲ參考トス。
 - (二) 殆ド確實
 - 後頭位……レオポルド氏第四段法ニヨリ鑑別可能、頤度最モ多キ故確實性多シ
 - (三) 稍確實
 - 顔面位、前額位、前頭位……レオポルド氏第四段法ニヨリ鑑別可能。
- 二 不可能
 - 臀位、膝位、足位……内診ニヨラザレバ鑑別不能、低在横定位、後頭頂骨定位……

圖六〇七 頭位分娩ノ主ナル週旋異常ヲ列記セヨ

(頭位ノ正常週旋ハ正常ノ後頭位ノミ、其他ハ異常ナリ) 低在横定位、前頭頂骨定位、後頭頂骨定位、前頭位、前額位、額面位、後方後頭位、頤部後方額面位。

後頭位異例

圖六〇六 低在横定位トハ何ゾ及ビ産婆ノ處置 兒頭ガ骨盤澗部又ハ骨盤峽部一出口ニ下降スルモ、矢狀縫合ガ尙ホ横徑ノマ、ニアルモノヲ云フ。 處置：醫療ヲ乞ヒ、産科手術ノ準備、會陰保護ノ注意。

圖六〇九 前頭頂骨定位ヲ説明セヨ 矢狀縫合ガ遙ニ後上方ニ轉ジ、前方ノ頭頂骨ノミガ主トシテ先進スルモノヲ云フ。

圖六一〇 後頭頂骨定位ヲ説明セヨ 矢狀縫合ガ恥骨ニ近ク前上方ニ轉ジ、後方ノ頭頂骨ノミ

ガ主トシテ先進スルモノヲ云フ。

反屈位

圖六一〇二 反屈位ニ答ヘヨ 頤部胸部ヨリ離レ反屈ノ胎勢ヲトル頭位ヲ云フ。コレニ次ノ三者アリ。

- (一) 前頭位……反屈輕度 (二) 前額位……反屈中度 (三) 額面位……反屈強度

圖六一〇三 反屈位ノ分娩困難ナル理由 通過時ノ最大周圍ガ大(前頭位ハ前後徑周、前額位ハ大斜徑周、額面位ハ垂直徑周)ナルヲ以テナリ。

圖六一〇四 前頭位ノ原因 (1) 狹骨盤、(2) 廣骨盤、(3) 兒頭過小、(4) 兒頭過大、(5) 羊水過多症。

圖六一〇五 第一前頭位ノ診斷 一外診。

第一後頭位ト殆ド同ジ(三二五〇)。 只後頭ハ左方ヘ僅カニ突隆シ、又後頭ト兒背トノ間ニ淺キ溝ヲ觸知シ得ルコトヲ異ナレリトス。 二内診……(三二四八) 三新産兒所見 産瘤及骨重積ニヨリテ第一前頭位ナリシコトヲ診斷シ得ル外ニ兒頭ノ變形ヲ見テ前頭位ナリシコトヲ推定シ得。

〔註〕 第二前頭位ハ印ノ左右ヲ反對ニ記スベシ。

圖六一〇五 第一前頭位ノ分娩機轉

〔解〕 六一〇八問ノ*印ノ左右ヲ反對ニシテ答フベシ。

圖六一〇六 第一前頭位ノ骨重、兒頭變形及産瘤部位

〔解〕 六一〇九問ノ*印ノ左右ヲ反對ニシテ答フベシ。

圖六一〇七 第一前頭位ノ内診所見

〔解〕 六一一〇問ノ*印ノ左右ヲ反對ニシテ答フベシ。

圖六一〇八 第二前頭位ノ分娩機轉

〔第一週旋〕 骨盤入口ニ在テハ、矢狀縫合ハ其ノ横徑ニ一致シ、小凶門ハ右、大凶門ハ左ニアリ。 第一週旋ニヨリ、頤部ハ胸部ヨリ更ニ離レ、前頭先進ス。

〔第二週旋〕

- (1) 兒頭下降スルト共ニ、大凶門ハ前方ニ、小凶門ハ後方ニ向ツテ縱軸週旋ヲ始メ。 (2) 骨盤澗部ニ到レバ、矢狀縫合ハ第一斜徑ニ一致シ、大凶門ハ左前方ニ、小凶門ハ右後方ニ在リ。 (3) 骨盤峽部及出口ニ降レバ、矢狀縫合ハ縱徑ニ一致シ、大凶門ハ前方ニ向ヒテ低在シ、小凶門ハ後方ニ向ヒテ高所ニ在リ。

〔第三週旋〕

兒頭排臨スルニ及ベバ、前額結節ガ恥骨結合下ニ支

定セラレ、前屈横軸廻旋ニヨリ後頭ガ會陰ヨリ滑脱シ
次デ反屈横軸廻旋ニヨリテ前額部顔面ガ順次ニ恥骨結
合下ヨリ脱出シ、以テ兒頭全ク娩出ス。此ノ際顔面ハ
前方ニ後頭ハ後方ニ向フ。

「第四廻旋」及「肩胛娩出」

此ノ時肩胛ハ骨盤入口ニ在リテ肩胛幅ガ横徑ニ一致シ
骨盤潤部ニ到レバ肩胛幅ハ第二斜徑ニ一致シ、其左肩
胛ハ右前ニ、右肩胛ハ左後ニ向フ。骨盤峽部及出口ニ
降レバ肩胛幅ハ全ク縦徑ニ一致シ、左肩胛ガ前方ニ向
ヒ、之ガ爲メ娩出シタル顔面ハ母體ノ左大腿ニ向ヒ以
テ兒頭ノ第四廻旋ヲ營ム。

肩胛陰門ヲ出デントスルヤ顔面ハ母體ノ左大腿ニ向ヘ
ルマ、左肩胛先ツ恥骨結合下ニ現レ、右肩胛次デ會陰
ヨリ滑脱ス。

圖六〇九 第二前頭位ノ骨重・兒頭變形及産瘻ノ部位◎

骨重積……左頭頂骨ガ右頭頂骨ノ上ニ重ナル。
兒頭變形……前後徑ニ短縮シ、小斜徑ニ延長ス。
産瘻部位……左頭頂骨ノ前上方(大凶門附近)

圖六二〇 第二前頭位ノ内診所見◎

(一) 骨盤入口ノ所見……矢狀縫合ハ其横徑ニ一致シ、小
凶門ハ右、大凶門ハ左ニアリ。
(二) 骨盤潤部ノ所見……矢狀縫合ハ第一斜徑ニ一致シ
大凶門ハ左前方、小凶門ハ右後方ニ
アリ。

(三) 骨盤峽部及出口ノ所見……矢狀縫合ハ縦徑ニ一致シ
大凶門ハ前方ニ向ツテ低在、小凶門
ハ後方ニ向ヒテ高所ニアリ。

(四) 産瘻ハ左頭頂骨ノ前上方即チ大凶門ノ附近ニ認めム。

圖六二二 第二前頭位ノ骨盤潤部ニ於ケル内診

所見◎

一頭蓋所見……ウ二〇問ノ(二)及(四)

ニ一般所見……兒頭ノ爲ニ妨ゲラレテ指ヲ薦骨岬及恥骨結合上縁
ニ達スル事ヲ得ズ、左右ノ坐骨棘ハ妨ゲナク觸知シ得。

圖六二三 前頭位ノ骨盤腔内ニ於ケル高サノ診

斷◎

〔解〕 後頭位ノ場合ト殆ド同ジ(ウ二三問)只坐骨棘ノ結合線ガ
先端端ヲ弧形ニ切ルコトヲ省ク(ウ二二問ノ二)

圖六二三 前頭位ノ處置◎

〔解〕 ウ二三問ノ(一)

圖六二四 頭蓋位ニ就イテ◎

第一頭蓋位 主ニ第一後頭位、甚稀ニ第一後方前頭位

骨盤潤部所見……小凶門左前低在、大凶門右後高在。

第二頭蓋位 主ニ第二後頭位、甚稀ニ第二後方前頭位

骨盤潤部所見……小凶門右前低在、大凶門左後高在。

第三頭蓋位 主ニ第二前頭位、稀ニ第二後方後頭位

骨盤潤部所見 (1) 第二前頭位……小凶門右後高在、大凶門左前
低在
(2) 第二後方後頭位……小凶門右後低在、大凶門
左前高在

第四頭蓋位 主ニ第一前頭位、稀ニ第一後方後頭位

骨盤潤部所見 (1) 第一前頭位……小凶門左後高在、大凶門右前
低在
(2) 第一後方後頭位……小凶門左後低在、大凶門
右前高在

後方後頭位分娩機轉ハウ二六問

圖六二五 各頭蓋位ノ分類及其分娩機轉ノ相違◎

- 第一 頭蓋位 第一後頭位……分娩機轉ハウ二〇六問
- 第二 頭蓋位 第二後頭位……分娩機轉ハウ二〇七問
- 第三 頭蓋位 第二前頭位……分娩機轉ハウ二〇八問
- 第二後方後頭位……分娩機轉ハウ二〇九問
- 第四 頭蓋位 第一前頭位……分娩機轉ハウ二一〇問
- 第一後方後頭位……分娩機轉ハウ二一一問

圖六二六 第一後方後頭位ノ分娩機轉◎

骨盤潤部ニ於テ矢狀縫合ガ左斜徑ニ一致シ、小凶門左後
ニ低在シ、大凶門右前ニ高在セシモノガ……

骨盤峽部又ハ出口ニ來ルトキハ矢狀縫合ハ縦徑ニ一致シ
小凶門ハ後方ニ低在、大凶門ハ前方ニ高在シ、更ニ第三
廻旋ヲ營マントスルモ兒頭ハ極度ニ前屈シ居ルヲ以テ其

以上ニ前屈廻旋シテ後頭ヲ會陰ヨリ滑脱セシメ得ズ、分
娩頗ル困難ニシテ、假令娩出スルモ大ナル會陰裂傷ヲ免
レ難シ。

然レドモ斯カル困難ニ達セザル以前ニ屢々次ノ何レカニ
ヨリ自然分娩ヲ遂ゲ得ル事アリ。

(一) 縦軸廻旋ニヨリ後頭ヲ前方ニ廻旋シテ普通ノ後頭
位トシテ娩出スルカ、……

(二) 反屈廻旋ニヨリ前頭ヲ先進セシメ普通ノ第一前頭
位トシテ娩出ス。

圖六二七 第二後頭位ノ分娩機轉

〔解〕 六二六間ノ印左右ヲ反對トシテ答フベシ。

圖六二八 内過剩廻旋ヲ簡單ニ説明セヨ

一 説明 主トシテ第二(縦軸)廻旋ニ於テ行ハル、モノニシテ、
九〇度廻旋スベキヲ九〇度以上過剩ニ廻旋スルヲ云フ
ニ原因

- (一) 骨盤過廣又ハ下部過小ノ場合。
- (二) 不良胎位ヲ有利胎位ニ自然力ガ變ズル場合。

例ヘバ後方後頭位ガ過剩廻旋ニヨリ通常ノ後頭位ニ變ズル
ガ如シ。

圖六二九 前額位ヲ簡單ニ説明セヨ

(一) 定義
前額ヲ先進端トシ大斜徑周圍ヲ通過時ノ最大周圍トスル反屈位
ヲ云フ。

(二) 説明
前額位ハ反屈位分娩中最モ大ナル頭周ヲ以テ通過スル故自然分
娩ヲ遂ゲ得ザル事多シ。

圖六三〇 第一前額位ノ診斷

一 外診：第一額面位ノ診斷(ウ三六間)ト殆ト同ジ。
二 内診：分娩機轉(ウ三三間)ヲ参照
三 新産兒所見：ウ三三間

〔註〕 第二前額位ノ診斷ハ*印左右ノ關係ヲ反對ニス。

圖六三一 第一前額位ノ分娩機轉

〔第一廻旋〕

初メ骨盤入口ニ於テハ、前額結合ハ其ノ横徑上ニ在

リテ、鼻ハ右、大凶門ハ左ニアリ。

第一廻旋ニヨリ、頭部ハ胸部ヨリ更ニ離レ、前額先進
ス。

〔第二廻旋〕

(1) 兒頭下降スルト共ニ、鼻ハ前方ニ向ヒ、大凶門ハ後
方ニ向ヒテ廻旋シ始メ、

(2) 骨盤淵部ニ來レバ、前額結合ハ第二斜徑ニ一致
シ、鼻ハ右前方、大凶門ハ左後方ニ在リ。

(3) 骨盤峽部及ビ出口ニ降レバ、前額結合ハ其縦徑ニ一
致シ、鼻ハ前方ニ、大凶門ハ後方ニ向フ。

〔第三廻旋〕

兒頭ノ陰門ヲ出デントスルヤ、前額ガ先ツ陰裂ニアラ
ハレ、次ニ兩眼露ハレ、此ニ於テ上顎ハ恥骨結合下
ニ支定セラレ、頭頂及後頭ハ順次ニ會陰ヨリ滑脱シ、
然ル後ニ恥骨弓下ヨリ上顎、口、頭部相次テ娩出シ、
以テ兒頭ノ娩出至ク終ル。此ノ際額面ハ前方ニ、後頭

ハ後方ニ向フコト他ノ反屈位ト同ジ。

〔第四廻旋〕及「肩胛ノ廻旋」

第一前頭位又ハ第一額面位ト至ク同ジ(ウ三三間ウ三三間)

圖六三二 第二前額位ノ分娩機轉

〔解〕 前間ノ*印ノ左右ヲ反對ニ記スベシ。

圖六三三 第一前額位新産兒所見

産瘤ハ右前額ニ生ズ。

兒頭ハ殆ト三角形ヲナシ、前額後頭穹隆徑ニ延長シ、大
斜徑ニ短縮ス。

〔註〕 第二前額位ノ新産兒所見ハ*印左右ノ關係ヲ反對ニス。

圖六三四 前額位兒頭ノ通過時最大周圍及其大

サ

通過時最大周圍ハ大斜徑周。

成熟兒頭大斜徑周ハ三六種ナルモ、應形機能ニヨリ著シ
ク短縮セラル。

圖六三五 額面位ノ原因

- (1) 無蓋兒、(2) 前頸ノ腫瘍、
- (3) 狹骨盤、(4) 羊水過多症等。

圖六二六 第一類面位ニ就イテ

一 診斷……………ウ三元問、ウ三元問、ウ三元問。
 二分挽機轉……………ウ三元問。
 三 障礙……………ウ三元問。
 四 處置……………ウ三元問、ノ(三)

圖六二七 第一類面位ノ診斷

- (一) 外診……………ウ三元問
- (二) 内診……………ウ三元問
- (三) 新産兒所見……………ウ三元問

圖六二八 第一類面位ノ外診

- (1) 「臀部」ハ子宮底部ニアリテ左側ニ偏ス。
- (2) 「兒背」ハ母體ノ左側ニ在リ、「小部分」ハ右側ニアリテ子宮底ニ密接ス。
- (3) 「兒頭」ハ分娩初期ニ於テ骨盤入口ヨリ上ニ永ク移動

シ、左側腸骨窩ニ於テ突隆セル後頭ヲ觸レ、又後頭ト兒背トノ間ノ深キ溝ヲ觸知シ得、頭部ハ右側ニアリ。

圖六二九 第一類面位ノ内診所見

分娩初期ハ下部高キヲ以テ内診所見ヲ得ルコト困難ナリ、分娩進ミテ顔面ヤ、下降スルモ顔産瘤ノタメ診斷更ニ困難トナル。

一 一般所見

先ヅ鼻ヲ觸レ、次ニ鼻根ヨリ一方ニ進ミ前額縫合ヲ觸レ、鼻根ノ兩側ニ眼窩ヲ觸ル。鼻ヨリ他方ニ進メバ口・下顎・頭部ヲ觸ル。

ニ 骨盤各面ニ於ケル所見

- (一) 骨盤入口…顔面線ハ其横徑ニ一致シ、頭部ハ右ニ前額縫合ハ左ニ在リ。
- (二) 骨盤潤部…顔面線ハ第二斜徑ニ一致シ、頭部ハ右前ニ低ク、前額縫合ハ左後ニ高ク在リ。

圖六三三 類面位ト臀位トノ内診上ノ鑑別

一 一般内診所見……………ウ三元及ウ三元問

第二章 胎位胎勢ノ異常

(1) 舌	觸ル	口	紅門
(2) 齒槽突起	觸ル		
(3) 吸引運動	時ニ在リ		
(4) 形	横裂	円形	

(一) 產瘤 ハ右口角ヲ中心トシテ右頰部ニ及ブ。
 (二) 頭部變形 ハ固有ノ三角形ヲ成シ、大斜徑及前後徑ニ延長シ、垂直徑方向ニ短縮ス。

圖六三一 内診上ロト肛門トノ鑑別

(三) 骨盤峽部及出口…顔面線ハ縱徑ニ一致シ、頭部ハ前方ニ、前額縫合ハ後方ニ在リ。
 (四) 產瘤ハ右口角ヲ中心トシ右頰部ニ認め。

圖六三二 第一類面位新産兒所見

(一) 產瘤 ハ右口角ヲ中心トシテ右頰部ニ及ブ。
 (二) 頭部變形 ハ固有ノ三角形ヲ成シ、大斜徑及前後徑ニ延長シ、垂直徑方向ニ短縮ス。

大 頤 門	觸ル	前 額 位	頤 面 位
頤 部	觸レズ	觸ル	觸レズ

圖六三四 第一類面位ノ分娩機轉

一 第一廻旋

骨盤入口ニ於テハ、顔面線ハ其横徑ニ一致シ。頭部ハ右。前額縫合ハ左ニアリ。

第一廻旋ニヨリ頭部ハ胸部ヨリ更ニ離レ、頭部先進ヲ始ム。

二 第二廻旋

(1) 兒頭下降スルト共ニ、頭部ハ前方ニ向ヒ、前額縫合ハ後方ニ向ヒテ廻旋シ始メ、

- (2) 骨盤洞部ニ來レバ顔面線ハ第二斜徑ニ一致シ、頤部ハ右前、前額縫合ハ左後部ニ來ル。
- (3) 峽部及出口ニ降レバ、顔面線ハ縱徑ニ一致シ、頤部ハ正シク前方ニ來リ、前額縫合ハ後方ニ向フ。

「第三廻旋」

顔面陰門ヲ出デントスルヤ、先ヅ右口角及右頰ガ出デ次テ頤部ガ陰裂ニ露ハレ、前頭ハ恥骨結合下ニ支定セラレテ、前額・頭頂・後頭ハ順次ニ會陰ヨリ滑脱シ、以テ第三廻旋ヲ了ル。

「第四廻旋」及「肩胛ノ廻旋」

第一前頭位又ハ第一前額位ト全ク同ジ(ウ三問)

圖六二五 第一額面位兒頭ノ分娩機轉○

〔解〕 前問ノ第一——第四廻旋ヲ答フベシ。

圖六二六 第二額面位ノ診斷

〔解〕 ウ三問、ウ三問、ウ三問ノ印ノ左右ヲ反對ニスベシ。

圖六二七 第二額面位ノ分娩機轉○

〔解〕 ウ三問ノ印ノ左右ヲ反對ニスベシ。

圖六二八 額面位ノ種類○

- (一) 第一額面位
- (二) 第二額面位
- (三) 第三額面位 頤部後方額面位ノ第二胎向
- (四) 第四額面位 頤部後方額面位ノ第一胎向

圖六二九 額面位ノ障礙—危險○

(一) 母體ノ危險…垂直徑周ニテ通過スル故分娩頗ル困難ニシテ、發熱傳染ノ危險多ク、假令自然分娩スルモ會陰裂傷ヲ免レ難シ。

(二) 胎兒ノ危險…假死・死亡ヲ起シ易シ。

(三) 「頤部後方額面位」ハ、第三廻旋ヲナサントスルモ、兒頭ハ既ニ極度ニ反屈シアルガ故更ニ尙ホ反屈ヲ重ネ得ズ、タメニ殆ト常ニ自然分娩ヲ遂ゲ得ズ、母兒ノ危險更ニ大ナリ。

圖六三〇 額面位ノ分娩ヲ遂ゲ得サル場合ヲ説明セヨ○

〔解〕 前問ノ(三)ヲ記ス。

圖六三一 額面位ノ處置○

〔解〕 ウ三問ノ(三)

圖六三二 額面位ノ通過周圍徑ノ名稱大サ、兒頭ノ應形機能○

通過周圍徑…垂直徑、長サ約一一厘米
應形機能…ウ三問ノ(三)

圖六三三 反屈各位ニ於ケル取扱上ノ注意○

(一) 前頭位…自然分娩可能ナルモ特ニ會陰保護ニ注意スベシ。

(二) 前額位…反屈位中分娩最モ困難ニシテ、自然ニ娩出シ得ザルコト多シ、假令娩出シ得ルモ會陰裂傷ノ危險最モ大ナリ。故ニ必ズ醫師ノ來診ヲ乞フヲヨロシトス。

(三) 額面位…(1) 分娩困難ナルヲ以テ會陰保護ニ注意シ、或ルベク醫師ノ來診ヲ乞フヲ可トス。
(2) 殊ニ頤部後方額面位ハ自然分娩殆ト不可能ナル

ヲ以テ必ズ醫師ノ招聘ヲ要ス。
(3) 産兒ハ應形機能及ビ産瘤等ノ爲メ醜キガ故ニ、暫ク産婦ニ對面セシムベカラズ。

骨盤位

圖六三四 骨盤位ニ就キ知ル處ヲ記セ○

- 一 種類…ウ二問
- 二 原因…ウ二問
- 三 診斷…ウ二問
- 四 分娩機轉…ウ五問
- 五 危險…ウ六問
- 六 處置…ウ六問
- 七 骨盤位牽出術…ウ六問

圖六三五 骨盤位ノ種類○

- 一 臀位
 - (一) 單臀位 (純臀位)
 - (二) 複臀位 (臀足位)
- (1) 全臀足位 (臀兩足位)
- (2) 不全臀足位 (臀片足位)

二 膝位 (一) 全膝位 (兩膝位) (二) 不全膝位 (片膝位)

三 足位 (一) 全足位 (兩足位) (二) 不全足位 (片足位)

(單臂位、複臂位、全臂位)

圖六二 胎兒位置異常ノ原因

一 子宮腔ノ形狀ト胎兒ノ形狀ト一致セザル場合。

(一) 胎兒

- (1) 形狀異常……例へば半頭兒・腦水腫・腹内腫瘍
- (2) 數ノ異常……多胎

(二) 母體

- (1) 子宮位置異常……例へば懸垂腹
- (2) 子宮腔異常……例へば筋腫・前置胎盤
- (3) 骨盤異常……例へば狹骨盤・扁平骨盤

二 子宮腔内ノ自由ニ過グル場合。

(一) 胎兒小ナルトキ……例へば前熟兒・死亡兒・浸軟兒

(二) 母體

- (1) 子宮壁弛緩及腹壁弛緩……從ツテ經産婦ニ頻産婦ニ多シ。
- (2) 子宮腔ノ廣過ギル場合……例へば羊水過多症・妊娠前中期。

圖六三 第一骨盤位ノ診斷

一 外診……ウ二四九問

二 内診……ウ二五〇問

三 新産兒所見……ウ二五二問

圖六四 第二骨盤位ノ診斷

[解] ウ二四九問ノ*印ノ左右ヲ反對ニ記スベシ。

圖六五 第一骨盤位ノ外診

- (1) 「頭部」ハ子宮底部ニ在リ。
- (2) 「兒背」ハ左腹部、「小部分」ハ右腹部ニ在リ。
- (3) 「臀部」ハ骨盤入口上ニ於テ移動スルヲ常トス。
- (4) 「兒心音」ハ妊娠末期ニ於テ臍高又ハ稍下方ニ於テ、左側ニ著明。

圖六六 骨盤位ノ兒心音聽取部位ヲ説明セヨ

[解] ウ二四九問ノ(4)、第二胎向ハ右側。胎兒胸廓ハ上方ニ在ルモ、ソレト子宮壁トノ間ニハ羊水ガ介在スル故、却ツテ臍ヨリ下方ニテ子宮壁ト緊接ト密接スル部分ニ於テ最も長ク聽取シ得ルモノナリ。

圖六三 第一腎位ノ内診

(一) 一般所見

臀部ハ軟カキ凹凸不平ノ肉塊トシテ觸ル、此肉塊ハ二個同大ノ球體ノ相並ベル如キモノニシテ、各球ノ内部ニ坐骨結節ヲ觸ル。兩球體間ヲ走ル腎間溝ノ中央ニ肛門アリ。肛門ヨリ腎間溝ニ沿フテ一方ニ進メバ尾骨及薦骨ヲ觸ル。

指ヲ反對側ニ進ムレバ外陰(陰囊・陰莖又ハ陰唇)ヲ觸ル。然レドモ産瘤ノ爲メ男女ヲ區別シ難キ事尠カラズ。

(腎足位ニ於テハ臀部ノ他ニ外陰ニ近ク足ヲ觸ル)

(二) 骨盤各面ニ於ケル所見

- (1) 骨盤入口……臀部横徑ハ其横徑上ニ(又ハ少シク第二斜徑ニ偏シテ)在リ。左臀部ハ右方、右臀部ハ左方ニ在リ。
- (2) 骨盤闊部……臀部横徑ハ第二斜徑ニ一致シ、左臀部ハ右前、右臀部ハ左後ニ在リ。

- (3) 骨盤峽部及ビ出口……臀部横徑ハ縱徑ニ一致シ、左臀部ハ前方ニ低在、右臀部ハ後方ニ高在ス。
- (4) 産瘤……ハ左臀部ヨリ外陰ニ亘リテ認ム。以上ハ腎位ノ所見ナルヲ以テ、膝位、足位等ハ夫々ノ所見ヲ附記スベシ。

圖六三 第一腎位新産兒所見

(一) 産瘤ハ左臀部ヨリ外陰ニ及ブ。

(二) 兒頭應形機能ハ殆ト之ヲ認ム。

圖六四 第二骨盤位ノ外診

[解] ウ二四九問ノ*印ノ左右ヲ反對トス。

圖六五 第二腎位ノ内診

[解] ウ二五〇問ノ*印ノ左右ヲ反對トス。

圖六六 第二腎位新産兒所見

[解] ウ二五二問ノ*印ノ左右トス。

圖六二五 内診上腎部ト頭部トノ鑑別

〔解〕 腎部ハ六二五間ノ(一)ノ一般所見アルニ對シ、頭部ハ三二三間ノ一ノ所見アリ。

圖六二五 内診上骨盤位ト横位トノ差異

〔解〕 骨盤位ハ六二五間ノ(一)ノ横位ハ六二八三間ノ(二)ノ

圖六二五 第一腎位ノ分娩機轉

腎部横徑(又ハ腎線)トハ左右坐骨結節ヲ結合セル線ナリ。

圖六二五 第一腎位ノ分娩機轉

〔第一廻旋〕

骨盤入口ニ於テハ腎部横徑ハ其横徑上ニ(又ハ少シク第一斜徑ニ偏シテ)在リ。

第一廻旋ニヨリテ前方ニ偏セル左腎部ガ先ヅ先進ス。

〔第二廻旋〕

(1) 先進左腎部ハ漸ク前方ニ向ヒツ、下降シ

(2) 骨盤入口ニ達スレバ、腎部横徑ハ第二斜徑ニ一致シ、左腎部ハ右前ニ在リ。

(3) 骨盤入口及出口ニ降レバ腎部横徑ハ縦徑ニ一致シ、左腎部ハ前方ニ在リ。

〔第三廻旋〕

左腎部先ヅ陰裂ニ露ハレ、兒ノ左股關節部ガ恥骨結合下ニ支定セラレ、右腎部ハ會陰ヨリ滑脱ス。

〔軀幹娩出〕

肩幅ハ腎部横徑ト同一徑路ヲ通ジ、骨盤出口ニ到レバ其縦徑ニ一致シ、左肩胛ハ恥骨結合下ニ支定セラレ、右肩胛ハ會陰ヨリ滑脱ス。

〔後續兒頭ノ娩出〕

(1) 骨盤入口ニ於テハ矢狀縫合ハ其横徑ニ(或ハ少シク第一斜徑ニ偏シ)在リ、後頭ハ左方ニ、顔面ハ右方ニ向ヒ

(2) 骨盤入口ニ於テハ矢狀縫合ハ第一斜徑ヲ通ジ、後頭ハ左前ニ、前頭ハ右後ニ向フ。

(3) 骨盤入口及出口ニ於テハ矢狀縫合ハ其縦徑ニ一致シ、後頭ハ恥骨結合下ニ支定セラレ、第二廻旋ニヨリテ

顔部・顔面・前額ガ逐次ニ會陰ヨリ滑脱ス。

圖六二六 第二腎位ノ分娩機轉

〔解〕 六二五間ノ*印ノ左右ヲ反對トス。

圖六二六 骨盤位母兒ノ危險

〔解〕 六二五間、六二八三間。

圖六二六 骨盤位母體ノ危險

比較的少シ。(1) 頸管・會陰等ノ裂傷 (2) 時ニ弛緩出血。

圖六二六 骨盤位胎兒ノ危險

甚ダ多シ。其理由次ノ如シ。

(一) 臍帶ノ壓迫

臍部既ニ娩出シタル後ハ、臍帶ハ兒頭ト産道トノ間ニ

(二) 早期破水

骨盤位ニ於テハ、早期破水ヲ來シ易ク、從ツテ胎兒ノ危險多シ。

(一) 兒頭娩出ノ遲延

必ズ壓迫セラレ、モノニシテ、兒頭娩出遲延ノ爲メニ此壓迫ガ長時間ニ及ブ時ハ、胎兒血液中ノ酸素ガ缺乏シ炭酸ハ積蓄スルニ至ル。カ、ル不良血液ハ延髄ニ於ケル呼吸中樞ヲ刺戟シ以テ胎兒ノ呼吸運動ヲ始メシムルモ、此場合ニハ空氣ヲ吸入シ得ザルガ故ニ、血液、羊水、粘液等ヲ氣道ニ吸入シテ窒息ニ陥リ、此窒息ノマ、數分ヲ經ル時ハ胎兒ハ遂ニ死亡ス。

抑モ腎部ハ兒頭ヨリ小ニシテ且ツ軟カキガ故ニ、腎部ニヨリテ開大セラレタル通路ハ兒頭ノ通過ニハ尙ホ不十分ニシテ、往々兒頭娩出ノタメニ長時間ヲ要スルモノナリ。

殊ニ娩出力弱キカ或ハ産道抵抗大ナルトキハ、兒頭ノ通過益々困難ニシテ、胎兒ノ危險愈々大ナリ。

(二) 早期破水

骨盤位ニ於テハ、早期破水ヲ來シ易ク、從ツテ胎兒ノ危險多シ。

(四) 胎盤早期剝離

兒頭ノ娩出ガ妨ゲラル、間ニ、子宮ハ既ニ收縮シテ、爲メニ胎盤早期剝離ヲ來シ、以テ胎兒ノ危險ヲ招クコトアリ。

(五) 胎兒ノ損傷

牽出術ノ際ニ往々骨部又ハ軟部ニ損傷ヲ來スコトアリ

圖六二四 骨盤位各種類ニ於ケル胎兒危險ノ比較

一 臀足位殊ニ全臀足位……危險最小

理由…(1)先ヅ臀部及足ノ兩者ニヨリ子宮口ヲ開クヲ以テ、後續兒頭ノ通過比較容易。

(2)下肢ノタメ臍帶壓迫保護セラル、ヲ以テナリ。

但シ途中ヨリ足位ニ變ズル虞多キヲ以テ此點ガ不良ナリ。

二 純臀位……危險小

理由…(1)最初子宮口ヲ開クベキ下向部ガ只臀部ナルヲ以テ其間

大稍不十分、從ツテソレダケ危險幾分多シ。

(2)兩下肢ノ爲メ臍帶壓迫ガ保護セラル。

但シ途中ヨリ足位ニ變ゼザルヲ以テ此點ガ最モ可良ナリ。

三 不全足位……危險大

理由…最初ニ子宮口ヲ開大スル部分更ニ小ナルヲ以テナリ。

但シ、醫師ガ下肢ヲ捉ヘテ牽キ出スニハ最モ適當。

四 全足位……危險最大

理由…(1)最初ニ子宮口ヲ開大スルコト不十分。

(2)臍帶ノ保護全ク無キヲ以テナリ。

圖六二五 骨盤位ト頭位トノ分娩ノ難易ヲ比較セヨ

〔解〕 本問ノ頭位ハ主トシテ後頭位ト考フルガヨカラシ。

難易ニハ次ノニアリ。

(1)産道通過ノ難易

後頭位ト骨盤位トハ大差ナク共ニ自然分娩ヲナシ得ルモノニシテ、只骨盤位ニテハ後續兒頭ノ通過ガ稍困難ナリ。

(2)胎兒危險ノ多少。

六二五問ノ理由ニヨリ骨盤位ニ於テ危險蓋カニ多シ。

圖六二六 骨盤位ノ處置

(甲) 妊娠中ノ處置……六二六問

(乙) 分娩中ノ處置……六二六問

圖六二七 骨盤位妊娠中ノ處置

一 骨盤位ハ妊娠中自然ニ廻轉整復セラル、コト多キノミナラズ、濫リニ外廻轉ヲ行フ時ハ往々胎盤早期剝離、妊娠中絶、胎兒死亡等ノ危害アルヲ以テ、妊婦ニ不安ヲ起サマル様成ルベク家族ノミニ骨盤位ノ旨ヲ説明シ其儘經過ヲ注意スルヲ宜シトス。

二 然レドモ六二六問ノ適應アリテ、禁忌ナキ時ハ產婆自ラ「外廻轉術」ヲ行フモ妨ゲナシト云フモノアリ。

圖六二八 外廻轉術ノ適應禁忌及方式

〔適應〕 妊娠八ヶ月以後ノ骨盤位、又ハ横位。

〔禁忌〕 (1) 産道ニ異常アル時。

(2) 廻轉困難ノ時(横位ハ收縮輪ガ恥骨結合上四指

第二章 胎位胎勢ノ異常

横徑以上ノ時

(3) 胎兒死亡セル時(横位ハ廻轉ス)

〔方式〕

(一) 妊婦ヲ仰臥位トシ、下肢ヲ股、膝關節デ曲ゲ腹壁ヲ弛緩セシメ

(二) 一手ニテ兒頭ヲ骨盤入口ニ向ヒテ壓シ送り、他手ニテ同時ニ臀部ヲ子宮底ニ向ヒテ壓シ上グ。

(三) 廻轉後兒心音ヲ注意シ、腹帶ニテ適度ニ固定ス。

〔註〕 七ヶ月以前禁忌ノ理由。

(1) 羊水比較量多ク胎兒部分觸レ難ク廻轉困難。

(2) 妊娠中絶シタル時新産兒ノ生育不能。

圖六二九 骨盤位分娩ノ處置

一 醫師ヲ招ク。

二 醫師來診迄ノ準備。

(一) 産婦ヲ靜臥セシメ、臍部娩出マデハ努責ヲ禁ジ、

(二) 膀胱、直腸ヲ空虚ニシ、

(三) 消毒ト新産兒假死蘇生術ノ準備ヲナシ(此間胎兒心音ニ注意シ)

(四) 手術ノ爲メニ産牀ヲ整フ(横牀又ハ腰枕ノ準備) 三骨盤位牽出法

(一) 適應 醫師來診ナキ内ニ、(1) 既ニ臍部マデ娩出シ、(2) 其後ノ娩出ニ時間ヲ要シ(3) 胎兒ニ危險ノ徵アル時。

(二) 方式(先ツ産婦ノ努責、クリステレル氏壓出法ヲ試ミ、其無效ナル時ニ之ヲ行フ)

(1) 軀幹ノ牽出 手指ヲ消毒シタル後、先ツ臍帶ヲ輕ク引キテ之ヲ緩メ、兩手ヲ以テ兒ノ背面ヨリ其骨盤部ヲ攔ミ、輕キ前後ノ運動ヲ反復シツ、陣痛ニ乗ジテ水平ニ牽出スベシ。

(2) 上肢ノ解出 兒ノ腹面ニ對スル産婆ノ手ニテ兒ノ兩足ヲ捉ヘ、之ヲ母體腹面ト胎兒腹面トノ間ノ方向ニ屈ゲ以テ腔ノ後方ニ間隙ヲツクリ、他手ノ示中兩指ヲ伸シテ腔内ニ送り、兒背及後在上膊ノ外側ヲ越エテ其肘關節ニ達シ、更ニ拇指ヲ肘窩ニ送り以テ肘關節ヲ攔

ミ、兒ノ手が其ノ顔面ヲ拭フ様ニ半圓形ヲ描カセツ、上肢ヲ解出スベシ。

若シ他側上肢モ舉上セル時ハ、兒頭ヲ先ツ前上方ニ少シク押し戻シテ後、兒體ヲ二直角廻轉シテ、先ト反對ノ手ヲ用キテ同様ニ之ヲ解出セシム。

(3) 兒頭ノ牽出 兒ノ腹面ヲ産婆ノ前膊ノ上ニ載セ兩脚ヲ跨ガラシメ、其手ノ示中兩指ヲ兒ノ舌下ヨリ下顎齒槽突起ニカケ、他手ノ示中兩指ヲ開キテ兒ノ背面ヨリ兩肩ニカケ、此ノ外指ニテ初メ後下方ニ引キ、後頭ガ恥骨結合下ニ支定セラル、ニ及ンデ、徐々ニ前上方ニ向ヒテ弓狀ニ廻轉シ、以テ額部・顔面・前頭ヲ順次ニ會陰ヨリ滑脱セシムベシ。(フアイト氏法)

内手ハ前法ト同様ニシ、外手ニテ腹壁上ヨリ兒頭ヲ壓入スル法(マルナン氏法)アレドモ、通常ハフアイト氏法ヲ行ヒ、助手ヲシテ兒頭ヲ壓入セシメ、以テ兩氏法ヲ兼テ行フヲ宜シトス。

圖六二五 フアイト・スメリ氏法ヲ問フ

〔解〕 六二九問ノフアイト氏法ヲ述ブベシ。

圖六二七 骨盤位牽出術ニヨル兒ノ障礙

一 假死・死亡

違法ノ牽出術ニヨリ上肢舉上又ハ後續兒頭ノ反屈ヲ來シ、兒頭娩出遲延ニヨル。

二 損傷

違法粗暴ノ牽出ニヨリ、四肢ノ骨折又ハ脱臼、下顎關節脱臼、内臟損傷、胸鎖乳様筋損傷、胸鎖乳様筋血腫。

圖六二七 骨盤位分娩ニ對スル産婆ノ注意事項

一 醫師ヲ招クベシ

二 醫師來診マデノ注意……(六二九問ノ二)

三 骨盤位牽出法ノ注意

(一) 秩序正シク、沈着ニ、機敏ニ行フベシ。

(二) 牽出ノ際ハ常ニ骨部ノミヲ攔ムベシ。(齒槽突起ニカケタル指ハ只反屈ヲ防グニ留メ、之ニヨリ兒頭牽出ヲ圖ルベカラズ)。

(三) 臍部娩出セザル以前ニハ産婆自ラ牽出セザルヲ常法ト心得ベシ。

(四) 頭部牽出ヲ行フ際ニ會陰保護法ノ三要領中

「徐々ノ牽出」ト「第三廻旋ヲ助クルコト」ニ意ヲ用ユベシ。

圖六二七 第一後頭位、第二顔面位、第一全臀位、第二全臀位ノ初メテ恥骨弓下ニ

現ハル、部ヲ問フ

- 第一後頭位……後頭右方
- 第二顔面位……頤部左方
- 第一全臀位(第一臀足位)……左臀部及足
- 第二全臀位(第二臀足位)……右臀部及足

圖六二七 骨盤位破水前ノ處置

- 一 ナルベク醫師ニ分娩ノ經過ヲ報告シ
- 二 早期破水ヲ豫防シ(六二八問)
- 三 六二九問ニヲナス。

圖六二七 足位ノ最モ起リ易キ場合

臀足位(複臀位)ニ於テ、羊水過多症其他ノ爲メ下部嵌入股腔ニ早期破水ノアリシ時ニ來ル。

圖六二五 頭位及骨盤位ノ各種ノ略圖○

〔解〕 後頭位、前頭位、前額位、額面位ト、六ノ空間ノ各種ノ略圖ヲ畫クベシ。



圖六二七 足位ノ分娩機轉○

大體ハ六ノ五ノ間ト同ジナルモ、産道通過ノ途中ニ於テ足部ガ先進シ、足部ガ最初ニ陰裂間ニ露ハル、モノナリ。

横位

圖六二六 横位ニ就イテ○

- 一定 義……(六ノ七ノ間)
- 二原因……(六ノ八ノ間)
- 三診 斷……(六ノ八ノ間)
- 四分 娩經過……(六ノ八ノ間)
- 五危 險……(六ノ九ノ間)
- 六處 置……(六ノ九ノ間)

圖六二九 横位ノ定義○

胎兒長軸ト子宮長軸トガ交叉セル胎位ヲ云フ。

圖六二八 横位ノ原因○

〔解〕 六ノ四ノ間ト同ジ。

圖六二八 横位ノ診斷○

- (甲) 外 診……(六ノ八ノ間)
- (乙) 内 診……(六ノ八ノ間)

圖六二三 横位ノ外診○

一 視 診

腹部膨隆ハ横(又ハ斜)ニ長ク子宮底ハ縦位ニ比シ低ク位ス。

二 觸 診

- (一) 子宮底部ニ兒頭又ハ臀部ヲ觸レズ。
- (二) 兩側腹部ニ兒頭又ハ臀部ヲ觸知ス。
- (三) 子宮下方ニ兒頭又ハ臀部ヲ觸レズ。

三 聽 診

胎兒心音ハ臍ノ下方ニテ、中線若シクハ幾分兒頭ノアル方ニ偏シテ、最モ著明ニ聽取シ得。

圖六二四 横位ノ内診○

一 破 水 前

胎兒部分ハ高キニ在ルヲ以テ内診ニヨリテコレヲ觸ルコト困難ナリ。

二 破 水 後

圖六二八 上肢ト下肢ノ内診上ノ特徴○

上 肢	下 肢
(1) 肩胛骨・鎖骨・肋骨ヲ觸ル。	(1) 骨盤ノ諸骨ヲ觸ル。
(2) 肘關節ニ膝蓋骨ノ如キモノナシ。	(2) 骨太クシテ膝蓋骨ヲ觸ル。
(3) 跟骨ナシ。	(3) 跟骨ヲ觸ル。
(4) 指長ク、指ノ運動自由ナリ。	(4) 趾短ク第一趾ノ運動自由ナラズ。

且ツ拇指ト示指トノ間相隔ル 第一趾ト第二趾トノ間相近シ

肩胛・上肢等ヲ觸知シ得。

- (一) 肩 胛 肩 胛 骨・鎖 骨・肋 骨・肩 關 節 ヲ 觸 知 得 ル ト キ ハ 肩 胛 ノ 先 進 ス ル モ ノ ニ シ テ 之 ヲ 特 ニ 「 肩 胛 位 」 ト 稱 ス。
- 此 際 (1) 腋 窩 ノ 閉 セ ル 方 ニ 兒 頭 ア リ ト シ 以 テ 胎 向 ヲ 知 リ、
- (2) 肩 胛 骨 及 ビ 脊 柱 ノ アル 側 ヲ 兒 背 ト ナ シ 鎖 骨 ノ アル 側 ヲ 前 胸 部 ト ナ シ 以 テ 分 類 ヲ 知 ル。
- (二) 上 肢 上 肢 ヲ 觸 レ 又 ハ 見 ル 時 ハ 「 上 肢 ノ 脱 出 ヲ 伴 フ 横 位 」 ト 稱 ス。

圖六二八 横位ノ分娩經過

一 破水前 ハ、通常著シキ危険ナキモ、屢々早期破水ヲ來ス。

二 破水後 ハ遷延横位トナルコトアリ。(六二八問)

三 結果

- (一) 子宮破裂ヲ來スカ。
 - (二) 疲勞微弱陣痛—發熱ヲ來ス。
- 何レニシテモ横位其マ、ニテハ、成熟ノ生活兒ハ絕對ニ自然分娩ヲ遂ゲ得ザルモノニシテ、只極メテ稀ニ次ノ如キ「例外」アリ。

- (一) 自己廻轉(六二八問)
- (二) 自己娩出(六二八問)

圖六二六 遷延横位ニ就イテ

破水後ニ於テハ、下向セル肩胛ト骨盤壁トノ間際ヨリ、羊水ノ殆下全量ヲ流出セシメ

(一) 其際多クハ下向肩胛ト同側ノ上肢ヲ脱出シ(時ニ又臍帶脱出ヲモ兼ネ)

(二) 下向肩胛ハ遂ニ骨盤内ニ嵌入固定シ、他ノ胎兒部分モ亦羊水流失ノタメニ子宮壁ト密接シテ強ク壓迫セラレテ全ク動ク事ヲ得ズ。胎兒ハ假死ニ陥リ遂ニ死亡ス。

(三) カク子宮壁ガ兒體ト密接スルトキハ、子宮壁ノ受クル刺戟ハ強ク、タメニ陣痛益々強烈トナリ、時ニ痙攣性又ハ強直性ニ變ジ、而モ胎兒ハ固定シタル儘少シモ前進シ得ザルヲ以テ、子宮收縮輪ハ漸次ニ上昇シテ臍窩ノ附近ニ達シ、其レヨリ下部ノ子宮壁ハ益々延長シテ菲薄トナリ、將ニ子宮破裂ヲ來サントスルニ至ル。

此ノ如クシテ胎兒ノ娩出ノ遷延スル横位ノ状態コレヲ遷延横位(一名嵌頓横位)トイフ。

圖六二七 自己分娩ノ例外

一 自己廻轉……(六二八問)

ニ 自己娩出……(六二八問)

圖六二八 横位ノ自己廻轉

分娩初期ニ於テ、寧ロ下方ニ近キ兒頭又ハ臀部ノ偏在側ヲ下ニ側臥セシムル時ハ、胎兒自ラ廻轉シテ縦位トナリ自然ニ娩出シ得ル事アリ。

之ヲ「自己廻轉」ト稱シ最モ幸福ナル機轉ナリトス。

圖六二九 自己娩出ヲ説明セヨ

(一) レーデル式自己娩出

前熟兒又ハ死亡兒殊ニ浸軟胎兒ノ横位ニ於テハ、胎兒ノ胸廓ガ屈折シテ兒頭ト軀幹トガ押シツケラレタルマ、即チ横位ノマ、ニ壓出セラル、コトアリ、斯クノ如ク二重ニ折レテ自然ニ娩出スルヲ重折分娩ト稱ス

(二) ダグラス式自己娩出

兒頭ガ母體腹壁ヲ強ク前方ニ突出セシメ、腹部、臀部、下肢ガ後方ヨリ壓出セラレ、途中ヨリ恰モ骨盤位ノ如キ状態ニ變ジテ自然ニ娩出スルコトアリ。

以上ハ何レモ横位ナルニカ、ハラズ娩出シ得ルモノナルヲ以テ、コレヲ特ニ横位ノ「自己娩出」(自廻娩出)ト稱ス。

圖六二〇 横位ノ危険

- (甲) 母體ノ危険
 - 一 子宮破裂ニヨル出血ノ爲メ死亡血死ヲ來ス。
 - 二 遷延横位ハ軟産道ヲ壓迫シ傳染發熱ノ危険多シ。
 - 三 胎兒死亡後ニ空氣ガ腐敗菌ト共ニ子宮内ニ竄入スルトキハ、子宮鼓張症(六二八問)ヲ起シ遂ニ多クハ死亡ス。
- (乙) 胎兒ノ危険
 - 一 胎兒ハ假死ヲ起シ遂ニ死亡ス

圖六二一 子宮鼓張症ノ原因及症候

一 原因

破水後分娩甚ダ遷延シテ、胎兒死亡シタル時ニ、子宮腔内ニ腐敗菌ガ空氣ト共ニ侵入スルコトニヨリ起ル。

例へバ横位、狹骨盤、軟産道ノ著シキ障礙。

二 症 狀

子宮内容ハ腐敗分解シテ腐敗瓦斯ヲ發生シ、爲ニ子宮及ビ腹部ハ膨滿緊張シテ壓痛ヲ呈シ、發熱甚ダシク、脈搏不良トナリ、遂ニ多クハ死亡ス。

圖六二五 分娩最モ困難ナル位置及經過○

〔解〕「最」ナル字ヲ文字通りニ解釋シ、横位ヲ舉ゲ其經過ヲ簡單ニ述ブベシ。六二五間

圖六二六 横位ノ處置○

(甲) 妊 娠 中 ノ 處 置

妊娠中又ハ分娩ノ初期ニ於テハ、次ノ法ニ從ヒテ產婆自ラ廻轉術ヲ行フモ可ナリ。

一 臥位ニヨル廻轉術 (三二六間一)(D)

二 外廻轉術 (六二六間)

(乙) 分 娩 中 ノ 處 置

▲必ズ醫師ノ治療ヲ乞フベキモノトス。

▲產婆トシテハ……………

一 破 水 前

(1) 産婦ヲ静臥セシメ (2) 努責ヲ戒メ上圍ヲ禁ジ (3) 未熟粗暴又ハ無用ノ内外診ヲ避ケ、以テ破水ヲ防キ

二 破 水 後

- (1) 破水後ハ羊水ノ流出ヲ成ルベク少カラシムルタメニ
- (1) 産婦ヲ静カニ側臥トナシ (2) 努責ヲ禁ズベシ
- (二) 膀胱直腸ヲ空虚トナスベシ。
- (三) 消毒ト新産兒假死蘇生術ニ對スル準備ヲナシ、此間胎兒心音ニ注意シ
- (四) 手術ノタメニ産牀ヲ整ヘオクベシ (横牀又ハ腰枕)
- (五) 上肢脱出セル時ハ決シテコレヲ還納又ハ牽引スベカラズ。

圖六二七 分娩第二期遲延ニヨル母兒ノ影響○

一 母 體 (1) 疲勞微弱陣痛—發熱(甚シキハ壓挫症狀)—産褥熱

(2) 子宮破裂—急性貧血—亡血死

二 胎 兒 (1) 假死—死亡 (2) 腦頭骨・腦ノ損傷、頭血腫

四肢胎勢異常

圖六二八 上下肢下垂脱出ノ原因危險處置○

一 原 因

(一) 頭 位 …… 六二七間ノ一

(二) 横 位 …… 先進肩胛ト同側ノ上肢ガ脱出ス。

(三) 骨盤位 …… ノ足位ハ即チ下肢脱出ナリ。

二 危 險 …… 六二六間

三 處 置

醫師ノ來診ヲ求ムベシ

(一) 下垂ノ時 …… 破水ヲ豫防シ、下垂側ヲ上ニ側臥ヲ取ラシム

(二) 脱出ノ時 …… 脱出側ヲ上ニ側臥ヲ取ラシム。

(三) 其他ノ處置 …… ハ横位及足位ノ處置ニ從フ。

〔註〕 下垂ハ破水前、脱出ハ破水後。

圖六二九 上肢脱出ト下肢脱出トハ何レガ分娩困難ナルヤ且ツ其理由ヲ記セ○

上肢脱出ノ方ガ分娩困難ナリ

出 脱 肢 下	出 脱 肢 上	頭 位	骨 盤 位	横 位
嵌頓アルモ、死亡兒、浸軟兒又ハ前熟兒ニ來リ、通過割合ニ困難ナラズ	母兒ニ嵌頓ノ危險			母兒ニ嵌頓ノ危險 六二九間
			足位トシテ自然分娩可能 胎兒ニ危險アリ 六二八間	

圖六三〇 頭位上下肢下垂脱出ノ原因及處置○

一 原 因

兒頭ノ骨盤入口嵌入障礙—早期破水。

嵌入障礙ノ原因ハ (一) 狭骨盤、前熟兒・未熟兒・死胎兒殊ニ浸軟兒 (二) 羊水過多症

(下肢脱出ハ成熟兒ニテハ起ラズ)
二處置……六九五問

圖六二六 内診時手足左右鑑別法○

- 一手。内診手ト握手シ得ベク考ヘラル、時ハ同名側ノ手
- 二足。産婆足趾ト胎兒足趾ト一致スル様考ヘ得ルハ反對側ノ足。

第三章 多胎妊娠—分娩

圖六二九 双胎ニ就テ○

- 一成因………(六二〇〇問)
- 二一卵性ト二卵性トノ鑑別……(六二〇〇問)
- 三頻度………(六二〇〇問)
- 四妊娠経過………(六二〇〇問)
- 五分娩経過………(六二〇〇問)
- 六診断………(六二〇〇問)
- 七處置………(六二〇〇問)

圖六二〇 双胎妊娠ノ種類及其成因○

- 一 一卵性双胎
 - 一卵ヨリ(二精子又ハ二卵核ノ爲メ)生ズ。
 - 二卵性双胎
 - 二卵ガ各一精子ヲ受精シテ生ズ。

圖六二〇一 一卵性ト二卵性双胎トノ鑑別○

一 卵 性	二 卵 性
(一) 胎盤 兩兒血管相交通ス	二個 相交通セズ
(二) 絨毛膜 一枚	二枚
(三) 羊膜・臍帶 各兒一個 卵囊壁 二枚ノ羊膜	各兒一個 羊膜間ニ絨毛膜
(四) 兩兒 必ズ同性	同性又ハ異性

圖六二〇二 多胎ノ頻度○

ヘルリン氏式

- 双胎 80 = 80回 = 1回
- 三胎 80² = 6400回 = 1回
- 四胎 80³ = 512000回 = 1回
- 五胎 80⁽ⁿ⁻¹⁾ ……回 = 1回

圖六二〇三 双胎妊娠ノ経過○

- 一 壓迫障礙(浮腫・靜脈瘤・膀胱直腸障礙・胃肺心臓ノ障礙)ハ單胎ノ場合ヨリ著シ。
- 二 一兒又ハ兩兒ニ位置異常ヲ伴ヒ易シ。
- 三 分娩豫定日ヨリ早ク分娩スルモノ多シ。
從ツテ胎兒ノ發育ハ不十分、假令豫定日ニ生ル、モ、兩兒ノ身長體重等ハ單胎ヨリ小。
又兩兒ノ發育不同ナルコト少カラズ、時トシテ一兒ハ「紙狀胎兒」トナル。

圖六二〇三 双胎妊娠ノ徵候○

〔解〕 徵候ハ診断(六二〇五問)ノ一、二、三ト経過ノ一、ニヲ共ニ記ス
第三章 多胎妊娠—分娩

ヤナ。

圖六二〇四 雙胎分娩ノ経過○

- 一 正常経過
 - (一) 第一兒(縦位ナラバ)正常産ノ如ク開口期及娩出期ヲ經テ娩出ス
 - (二) 第二兒(縦位ナラバ)開口期ヲ省キテ容易ニ娩出ス
第一兒娩出ト第二兒娩出トノ間ハ通常一〇—三〇分ナレドモ(1)時ニハ極メテ短カキアリ、(2)又稀ニ一日以上數日ニ亘ルコトアリ此場合ハ第二兒ノタメニ再ビ開口期ヲ要ス
 - (三) 後産ハ通常兩兒分娩後ニ娩出ス
- 二 異常経過—障礙
 - (一) 第一期ヨリ既ニ微弱陣痛ヲ來シ易シ、時ニ早期破水ヲ來ス。
 - (二) 破水後ハ
 - (1) 胎盤早期剝離………ヲ來シ易シ。
 - (2) 上肢・臍帶ノ脱出………ヲ來シ易シ。
 - (3) 胎位胎勢ノ異常
 - (三) 第三期ニ於テハ屢々弛緩出血ヲ來シ易シ。

圖六二〇五 双胎ノ診斷

一 視診

(一) 腹部ノ膨隆著シク、球形ヲナス。

(二) 時トシテ兩兒ノ間ニ淺キ溝ヲ認ム。

二 觸診

二個ノ頭部、二個ノ臀部、又ハ多數ノ小部分ヲ觸知ス。

三 聽診

胎兒心音ハ二ヶ所ニ於テ別々ニ聽取シ得。

(1) 其二點間ノ中央ニ近クニ從ヒテ漸次ニ弱ク遂ニ全ク聽取シ得ザルニ至ル。

(2) 二ヶ所ノ心音ヲ產婆二人ニテ同時ニ聽取スレバ其心音數異ル

四 分娩時

(一) 第一兒娩出後、子宮收縮良好ニシテ、而モ子宮底高ク、觸診及ヒ聽診ニヨリ第二兒ノ存在ヲ認ム。

(二) 第一兒娩出後、内診ニヨリ第二ノ胎胞又ハ胎兒部分ヲ觸ル。

〔註〕「双胎ノ確證」ハ胎兒ヨリ發スル徵候ヲ答フベシ。

圖六二〇六 双胎ノ處置

(甲) 妊娠中

成ルベク醫師ノ診察ヲ乞ハシム。

(乙) 分娩中

(一) 障礙ヲ認メタル時ハ醫師ノ來診ヲ乞フ。

(二) 產婆ノ注意

(1) 臍帶ノ第二結紮モ嚴重ニナスコト。

(2) 双胎ナルコトヲ產婦ニ直チニ知ラシメヌコト。

(3) 第一兒ト第二兒トノ區別ノタメ標ヲ附スコト。

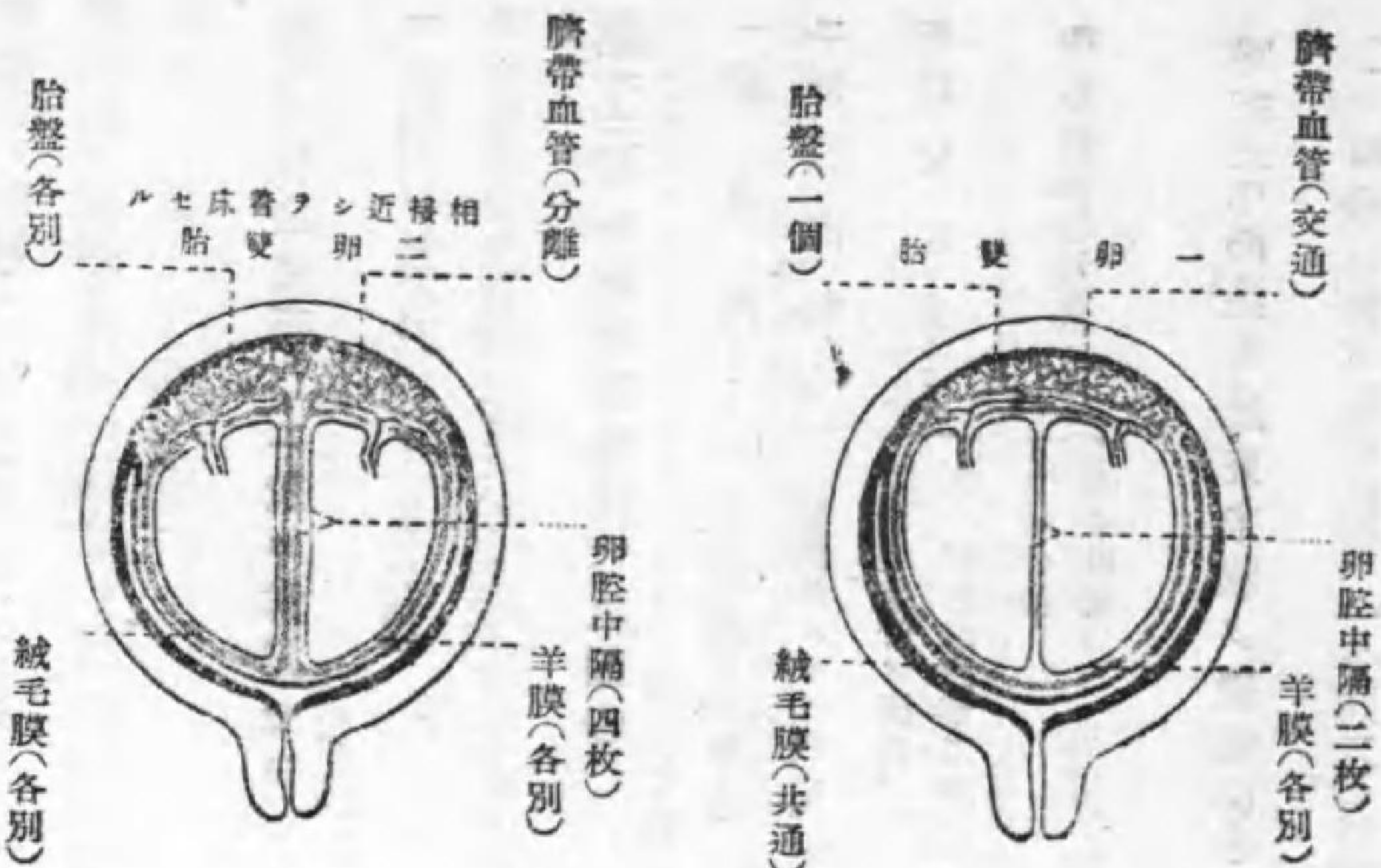
圖六二〇七 双胎兒ノ性ハ如何

〔解〕六二〇二問ノ(四)

圖六二〇八 双胎兒ニ於ケル卵膜胎盤ノ關係ヲ圖

解セヨ

第四章 分娩中ノ胎兒死亡



圖六二〇九 紙狀胎兒トハ何ゾ

双胎ノ一死亡兒ガミイラ化シテ他ノ生活兒ノ爲ニ壓迫セラレテ扁平トナリタルモノ、之ヲ「紙狀胎兒」ト云フ。

圖六二一〇 双胎分娩ノ障礙

〔解〕六二〇二問ノ二

圖六二一一 双胎分娩ト羊水過多症トノ鑑別

〔解〕五二七問及六二〇五問参照。

圖六二一二 双胎妊娠ト誤診シ易キ疾病ヲ舉

ゲヨ

過熟兒、羊水過多症、胞狀鬼胎

第四章 分娩中ノ胎兒死亡

圖六二一三 分娩中ノ胎兒危險—死亡ニ就イテ一原 因……(六二二五問)

- 二 症狀・診断……(六三六問)(六三七問)
- 三 死産ノ經過……(六三八問)
- 四 處置……(六三九問)

圖六三四 胎兒死亡ニ就キ詳記セヨ

- 一 妊娠中ノ胎兒死亡……(六三六問)
- 二 分娩中ノ胎兒死亡……(六三三問)

圖六三五 分娩中胎兒死亡原因

- 一 窒息死……(六三六問中熱病ヲ除ク)
- 二 母體高熱……兒ハ鬱積熱ニヨリ死亡
- 三 胎兒亡血……
 - (1) 卵膜血管ノ斷裂
 - (2) 一卵性及胎第二兒ノ亡血
- 四 重要臟器損傷……
 - (1) 狹骨盤
 - (2) 牽出術

圖六三六 分娩中胎兒危險ノ徵候

(一) 胎兒心音ハ不正微弱、一分間100以下又160以上。

(一) 胎動ハ却ツテ一時強キコトアリ。

(二) 胎糞ヲ漏シ羊水ハ爲ニ暗綠色ニ濁濁ス。

但シ骨盤位ニアリテハ必ズシモ之ヲ危險ノ徵候トナシ得ズ。

(四) 内診ニヨリ産瘤ノ急速増大ヲ知レバ胎兒危險ヲ想像ス。

圖六三七 分娩中胎兒死亡ノ徵候

- 外診
 - 一 胎兒心音ヲ聴取シ得ズ。
 - 二 胎動ヲ全ク認メ得ズ。
 - 三 胎兒部分ヲ觸レ難ク、(或ハ其何ナルカラ區別スルコト難シ)
- 内診
 - 一 頭部 縫合因門緩ミテ軟變シ球形ヲ失ヒ、既存ノ産瘤ハ消退ス。
 - 二 四肢 其他モ軟變シ、諸關節ハ緩ミ或ハ脱臼ス。
 - 三 臀部 先進スル時ハ、肛門ノ弛緩及胎糞ノ漏泄ヲ認

ム。胎糞ヲ混ゼル羊水ハ暗綠色ニ濁濁ス。

圖六三八 死産ノ經過

正常分娩ト同様ナルモ若シ破水後分娩甚ダ遅延シ羊水中ニ空氣及腐敗菌ガ侵入スル時ハ子宮内容ノ腐敗ヲ來シ、爲メニ子宮鼓張症ヲ起シ以テ母體ノ死ヲ招ク事アリ。

圖六三九 分娩中胎兒危險又ハ死亡ノ處置

胎兒危險ヲ認メタル時又ハ胎兒ノ死亡ヲ認メタル時ハ、速カニ醫師ヲ招クベシ。

死産ノ取扱中産婦ニ對スル注意ハ正常産ノ取扱ニ準ズベシ

産婆自ラ取扱ヒタル死産兒ノタメニ「死産證書」ヲ求メラレタル時ハ之ヲ認メテ與フルコトヲ得。

圖六三〇 分娩時胎兒窒息ノ原因

〔解〕 六三三問ノ一

圖六三三 分娩中胎兒假死ノ徵候

〔解〕 六三六問 新産兒假死ト混同スベカラズ。

圖六三三 分娩時胎兒窒息ノ徵候

〔解〕 六三六問。

圖六三五 分娩時ニ於ケル胎糞漏出ノ意義ヲ論

ジ併セテ此場合ニ於ケル産婆ノ處置ヲ記セ

〔解〕 胎兒危險ノ徵デアルコトヲ説明シ、骨盤位デハ必ズシモ危險ト限ラナイコトヲ附記シ、各ノ場合ノ處置ヲ述ブベシ。

第五章 新産兒假死

圖六三四 新産兒假死ニ就イテ

一定 義……(六三三問)

二 原因……(六三六問)

- 三 徵候……(六ノ三九問)
- 四 取扱……(六ノ三九問)

圖六三三 新産兒假死ノ定義

娩出シタル兒ニ呼吸運動ナク(或ハ極メテ不完全ニシテ)只心臟搏動ノミヲ認ムル状態ヲ云フ。

圖六三六 早期呼吸ニ就イテ

一定義

早期呼吸トハ、胎兒ノ口鼻ガ末ダ産道外ニ出デザル内ニ既ニ呼吸スルヲ云フ。

二原因

胎兒血液中ノ酸素缺乏シ炭酸蓄積スル時、其不良血液ガ延髄ニ於ケル呼吸中樞ヲ刺戟シ、以テ早期呼吸運動ヲナサシムルニヨリ起ル。

(更ニ炭酸蓄積ノ原因ハ六ノ三九問参照)

三影響

子宮内又ハ産道内ニ於テ呼吸スルトキハ、空氣ノ代リニ羊水・血液・胎糞等ヲ吸込ミ窒息シ即チ假死ノ状態ニ陥リ、其マ、永ク續クトキハ遂ニ死亡ス。

圖六三七 胎兒無呼吸トハ如何

胎兒無呼吸トハ未ダ呼吸運動ヲ開始セザル無呼吸運動ノ状態ヲ云フ。

圖六三八 新産兒假死ノ原因

胎兒血液中ニ酸素缺乏シ炭酸蓄積スルトキハ早期呼吸運動ヲ營ミ以テ假死ニ陥ル。(六ノ三九問)D

而シテ血液中ノ酸素缺乏ト炭酸蓄積ヲ起ス原因ハ次ノ如シ。

- (一) 早期破水、被膜兒
- (二) 前置胎盤、常位胎盤早期剝離
- (三) 臍帶壓迫(臍帶脫出・骨盤位等)、臍帶離斷
- (四) 羊水過少症

二 胎兒娩出遷延ニ胎兒腦壓迫——(内頭血腫)

胎兒娩出遷延ノ原因ハ六ノ三九問

- (一) 痙攣陣痛、子宮強直、子痙。
- (二) 母體ノ重キ熱病・心臟病・呼吸器病等。
- (三) 母體ノ瀕死・大出血・重症脚氣・重症腎疾患等。

圖六三九 新産兒假死ノ徵候

- 第一度假死ノ徵候……(六ノ三九問)
- 第二度假死ノ徵候……(六ノ三九問)

圖六四〇 新産兒第一度假死ノ徵候

- 一皮 膚 ハ藍赤色ヲ呈ス。
- 二筋 肉 ハ尙ホ緊張力ヲ有シ、從ツテ頸部及四肢ハ一定ノ姿勢ヲ保ツ。
- 三 心臟搏動 ハ徐々ニ而モ活潑
- 四 臍帶血管 ハ緊張シテ、強キ搏動アリ。
- 五 (1) 稀ニ微弱ナル四肢運動或ハ呼吸運動ヲ營ム。
(2) 皮膚粘膜ノ刺戟ニ應ズ。

圖六四二 新産兒第二度假死ノ徵候

- 一皮 膚 ハ蒼白色トナリ、厥冷ス。
- 二筋 肉 全ク弛緩シテ、死兒ノ如シ。
- 三 心臟搏動 微弱ナリ。
- 四 臍帶血管 萎縮シテ、ソノ搏動ヲ觸レ得ズ。
- 五 (1) 四肢運動及ビ呼吸運動ハ全然失ハレ、
(2) 皮膚粘膜ノ刺戟ニ應ゼズ。

圖六四三 新産兒假死ノ取扱

- (甲) 稍重キ假死ハ速カニ醫師ノ來診ヲ乞フベシ。
- (乙) 産婆ノ處置(蘇生術)
 - 一 吸入異物ノ除去
 - (一) 指ニ卷キタル布片ヲ以テ口腔及咽頭内ノ異物ヲ淨拭ス。
 - (二) 氣管カテーテルヲ以テ氣道内ノ異物ヲ吸出スニ身體ノ保温及強心
 - (二) 寒冷ノ季節ニハ時々温湯ニテ兒體ヲ温ムベシ。

(二) 必要ニヨリホフマン氏液ヲ注腸ス。
三呼吸運動ノ喚起

(一) 第一度假死

(1) 吸入異物除去ノ粘膜刺戟ニヨリ呼吸運動ヲ起サシム。

(2) 兒ヲ倒ニ吊ルシ兒背連打又ハ皮膚摩擦

(3) 冷水ニヨル皮膚ノ刺戟。

▲手輕ノ人工呼吸法ヲ行フモヨロシ。

(二) 第二度假死

直チニ人工呼吸法ヲ施スヲ要ス。

(1) シュルツエ氏振搖法……六三三問

(2) 緒方式發啼術

(3) プロヒョニツク氏法、ジルヴェステル氏法

ローゼンタール氏法、オルスハウセン氏法

【注意】

一 新産兒假死蘇生術ヲ行フ前ニ先ヅ母體子宮收縮狀態及ビ出血量ニ注意スベシ。

二 臍帶ハ搏動停止後之ヲ切斷スルコト。

圖六三三 新産兒第一度假死ノ處置◎

【解】 六三三問中ヨリ第二度ノ取扱ヲ省ク。

圖六三四 新産兒第二度假死ノ處置◎

【解】 六三三問中ヨリ第一度ノ取扱ヲ省ク。

圖六三五 シュルツエ氏振搖法ニ就イテ◎

人工呼吸法中頗ル有效ノ法ナレドモ、兒ヲ損傷スル虞アルノミナラズ、内頭血腫アル場合ニ甚ダ危険ナルヲ以テ、現今ハ之ヲ用ユルモノ漸ク少ナキニ至レリ。

一把持ト懸垂。産婆ノ示指ヲ兒ノ左右腋窩ニ後方ヨリ挿入シ、拇指ハ兩肩ヲ越エテ前胸上部ニ貼テ、他ノ二指ハ斜ニ兒背ニ貼テ、兩手根間ニ兒頭ヲ挟ミテ其前屈ヲ防ギ、自ら兩脚ヲ開キ上體ヲ少シク前方ニ屈メ、兩脚ヲ伸シテ兒體ヲ懸垂ス。

二 上行振搖法(呼吸法) 産婆ハ其兩脚ヲ伸シタルマ、兒ヲ頭上ニ振り上ゲ急ニ止ムレバ、兒ノ下半身ハ下垂

一 吸入異物ヲ除去スル事ニ注意スベシ。
二 兒ノ保溫及強心ヲハカル様注意スベシ。

圖六二六 新産兒蘇生術ノ注意事項◎

- (一) 術中ノ溫浴ハ冬期ニ於テ殊ニ必要ナレド、無用ニ長時間ニ渉ルベカラズ。
- (二) 兒ノ把持ヲ確實ニスベシ。
- (三) 時々氣管カテーテルノ使用ヲ怠ルベカラズ。
- (四) 兒ガ自然呼吸ヲ起スマデ續行シ、心臟搏動アル間ハ之ヲ止ムベカラズ。

シテ胸腔ヲ壓迫シ、以テ呼吸ヲ營ミ同時ニ吸入異物ヲ排出ス。
三 下行振搖法(吸氣法) 次ニ再び兩脚ヲ伸セルマ、稍強ク且ツ急速ニ奮位ニ振り下ゲル時ハ、兒ノ胸腔ハ擴張シテ吸氣ヲ營ム。
數秒ノ後更ニ次回ノ振搖ヲ行ヒ一分間ニ約十回ノ割合ニテ之ヲ反復ス。

注意

圖六二六 新産兒ノ假死ト眞死トノ區別◎

假死ニハ心臟搏動アリ。眞死ニハ心臟搏動全ク停止ス。

圖六二七 新産兒假死ト臍帶トノ關係◎

【解】 臍帶壓迫ニヨル早期呼吸ヲ説明スベシ。(六三三問)

圖六二七 人工蘇生術ノ種類ヲ擧ゲヨ◎

一 呼吸運動喚起ハ(1)第一度假死ニハ主トシテ皮膚粘膜ノ刺戟ヲ用ヒ、輕キ人工呼吸法ヲ以テ之ヲ助ケ(2)第二度假死ニハ専ラ人工呼吸法ヲ行フベシ。
二 人工呼吸法ノ注意……(六三三問ノ注意)
三 一般注意……(六三三問ノ注意)

【解】 六三三問ノ(乙)參照

【註】 人工蘇生術ヲ(1)廣ク「蘇生術」(乙)全部ト見ル場合ト(2)「呼吸運動喚起法」(乙)ノ(三)ト見ル場合ト(3)「人工呼吸法」ト見ル場合トアリ、注意スベシ。
本問ハ恐ラク(2)ヲ意味スルナラン。

第二編 胎兒ノ異常

圖六二〇 新産兒假死ノ種類◎

第一度假死……藍赤假死(青色假死)
第二度假死……蒼白假死

圖六二一 胎兒高度ノ假死ニテ生レ次イデ母體ニ高度ノ出血起レル場合如何ニ取扱フベキカ◎

〔解〕 先ヅ母體ノ取扱ヲ先ニスベシ。助手居ルトキハ同時ニ新産兒ヲ取扱ハシム。

圖六二二 人工蘇生術ニヨリ幸フジテ蘇生セル新産兒アリ爾後如何ナル事ニ注意スベキカ◎

一 吸入異物ノ殘餘アラバ之ヲ除去スベシ。
二 保溫及強心ニ注意スベシ。
三 呼吸ノ整不整ニ注意シ、不整ナルトキハ皮膚摩擦等ニヨリ兒ヲ刺戟シテ號泣ヲ促スベシ

圖六二三 蘇生法奏效セル新産兒ノ徵候如何◎

(1) 兒ノ皮膚ニ赤色ヲ帶ビ、(2) 心窩部ニ心臟搏動ヲ認メ、(3) 自然呼吸ヲ營ム。

圖六二四 シュルツエ氏振搖法ノ優劣點及其應用スベキ場合◎

一 優點
第二度假死ニシテ他ノ方法ニヨリ無效ナル場合ニ屢々奏效ス。
二 劣點
(一) 新産兒ヲ損傷スル虞アリ。
(二) 内頭血腫アル場合ニ甚ダ危險。
三 應用スベキ場合
第二度假死ニシテ醫師未ダ來診ナク、他ノ總テノ方法ヲ盡スモ無效ナル場合

圖六二五 氣管カテーテル挿入法◎

只ゴム管ノミヲ挿入スルトキハ管ハ屢々食道内ニ入り込ムヲ以テ、必ず指ヲ管ニ添エテ進メ、指先ニテ舌根ヲ前方方ニ壓シツケツ、管端ガ氣管内ニ正シク向フ様ニハ

カルベシ。

圖六二六 フロヒョーニツク氏人工呼吸法ヲ説明セヨ◎

一手ニテ兒ノ兩足ヲ捉ヘ倒ニ吊シ、兒頭ヲ桌上ニ支ヘ、他手ニテ(助手ヲシテ吊サシメタル時ハ兩手ニテ)胸部ヲ調子正シク反復壓迫ス。

圖六二七 新産兒假死ノ豫防法◎

一 早期破水ヲ豫防シ、被膜兒ニ早ク適當ノ處置ヲナシ。臍帶脫出骨盤位ノ處理ヲ速ヤカニスベシ。
二 分娩第二期遷延スル時ハ、時ヲ誤タズ其原因ヲ索メ醫師ノ來診ヲ乞フベシ。
三 母體ノ異常ヲ認メタル時ハ胎兒危險ナキ内ニ速カニ醫師ノ診察ヲ乞ハシムベシ。

第三編 母體ノ異常

圖六二八 母體ヨリ來ル分娩障礙ノ原因ヲ擧ゲ之ニ簡單ナル説明ヲ加ヘヨ◎

第一章 娩出力ノ異常

〔解〕 六二問ノ胎兒原因ダケヲ省ク。説明ハ各項目ニツキ簡單ニ附記スベシ。

第一章 娩出力ノ異常

圖六二九 産道及胎兒ニ異常ナクシテ分娩遷延スル理由及其際ノ産婆ノ處置◎

〔解〕 理由ハ(1)微弱陣痛(3)痙攣—強直陣痛(3)微弱腹壓、處置ハ六三二問、六三三問、六三三問、六三三問。

圖六三〇 異常陣痛◎

一 種類
二 定義……六三二問、六三三問、六三三問。
三 原因……六三三問、六三三問、六三三問。
四 症狀……(定義及障礙ヲ記ス)
五 障礙……六三三問、六三三問、六三三問、六三三問。
六 處置……六三三問、六三三問、六三三問。

圖六三一 微弱陣痛ニ就イテ一定義……(ケノモト問)

- 二 原因……………(六三〇問)
- 三 障礙—危險……………(六三〇八問)
- 四 處置……………(六三〇四問)

圖六三〇二 微弱陣痛ノ定義

(1) 發作短ク、子宮收縮(疼痛)弱ク、(2) 間歇長キ陣痛ヲ云フ。

圖六三〇三 微弱陣痛トハ如何

- 一定 義……………(六三〇三問)
- 二 特 徵……………發作ト間歇トノ關係ハ極メテ不規則ナリ。
- 三 種 類……………(六三〇四問)

圖六三〇四 微弱陣痛ノ種類ヲ擧ゲ之ヲ説明セヨ

一 原發微弱陣痛 分娩ノ最初ヨリ微弱ナル陣痛ヲ云フ
 二 續發微弱陣痛(疲勞微弱陣痛) 陣痛ハ最初普通又ハ普通以上ナリシニ、或ル通過障礙ノタメニ全身及子宮筋肉ノ疲勞ヲ來シテ、續發的ニ微弱トナルモノナリ。

圖六三〇五 微弱陣痛ノ原因

- 一 原發微弱陣痛ノ原因……………(六三〇六問)
- 二 續發微弱陣痛ノ原因……………(六三〇七問)

圖六三〇六 原發微弱陣痛ノ原因

- 一 子宮ニ關スルモノ。
- (一) 子宮ノ發育異常、強度前屈、炎症、腫瘍(筋腫・癌腫)
- (二) 子宮出血(前置胎盤、常位胎盤早期剝離)
- (三) 過度延長(羊水過多症、多胎分娩)
- 二 膀胱直腸ノ充滿
- 三 全身ニ關スルモノ
- (一) 高年又ハ若年ノ初産婦、頻産婦。
- (二) 衰弱、疾病(殊ニ重キ腎疾患・重キ脚氣)、肥滿。
- (三) 強キ精神感動。

圖六三〇七 續發微弱陣痛ノ原因

陣痛ハ最初普通又ハ普通以上ナリシモ、或ル通過障礙ノ

タメニ、全身及子宮筋肉ノ疲勞ヲ來シ、以テ續發的ニ微弱トナル。

[註] 通過障礙ノ原因トシテ六三〇八問(甲)ノ二、三ヲ追記スベシ。

圖六三〇八 微弱陣痛ノ障礙危險ヲ述ベヨ

一 破水前

母兒共ニ危險少ナシ。

二 破水後

(一) 母體 軟産道ガ胎兒下向部ノタメニ壓迫セラル、事強ク、之ガ長時間續ク時ハ此部ノ血液循環妨ゲラレ、以テ次ノ如キ壓挫症狀ヲ來ス。

- (1) 軟部ハ浮腫狀ニ腫脹シ、其粘膜ハ強キ藍赤色ヲ呈ス
- (2) 腔内ノ溫度ハ上昇シ、體溫モ上昇ス。
- (3) 分泌物ハ濁濁シ臭氣ヲ發シ、尿モ濁濁シ、時ニ血液ヲ混ズ。

(二) 胎兒 假死ヲ起シ遂ニ死亡ス。

三 第三期

第一章 娩出力ノ異常

弛緩出血ノ危險アリ。

圖六三〇九 微弱陣痛ノ症狀

[解] 定義(六三〇三問)及障礙危險(六三〇八問)ヲ記スベシ。

圖六三〇〇 微弱陣痛ノ分娩ニ及ボス影響

[解] 危險障礙(六三〇八問)ヲ記スベシ。

圖六三〇一 微弱陣痛ノ分娩各期ニ於ケル障礙

[解] 六三〇八問ノ破水前ヲ第一期トシ、破水後ヲ第二期ト代ヘテ答フベシ。

尙ホ第三期子宮弛緩ヲモ一言添フベシ。

圖六三〇二 分娩第二期微弱陣痛ノ豫後

[解] 六三〇八問ノ二ヲ記ス。

圖六三〇三 軟産道ノ壓挫症狀トハ如何

[解] 六三〇八問ノ二(一)ヲ記ス。

圖六三四 微弱陣痛ノ處置◎◎

- (甲) 原發微弱陣痛ノ處置……(六三三問)
- (乙) 續發微弱陣痛ノ處置……(六三六問)

圖六三五 原發微弱陣痛ノ處置◎

一 破水前

(一) 溢リニ陣痛ヲ促スコトナク

(1) 第一期ノ初メニハ散步・全身浴―坐浴ヲ許ス。

(2) 排尿排便ヲハカル。

(二) 第二―三期ノ微弱陣痛ヲ豫メ警戒スベシ。

(三) 茶、珈琲、葡萄酒、等ノ興奮劑其他滋養物及
ビ新鮮ナル空氣ニヨリ體力ヲ養フベシ。

(四) 人工破水法ニヨリ陣痛ヲ強ムル法アレドモ之ヲ
濫用スベカラズ。

ニ破水後

(一) 陣痛促進ニツトムベシ。(六三七問ノ一)(二)ラ附記)

(二) 母子ノ危險ニ注意スベシ。

(1) 母體 體溫脈搏ニ注意シ

(2) 胎兒 凡ソ十五分毎ニ胎兒心音ニ注意スベシ

若シ之等ニ異常アルトキハ速カニ醫師ノ來診ヲ乞フハ
勿論、

假令未ダ異常ナクトモ破水後三時間以上經過シ、而モ
尙ホ分娩進行ノ模様ナキトキハ速カニ醫師ノ來診ヲ乞
フベシ。

第三期

弛緩出血ニ對スル注意ト準備ヲナスベシ。

圖六三六 續發微弱陣痛ノ處置◎

一 必ず醫師ノ來診ヲ求メ、通過障礙ノ原因ノ探知ト其
除去ヲ乞フベシ。

ニ 溢リニ陣痛促進ヲ行ハズ、興奮劑、滋養物、新鮮空氣
ニヨリ專ラ體力恢復ヲハカルベシ。

圖六三七 産婆ノナシ得ル陣痛促進及輕減法◎

一 促進法

(一) 人工破水法……(六三三問)

(二) 腹部ノ高溫療法、腫ノ高溫洗滌、排尿排便。

(三) クリストレル氏胎兒壓出法……(六三六問)

ニ 輕減法

腹部ニ微溫濕布ヲ貼用スベシ。

圖六三八 分娩第一期微弱陣痛ノ處置◎

[解] 六三三問ノ一

圖六三九 分娩第二期微弱陣痛ノ處置◎

[解] 六三三問ノ二ノ他ニ六三六問ヲ附記スベシ。

圖六三〇 破水時ニ於ケル微弱陣痛ノ處置◎

[解] 破水ノ瞬間ト云フ意デオク、破水シタル後ト見做シ、
六三三問ノ二ヲ答フベシ。

圖六三一 過強陣痛ニ就イテ◎

一定 義……(六三三問)

二 原因……(六三四問)

三 經過……(六三五問)

四 處 置……(六三六問)

圖六三二 過強陣痛ノ定義◎

(1) 發作長ク、子宮收縮(疼痛)強ク、(2) 間歇短キ陣痛ヲ
云フ。

圖六三三 過強陣痛トハ如何◎

一定 義……(六三三問)

ニ 特 徵……(1) 強烈ナル陣痛相踵イテ來リ、(2) 其間歇ハ
甚ダ短カキモ、完全ニ弛緩スルモノナリ。

圖六三四 過強陣痛ノ原因◎

一 産道抵抗強キ時……例ヘバ横位・裝骨盤等